

---

大和郡山市  
子育て支援に関するアンケート調査  
報告書

---

令和6年12月  
大和郡山市

# 目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 調査票の回収状況	1
(4) 留意点	1
2. 子育て調査（就学前児童調査）の結果	2
問1 あて名のお子さんご家族の状況について	2
問2 子どもの育ちをめぐる環境について	5
問3 あて名のお子さんの保護者の就労状況について	10
問4 育児休業や短時間勤務制度について	16
問5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	21
問6 病気の際の対応について	30
問7 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	35
問8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	40
問9 地域子育て支援センターの利用状況について	48
問10 小学校就学後の放課後の過ごし方について	55
問11 子育て支援について	61
問12 子どもの発育・発達について	65
問13 大和郡山市での子育てや子育て支援サービスについて	67
3. 子育て調査（就学児童調査）の結果	69
問1 あて名のお子さんご家族の状況について	69
問2 子どもの育ちをめぐる環境について	73
問3 あて名のお子さんの保護者の就労状況について	76
問4 病気の際の対応について	84
問5 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	90
問6 放課後の過ごし方について	96
問7 お子さんの安全について	106
問8 子育てについて	107
問9 大和郡山市での子育てや子育て支援サービスについて	110
4. 子どもの生活調査（保護者調査）の結果	112
問1 家族の状況等について	112
問2 子どもの親の就学・就労状況について	117
問3 子どもの進路について	120
問4 子どもとの関わりについて	122

問5	現在の暮らしの経済的状況について.....	123
問6	日常生活の状況について.....	128
問7	制度等の認知・利用状況について.....	132
5.	子どもの生活調査（子ども調査）の結果.....	133
問1	回答者自身について.....	133
問2	勉強や授業のことについて.....	136
問3	日常生活のことについて.....	140
6.	若者調査の結果.....	149
問1	あなた自身のことについて.....	149
問2	生活習慣について.....	152
問3	あなた自身の現状、将来について.....	157
問4	就学・就労状況について.....	162
問5	悩み・相談先について.....	167
問6	求める居場所について.....	173
問7	結婚・出産について.....	176
問8	行政に求める施策について.....	178

# 1. 調査概要

## (1) 調査目的

子ども・子育て支援法に基づく「大和郡山市子ども・子育て支援事業計画（第二期）」が令和6年度で計画が終了することから、子育て世帯や若者が抱える問題や課題を把握し、次期計画策定にあたっての基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

## (2) 調査の実施について

調査分類	調査の種類	調査対象者	配布数	抽出方法	調査方法
子育て調査	就学前児童調査	就学前の児童のいる世帯の保護者	1,000 件	無作為抽出	郵送による配布、郵送・Webによる回収
	小学生児童調査	小学生の児童のいる世帯の保護者	1,000 件		
若者調査	若者調査	18～39 歳の市民	2,000 件	市内の小学5年生・中学2年生全員と、その保護者	
子どもの生活調査	小中学生調査	小学5年生及び中学2年生	1,200 件		
	保護者調査	上記児童の保護者	1,200 件		

## (3) 調査票の回収状況

調査分類	調査の種類	配布数	回収数	内訳		回収率	内訳	
				紙	ネット		紙	ネット
子育て調査	就学前児童調査	1,000 件	458 件	324 件	134 件	45.8%	32.4%	13.4%
	小学生児童調査	1,000 件	494 件	342 件	152 件	49.4%	34.2%	15.2%
若者調査	若者調査	2,000 件	549 件	311 件	238 件	27.5%	15.6%	11.9%
子どもの生活調査	小中学生調査	1,200 件	446 件	320 件	126 件	37.2%	26.7%	10.5%
	保護者調査	1,200 件	466 件	320 件	146 件	38.8%	26.7%	12.2%

## (4) 留意点

分析結果をみる際の留意点は以下の通りです。

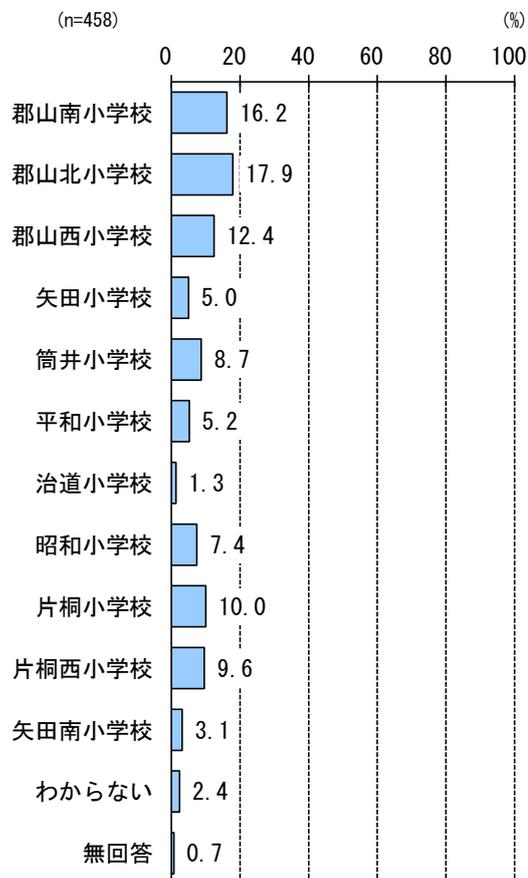
- 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- 単数回答の場合、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100.0%とならない場合があります。
- 複数回答の場合、図中に MA (Multiple Answer =いくつでも)、3LA (3 Limited Answer =3つまで) 等記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。

## 2. 子育て調査（就学前児童調査）の結果

### 問1 あて名のお子さんご家族の状況について

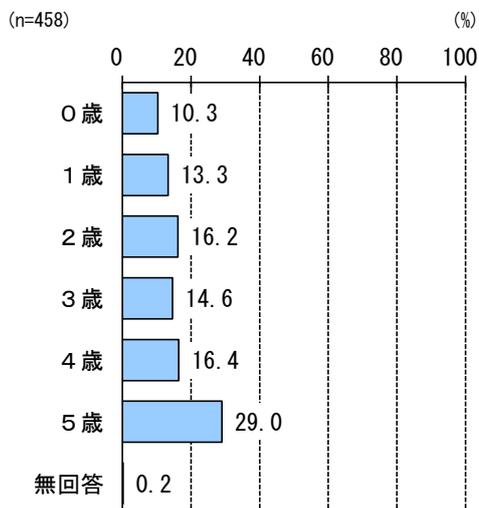
Q1 お住まいの小学校区をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

- 居住小学校区について、「郡山北小学校」が17.9%で最も多く、次いで「郡山南小学校」が16.2%、「郡山西小学校」が12.4%となっています。



Q2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字）

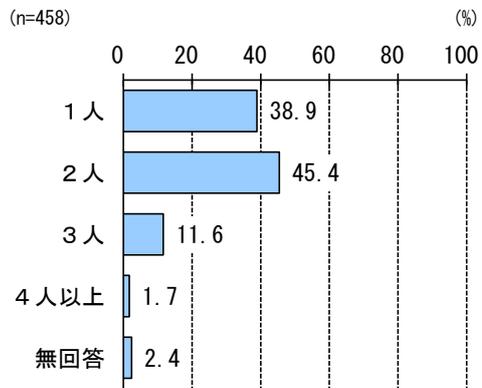
- 子どもの年齢について、「5歳」が29.0%で最も多く、次いで「4歳」が16.4%、「2歳」が16.2%となっています。



Q3 あて名のお子さんのきょうだい数（あて名のお子さんを含む）をご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字）また、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合のみ、末子の生年月月をご記入ください。

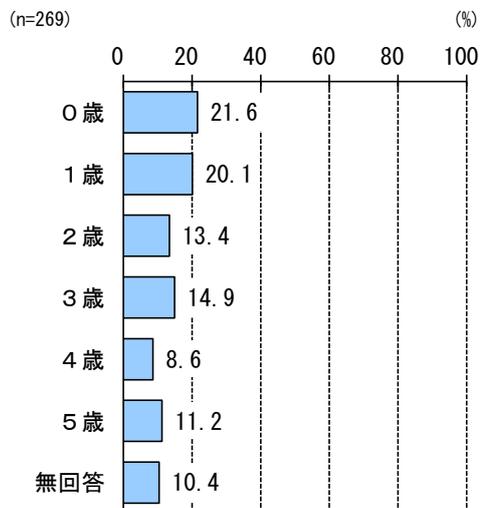
①きょうだいの人数

- きょうだいの人数について、「2人」が45.4%で最も多く、次いで「1人」が38.9%、「3人」が11.6%となっています。



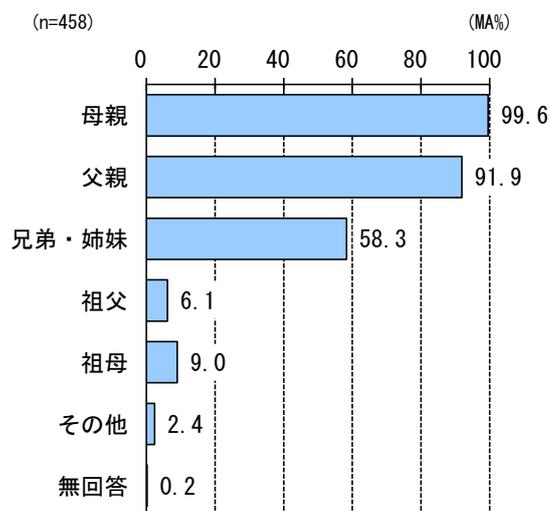
②末子の年齢

- 末子の年齢について、「0歳」が21.6%で最も多く、次いで「1歳」が20.1%、「3歳」が14.9%となっています。



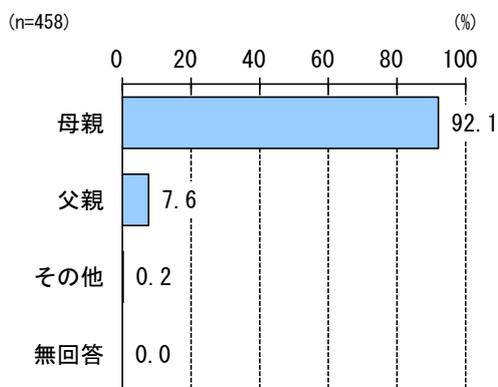
Q 4 あて名のお子さんと一緒に住んでいる方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

- 一緒に住んでいる人について、「母親」が99.6%で最も多く、次いで「父親」が91.9%、「兄弟・姉妹」が58.3%となっています。



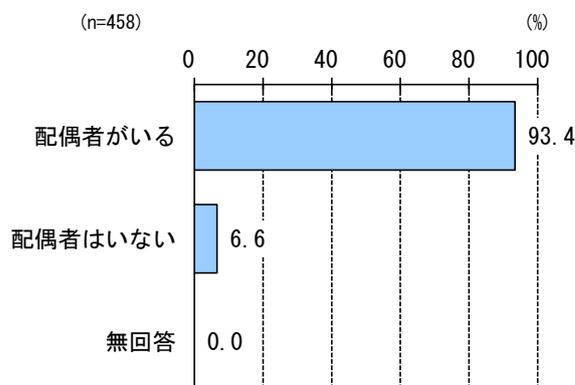
Q 5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

- 調査票の回答者について、「母親」が92.1%で最も多く、次いで「父親」が7.6%、「その他」が0.2%となっています。



Q 6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

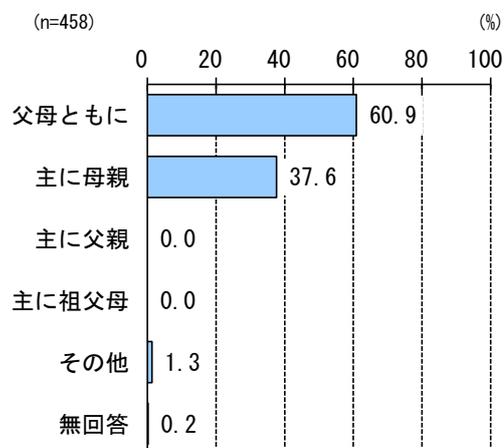
- 調査票の回答者の配偶関係について、「配偶者がいる」が 93.4%、「配偶者はいない」が 6.6%となっています。



## 問2 子どもの育ちをめぐる環境について

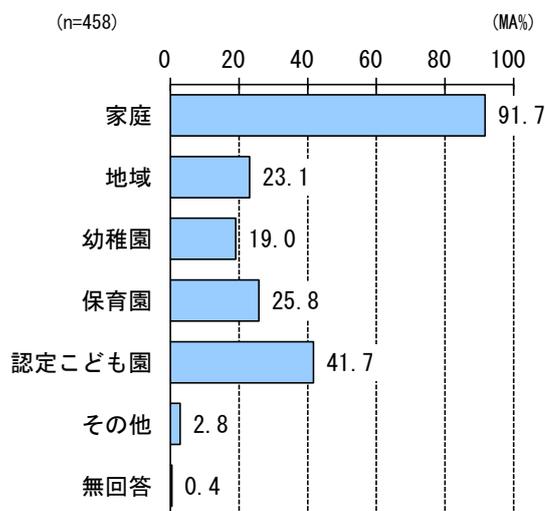
Q 1 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

- 子育てを主に行っている人について、「父母ともに」が 60.9%で最も多く、次いで「主に母親」が 37.6%、「その他」が 1.3%となっています。



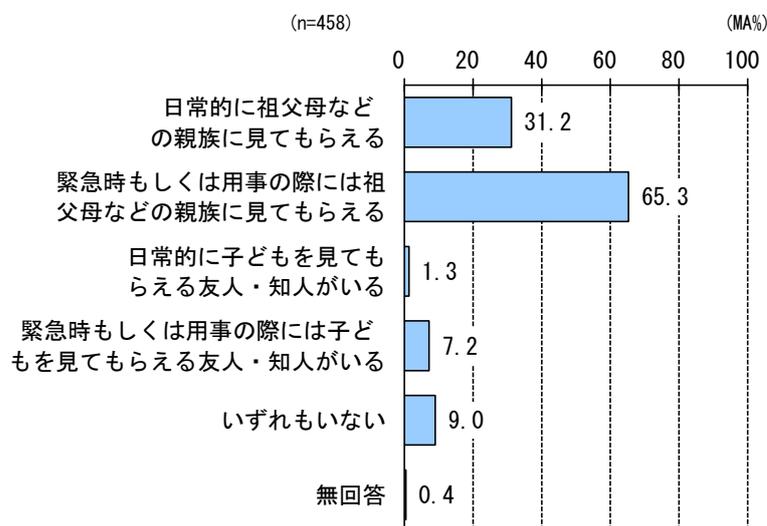
Q2 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

- 子育てにもっとも影響すると思われる環境について、「家庭」が 91.7%で最も多く、次いで「認定こども園」が 41.7%、「保育園」が 25.8%となっています。



Q3 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。（あてはまる番号すべてに○）

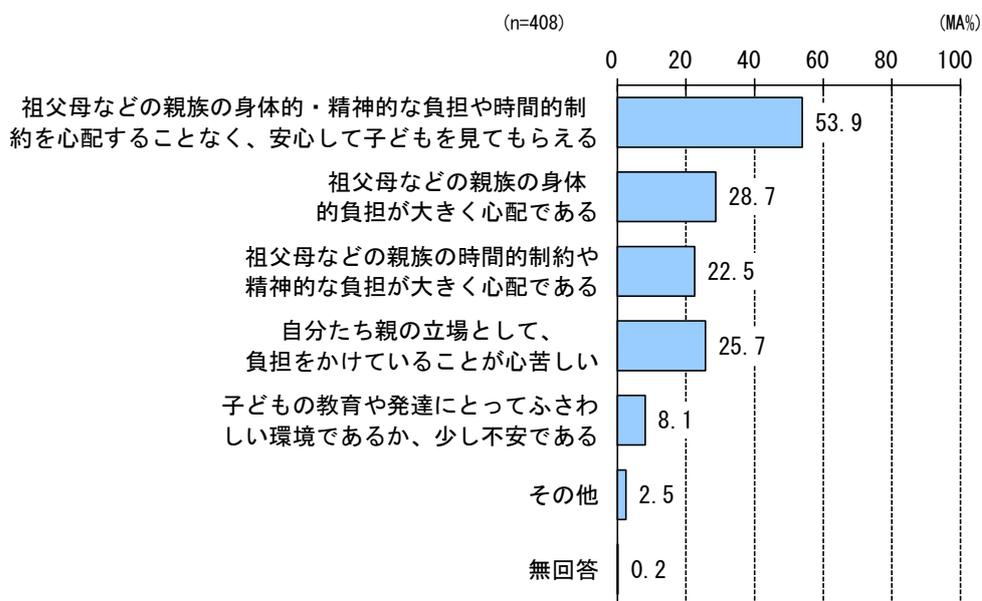
- 日頃から子どもをみてもらえる親族・知人の有無について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に見てもらう」が 65.3%で最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親族に見てもらう」が 31.2%、「いずれもない」が 9.0%となっています。



★問2 Q3で、「日常的に祖父母などの親族に見てもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に見てもらえる」に○をつけた方のみ

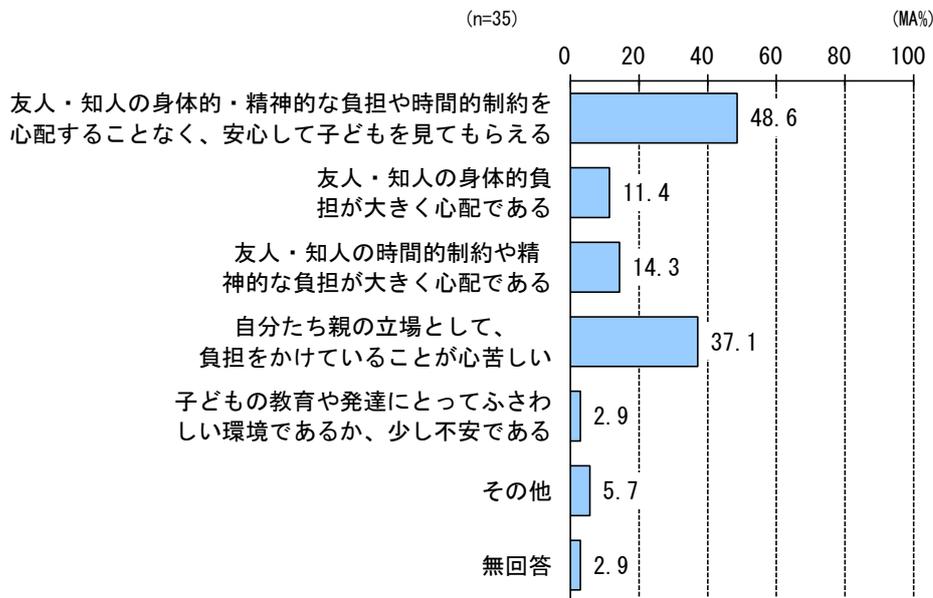
Q3-1 祖父母などの親族にお子さんを見てもらっている状況をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

- 祖父母などに子どもを見てもらっている状況について、「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」が53.9%で最も多く、次いで「祖父母などの親族の身体的負担が大きく心配である」が28.7%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が25.7%となっています。



★問2 Q3で、「日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方のみ  
 Q3-2 友人・知人にお子さんを見てもらっている状況をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

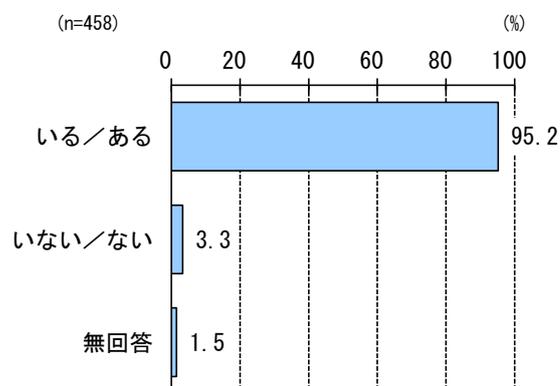
- 友人・知人に子どもを見てもらっている状況について、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」が48.6%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が37.1%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が14.3%となっています。



ここからは、すべての方におうかがいします。

Q4 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる先（人・場所など）はありますか。（あてはまる番号1つに○）

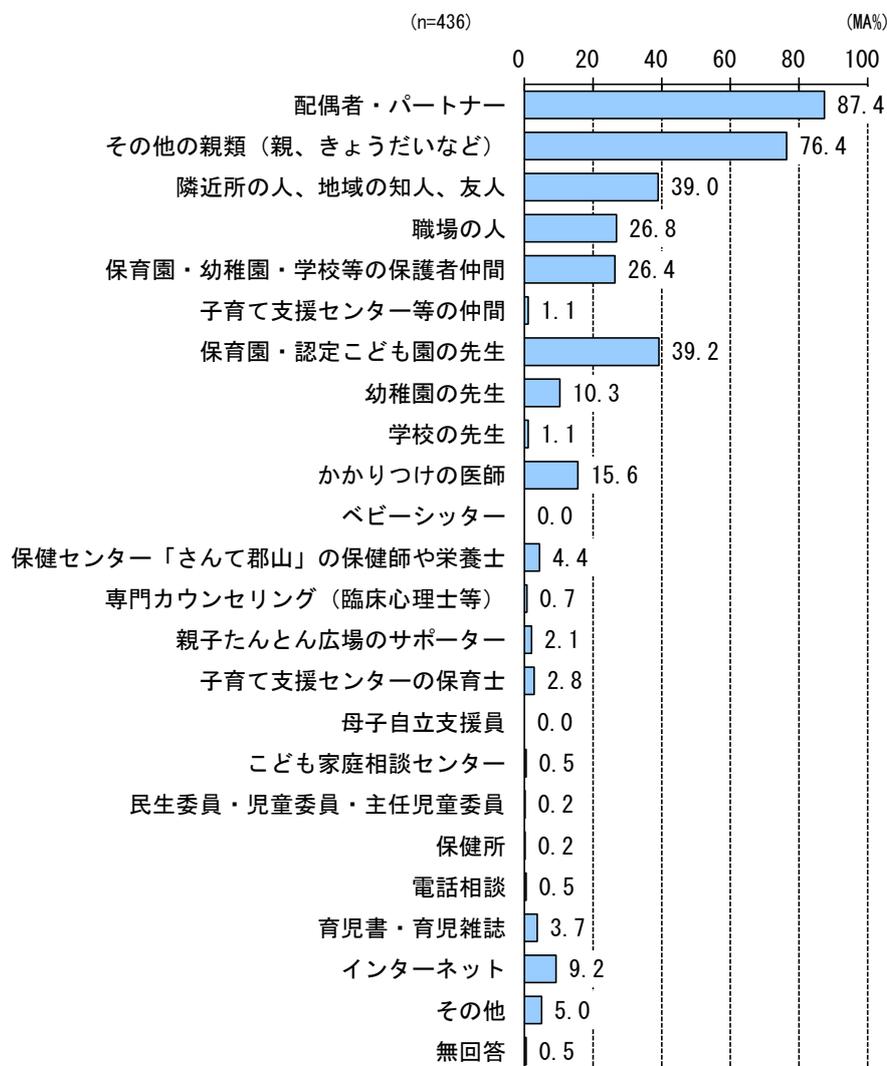
- 子育てをする上で相談できる人や場所の有無について、「いる／ある」が95.2%、「いない／ない」が3.3%となっています。



★問2 Q4で、「いる／ある」に○をつけた方のみ

Q4-1 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に関する相談先をご記入ください。  
（あてはまる番号すべてに○）

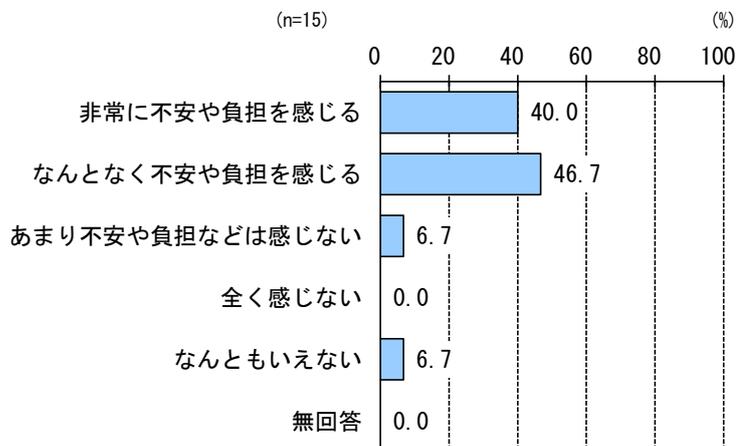
- 子育てに関する相談先について、「配偶者・パートナー」が87.4%で最も多く、次いで「その他の親類（親、きょうだいなど）」が76.4%、「保育園・認定こども園の先生」が39.2%となっています。



★問2 Q4で、「いない／ない」に○をつけた方のみ

Q4-2 あなたは、子育てに対する負担感や不安感を感じますか。(あてはまる番号1つに○)

- 子育てに対する負担感や不安感について、「なんとなく不安や負担を感じる」が46.7%で最も多く、次いで「非常に不安や負担を感じる」が40.0%、「あまり不安や負担などは感じない」「なんともいえない」が6.7%となっています。

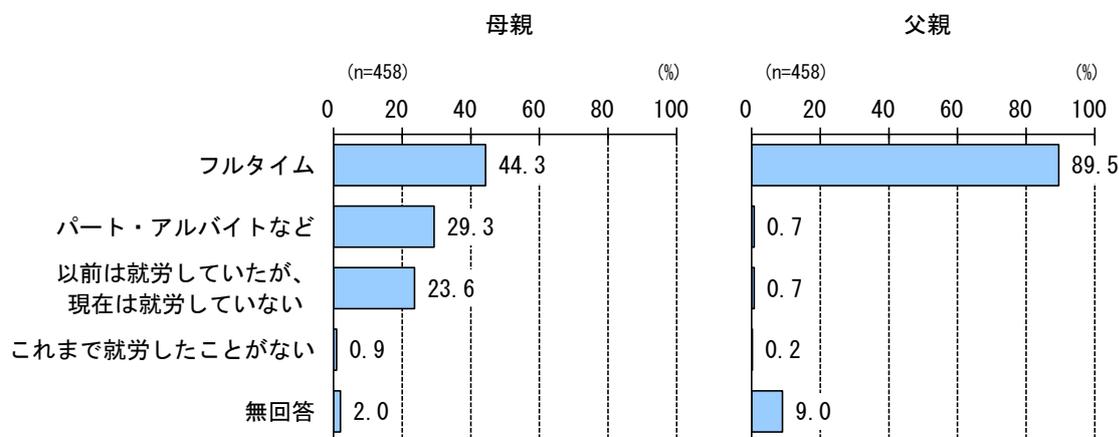


問3 あて名のお子さんの保護者の就労状況について

ここからは、すべての方におうかがいします。

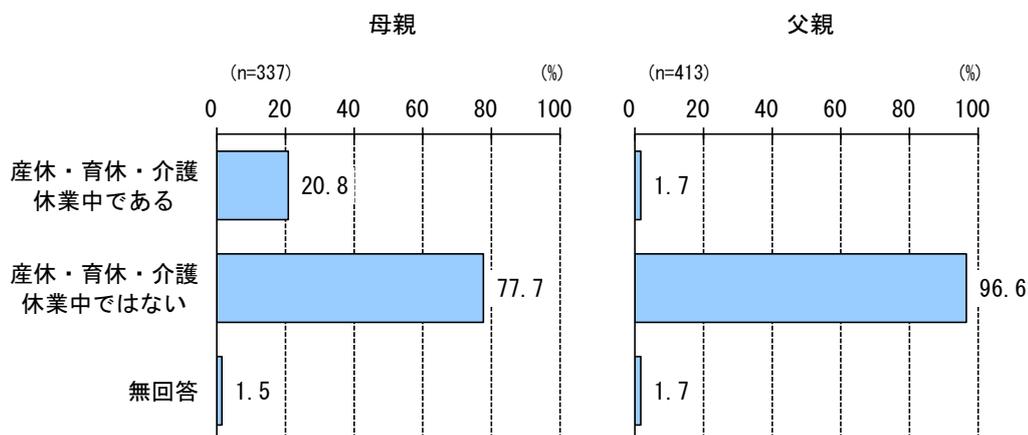
Q1 現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をご記入ください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

- 保護者の就労状況について、母親では「フルタイム」が44.3%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなど」が29.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が23.6%となっています。
- 父親では「フルタイム」が89.5%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなど」「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.7%、「これまで就労したことがない」が0.2%となっています。



★問3 Q 1で、「フルタイム」または「パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ  
 Q 1-1 就労している方は、現在、産休・育休・介護休業中ですか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

- 産休・育休・介護休業の状況について、母親では「産休・育休・介護休業中である」が 20.8%、「産休・育休・介護休業中ではない」が 77.7%となっています。
- 父親では「産休・育休・介護休業中である」が 1.7%、「産休・育休・介護休業中ではない」が 96.6%となっています。

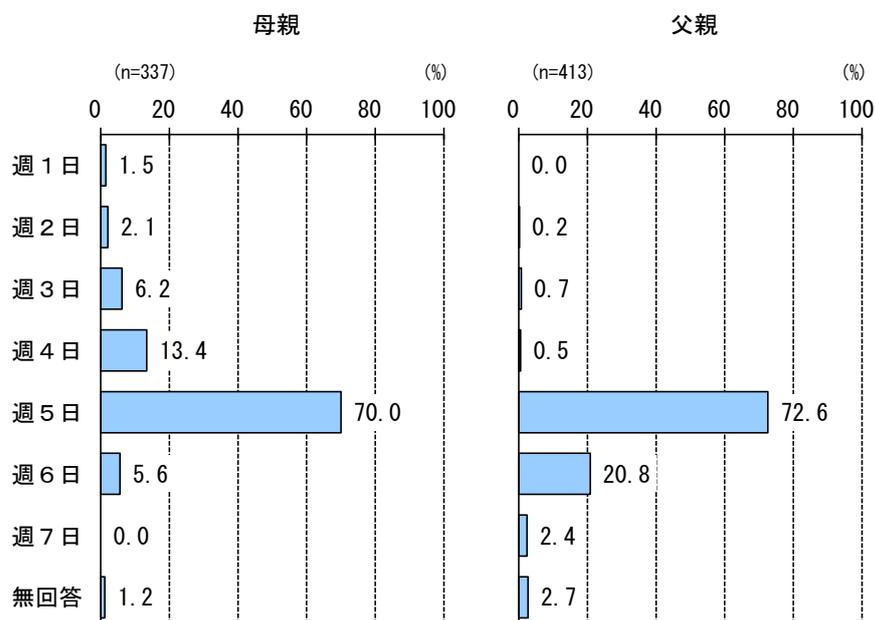


★引き続き、問3 Q 1で、「フルタイム」または「パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

Q 1-2 ①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、③家を出る時間、④帰宅時間をすべてご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入）

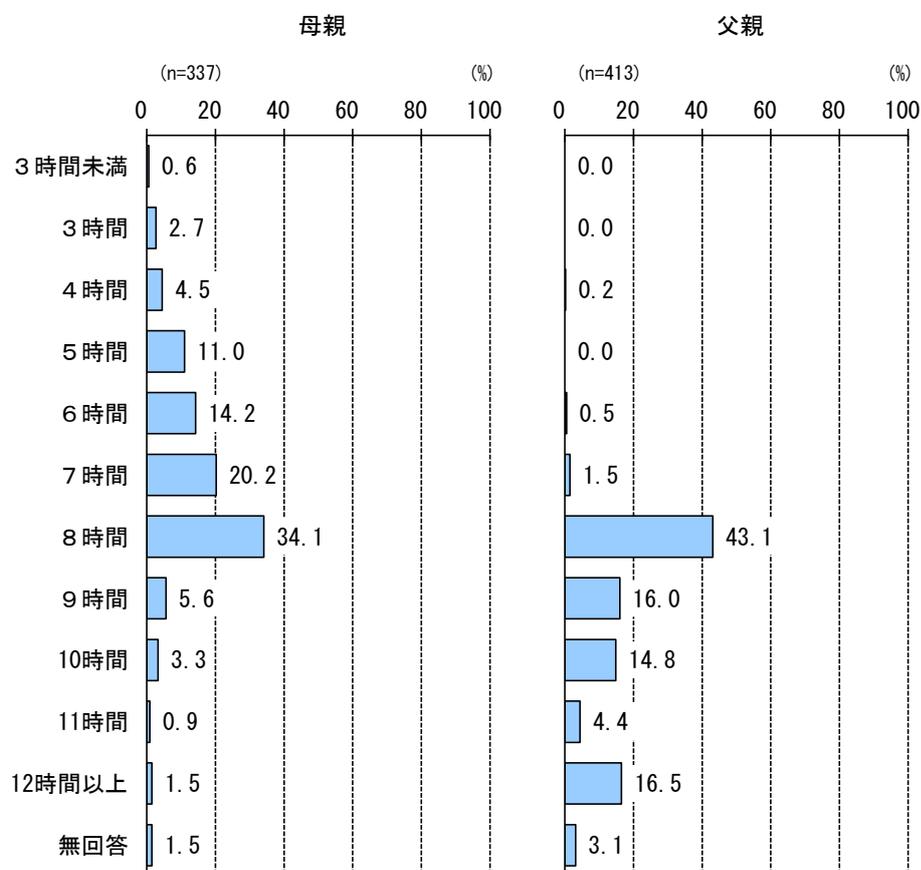
①1週あたり就労日数

- 1週あたり就労日数について、母親では「週5日」が 70.0%で最も多く、次いで「週4日」が 13.4%、「週3日」が 6.2%となっています。
- 父親では「週5日」が 72.6%で最も多く、次いで「週6日」が 20.8%、「週7日」が 2.4%となっています。



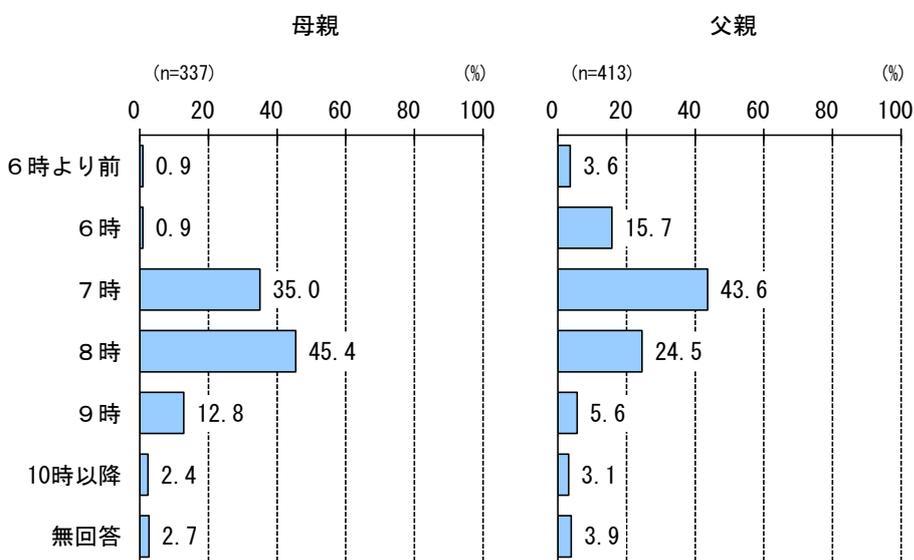
## ② 1日あたり就労時間

- 1日あたり就労時間について、母親では「8時間」が34.1%で最も多く、次いで「7時間」が20.2%、「6時間」が14.2%となっています。
- 父親では「8時間」が43.1%で最も多く、次いで「12時間以上」が16.5%、「9時間」が16.0%となっています。



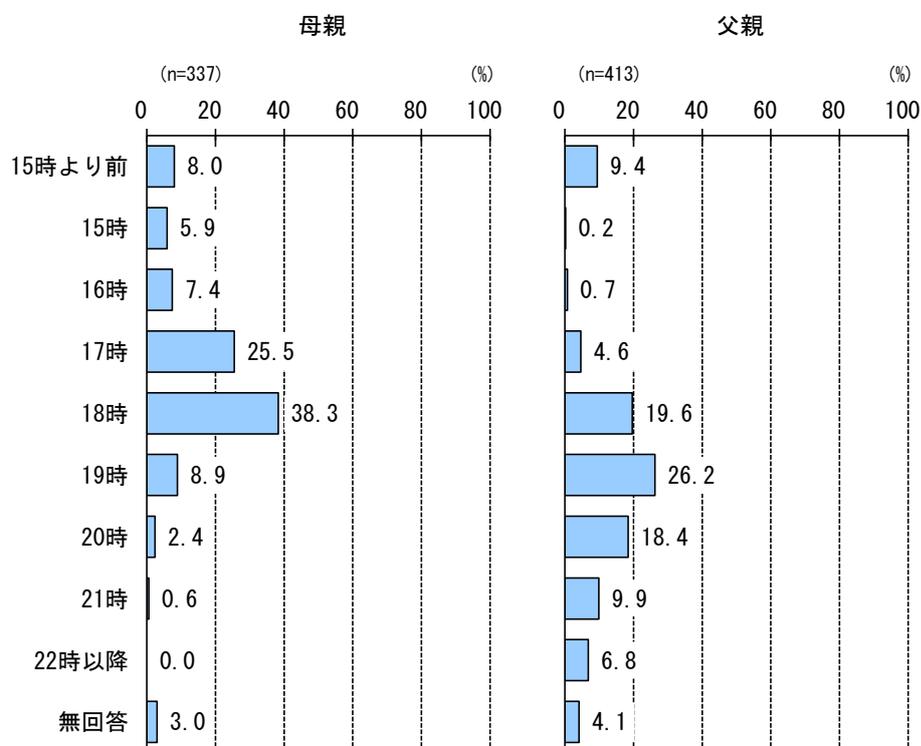
## ③ 家を出る時間

- 家を出る時間について、母親では「8時」が45.4%で最も多く、次いで「7時」が35.0%、「9時」が12.8%となっています。
- 父親では「7時」が43.6%で最も多く、次いで「8時」が24.5%、「6時」が15.7%となっています。



#### ④帰宅時間

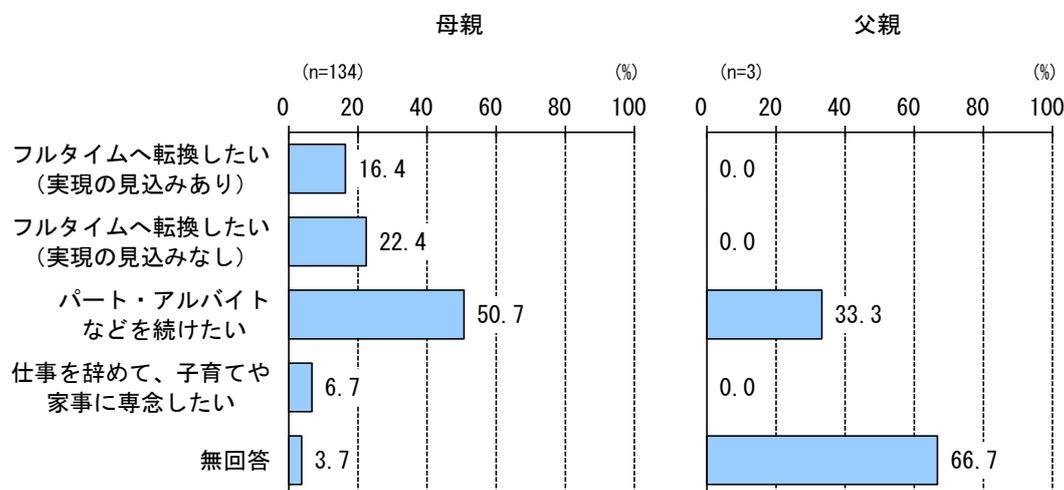
- 帰宅時間について、母親では「18時」が38.3%で最も多く、次いで「17時」が25.5%、「19時」が8.9%となっています。
- 父親では「19時」が26.2%で最も多く、次いで「18時」が19.6%、「20時」が18.4%となっています。



#### ★問3 Q1で、「パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

Q1-3 パート・アルバイトなどからフルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

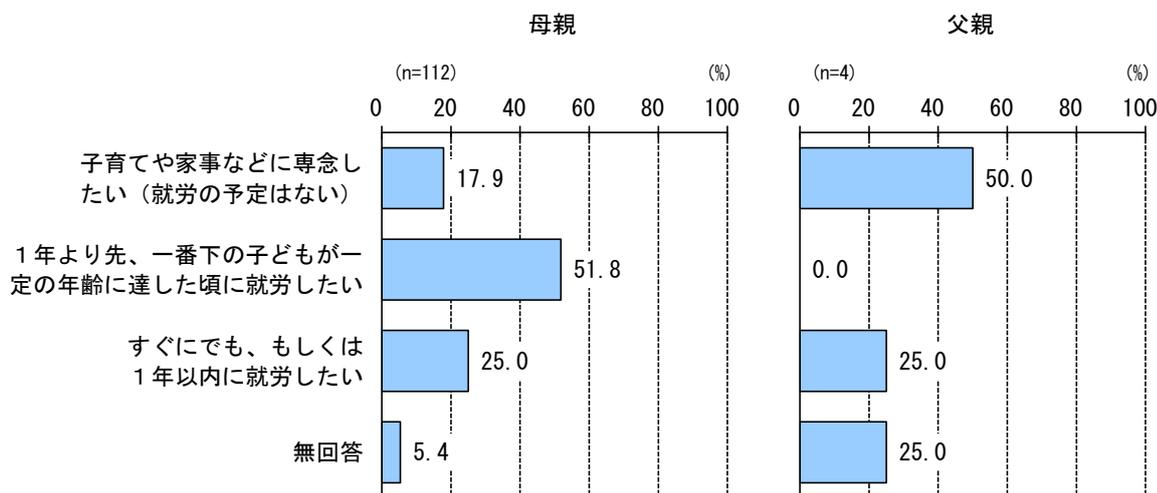
- パート・アルバイトからフルタイムへの転換希望について、母親では「パート・アルバイトなどを続けたい」が50.7%で最も多く、次いで「フルタイムへ転換したい(実現の見込みなし)」が22.4%、「フルタイムへ転換したい(実現の見込みあり)」が16.4%となっています。
- 父親では「パート・アルバイトなどを続けたい」が33.3%で最も多くなっています。



★問3 Q1で、「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方のみ

Q2 就労したいという希望はありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

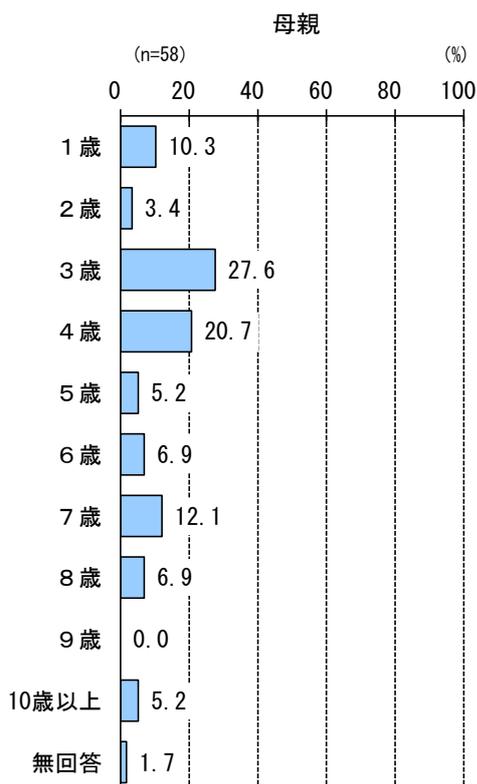
- 非就労者の就労希望について、母親では「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」が51.8%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が25.0%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が17.9%となっています。
- 父親では「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が50.0%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が25.0%となっています。



★問3 Q2で、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」に○をつけた方のみ

Q2-1 一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいですか。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

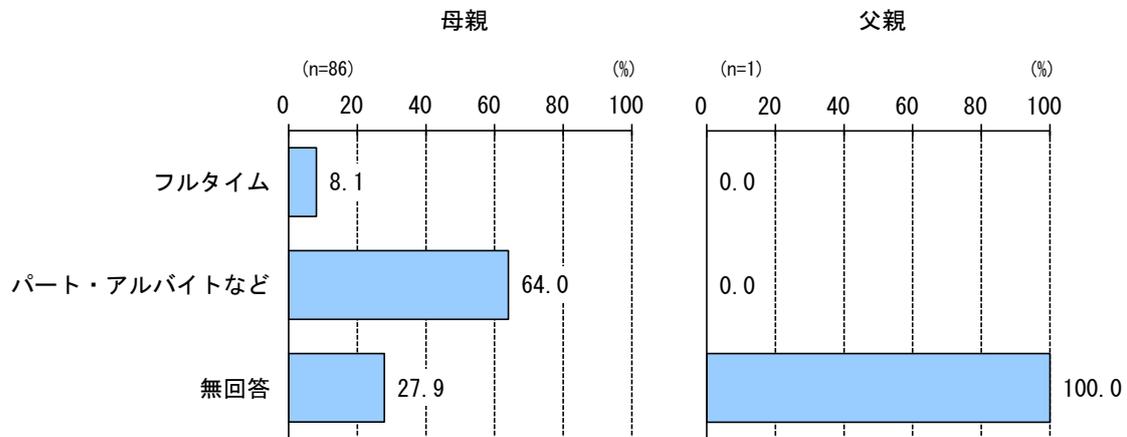
- 就労を希望する時期について、母親では「3歳」が27.6%で最も多く、次いで「4歳」が20.7%、「7歳」が12.1%となっています。



★問3 Q2で、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方のみ

Q2-2 希望する就労形態はどれですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

○ 希望する就労形態について、母親では「フルタイム」が8.1%、「パート・アルバイトなど」が64.0%となっています。

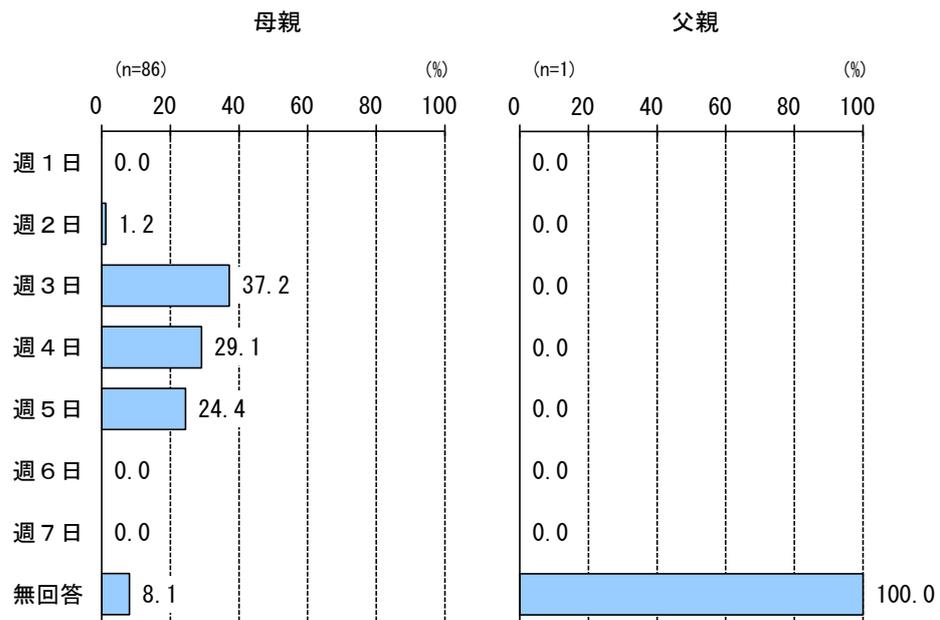


★問3 Q2で、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方のみ

Q2-3 希望する就労形態について、①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間」をすべてご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

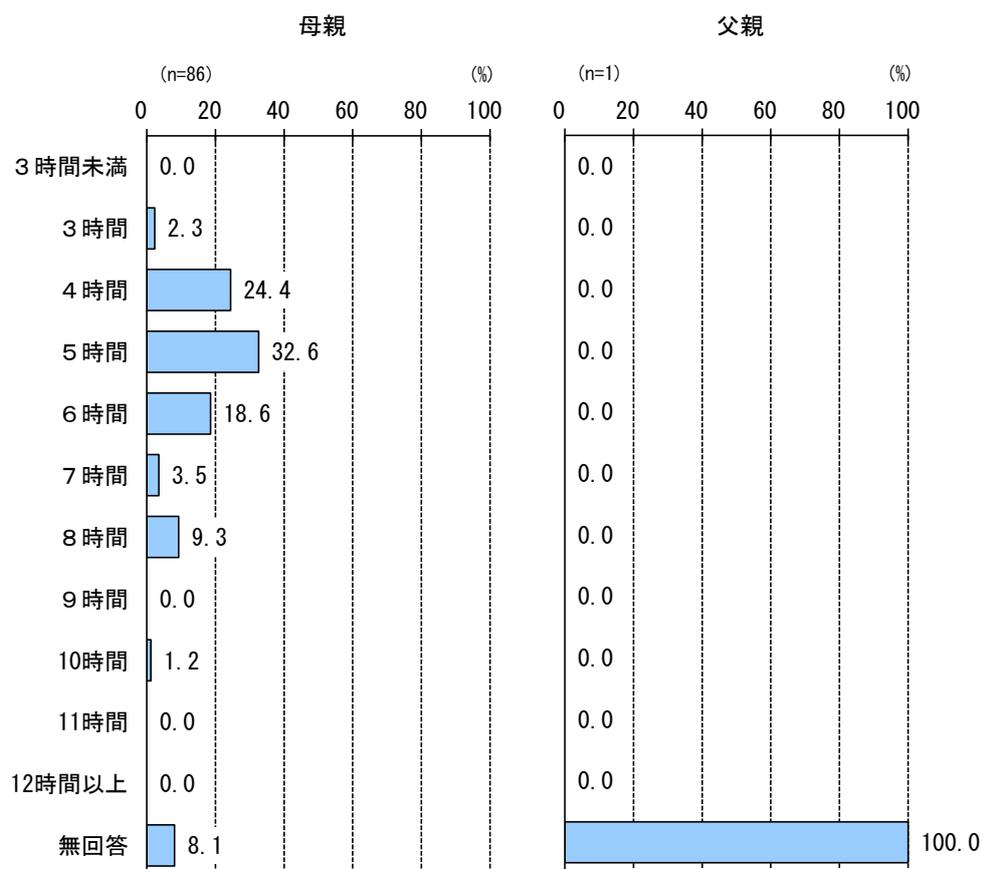
①希望する1週あたり就労日数

○ 希望する1週あたり就労日数について、母親では「週3日」が37.2%で最も多く、次いで「週4日」が29.1%、「週5日」が24.4%となっています。



## ②希望する1日あたり就労時間

- 希望する1日あたり就労時間について、母親では「5時間」が32.6%で最も多く、次いで「4時間」が24.4%、「6時間」が18.6%となっています。

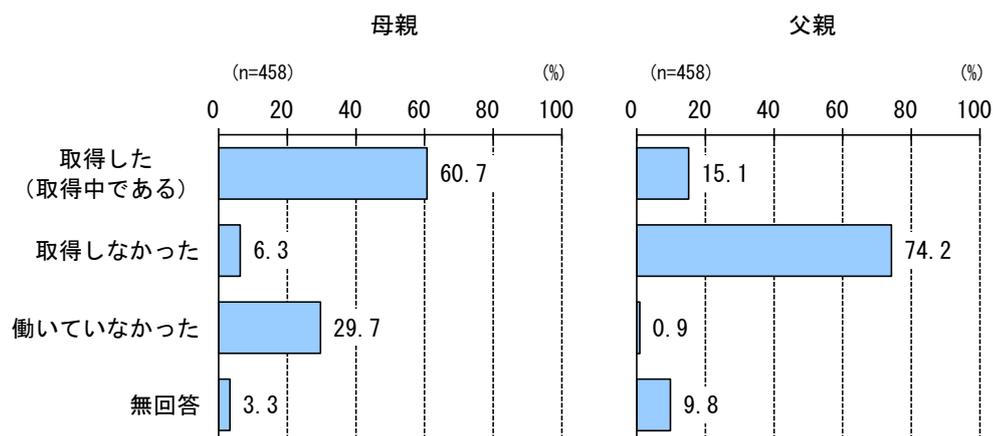


## 問4 育児休業や短時間勤務制度について

ここからは、すべての方におうかがいします。

Q1 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

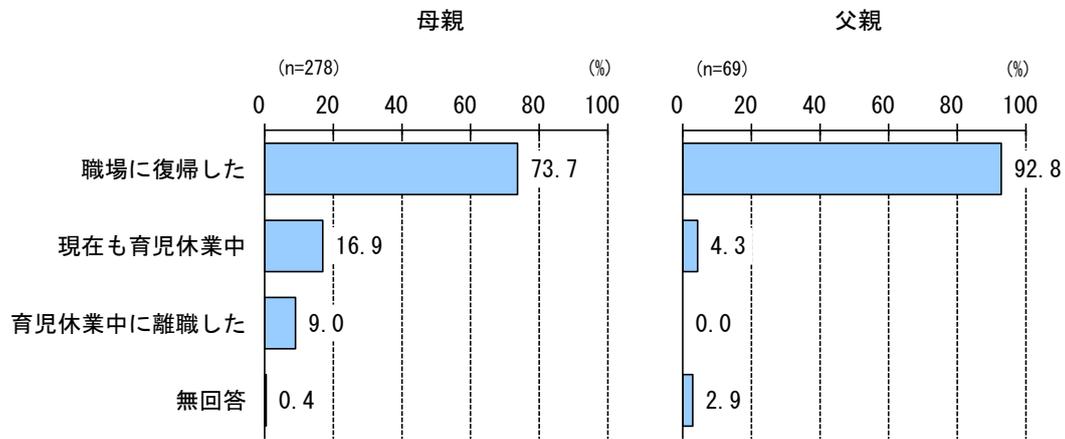
- 子どもが生まれた時の育児休業取得状況について、母親では「取得した(取得中である)」が60.7%で最も多く、次いで「働いていなかった」が29.7%、「取得しなかった」が6.3%となっています。
- 父親では「取得しなかった」が74.2%で最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が15.1%、「働いていなかった」が0.9%となっています。



★問4 Q1で、「取得した（取得中である）」に○をつけた方のみ

Q2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

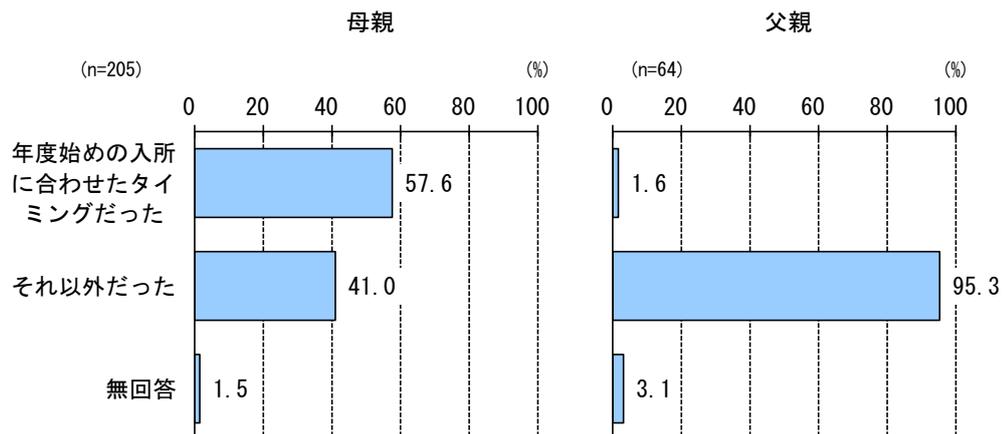
- 育児休業取得後の復帰状況について、母親では「職場に復帰した」が73.7%で最も多く、次いで「現在も育児休業中」が16.9%、「育児休業中に離職した」が9.0%となっています。
- 父親では「職場に復帰した」が92.8%で最も多く、次いで「現在も育児休業中」が4.3%となっています。



★問4 Q2で、「職場に復帰した」に○をつけた方のみ

Q2-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度始めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

- 育児休業から職場に復帰したタイミングについて、母親では「年度始めの入所に合わせたタイミングだった」が57.6%、「それ以外だった」が41.0%となっています。
- 父親では「年度始めの入所に合わせたタイミングだった」が1.6%、「それ以外だった」が95.3%となっています。

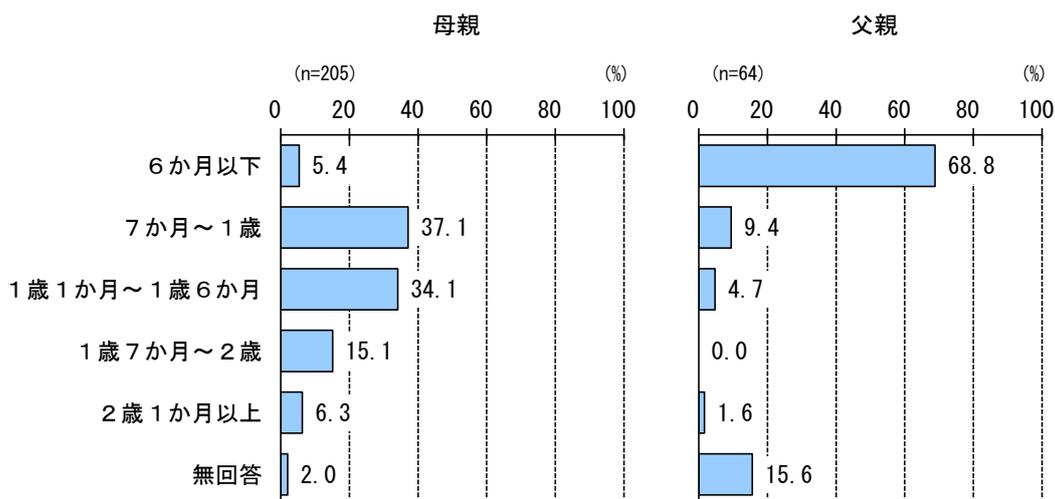


★問4 Q2で、「職場に復帰した」に○をつけた方のみ

Q2-2 お子さんが何歳何か月のときに育児休業から職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで休暇を取りたかったですか。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

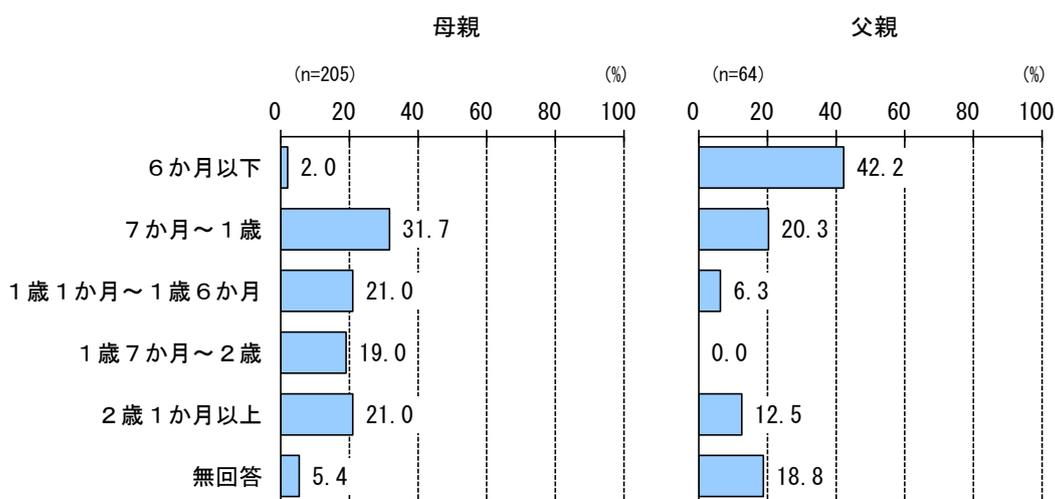
①実際の取得期間

- 実際の取得期間について、母親では「7か月～1歳」が37.1%で最も多く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」が34.1%、「1歳7か月～2歳」が15.1%となっています。
- 父親では、「6か月以下」が68.8%で最も多く、次いで「7か月～1歳」が9.4%、「1歳1か月～1歳6か月」が4.7%となっています。



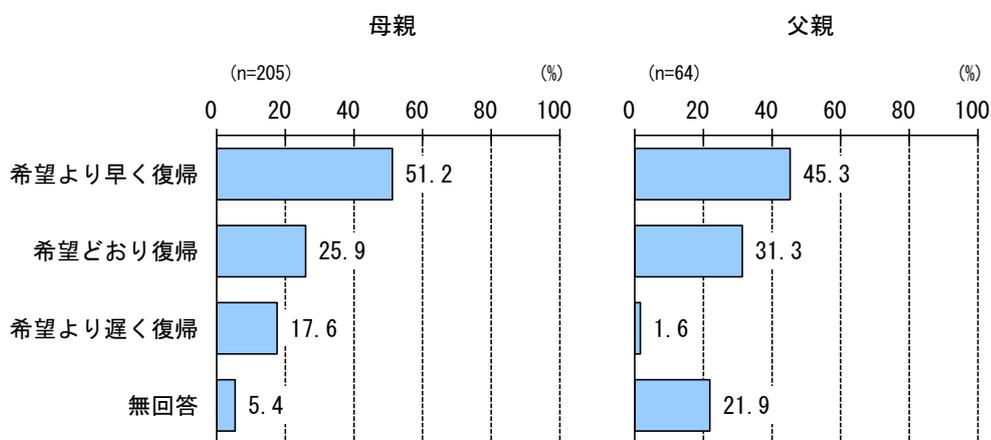
②希望の取得期間

- 希望の取得期間について、母親では「7か月～1歳」が31.7%で最も多く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」「2歳1か月以上」が21.0%、「1歳7か月～2歳」が19.0%となっています。
- 父親では「6か月以下」が42.2%で最も多く、次いで「7か月～1歳」が20.3%、「2歳1か月以上」が12.5%となっています。



### ③実際と希望の取得期間

- 実際と希望の取得期間について、母親では「希望より早く復帰」が 51.2%で最も多く、次いで「希望どおり復帰」が 25.9%、「希望より遅く復帰」が 17.6%となっています。
- 父親では「希望より早く復帰」が 45.3%で最も多く、次いで「希望どおり復帰」が 31.3%、「希望より遅く復帰」が 1.6%となっています。

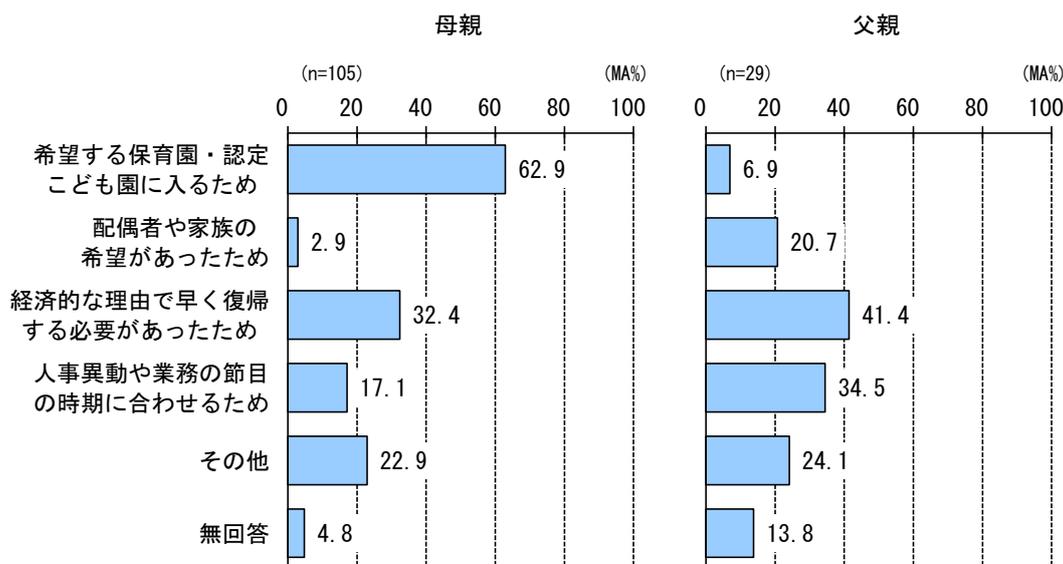


### ★問4 Q2-2で、「実際の取得期間」と「希望の取得期間」が異なる方のみ

Q3 希望の時期に職場復帰しなかった理由を、以下の選択肢からご記入ください。(それぞれ、あてはまる番号すべてを、以下の記入欄に記入)

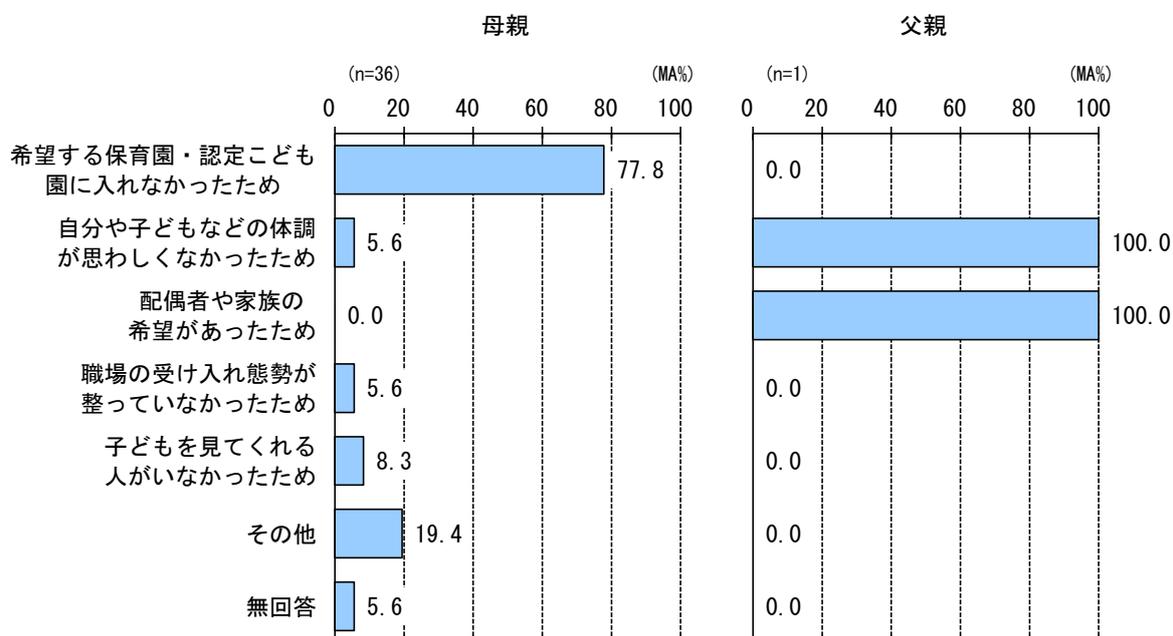
#### ①希望より早く復帰した理由

- 希望より早く復帰した理由について、母親では「希望する保育園・認定こども園に入るため」が 62.9%で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 32.4%、「その他」が 22.9%となっています。
- 父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 41.4%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 34.5%、「その他」が 24.1%となっています。



## ②希望より遅く復帰した理由

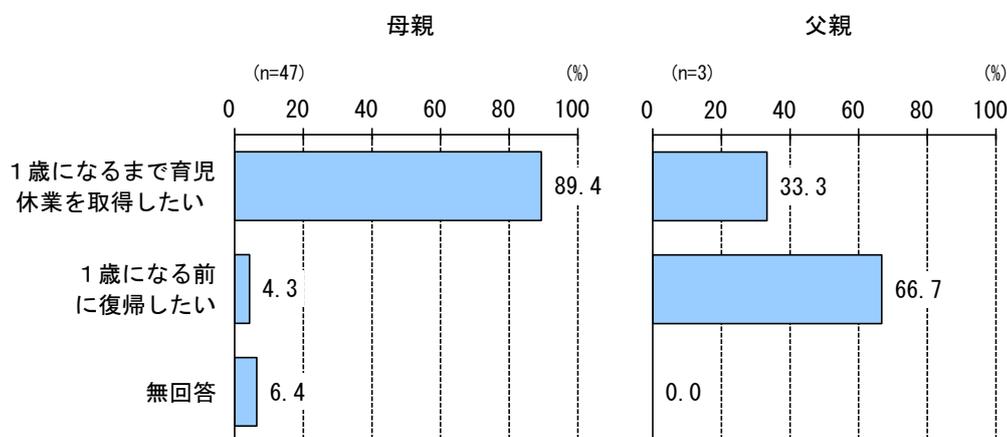
- 希望より遅く復帰した理由について、母親では「希望する保育園・認定こども園に入れなかったため」が 77.8%で最も多く、次いで「その他」が 19.4%、「子どもを見てくれる人がいなかったため」が 8.3%となっています。
- 父親では「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」「配偶者や家族の希望があったため」が 100.0%で最も多くなっています。



## ★問4 Q2で、「現在も育児休業中」に○をつけた方のみ

Q4 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

- 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の育児休業取得動向について、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が 89.4%、「1歳になる前に復帰したい」が 4.3%となっています。
- 父親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が 33.3%、「1歳になる前に復帰したい」が 66.7%となっています。

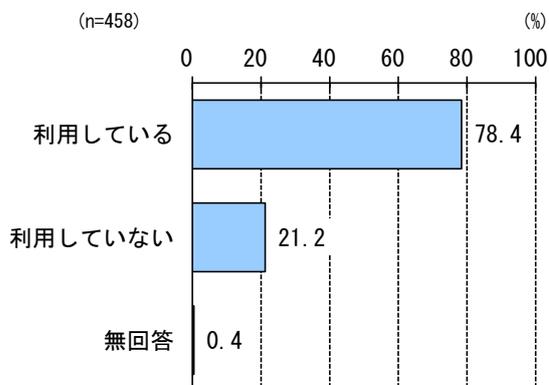


## 問5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

ここからは、すべての方におうかがいします。

Q1 あて名のお子さんは、平日に幼稚園や保育園などの定期的な教育・保育事業を利用していますか。(あてはまる番号1つに○)

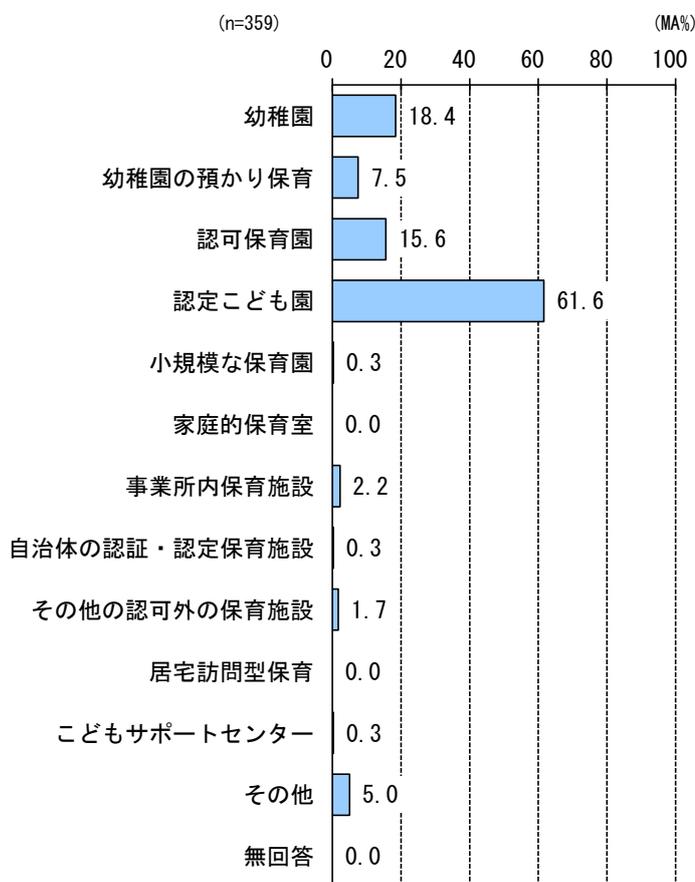
- 定期的な教育・保育事業の利用の有無について、「利用している」が78.4%、「利用していない」が21.2%となっています。



★問5 Q1で、「利用している」に○をつけた方のみ

Q1-1 あて名のお子さんは、平日にどのような事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

- 定期的に利用している事業について、「認定こども園」が61.6%で最も多く、次いで「幼稚園」が18.4%、「認可保育園」が15.6%となっています。

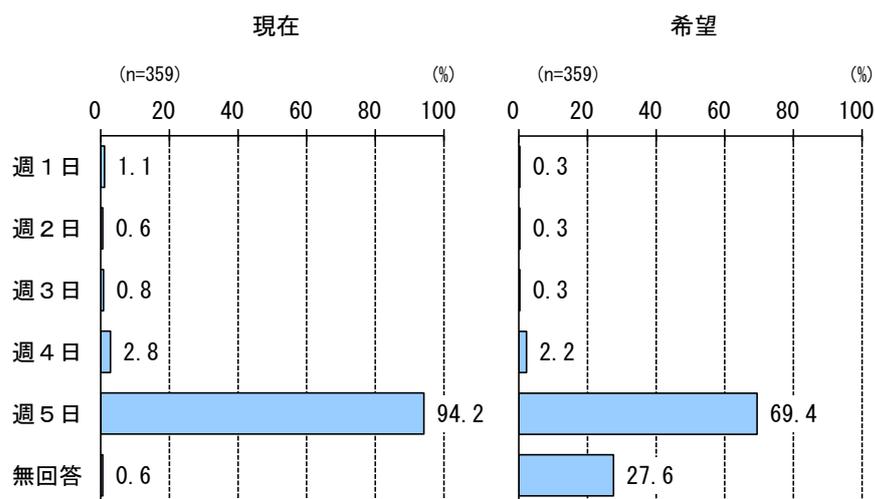


★引き続き、問5 Q1で、「利用している」に○をつけた方のみ

Q1-2 平日に利用している事業について、(1) 現在及び(2) 希望の、①1週あたりの利用日数、②1日あたりの利用時間をすべてご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

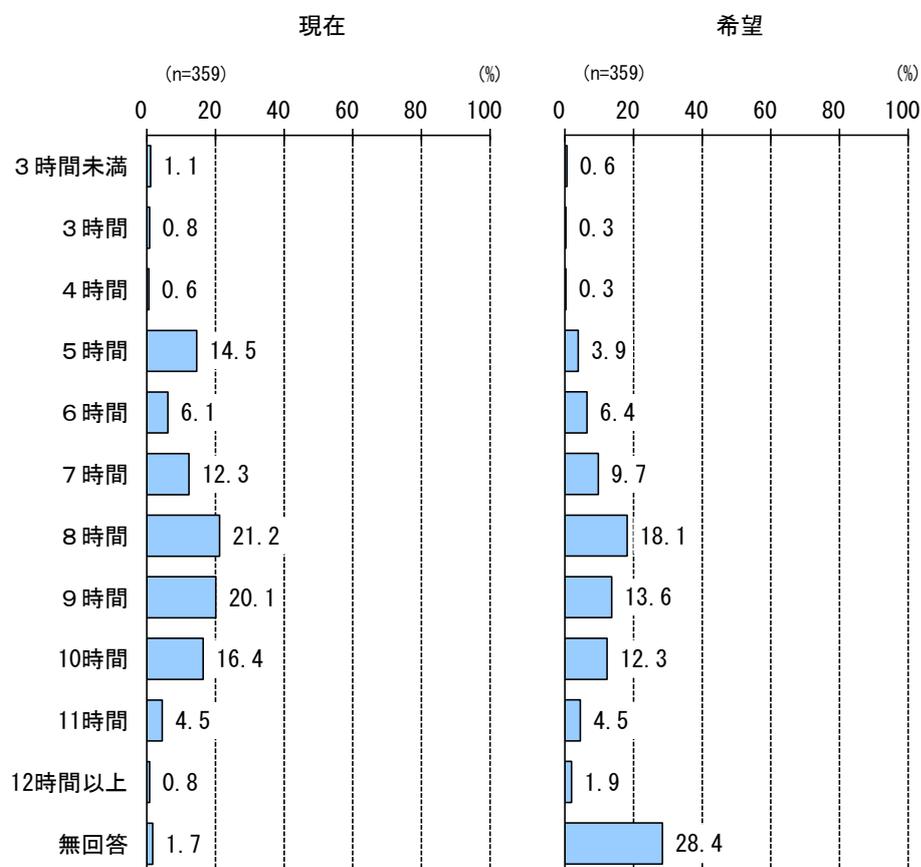
①1週あたりの利用日数

- 1週あたりの利用日数について、現在では「週5日」が94.2%で最も多く、次いで「週4日」が2.8%、「週1日」が1.1%となっています。
- 希望では「週5日」が69.4%で最も多く、次いで「週4日」が2.2%、「週1日」「週2日」「週3日」が0.3%となっています。



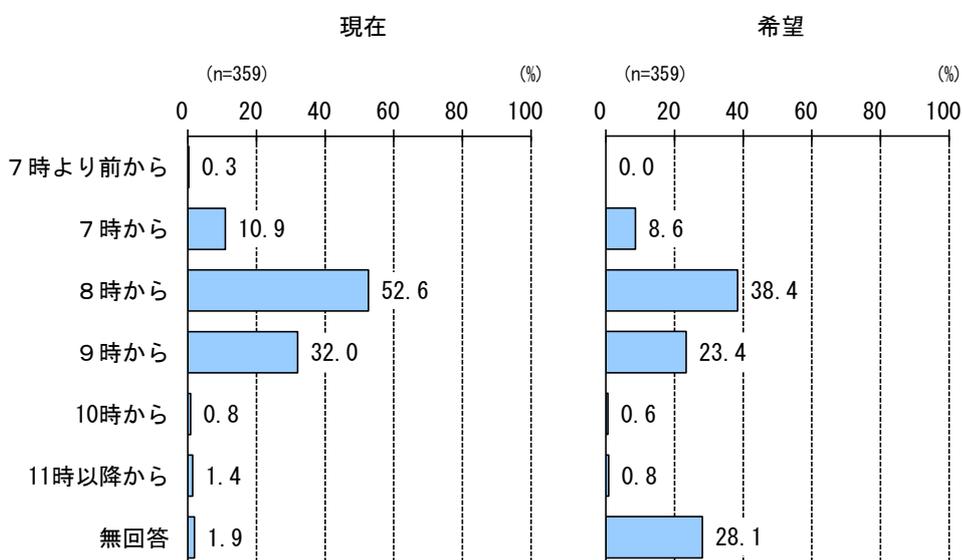
## ② 1日あたりの利用時間

- 1日あたりの利用時間について、現在では「8時間」が21.2%で最も多く、次いで「9時間」が20.1%、「10時間」が16.4%となっています。
- 希望では「8時間」が18.1%で最も多く、次いで「9時間」が13.6%、「10時間」が12.3%となっています。



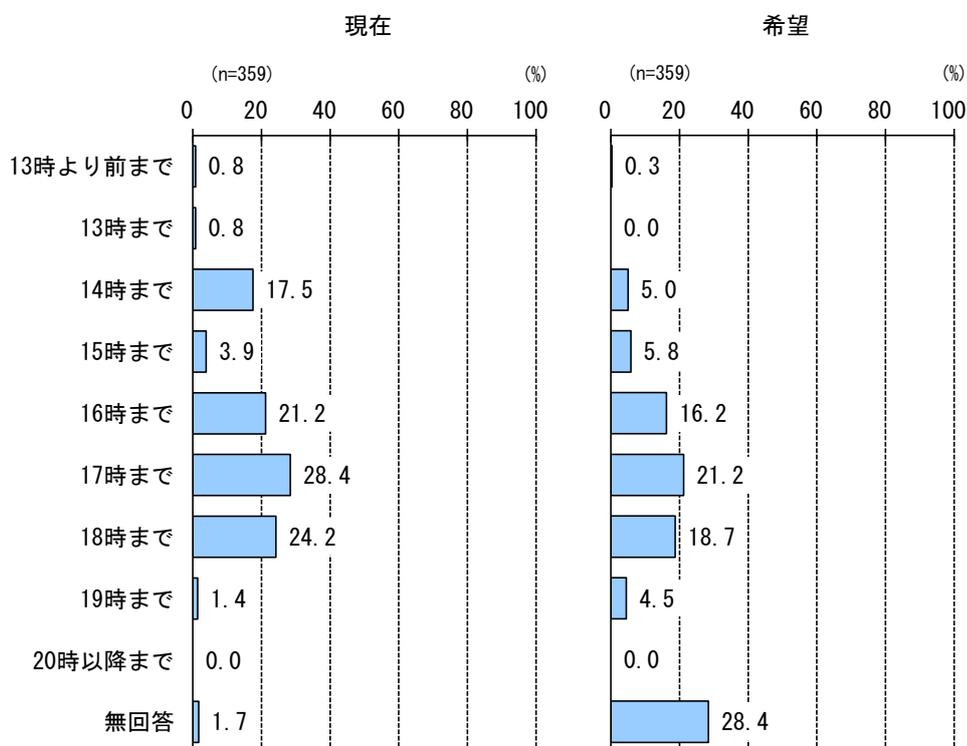
## ③ 開始時間

- 開始時間について、現在では「8時から」が52.6%で最も多く、次いで「9時から」が32.0%、「7時から」が10.9%となっています。
- 希望では「8時から」が38.4%で最も多く、次いで「9時から」が23.4%、「7時から」が8.6%となっています。



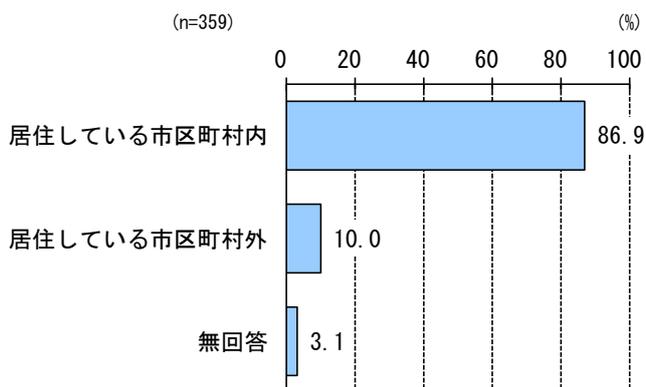
#### ④終了時間

- 終了時間について、現在では「17時まで」が28.4%で最も多く、次いで「18時まで」が24.2%、「16時まで」が21.2%となっています。
- 希望では「17時まで」が21.2%で最も多く、次いで「18時まで」が18.7%、「16時まで」が16.2%となっています。



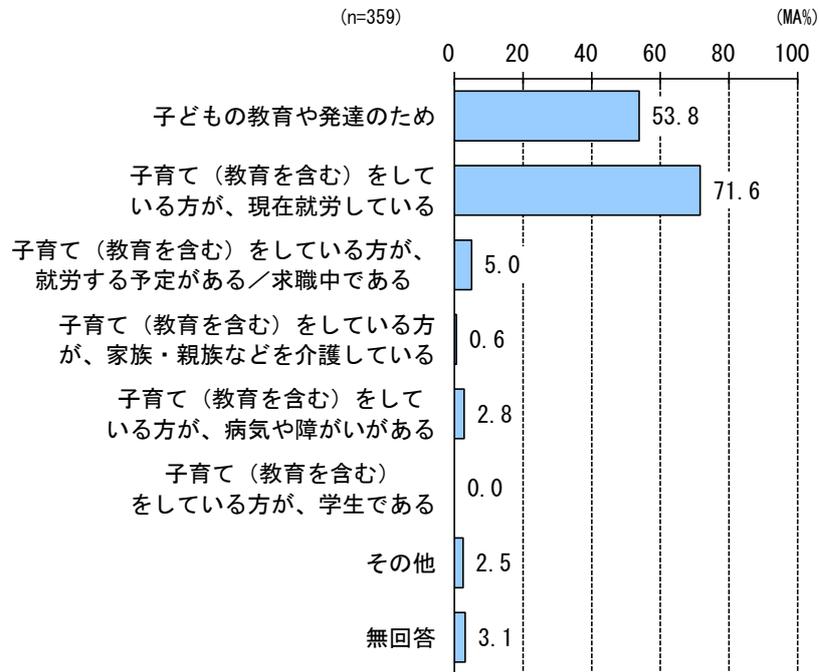
#### Q1-3 現在、利用している事業の実施場所はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

- 利用している事業の実施場所について、「居住している市区町村内」が86.9%、「居住している市区町村外」が10.0%となっています。



Q 1-4 平日に定期的に事業を利用している理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

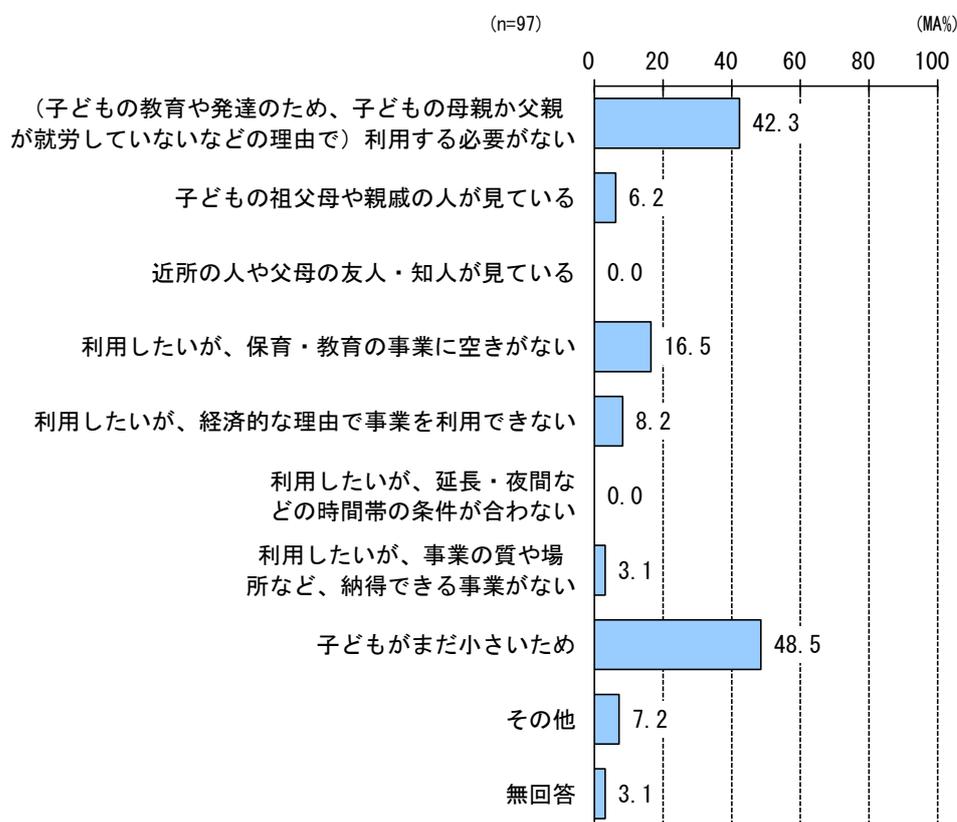
- 定期的に事業を利用している理由について、「子育て（教育を含む）をしている方が、現在就労している」が 71.6%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 53.8%、「子育て（教育を含む）をしている方が、就労する予定がある／求職中である」が 5.0%となっています。



★問5 Q 1で、「利用していない」に○をつけた方のみ

Q 2 平日に定期的に事業を利用していない理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

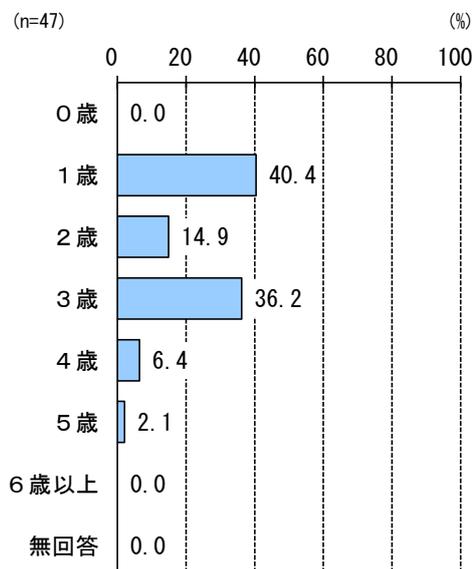
- 定期的な事業を利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため」が 48.5%で最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が 42.3%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が 16.5%となっています。



★問5 Q 2で、「子どもがまだ小さいため」に○をつけた方のみ

Q 2-1 子どもが何歳になった頃に利用したいですか。(枠内に数字で記入、数字は一  
枠に一字)

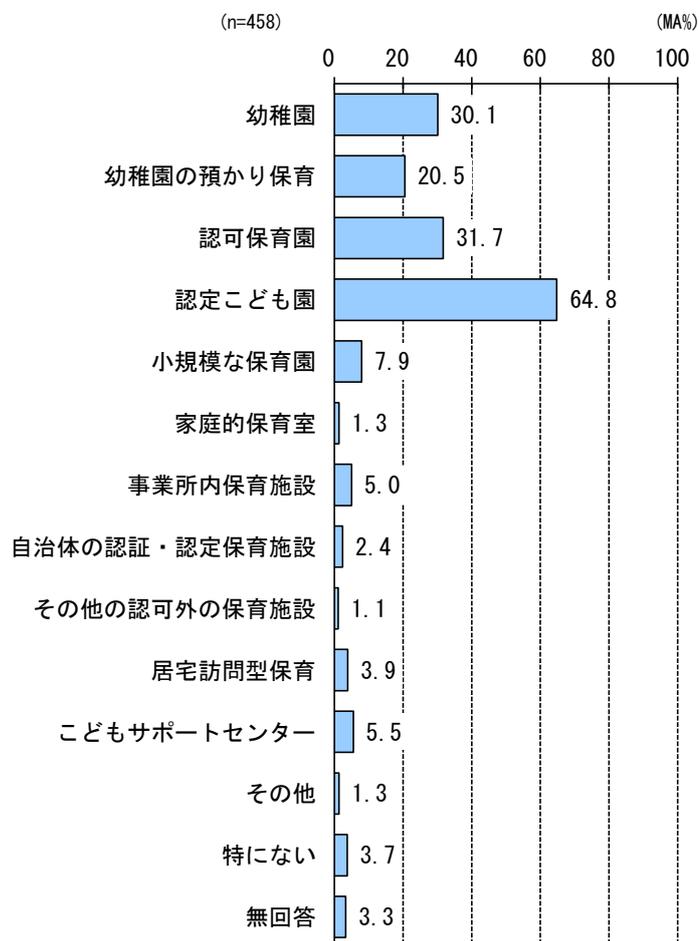
- 子どもが何歳になったら事業を利用したいかについて、「1歳」が40.4%で最も多く、次いで「3歳」が36.2%、「2歳」が14.9%となっています。



ここからは、すべての方におうかがいします。

Q3 現在の利用の有無にかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

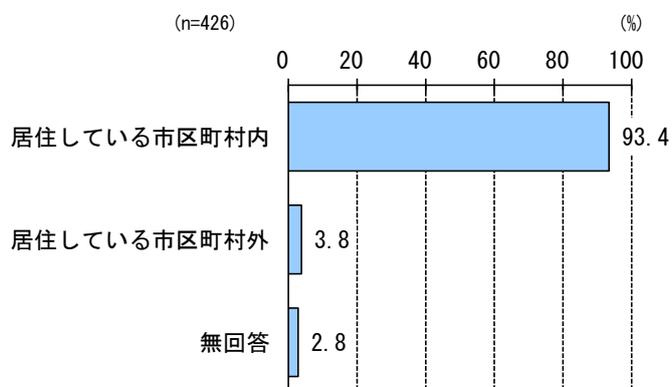
- 定期的に利用したい教育・保育事業について、「認定こども園」が64.8%で最も多く、次いで「認可保育園」が31.7%、「幼稚園」が30.1%となっています。



★問5 Q3で、「特にない」以外に○をつけた方のみ

Q3-1 利用したい教育・保育事業の実施場所はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

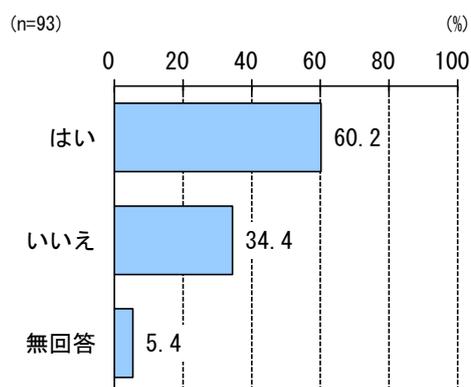
- 利用したい教育・保育事業の実施場所について、「居住している市区町村内」が93.4%、「居住している市区町村外」が3.8%となっています。



★問5 Q3で、「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」、かつ「認可保育園」～「その他」のいずれかに○をつけた方（幼稚園と幼稚園以外の事業を両方利用したい方）のみ

Q3-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

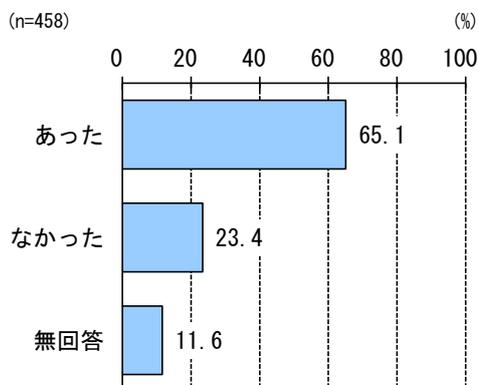
- 幼稚園の利用を強く希望するかについて、「はい」が60.2%、「いいえ」が34.4%となっています。



## 問6 病気の際の対応について

Q1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、通常の教育・保育事業を利用できなかったことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

- 子どもの病気やケガで通常の教育・保育事業を利用できなかったことの有無について、「あった」が65.1%、「なかった」が23.4%となっています。

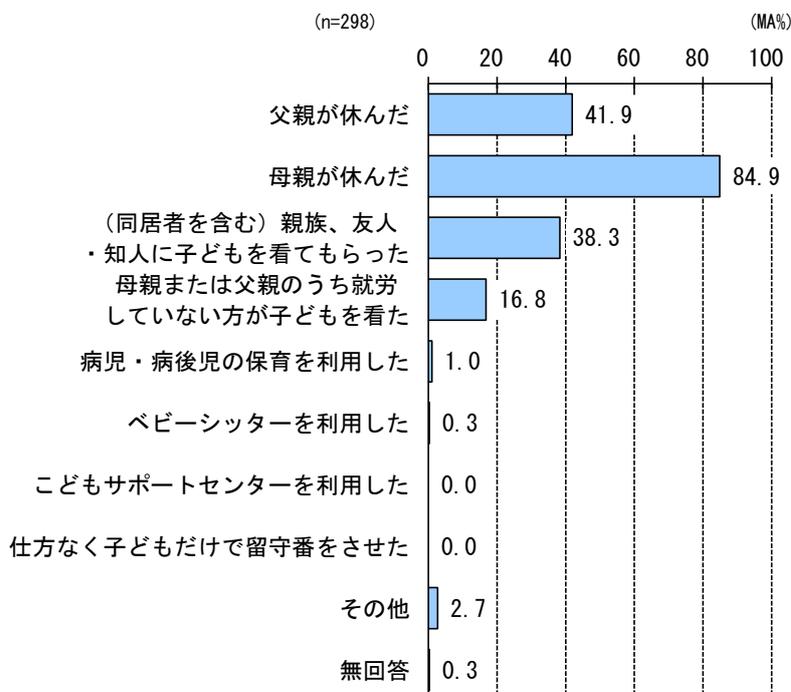


★問6 Q1で、「あった」に○をつけた方のみ

Q1-1 通常の教育・保育事業が利用できなかった時に、「①実際に取った対処法」と、「②対処した際の日数(年間)」をすべてご記入ください。

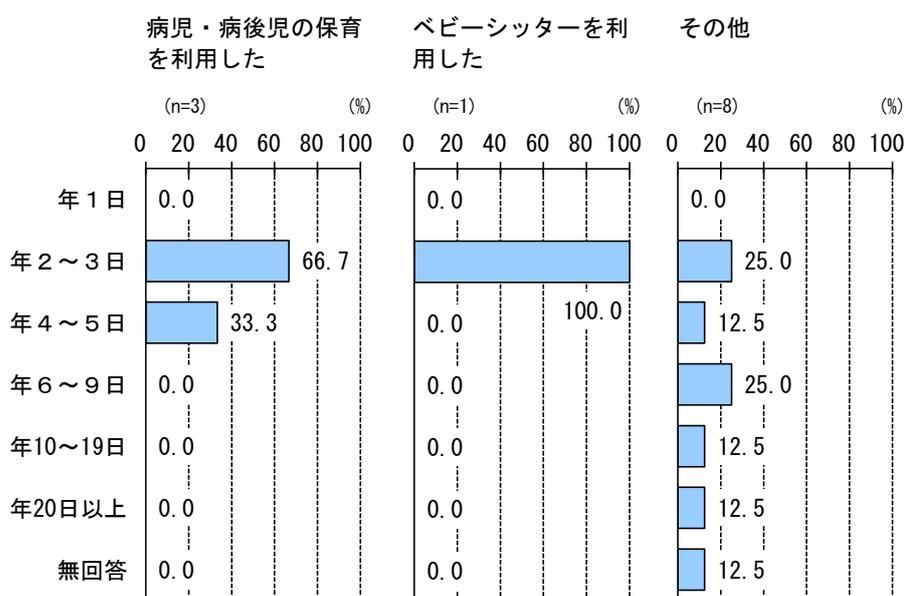
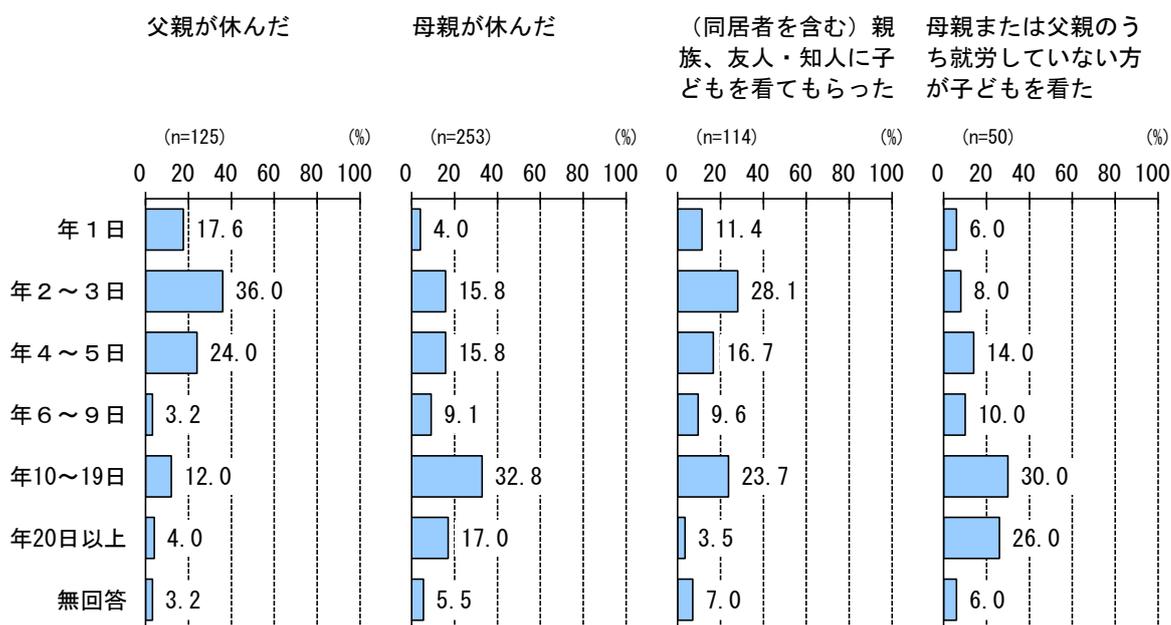
①子どもの病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった時の対処法

- 子どもの病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった時の対処法について、「母親が休んだ」が84.9%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が41.9%、「(同居者を含む)親族、友人・知人に子どもを看てもらった」が38.3%となっています。



## ②対処した際の日数（年間）

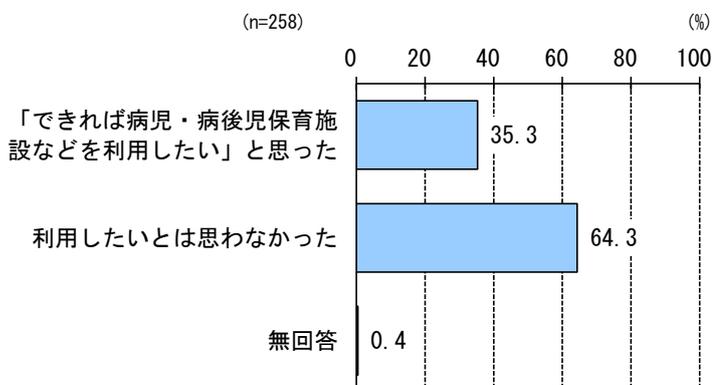
- 「父親が休んだ」について、「年2～3日」が36.0%で最も多く、次いで「年4～5日」が24.0%、「年1日」が17.6%となっています。
- 「母親が休んだ」について、「年10～19日」が32.8%で最も多く、次いで「年20日以上」が17.0%、「年2～3日」「年4～5日」が15.8%となっています。
- 「（同居者を含む）親族、友人・知人に子どもを看てもらった」について、「年2～3日」が28.1%で最も多く、次いで「年10～19日」が23.7%、「年4～5日」が16.7%となっています。
- 「母親または父親のうち就労していない方が子どもを看た」について、「年10～19日」が30.0%で最も多く、次いで「年20日以上」が26.0%、「年4～5日」が14.0%となっています。
- 「病児・病後児の保育を利用した」について、「年2～3日」が66.7%で最も多く、次いで「年4～5日」が33.3%となっています。
- 「ベビーシッターを利用した」について、「年2～3日」が100.0%で最も多くなっています。
- 「その他」について、「年2～3日」「年6～9日」が25.0%で最も多く、次いで「年4～5日」「年10～19日」「年20日以上」が12.5%となっています。



★問6 Q 1-1で、「父親が休んだ」または「母親が休んだ」に○をつけた方のみ

Q 2 母親または父親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思いましたか。(あてはまる番号1つに○)

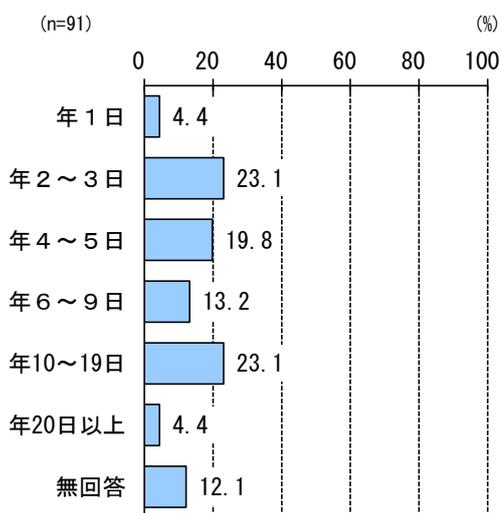
- 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思ったかについて、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思ったが 35.3%、「利用したいとは思わなかった」が 64.3%となっています。



★問6 Q 2で、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」に○をつけた方のみ

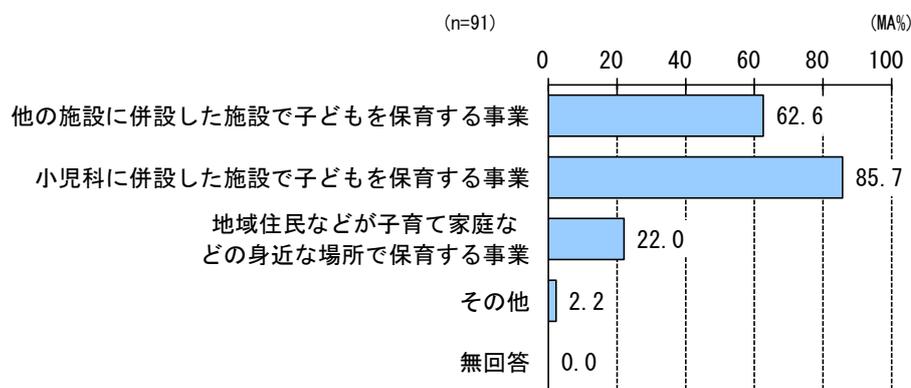
Q 2-1 病児・病後児のための保育施設などを何日間利用したいと思いましたか。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

- 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思った日数について、「年2～3日」「年10～19日」が 23.1%で最も多く、次いで「年4～5日」が 19.8%、「年6～9日」が 13.2%となっています。



Q 2-2 あて名のお子さんが病気やケガで、通常の教育・保育事業を利用できない時に、病児・病後児のための保育施設などへ預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

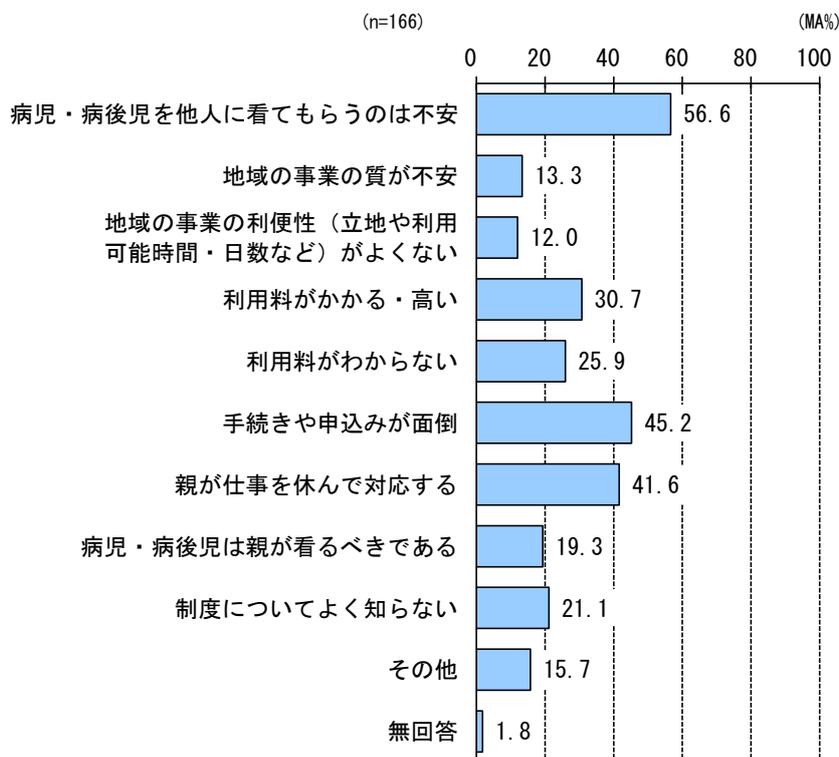
- 病児・病後児のための保育施設などへ預ける場合に望ましい事業形態について、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 85.7%で最も多く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 62.6%、「地域住民などが子育て家庭などの身近な場所で保育する事業」が 22.0%となっています。



★問6 Q 2で、「利用したいとは思わなかった」に○をつけた方のみ

Q 2-3 病児・病後児のための保育施設などを利用したいとは思わなかった理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

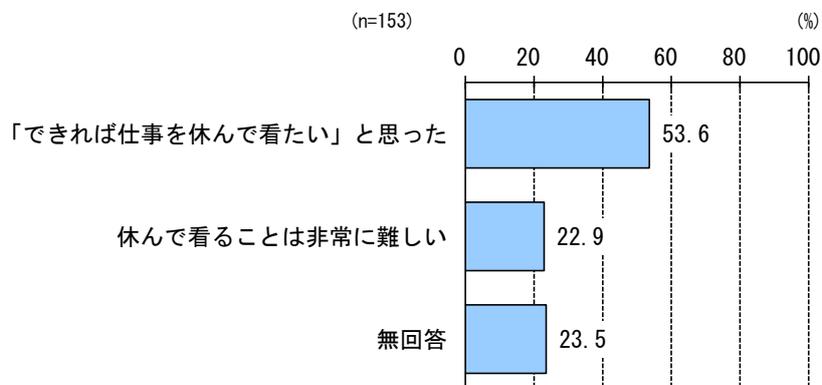
- 病児・病後児のための保育施設などを利用したいとは思わなかった理由について、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 56.6%で最も多く、次いで「手続きや申込みが面倒」が 45.2%、「親が仕事を休んで対応する」が 41.6%となっています。



★問6 Q 1-1で、「(同居者を含む)親族、友人・知人に子どもを看てもらった」から「その他」のいずれかに○をつけた方のみ

Q 3 通常の教育・保育事業が利用できなかった時に、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。(あてはまる番号1つに○)

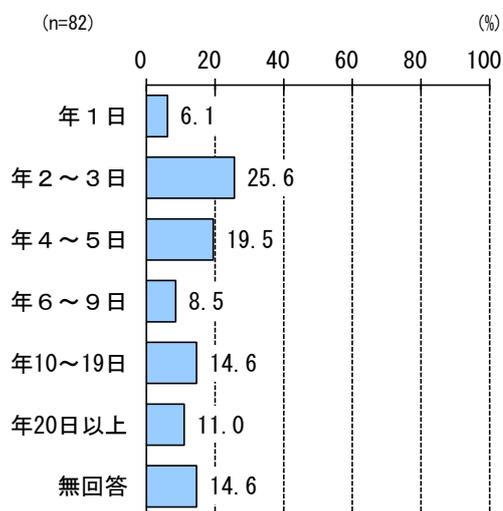
- できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかについて、「できれば仕事を休んで看たい」と思った」が53.6%、「休んで看ることは非常に難しい」が22.9%となっています。



★問6 Q 3で、「できれば仕事を休んで看たい」と思った」に○をつけた方のみ

Q 3-1 仕事を休んで看たいと感じた日数をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

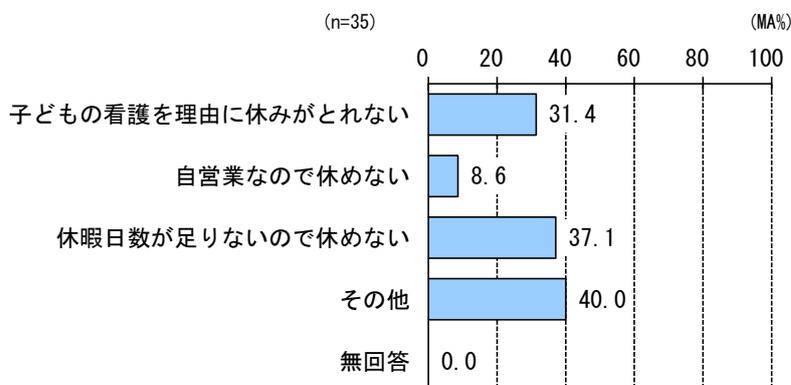
- 仕事を休んで看たいと感じた日数について、「年2～3日」が25.6%で最も多く、次いで「年4～5日」が19.5%、「年10～19日」が14.6%となっています。



★問6 Q3で、「休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方のみ

Q3-2 休んで見ることは非常に難しいと思う理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

- 休んで見ることは非常に難しいと思う理由について、「その他」が40.0%で最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が37.1%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が31.4%となっています。

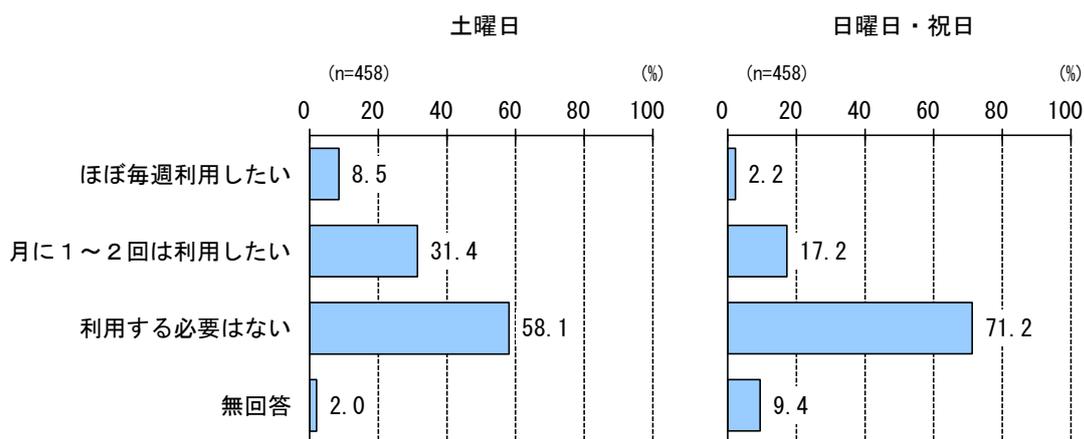


問7 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

ここからは、すべての方におうかがいします。

Q1 あて名のお子さんについて、(1)土曜日と(2)日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業を利用したいですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

- 土曜日、日曜日・祝日の定期的教育・保育事業の利用希望について、土曜日では「利用する必要はない」が58.1%で最も多く、次いで「月に1~2回は利用したい」が31.4%、「ほぼ毎週利用したい」が8.5%となっています。
- 日曜日・祝日では「利用する必要はない」が71.2%で最も多く、次いで「月に1~2回は利用したい」が17.2%、「ほぼ毎週利用したい」が2.2%となっています。

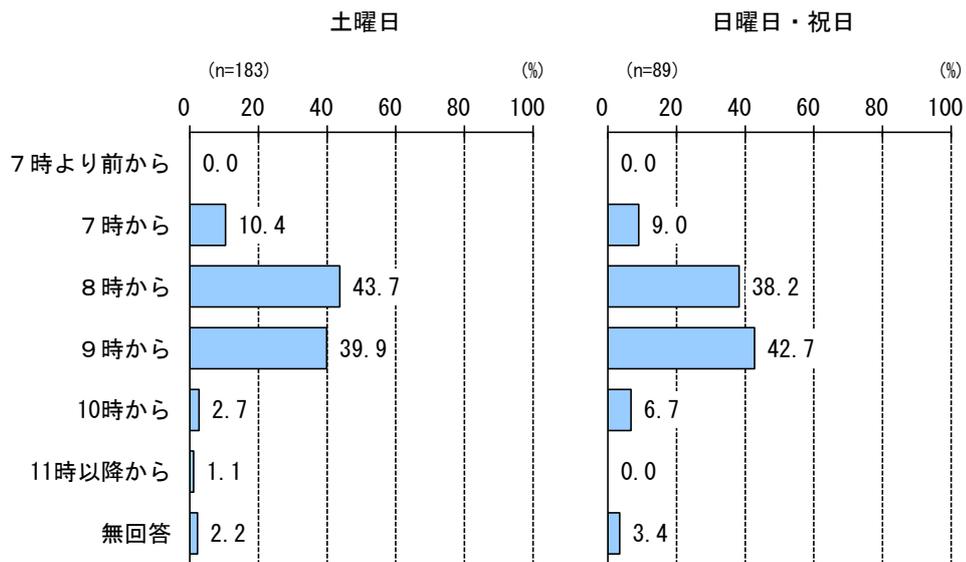


★問7 Q1で、「ほぼ毎週利用したい」または「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方のみ

Q1-1 土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業を利用したい時間帯をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

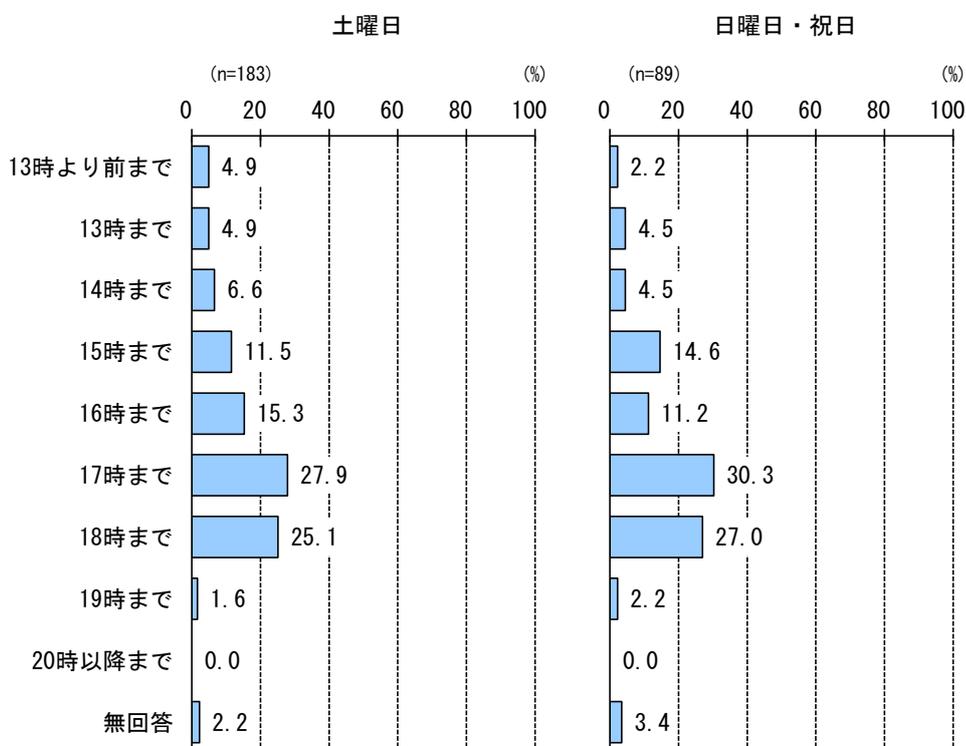
①土曜日、日曜日・祝日の定期的教育・保育事業の希望開始時間

- 土曜日、日曜日・祝日の定期的教育・保育事業の希望開始時間について、土曜日では「8時から」が43.7%で最も多く、次いで「9時から」が39.9%、「7時から」が10.4%となっています。
- 日曜日・祝日では「9時から」が42.7%で最も多く、次いで「8時から」が38.2%、「7時から」が9.0%となっています。



## ②土曜日、日曜日・祝日の定期的教育・保育事業の希望終了時間

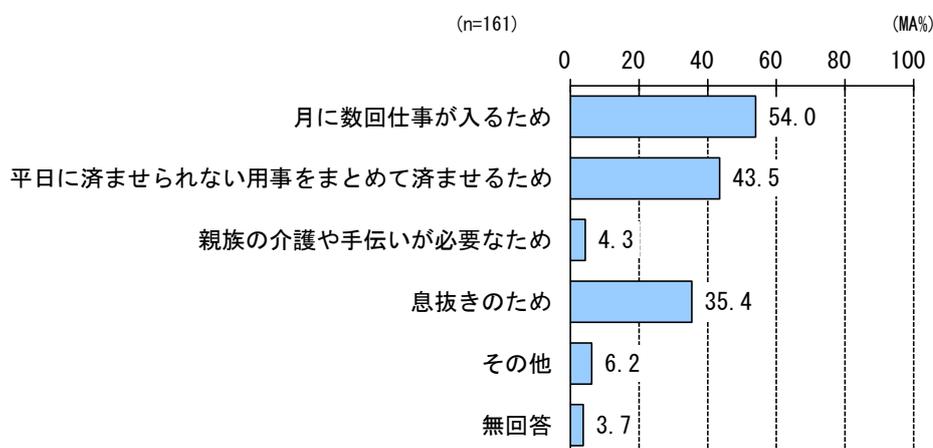
- 土曜日、日曜日・祝日の定期的教育・保育事業の希望終了時間について、土曜日では「17時まで」が27.9%で最も多く、次いで「18時まで」が25.1%、「16時まで」が15.3%となっています。
- 日曜日・祝日では、「17時まで」が30.3%で最も多く、次いで「18時まで」が27.0%、「15時まで」が14.6%となっています。



## ★問7Q1で、「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方のみ

Q1-2 土曜日と日曜日・祝日について、毎週ではなく、たまに定期的な教育・保育事業を利用したい理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

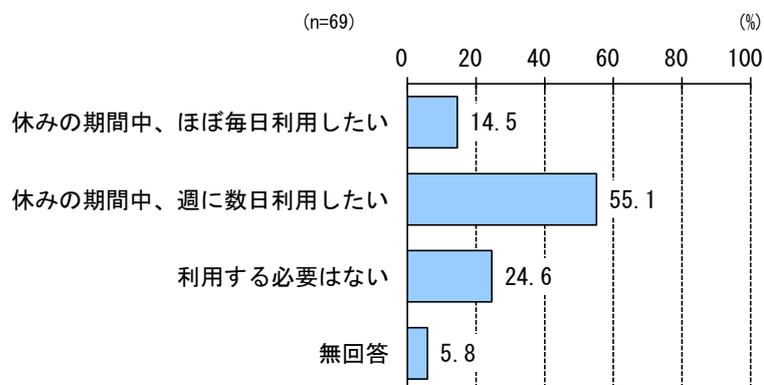
- 土曜日と日曜日・祝日の定期的教育・保育事業をたまに利用したい理由について、「月に数回仕事が入るため」が54.0%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が43.5%、「息抜きのため」が35.4%となっています。



★現在、「幼稚園」を利用されている方のみ

Q 2 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、定期的な教育・保育事業を利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

- 長期休暇期間中の定期的教育・保育事業の利用希望について、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 55.1%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が 24.6%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 14.5%となっています。

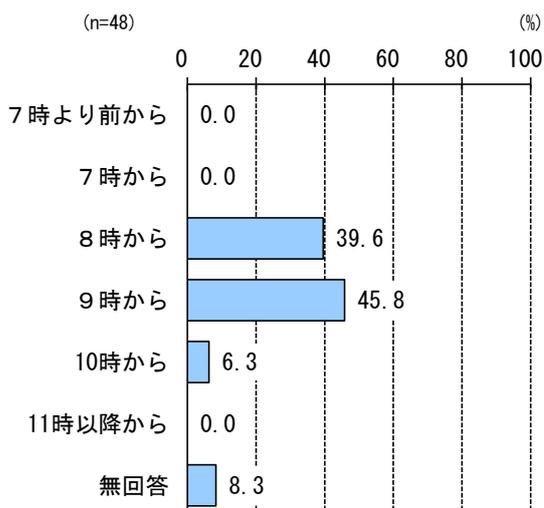


★問7 Q 2で、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方のみ

Q 2-1 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、定期的な教育・保育事業を利用したい時間帯をご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入）

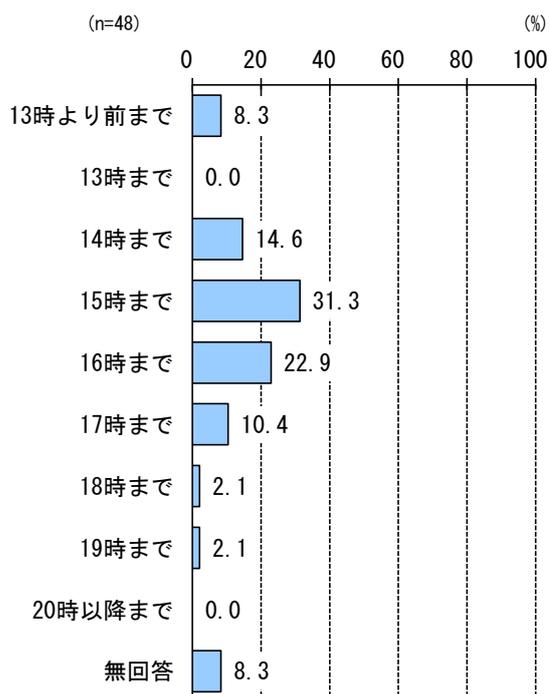
①長期休暇期間中の定期的教育・保育事業の希望開始時間

- 長期休暇期間中の定期的教育・保育事業の希望開始時間について、「9時から」が 45.8%で最も多く、次いで「8時から」が 39.6%、「10時から」が 6.3%となっています。



## ②長期休暇期間中の定期的教育・保育事業の希望終了時間

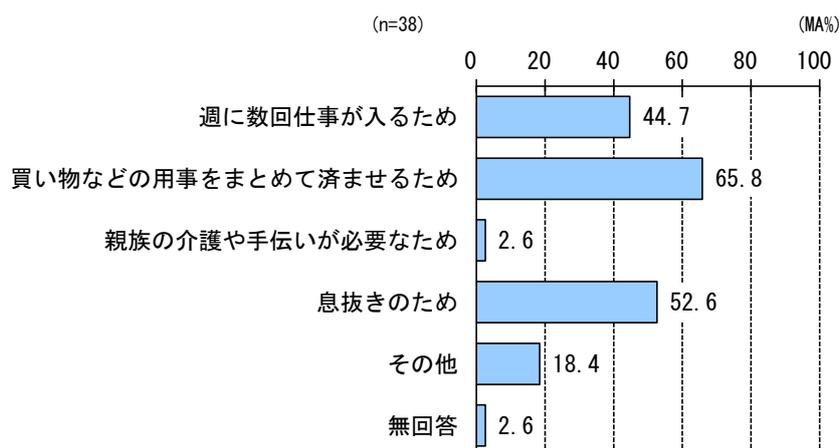
- 長期休暇期間中の定期的教育・保育事業の希望終了時間について、「15時まで」が31.3%で最も多く、次いで「16時まで」が22.9%、「14時まで」が14.6%となっています。



## ★問7 Q2で、「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方のみ

Q2-2 長期の休暇期間中について、毎日ではなく、たまに定期的な教育・保育事業を利用したい理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

- 長期休暇期間中の定期的教育・保育事業をたまに利用したい理由について、「買い物などの用事をまとめて済ませるため」が65.8%で最も多く、次いで「息抜きのため」が52.6%、「週に数回仕事が入るため」が44.7%となっています。



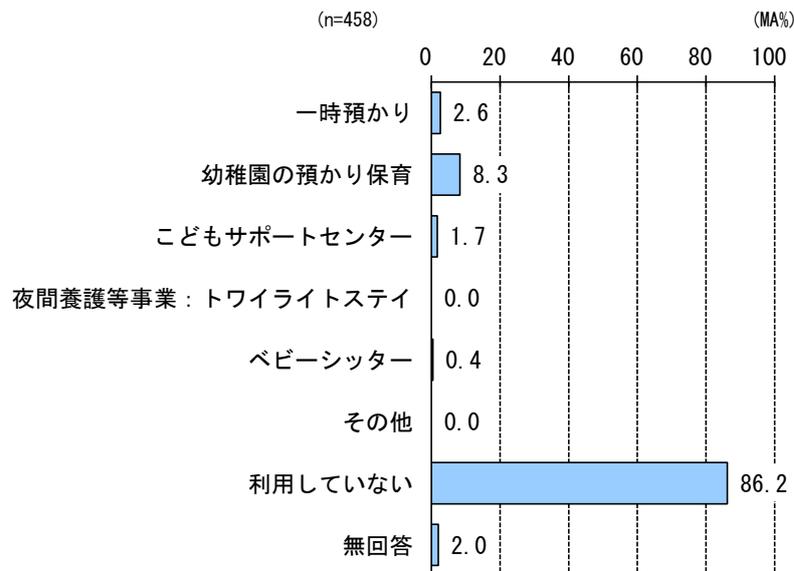
## 問8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

ここからは、すべての方におうかがいします。

Q1 あて名のお子さんについて、この1年間で、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、①不定期に利用している教育・保育事業と、②利用している日数（年間）をすべてご記入ください。

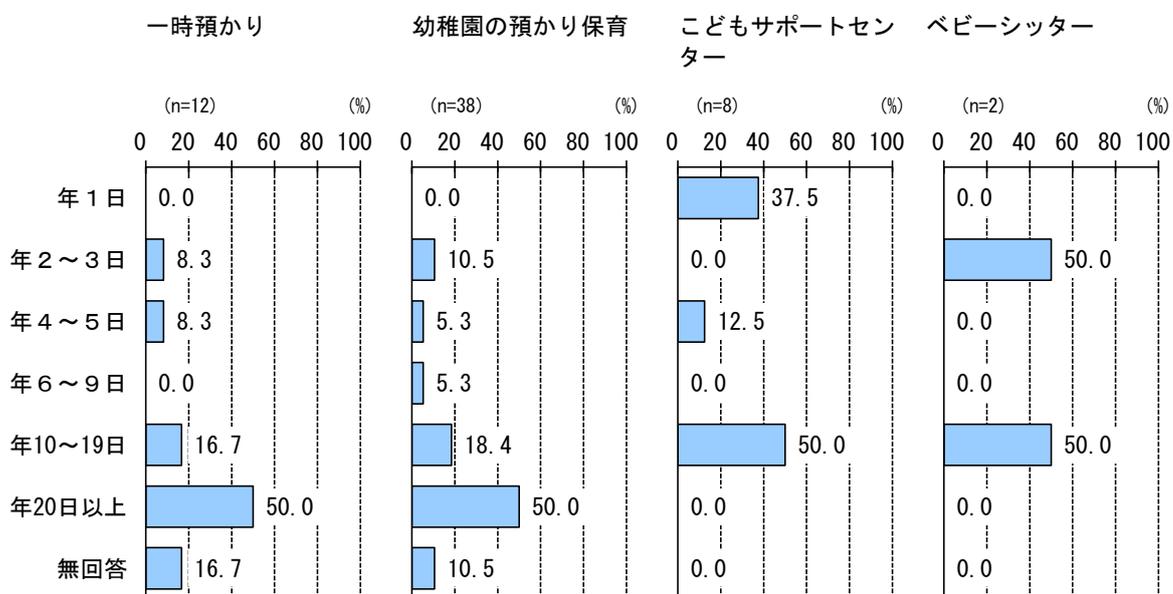
### ①不定期に利用している教育・保育事業

○ 不定期に利用している教育・保育事業について、「利用していない」が86.2%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が8.3%、「一時預かり」が2.6%となっています。



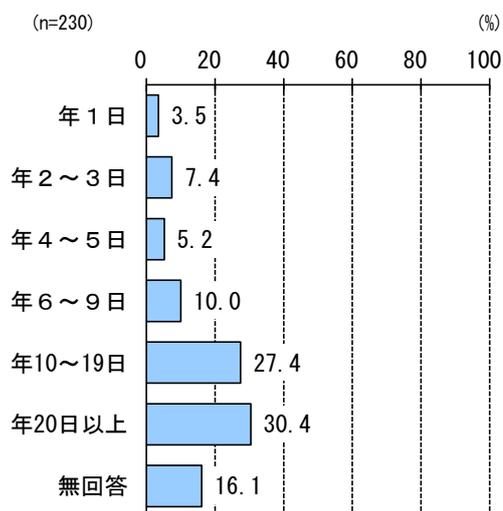
## ②利用している日数（年間）

- 「一時預かり」について、「年20日以上」が50.0%で最も多く、次いで「年10～19日」が16.7%、「年2～3日」「年4～5日」が8.3%となっています。
- 「幼稚園の預かり保育」について、「年20日以上」が50.0%で最も多く、次いで「年10～19日」が18.4%、「年2～3日」が10.5%となっています。
- 「こどもサポートセンター」について、「年10～19日」が50.0%で最も多く、次いで「年1日」が37.5%、「年4～5日」が12.5%となっています。
- 「ベビーシッター」について、「年2～3日」「年10～19日」が50.0%で最も多くなっています。



## ③利用している日数の総数（年間）

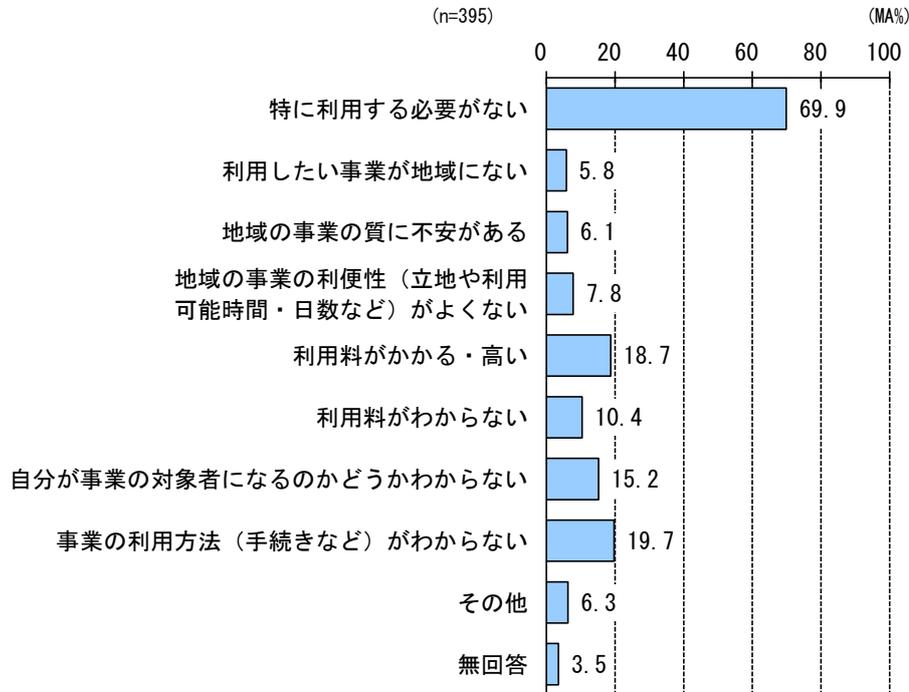
- 利用している日数の総数について、「年20日以上」が30.4%で最も多く、次いで「年10～19日」が27.4%、「年6～9日」が10.0%となっています。



★問8 Q1で、「利用していない」に○をつけた方のみ

Q1-1 不定期に教育・保育事業を利用していない理由をご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

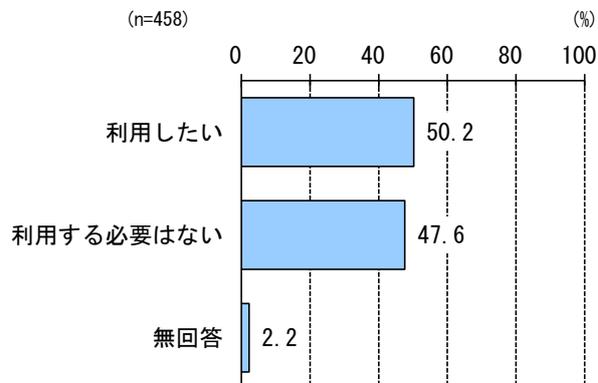
- 不定期に教育・保育事業を利用していない理由について、「特に利用する必要がない」が 69.9%で最も多く、次いで「事業の利用方法（手続きなど）がわからない」が 19.7%、「利用料がかかる・高い」が 18.7%となっています。



ここからは、すべての方におうかがいします。

Q2 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、一時的に教育・保育事業を利用したいと思いますか。（あてはまる番号1つに○）

- 一時的な教育・保育事業の利用希望について、「利用したい」が 50.2%、「利用する必要はない」が 47.6%となっています。

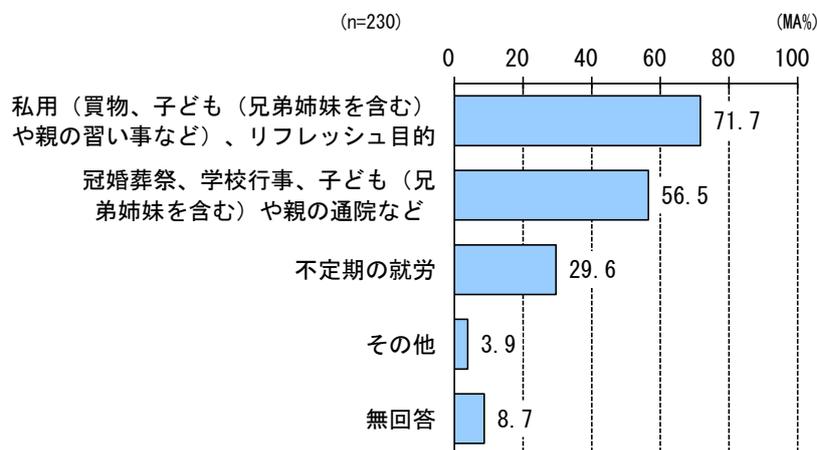


★問8 Q2で、「利用したい」に○をつけた方のみ

Q2-1 ①一時的に教育・保育事業を利用する目的と、②目的別に利用したい日数（年間）をすべてご記入ください。

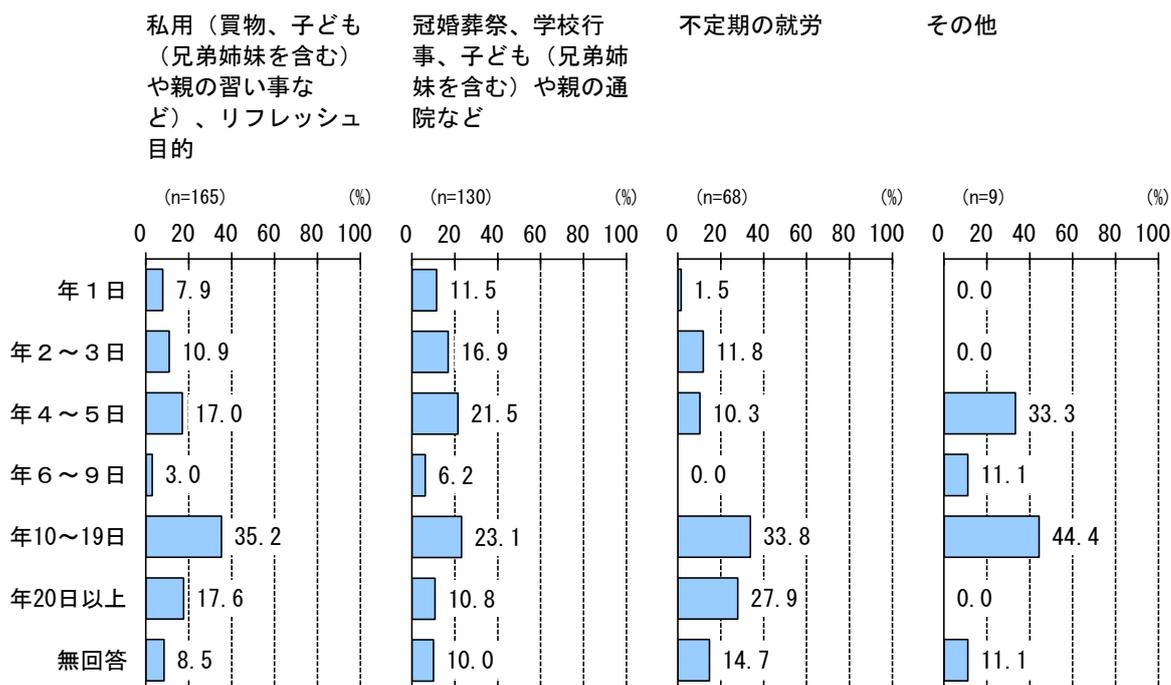
①一時的な教育・保育事業の利用目的

- 一時的な教育・保育事業の利用目的について、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」が71.7%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が56.5%、「不定期の就労」が29.6%となっています。



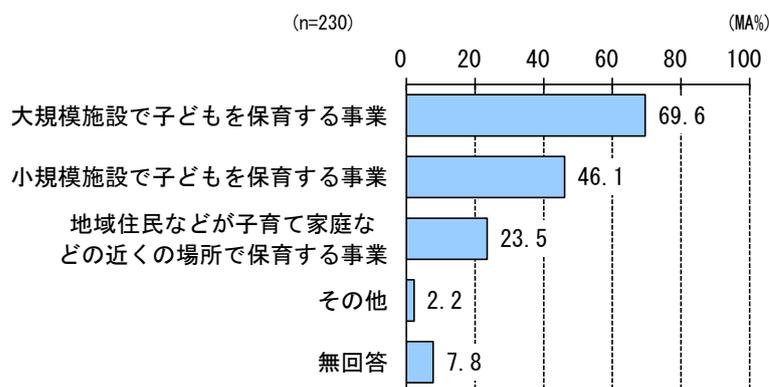
## ②目的別に利用したい日数（年間）

- 「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」について、「年10～19日」が35.2%で最も多く、次いで「年20日以上」が17.6%、「年4～5日」が17.0%となっています。
- 「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」について、「年10～19日」が23.1%で最も多く、次いで「年4～5日」が21.5%、「年2～3日」が16.9%となっています。
- 「不定期の就労」について、「年10～19日」が33.8%で最も多く、次いで「年20日以上」が27.9%、「年2～3日」が11.8%となっています。
- 「その他」について、「年10～19日」が44.4%で最も多く、次いで「年4～5日」が33.3%、「年6～9日」が11.1%となっています。



## Q2-2 私用、親の通院、不定期の就労などの目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまる番号すべてに○）

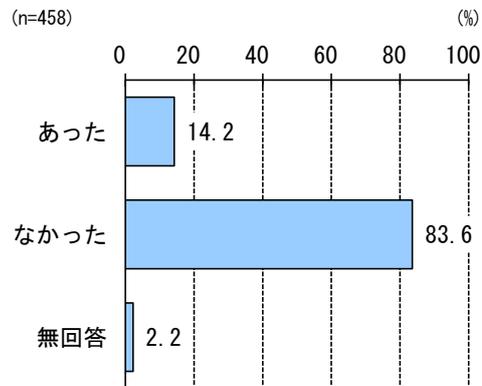
- 望ましい一時預かりの事業形態について、「大規模施設で子どもを保育する事業」が69.6%で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が46.1%、「地域住民などが子育て家庭などの近くの場所で保育する事業」が23.5%となっています。



ここからは、すべての方におうかがいします。

Q3 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことはありましたか。（あてはまる番号1つに○）

- 子どもを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことの有無について、「あった」が14.2%、「なかった」が83.6%となっています。

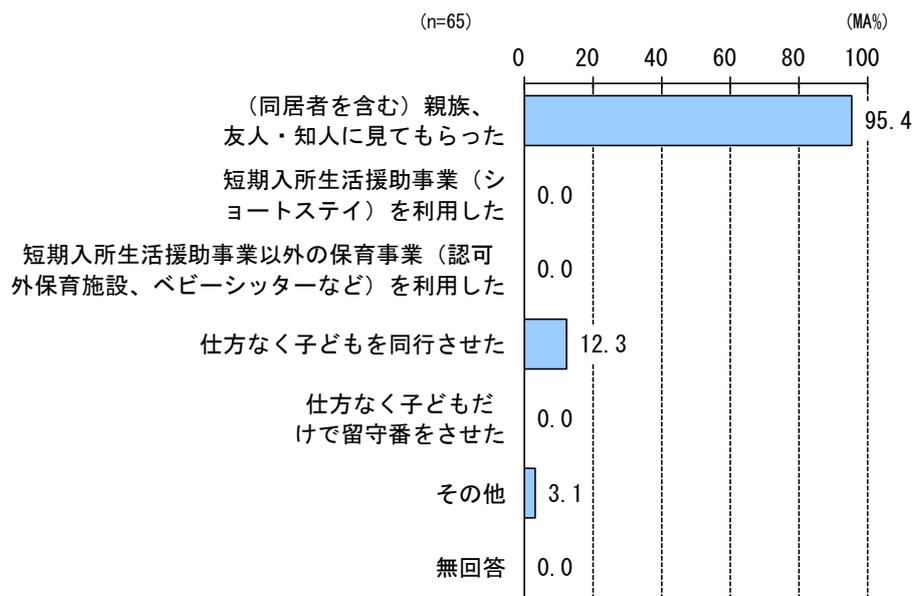


★問8 Q3で、「あった」に○をつけた方のみ

Q4 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法と、②対処した際の泊数（年間）をすべてご記入ください。

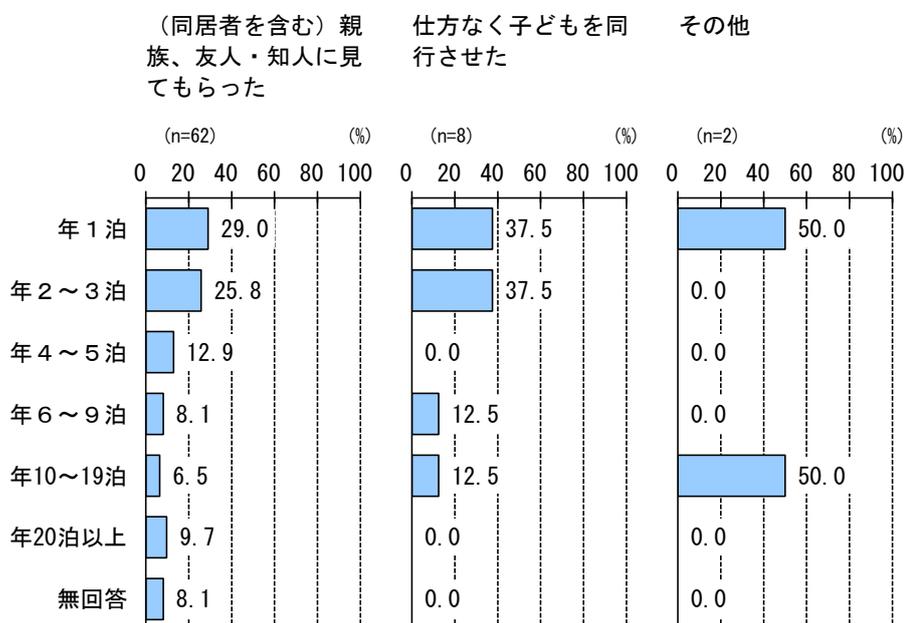
①家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法

- 家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法について、「(同居者を含む)親族、友人・知人に見てもらった」が95.4%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が12.3%、「その他」が3.1%となっています。



## ②対処した際の泊数（年間）

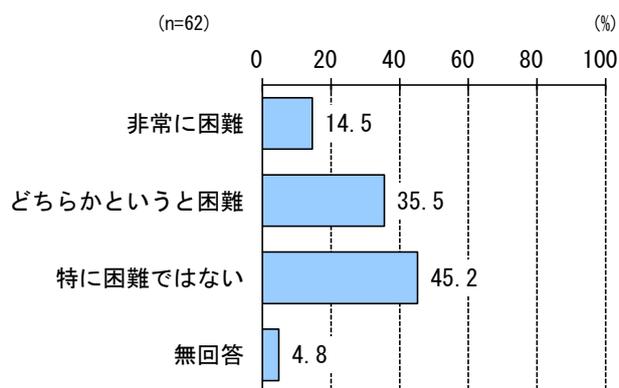
- 「(同居者を含む) 親族、友人・知人に見てもらった」について、「年1泊」が 29.0%で最も多く、次いで「年2～3泊」が 25.8%、「年4～5泊」が 12.9%となっています。
- 「仕方なく子どもを同行させた」について、「年1泊」「年2～3泊」が 37.5%で最も多く、次いで「年6～9泊」「年10～19泊」が 12.5%となっています。
- 「その他」について、「年1泊」「年10～19泊」が 50.0%で最も多くなっています。



## ★問8 Q4で、「(同居者を含む) 親族、友人・知人に見てもらった」に○をつけた方のみ

Q4-1 親族、友人・知人に見てもらおう場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

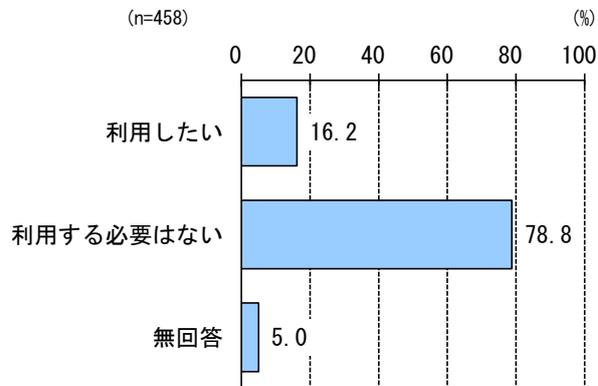
- 親族、友人・知人に見てもらおう場合の困難度について、「特に困難ではない」が 45.2%で最も多く、次いで「どちらかという困難」が 35.5%、「非常に困難」が 14.5%となっています。



ここからは、すべての方におうかがいします。

Q5 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらふ必要がある時に、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

- 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望について、「利用したい」が16.2%、「利用する必要はない」が78.8%となっています。

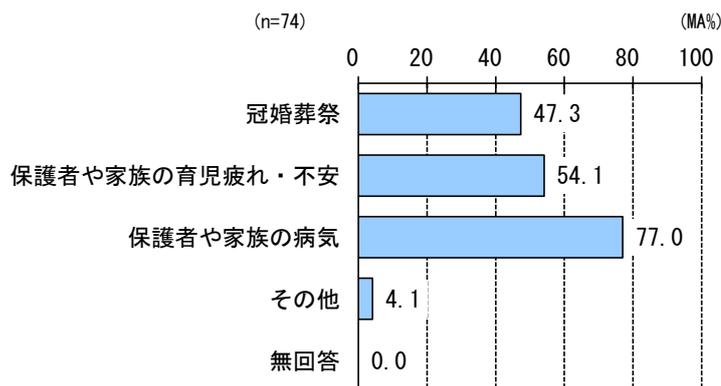


★問8 Q5で、「利用したい」に○をつけた方のみ

Q5-1 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的と、②目的別に利用したい泊数（年間）をすべてご記入ください。

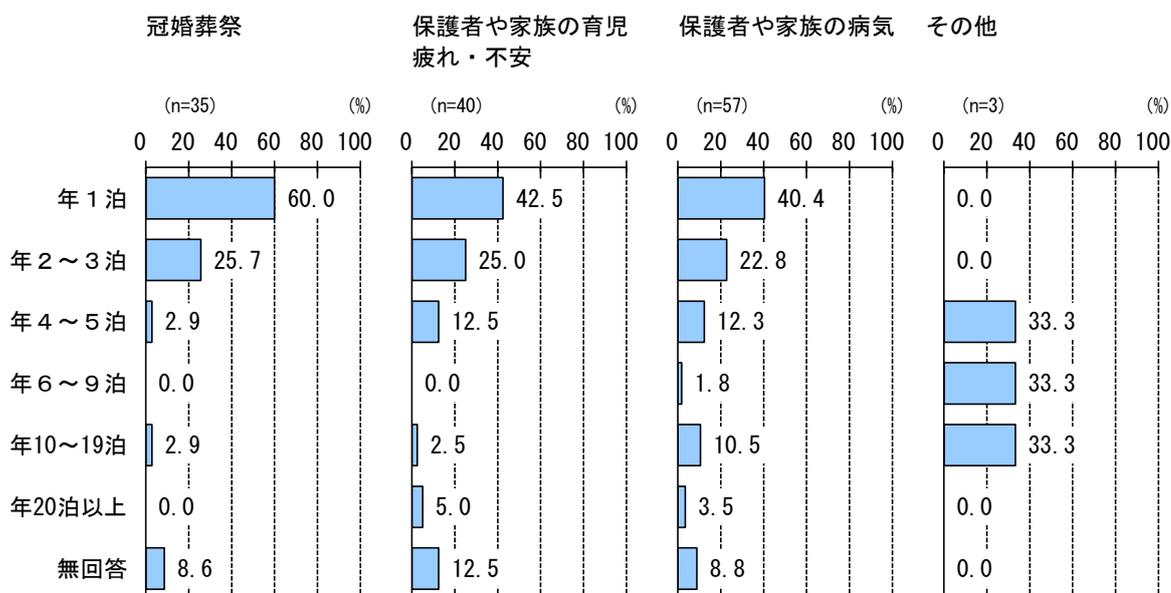
①短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的

- 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的について、「保護者や家族の病気」が77.0%で最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が54.1%、「冠婚葬祭」が47.3%となっています。



## ②目的別に利用したい泊数（年間）

- 「冠婚葬祭」について、「年1泊」が60.0%で最も多く、次いで「年2～3泊」が25.7%、「年4～5泊」「年10～19泊」が2.9%となっています。
- 「保護者や家族の育児疲れ・不安」について、「年1泊」が42.5%で最も多く、次いで「年2～3泊」が25.0%、「年4～5泊」が12.5%となっています。
- 「保護者や家族の病気」について、「年1泊」が40.4%で最も多く、次いで「年2～3泊」が22.8%、「年4～5泊」が12.3%となっています。
- 「その他」について、「年4～5泊」「年6～9泊」「年10～19泊」が33.3%で最も多くなっています。

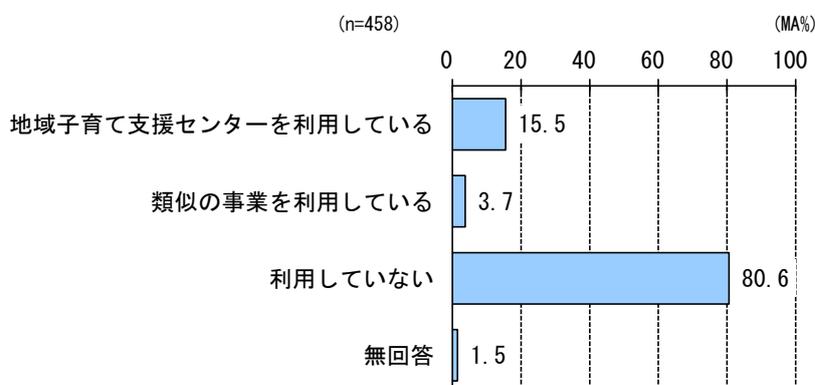


## 問9 地域子育て支援センターの利用状況について

ここからは、すべての方におうかがいします。

Q1 あて名のお子さんは、地域子育て支援センターを利用していますか。（あてはまる番号すべてに○）

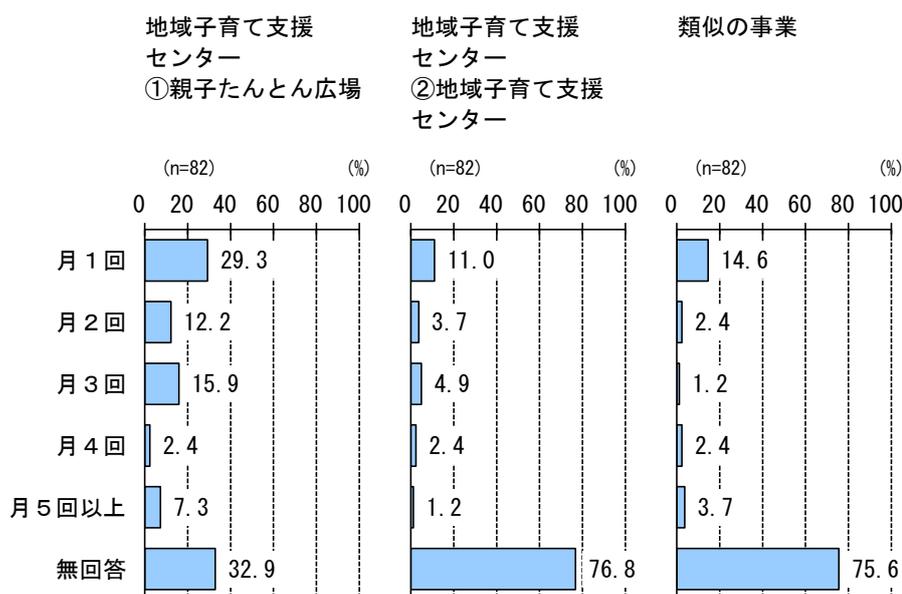
- 地域子育て支援センターの利用状況について、「利用していない」が80.6%で最も多く、次いで「地域子育て支援センターを利用している」が15.5%、「類似の事業を利用している」が3.7%となっています。



★問9 Q1で、「地域子育て支援センターを利用している」または「類似の事業を利用している」に○をつけた方のみ

Q1-1 地域子育て支援センターや類似の事業のおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字）類似の事業の場合は、具体名もご記入ください。

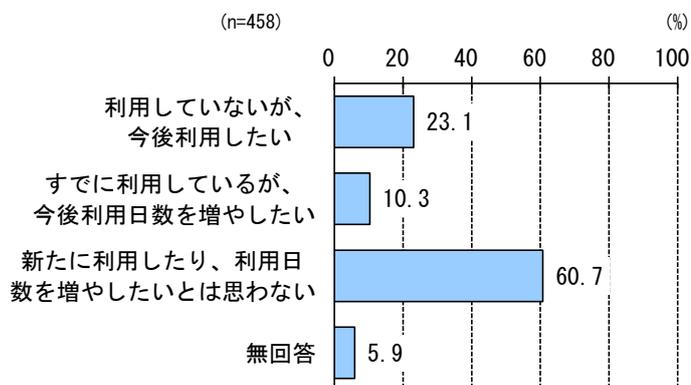
- 「地域子育て支援センター ①親子たんとん広場」について、「月1回」が29.3%で最も多く、次いで「月3回」が15.9%、「月2回」が12.2%となっています。
- 「地域子育て支援センター ②地域子育て支援センター」について、「月1回」が11.0%で最も多く、次いで「月3回」が4.9%、「月2回」が3.7%となっています。
- 「類似の事業」について、「月1回」が14.6%で最も多く、次いで「月5回以上」が3.7%、「月2回」「月4回」が2.4%となっています。



ここからは、すべての方におうかがいします。

Q2 地域子育て支援センターや類似の事業について、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（あてはまる番号1つに○）

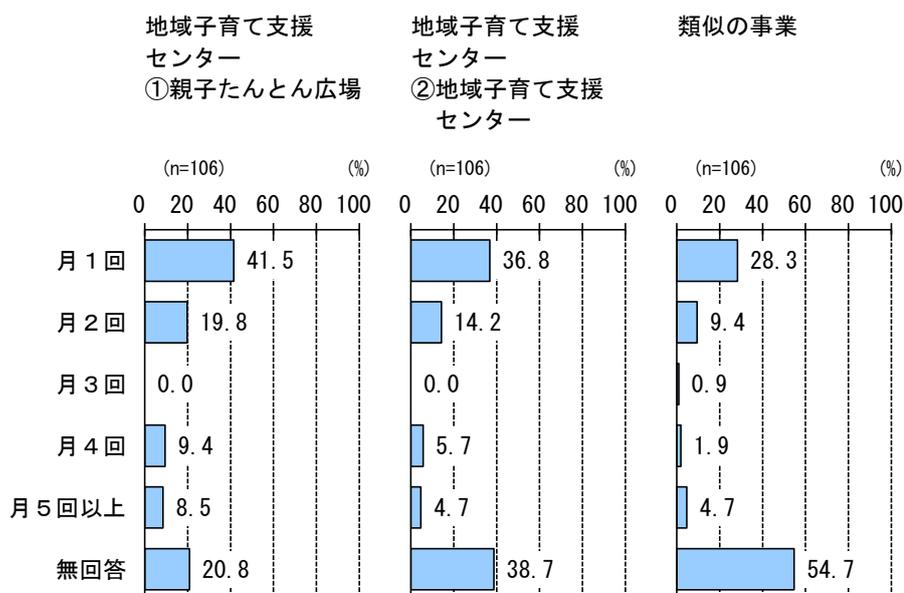
- 地域子育て支援センター等の利用希望について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が60.7%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が23.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が10.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が10.3%となっています。



★問9 Q2で、「利用していないが、今後利用したい」に○をつけた方のみ

Q2-1 地域子育て支援センターや類似の事業のおおよその利用希望回数（頻度）をご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字）

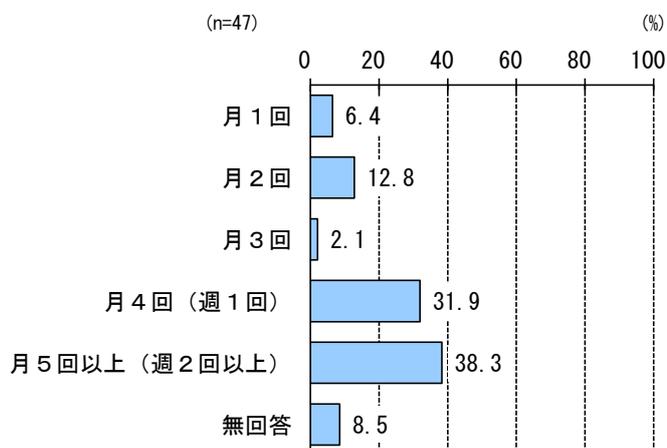
- 「地域子育て支援センター ①親子たんとん広場」について、「月1回」が41.5%で最も多く、次いで「月2回」が19.8%、「月4回」が9.4%となっています。
- 「地域子育て支援センター ②地域子育て支援センター」について、「月1回」が36.8%で最も多く、次いで「月2回」が14.2%、「月4回」が5.7%となっています。
- 「類似の事業」について、「月1回」が28.3%で最も多く、次いで「月2回」が9.4%、「月5回以上」が4.7%となっています。



★問9 Q2で、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」に○をつけた方のみ

Q2-2 地域子育て支援センターや類似の事業を更にどの程度利用したいか、おおよその利用希望回数（頻度）をご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字）

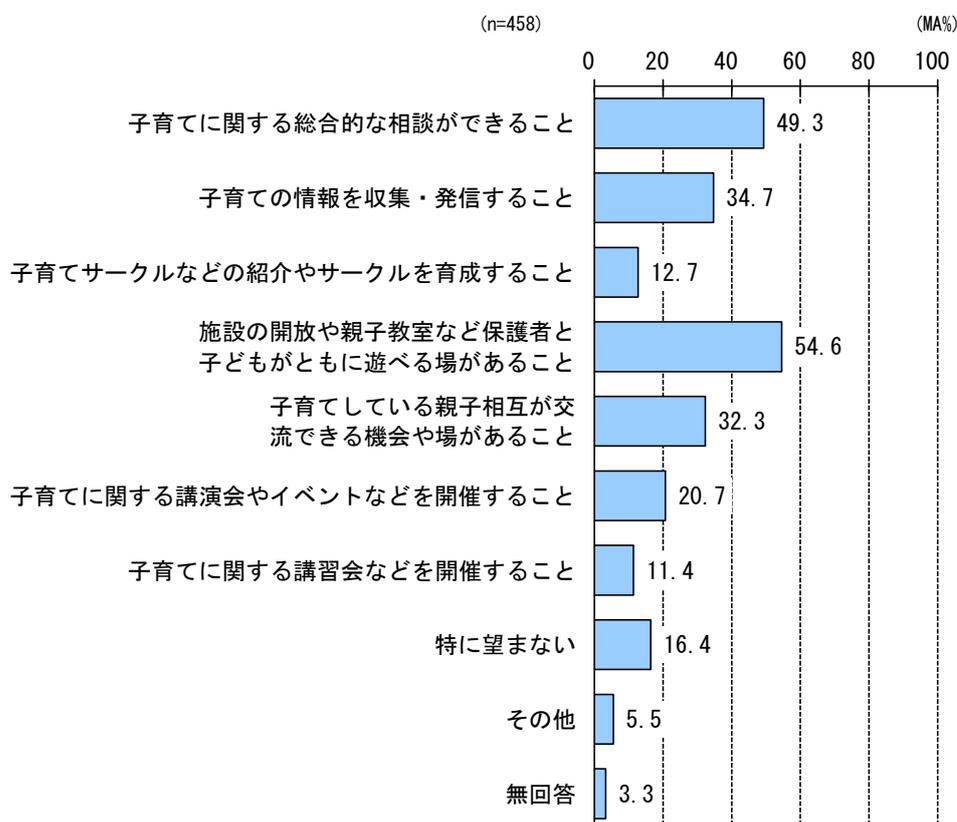
- 地域子育て支援センター等の利用追加回数について、「月5回以上（週2回以上）」が38.3%で最も多く、次いで「月4回（週1回）」が31.9%、「月2回」が12.8%となっています。



ここからは、すべての方におうかがいします。

Q3 地域子育て支援センターや親子たんとん広場に対して特にどのような事業が必要だと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)

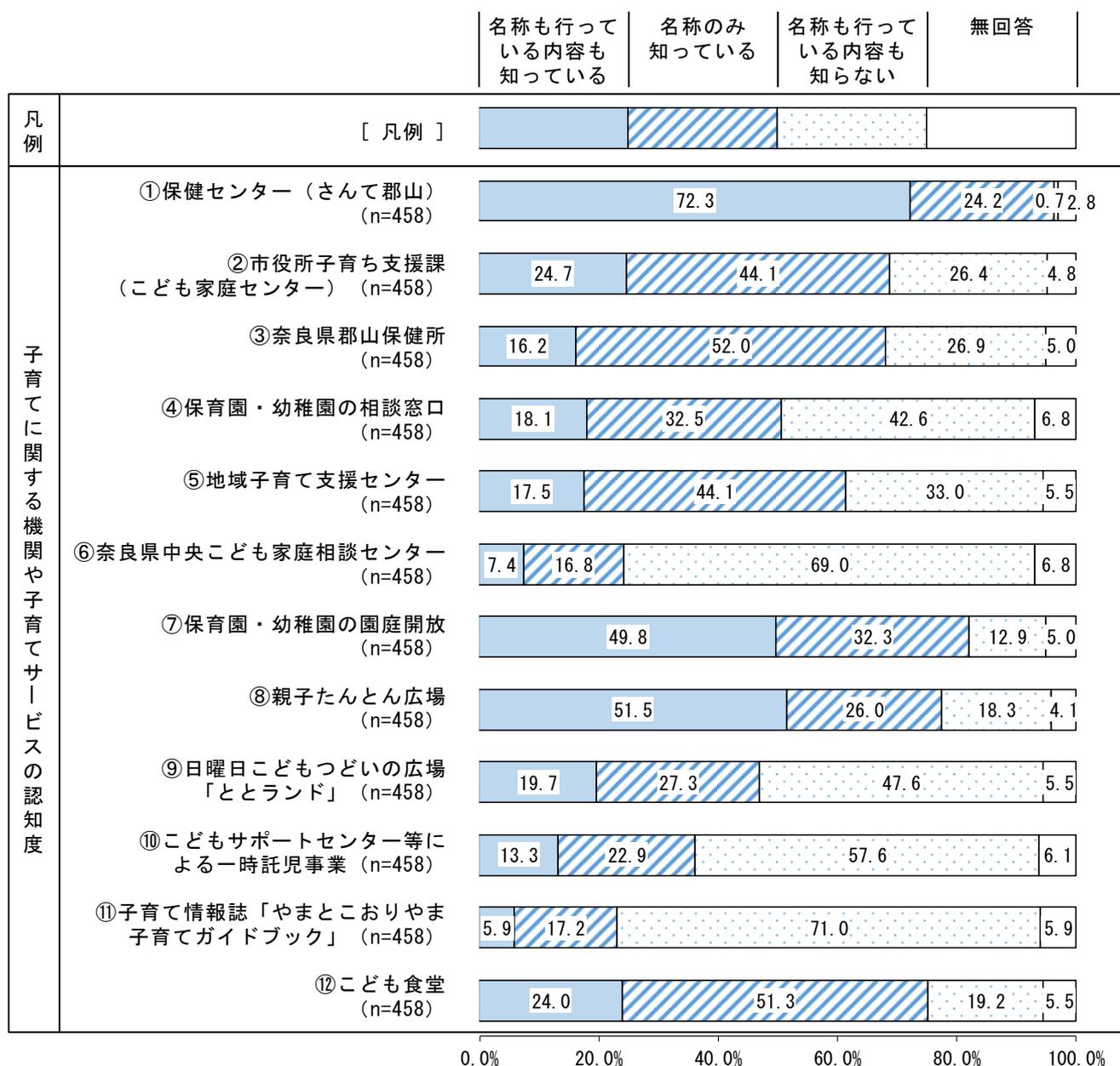
- 地域子育て支援センターや親子たんとん広場に必要な事業について、「施設の開放や親子教室など保護者と子どもがともに遊べる場があること」が 54.6%で最も多く、次いで「子育てに関する総合的な相談ができること」が 49.3%、「子育ての情報を収集・発信すること」が 34.7%となっています。



Q 4 下記の子育てに関する機関や子育てサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いませんか。(①～⑫の認知度・利用経験・利用意向のそれぞれひとつに○)

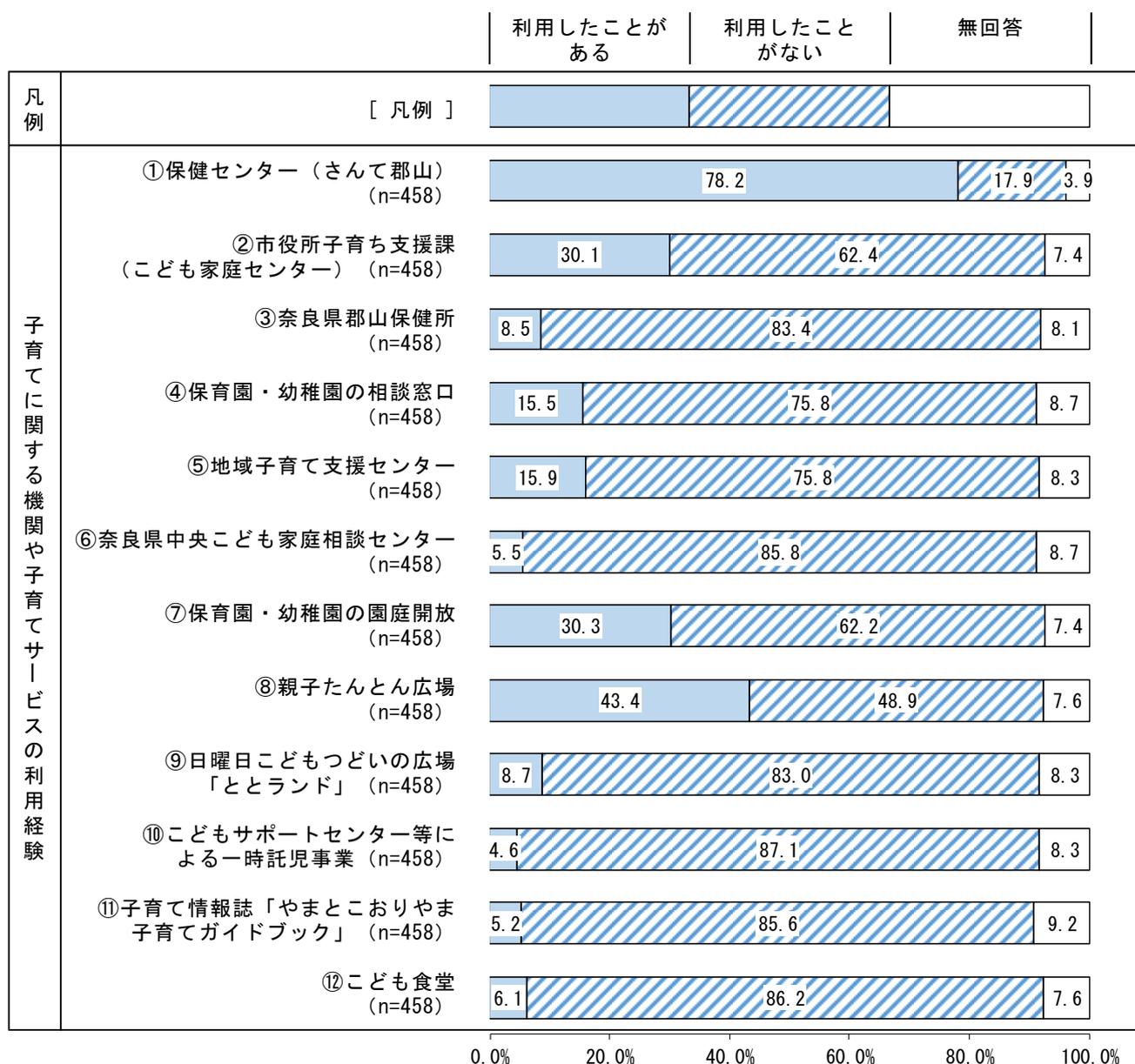
①子育てに関する機関や子育てサービスの認知度

○ 「名称も行っている内容も知っている」の割合が最も高いのは、「①保健センター（さんて郡山）」(72.3%)、最も割合が低いのは「⑪子育て情報誌「やまとおおりやま子育てガイドブック」」(5.9%)となっています。他に割合が約50%と高いものは「⑧親子たんどん広場」「⑦保育園・幼稚園の園庭開放」となっています。



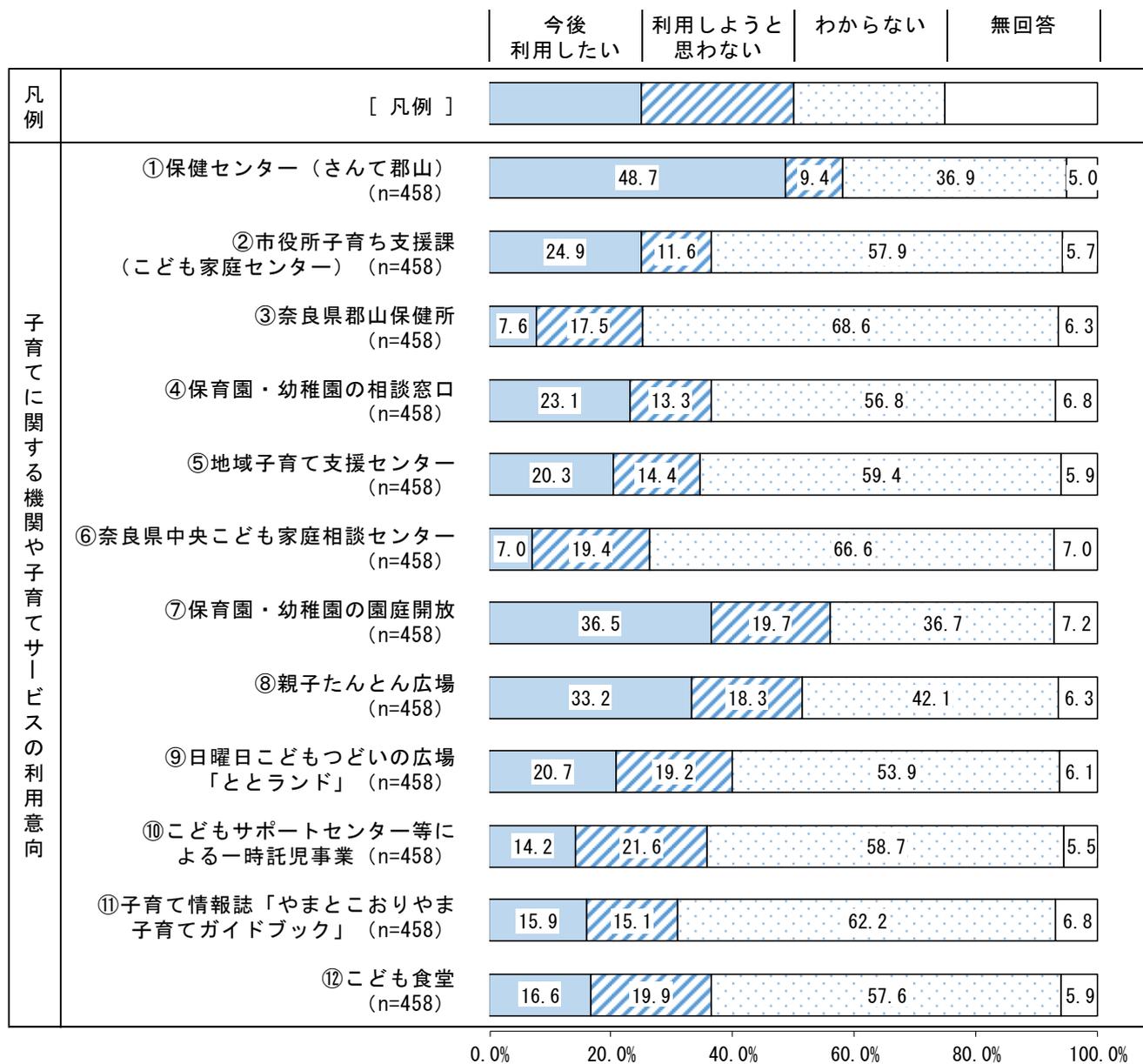
## ②子育てに関する機関や子育てサービスの利用経験

- 「利用したことがある」の割合が最も高いのは、「①保健センター（さんて郡山）」（78.2%）、最も割合が低いのは「⑩こどもサポートセンター等による一時託児事業」（4.6%）となっています。他に割合が30%以上のものは「⑧親子たんとん広場」「⑦保育園・幼稚園の園庭開放」「②市役所子育て支援課（こども家庭センター）」となっています。



### ③子育てに関する機関や子育てサービスの利用意向

- 「今後利用したい」の割合が最も高いのは、「①保健センター（さんて郡山）」（48.7%）、最も割合が低いのは「⑥奈良県中央子ども家庭相談センター」（7.0%）となっています。他に割合が30%以上のものは「⑦保育園・幼稚園の園庭開放」「⑧親子たんどん広場」となっています。



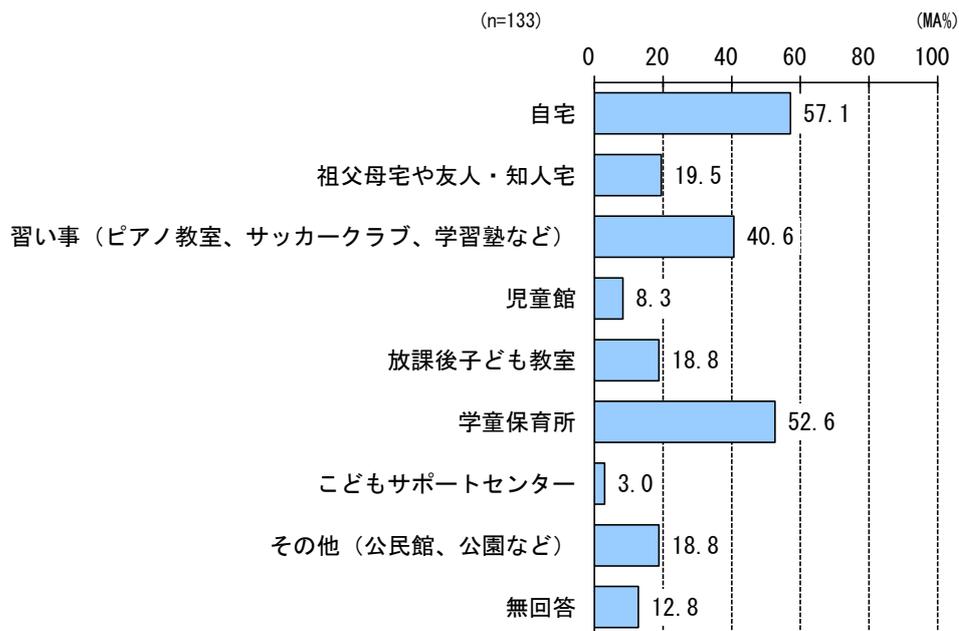
## 問10 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(あて名のお子さんが5歳以上である方のみ)

- Q1 あて名のお子さんについて、(1) 小学校低学年(1~3年生)、(2) 小学校高学年(4~6年生)の時に、①放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたい場所と、②利用したい日数(週あたり)をすべてご記入ください。

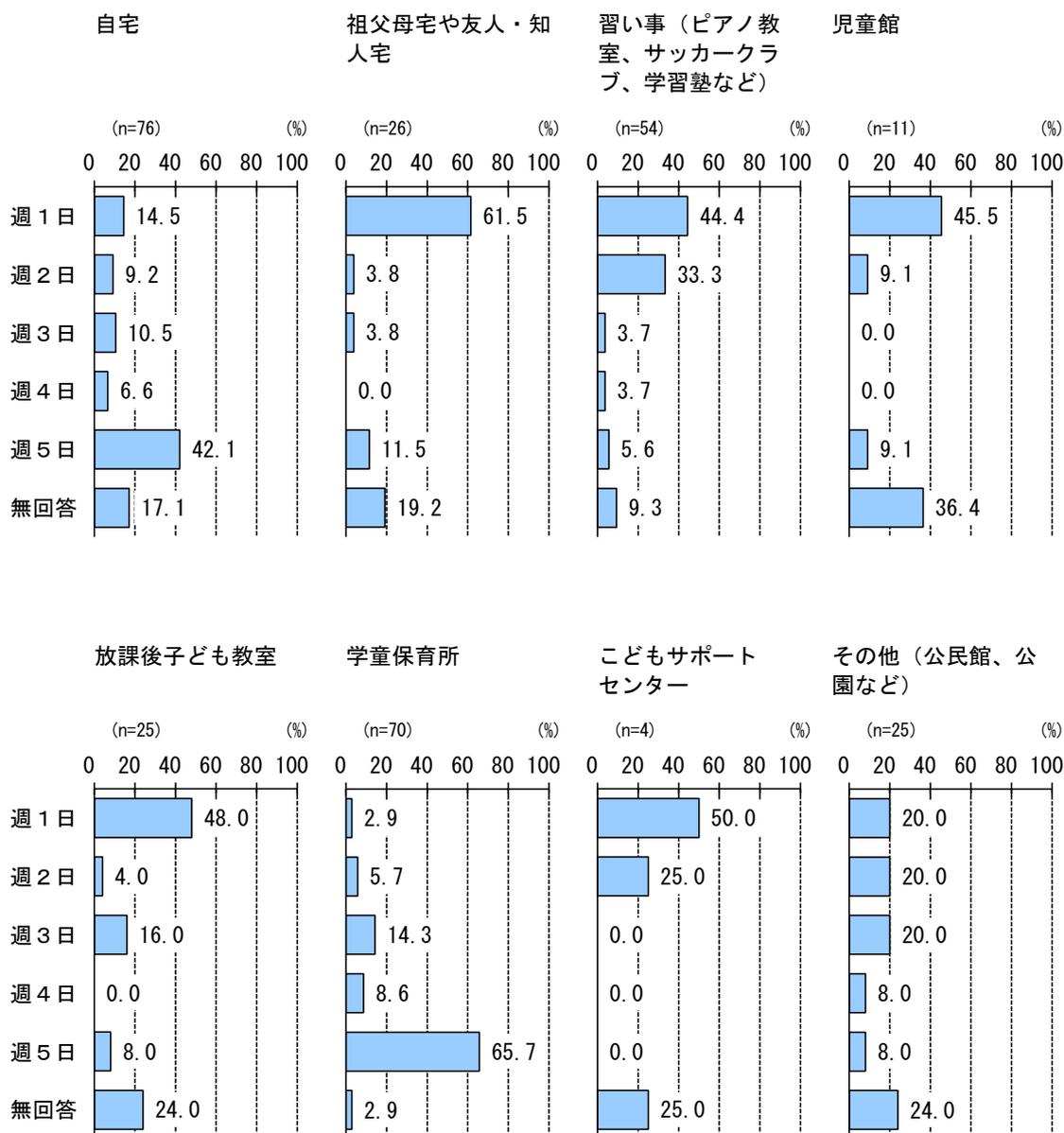
### ①放課後の時間を過ごさせたい場所

- 放課後の時間を過ごさせたい場所について、「自宅」が57.1%で最も多く、次いで「学童保育所」が52.6%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が40.6%となっています。



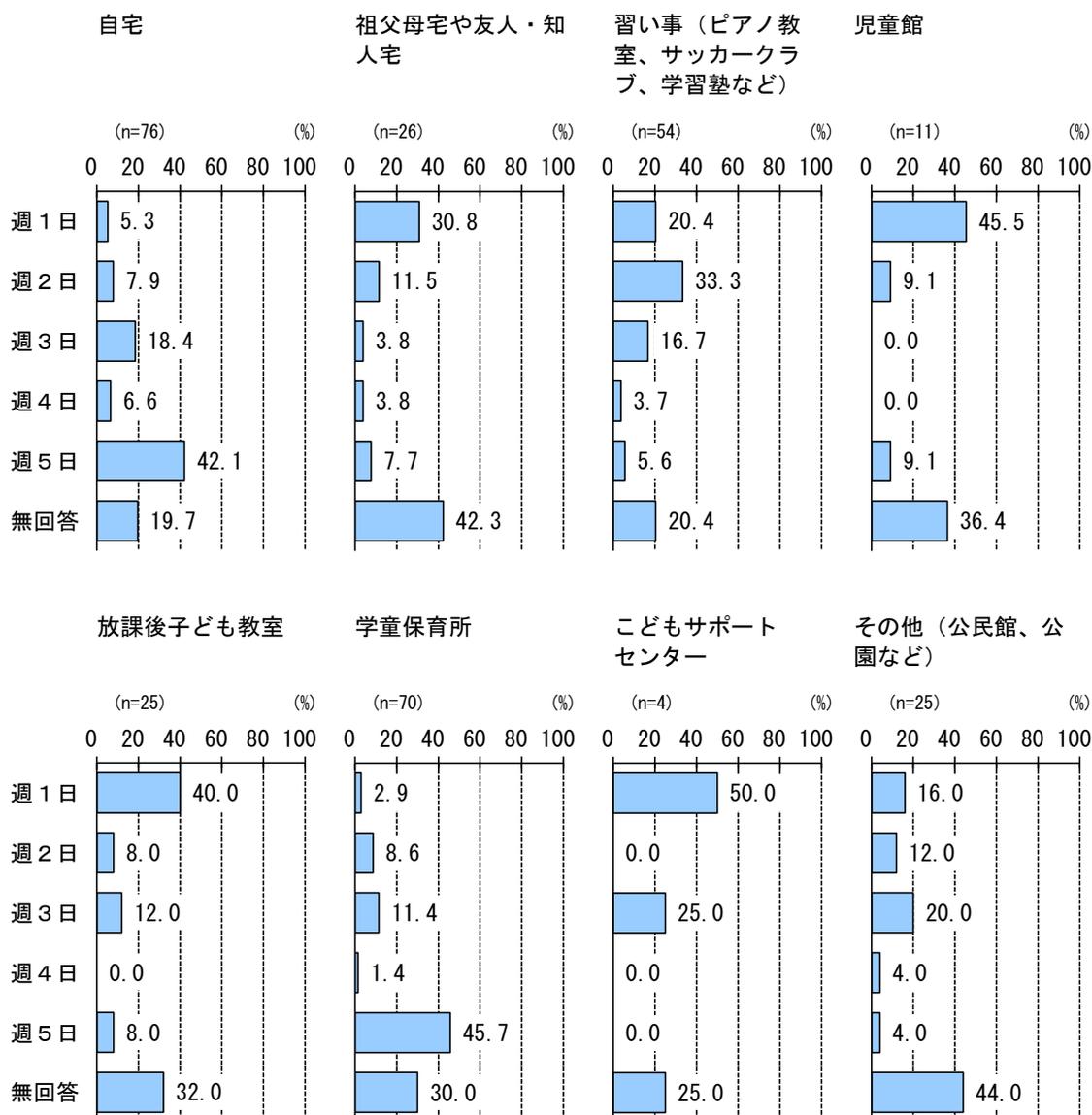
## ②利用したい日数（週あたり） — 小学校低学年

- 「自宅」について、「週5日」が42.1%で最も多く、次いで「週1日」が14.5%、「週3日」が10.5%となっています。
- 「祖父母宅や友人・知人宅」について、「週1日」が61.5%で最も多く、次いで「週5日」が11.5%、「週2日」「週3日」が3.8%となっています。
- 「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」について、「週1日」が44.4%で最も多く、次いで「週2日」が33.3%、「週5日」が5.6%となっています。
- 「児童館」について、「週1日」が45.5%で最も多く、次いで「週2日」「週5日」が9.1%となっています。
- 「放課後子ども教室」について、「週1日」が48.0%で最も多く、次いで「週3日」が16.0%、「週5日」が8.0%となっています。
- 「学童保育所」について、「週5日」が65.7%で最も多く、次いで「週3日」が14.3%、「週4日」が8.6%となっています。
- 「こどもサポートセンター」について、「週1日」が50.0%で最も多く、次いで「週2日」が25.0%となっています。
- 「その他（公民館、公園など）」について、「週1日」「週2日」「週3日」が20.0%で最も多く、次いで「週4日」「週5日」が8.0%となっています。



## ②利用したい日数（週あたり） — 小学校高学年

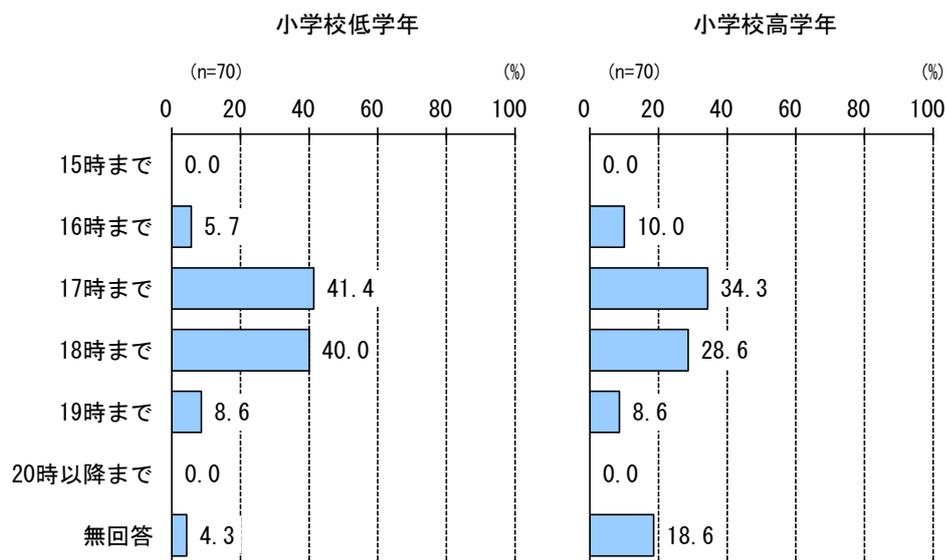
- 「自宅」について、「週5日」が42.1%で最も多く、次いで「週3日」が18.4%、「週2日」が7.9%となっています。
- 「祖父母宅や友人・知人宅」について、「週1日」が30.8%で最も多く、次いで「週2日」が11.5%、「週5日」が7.7%となっています。
- 「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」について、「週2日」が33.3%で最も多く、次いで「週1日」が20.4%、「週3日」が16.7%となっています。
- 「児童館」について、「週1日」が45.5%で最も多く、次いで「週2日」「週5日」が9.1%となっています。
- 「放課後子ども教室」について、「週1日」が40.0%で最も多く、次いで「週3日」が12.0%、「週2日」「週5日」が8.0%となっています。
- 「学童保育所」について、「週5日」が45.7%で最も多く、次いで「週3日」が11.4%、「週2日」が8.6%となっています。
- 「こどもサポートセンター」について、「週1日」が50.0%で最も多く、次いで「週3日」が25.0%となっています。
- 「その他（公民館、公園など）」について、「週3日」が20.0%で最も多く、次いで「週1日」が16.0%、「週2日」が12.0%となっています。



★問10Q 1で、「学童保育所」に○をつけた方のみ

Q 1-1 学童保育所を利用したい時間帯をご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入）

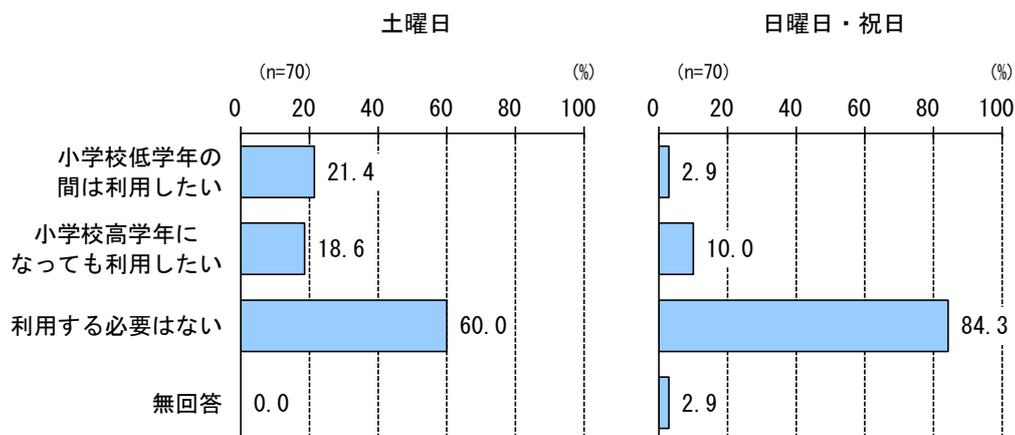
- 学童保育所を利用したい時間帯について、小学校低学年では「17時まで」が41.4%で最も多く、次いで「18時まで」が40.0%、「19時まで」が8.6%となっています。
- 小学校高学年では「17時まで」が34.3%で最も多く、次いで「18時まで」が28.6%、「16時まで」が10.0%となっています。



★引き続き、問10Q 1で、「学童保育所」に○をつけた方のみ

Q 2 あて名のお子さんについて、(1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日に、学童保育所を利用したいですか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

- 土曜日、日曜日・祝日の学童保育所の利用希望について、土曜日では「利用する必要はない」が60.0%で最も多く、次いで「小学校低学年の間は利用したい」が21.4%、「小学校高学年になっても利用したい」が18.6%となっています。
- 日曜日・祝日では「利用する必要はない」が84.3%で最も多く、次いで「小学校高学年になっても利用したい」が10.0%、「小学校低学年の間は利用したい」が2.9%となっています。

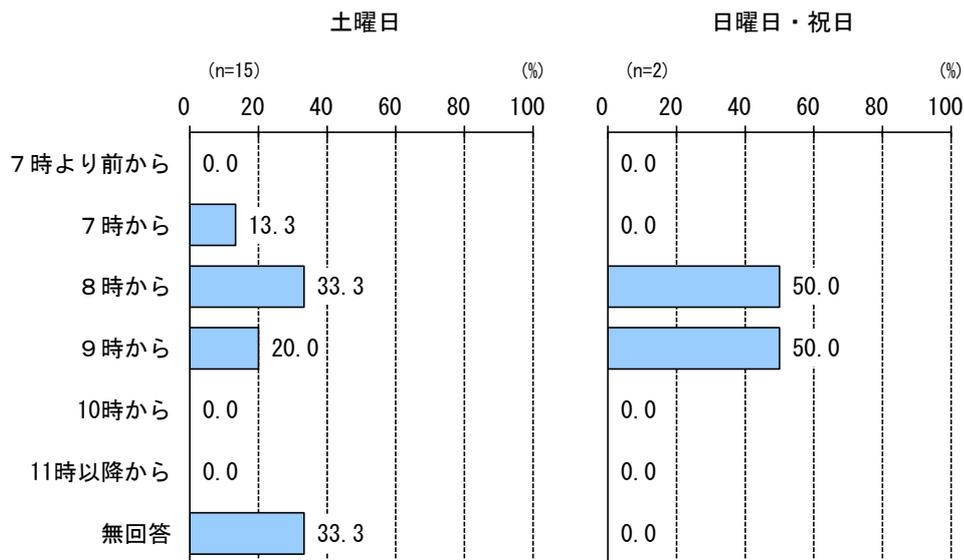


★問10Q 2で、「小学校低学年の間は利用したい」または「小学校高学年になっても利用したい」に○をつけた方のみ

Q 2-1 (1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日に、学童保育所を利用したい時間帯をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

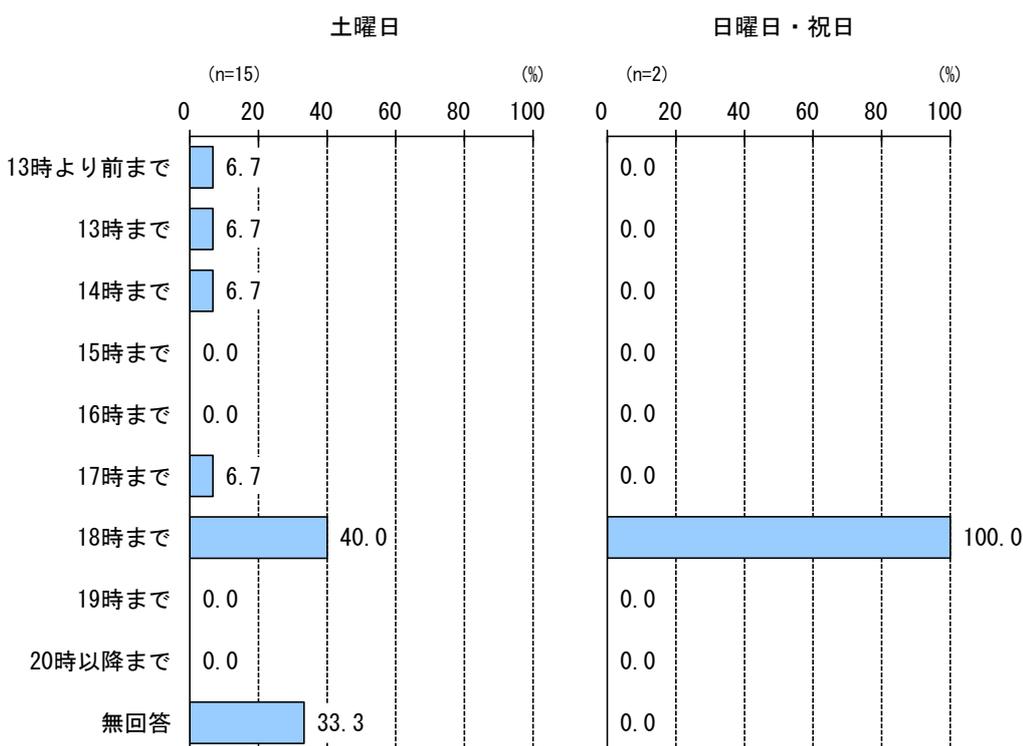
①希望開始時間

- 土曜日、日曜日・祝日の学童保育所の希望開始時間について、土曜日では「8時から」が33.3%で最も多く、次いで「9時から」が20.0%、「7時から」が13.3%となっています。
- 日曜日・祝日では「8時から」「9時から」が50.0%で最も多くなっています。



②希望終了時間

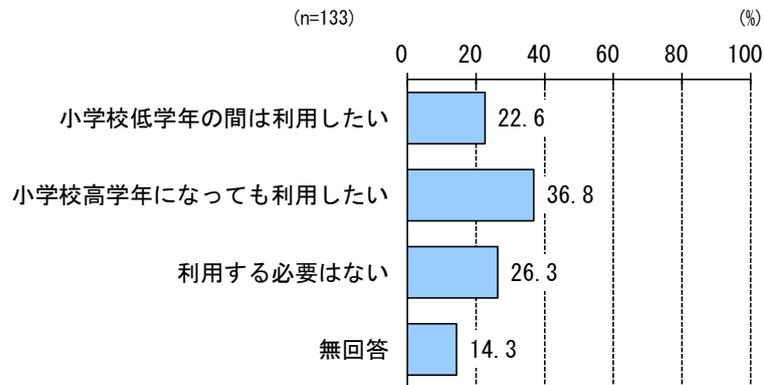
- 土曜日、日曜日・祝日の学童保育所の希望終了時間について、土曜日では「18時まで」が40.0%で最も多く、次いで「13時より前まで」「13時まで」「14時まで」「17時まで」が6.7%となっています。
- 日曜日・祝日では「18時まで」が100.0%で最も多くなっています。



ここからは、すべての方におうかがいします。

Q3 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、学童保育所を利用したいですか。(あてはまる番号1つに○)

- 長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望について、「小学校高学年になっても利用したい」が36.8%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が26.3%、「小学校低学年の間は利用したい」が22.6%となっています。

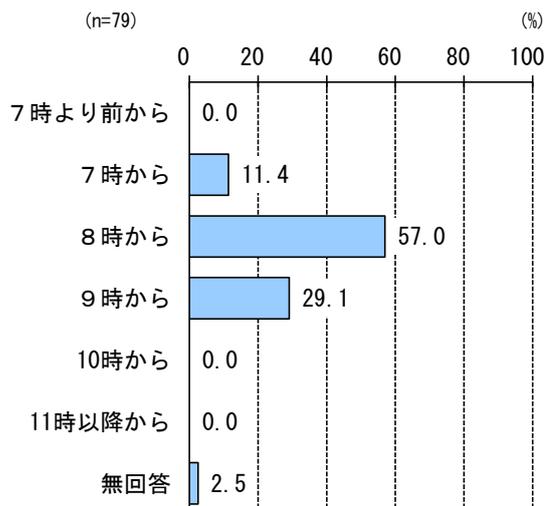


★問10Q3で、「小学校低学年の間は利用したい」または「小学校高学年になっても利用したい」に○をつけた方のみ

Q3-1 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、学童保育所を利用したい時間帯をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

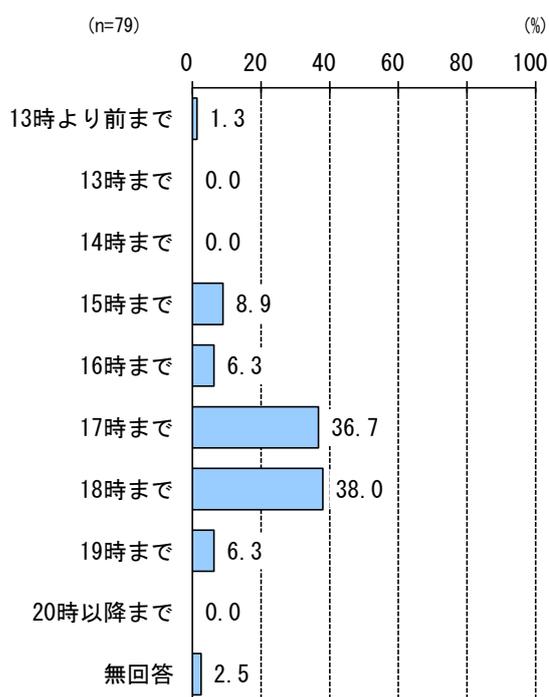
①長期休暇期間中の学童保育所の希望開始時間

- 長期休暇期間中の学童保育所の希望開始時間について、「8時から」が57.0%で最も多く、次いで「9時から」が29.1%、「7時から」が11.4%となっています。



## ②長期休暇期間中の学童保育所の希望終了時間

- 長期休暇期間中の学童保育所の希望終了時間について、「18時まで」が38.0%で最も多く、次いで「17時まで」が36.7%、「15時まで」が8.9%となっています。

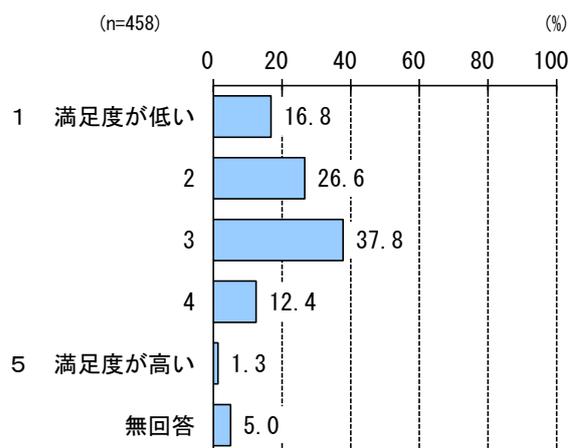


## 問11 子育て支援について

ここからは、すべての方におうかがいします。

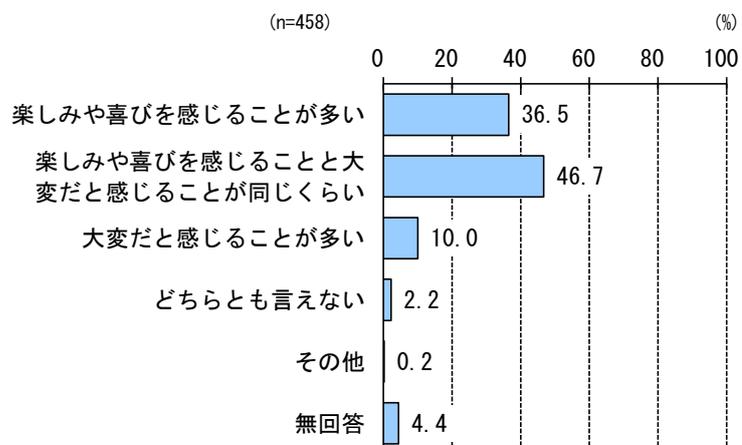
Q1 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

- 地域における子育ての環境や支援への満足度について、「3」が37.8%で最も多く、次いで「2」が26.6%、「1 満足度が低い」が16.8%となっています。



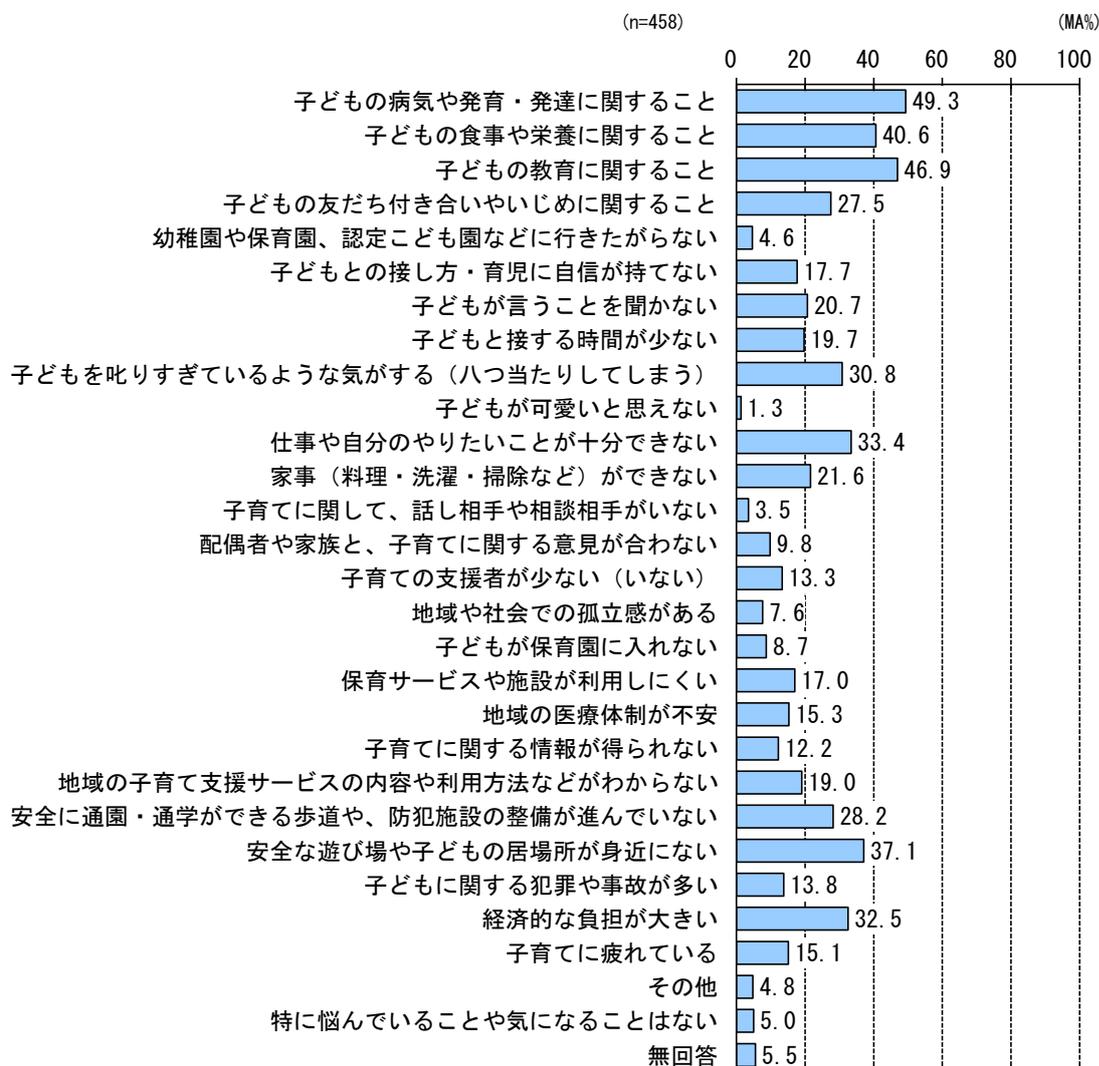
## Q2 子育てについて、どのように感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

- 子育てについてどのように感じているかについて、「楽しみや喜びを感じることも大変だと感じることも同じくらい」が46.7%で最も多く、次いで「楽しみや喜びを感じることが多い」が36.5%、「大変だと感じるが多い」が10.0%となっています。



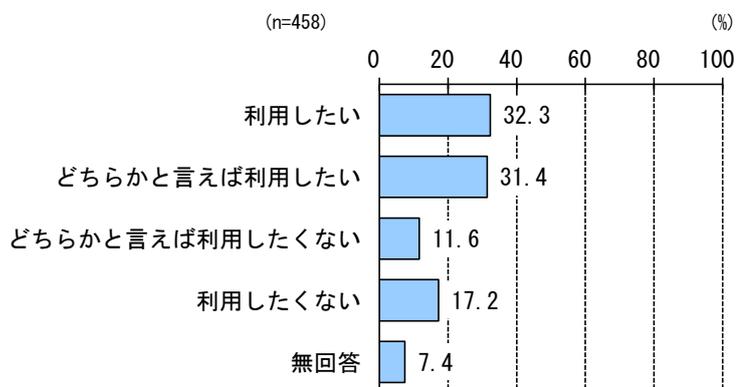
Q3 子育てに関して、日頃悩んでいることや不安なこと、気になることをご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

- 子育てに関して、日頃悩んでいることや不安なこと、気になることについて、「子どもの病気や発育・発達に関すること」が 49.3%で最も多く、次いで「子どもの教育に関すること」が 46.9%、「子どもの食事や栄養に関すること」が 40.6%となっています。



Q 4 本市では令和8年度以降導入予定の「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

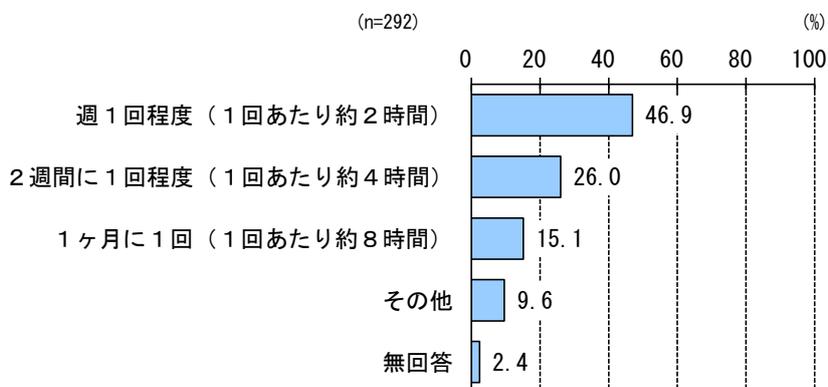
- 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望について、「利用したい」が32.3%で最も多く、次いで「どちらかと言えば利用したい」が31.4%、「利用したくない」が17.2%となっています。



★問11Q4で、「利用したい」「どちらかと言えば利用したい」に○をつけた方のみ

Q 4-1 実際に制度を利用する場合、どのくらいの頻度の利用を希望しますか。（あてはまる番号1つに○）

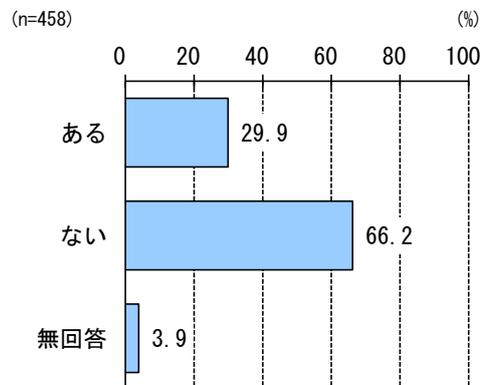
- 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望頻度について、「週1回程度（1回あたり約2時間）」が46.9%で最も多く、次いで「2週間に1回程度（1回あたり約4時間）」が26.0%、「1ヶ月に1回（1回あたり約8時間）」が15.1%となっています。



## 問12 子どもの発育・発達について

Q 1 あて名のお子さんについて、発育・発達面で気になることはありますか。(あてはまる番号1つに○)

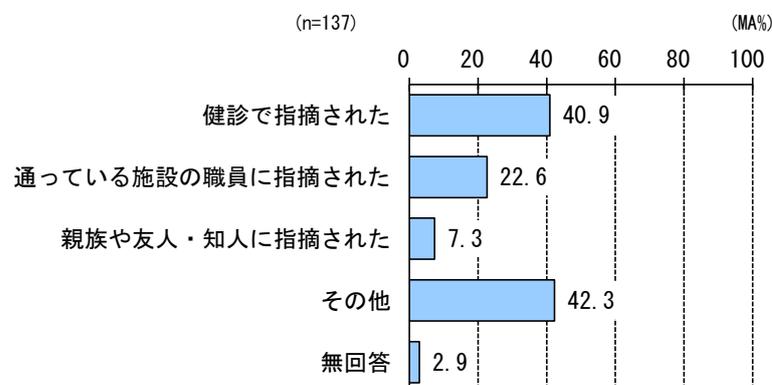
- 子どもの発育・発達面で気になることについて、「ある」が29.9%、「ない」が66.2%となっています。



★問12Q 1で、「ある」に○をつけた方のみ

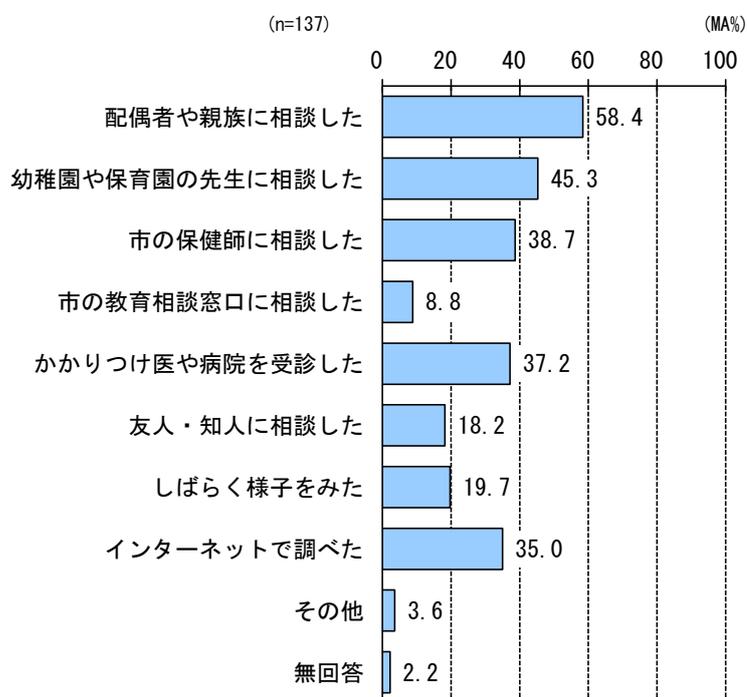
Q 1-1 あて名のお子さんの発育・発達面が気になったきっかけをご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

- 子どもの発育・発達面が気になったきっかけについて、「その他」が42.3%で最も多く、次いで「健診で指摘された」が40.9%、「通っている施設の職員に指摘された」が22.6%となっています。



Q 1-2 お子さんの発育・発達面が気になった時、どのように行動しましたか。(あてはまる番号すべてに○)

- 子どもの発育・発達面が気になった時の行動について、「配偶者や親族に相談した」が 58.4%で最も多く、次いで「幼稚園や保育園の先生に相談した」が 45.3%、「市の保健師に相談した」が 38.7%となっています。

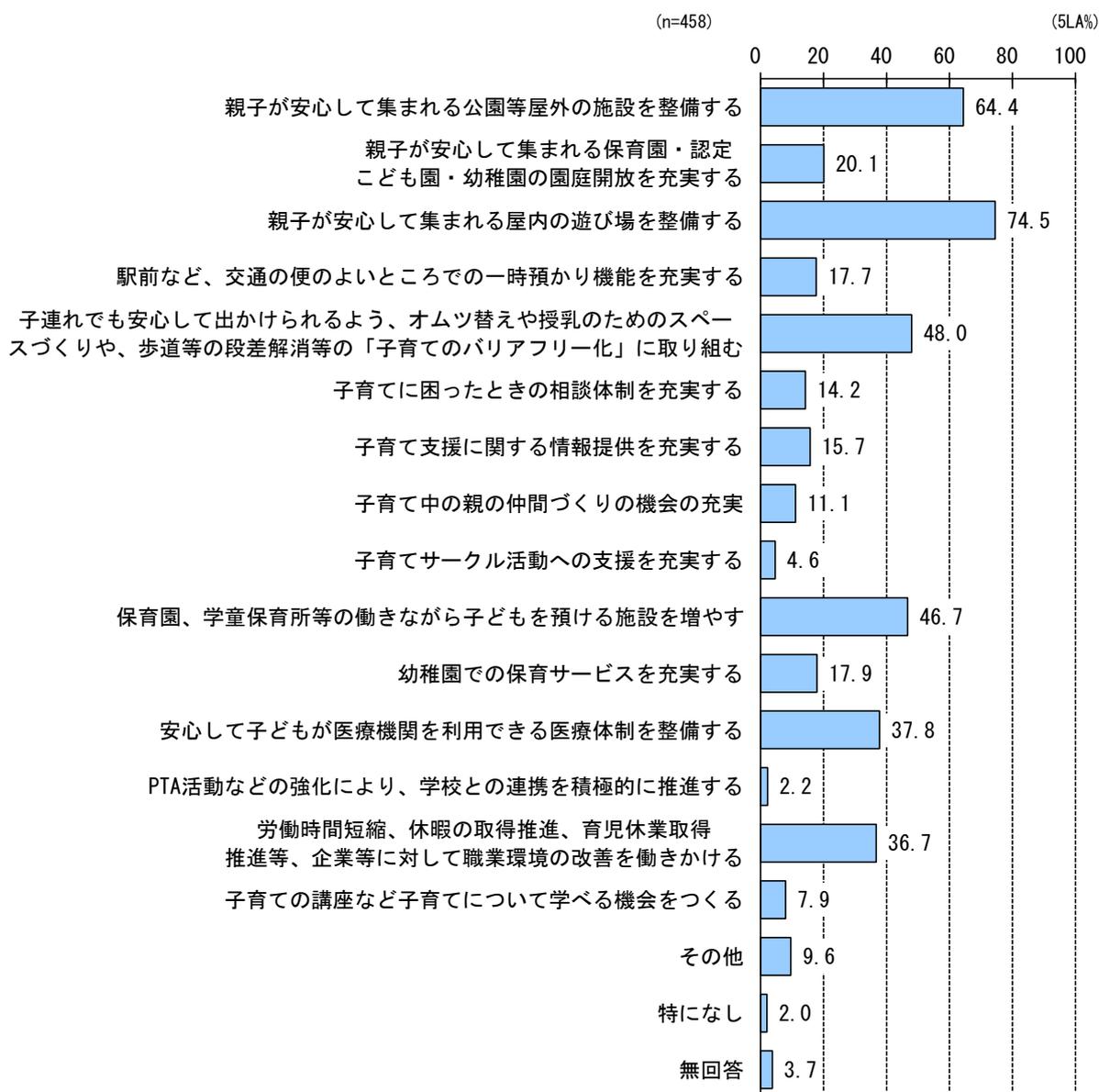


### 問13 大和郡山市での子育てや子育て支援サービスについて

ここからは、すべての方におうかがいします。

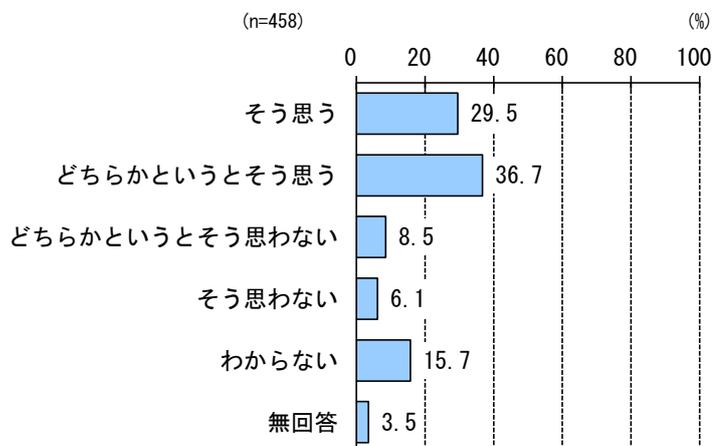
Q1 大和郡山市に対して、どのような子育て支援策の充実を図って欲しいと期待しますか。(あてはまる番号5つまでに○)

- 充実を図って欲しい子育て支援策について、「親子が安心して集まれる屋内の遊び場を整備する」が74.5%で最も多く、次いで「親子が安心して集まれる公園等屋外の施設を整備する」が64.4%、「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む」が48.0%となっています。



Q2 あなたは、これからもお子さんに大和郡山市で育ててほしいと思いますか。(あてはまる番号1つに○) また、その理由をお聞かせください。

- これからも子どもに大和郡山市で育ててほしいと思うかについて、「どちらかというと思う」が36.7%で最も多く、次いで「そう思う」が29.5%、「わからない」が15.7%となっています。



### 3. 子育て調査（就学児童調査）の結果

#### 問1 あて名のお子さんご家族の状況について

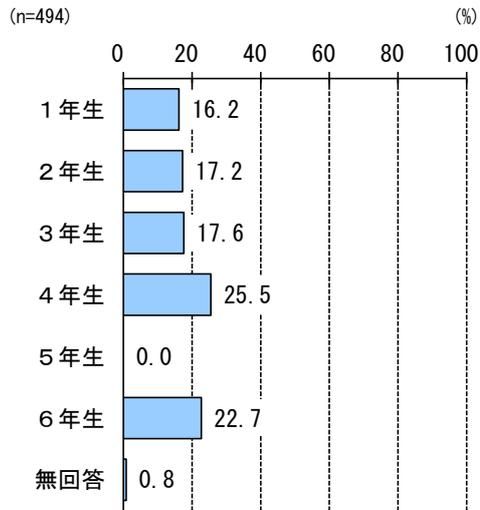
Q1 お住まいの地区をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

- 居住小学校区について、「郡山南小学校」が19.6%で最も多く、次いで「郡山北小学校」が13.6%、「郡山西小学校」が13.0%となっています。



Q2 あて名のお子さんは何年生ですか。(あてはまる番号1つに○)

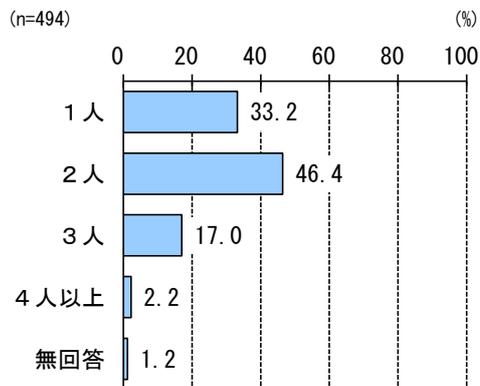
- 子どもの学年について、「4年生」が25.5%で最も多く、次いで「6年生」が22.7%、「3年生」が17.6%となっています。



Q3 あて名のお子さんのきょうだい数(あて名のお子さんを含む)をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)また、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合のみ、末子の生年月月をご記入ください。

①きょうだい数

- きょうだいの人数について、「2人」が46.4%で最も多く、次いで「1人」が33.2%、「3人」が17.0%となっています。



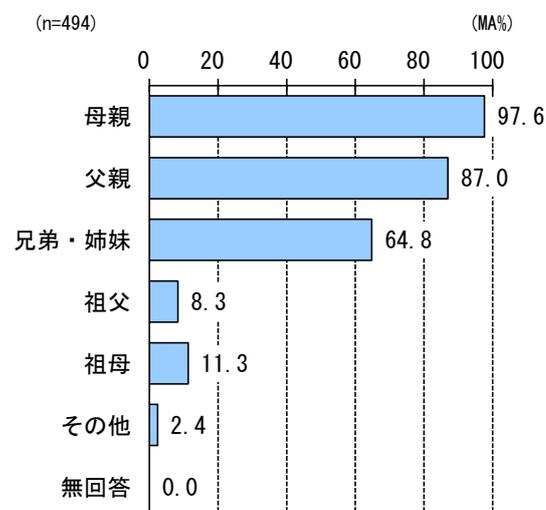
## ②末子の年齢

- 末子の年齢について、「9歳」が18.2%で最も多く、次いで「7歳」が13.6%、「11歳以上」が11.4%となっています。



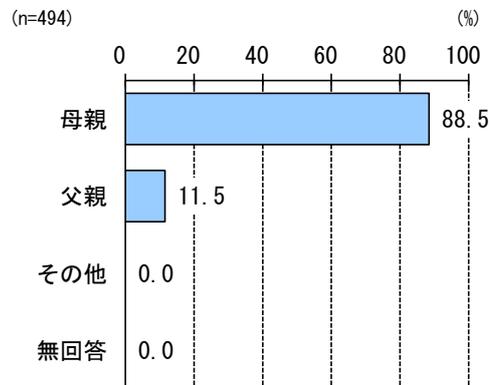
Q4 あて名のお子さんと一緒に住んでいる方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

- 一緒に住んでいる人について、「母親」が97.6%で最も多く、次いで「父親」が87.0%、「兄弟・姉妹」が64.8%となっています。



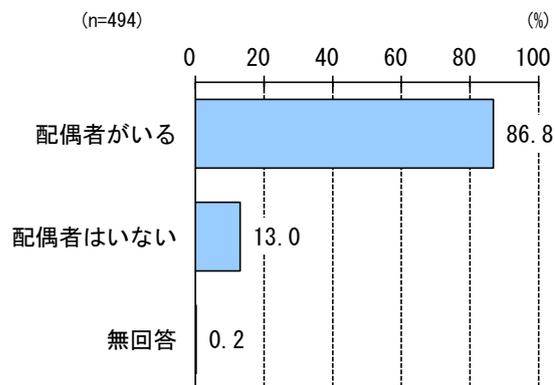
Q 5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

- 調査票の回答者について、「母親」が 88.5%で最も多く、次いで「父親」が 11.5%となっています。



Q 6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

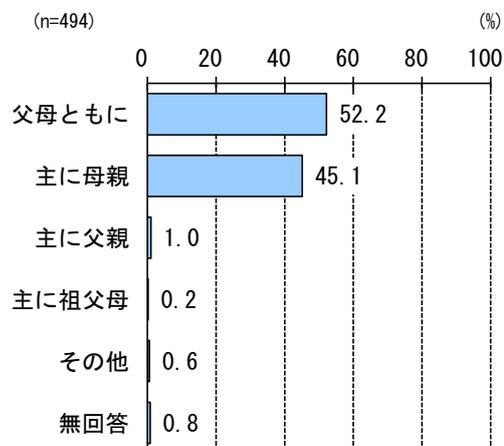
- 調査票の回答者の配偶関係について、「配偶者がいる」が 86.8%、「配偶者はいない」が 13.0%となっています。



## 問2 子どもの育ちをめぐる環境について

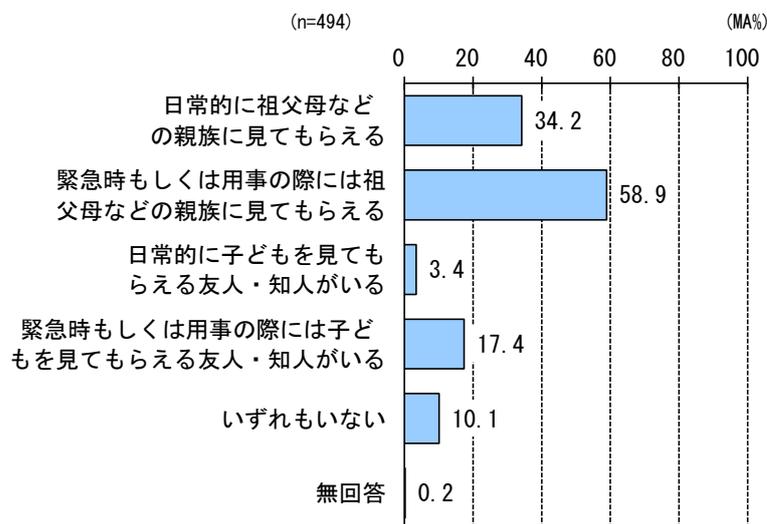
Q1 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。  
あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

- 子育てを主に行っている人について、「父母ともに」が52.2%で最も多く、次いで「主に母親」が45.1%、「主に父親」が1.0%となっています。



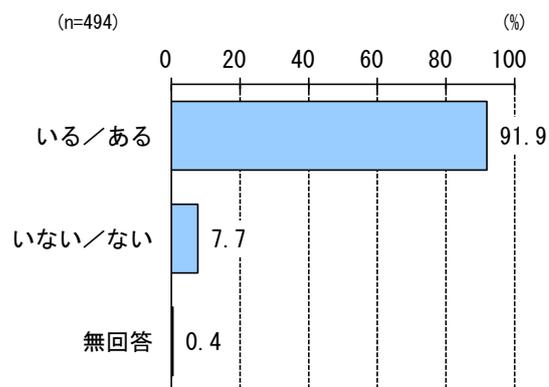
Q2 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。（あてはまる番号すべてに○）

- 日頃から子どもをみてもらえる親族・知人の有無について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に見てもらう」が58.9%で最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親族に見てもらう」が34.2%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が17.4%となっています。



Q3 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる先（人・場所など）はありますか。（あてはまる番号1つに○）

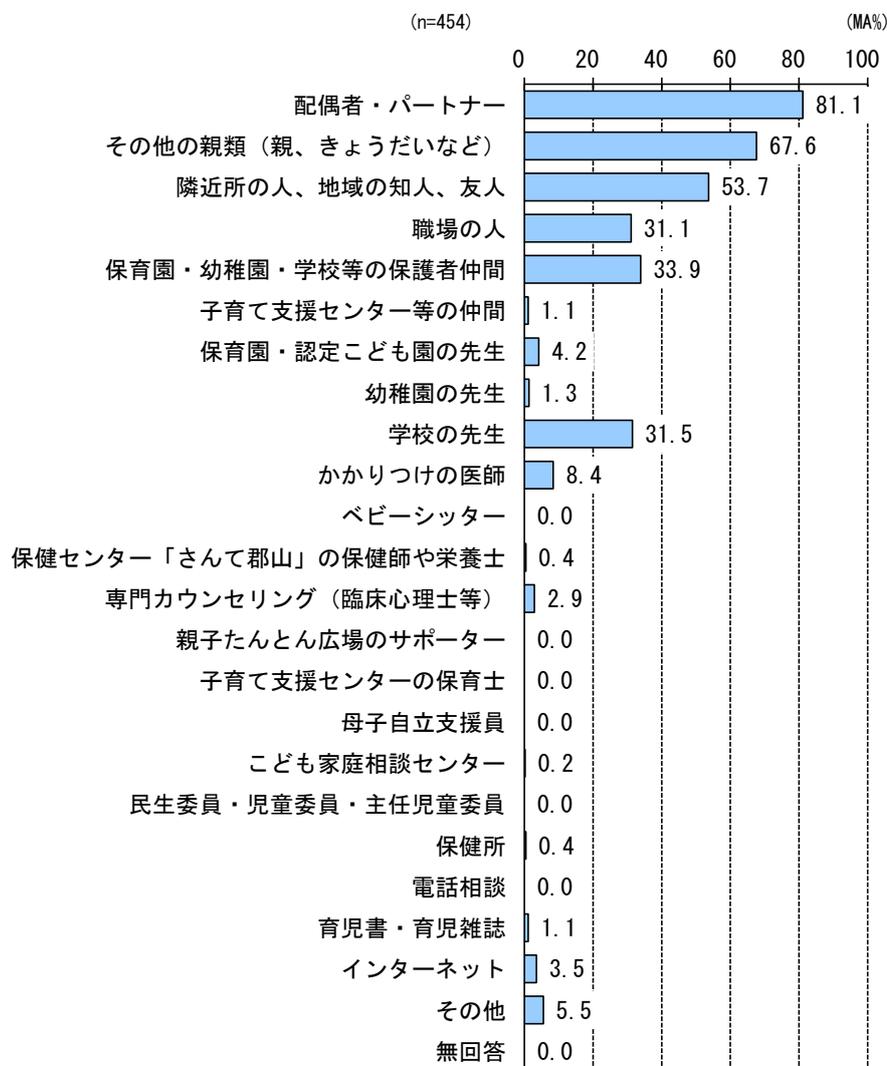
- 子育てをする上で相談できる人や場所の有無について、「いる／ある」が91.9%、「いない／ない」が7.7%となっています。



★問2 Q3で、「いる／ある」に○をつけた方のみ

Q3-1 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に関する相談先をご記入ください。  
（あてはまる番号すべてに○）

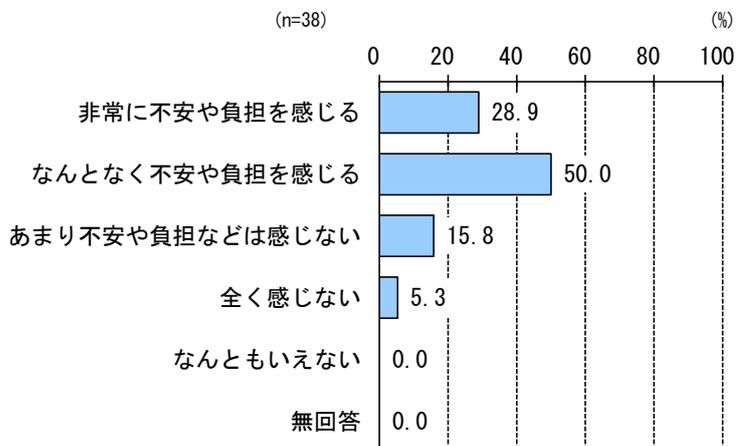
- 子育てに関する相談先について、「配偶者・パートナー」が81.1%で最も多く、次いで「その他の親類（親、きょうだいなど）」が67.6%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が53.7%となっています。



★問2 Q3で、「いない／ない」に○をつけた方のみ

Q3-2 あなたは、子育てに対する負担感や不安感を感じますか。(あてはまる番号1つに○)

- 子育てに対する負担感や不安感について、「なんとなく不安や負担を感じる」が50.0%で最も多く、次いで「非常に不安や負担を感じる」が28.9%、「あまり不安や負担などは感じない」が15.8%となっています。

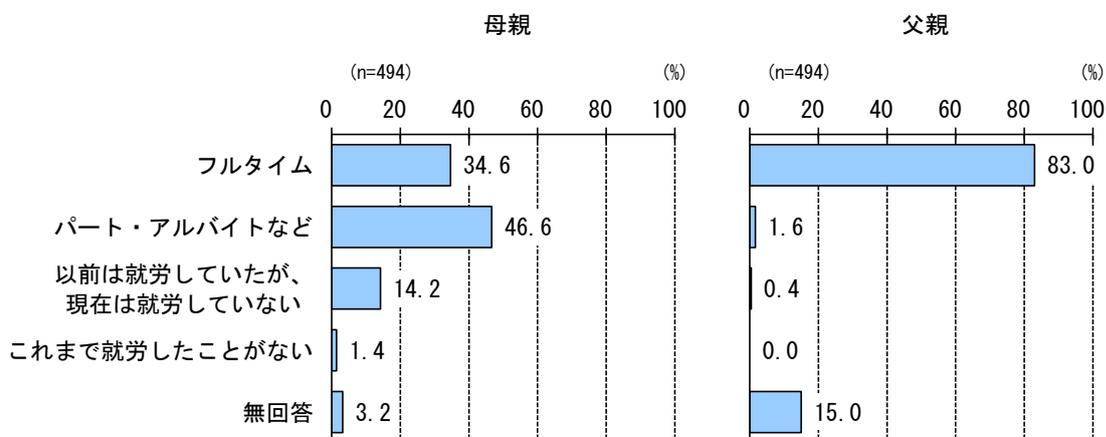


問3 あて名のお子さんの保護者の就労状況について

ここからは、すべての方におうかがいします。

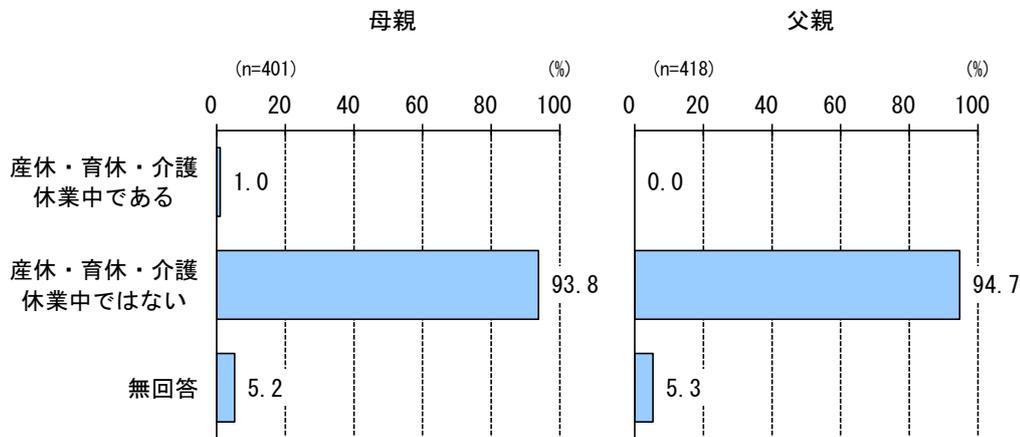
Q1 現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をご記入ください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

- 保護者の就労状況について、母親では「パート・アルバイトなど」が46.6%で最も多く、次いで「フルタイム」が34.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が14.2%となっています。
- 父親では「フルタイム」が83.0%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなど」が1.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.4%となっています。



★問3 Q1で、「フルタイム」または「パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ  
 Q1-1 就労している方は、現在、産休・育休・介護休業中ですか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

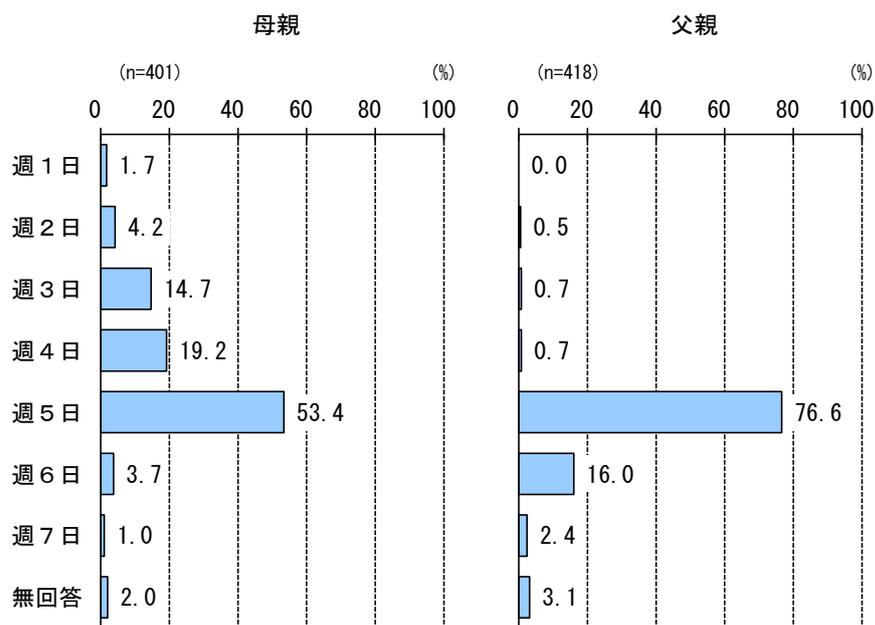
- 産休・育休・介護休業の状況について、母親では「産休・育休・介護休業中である」が1.0%、「産休・育休・介護休業中ではない」が93.8%となっています。
- 父親では「産休・育休・介護休業中ではない」が94.7%となっています。



★問3 Q1で、「フルタイム」または「パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ  
 Q1-2 ①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、③家を出る時間、④帰宅時間をすべてご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入）

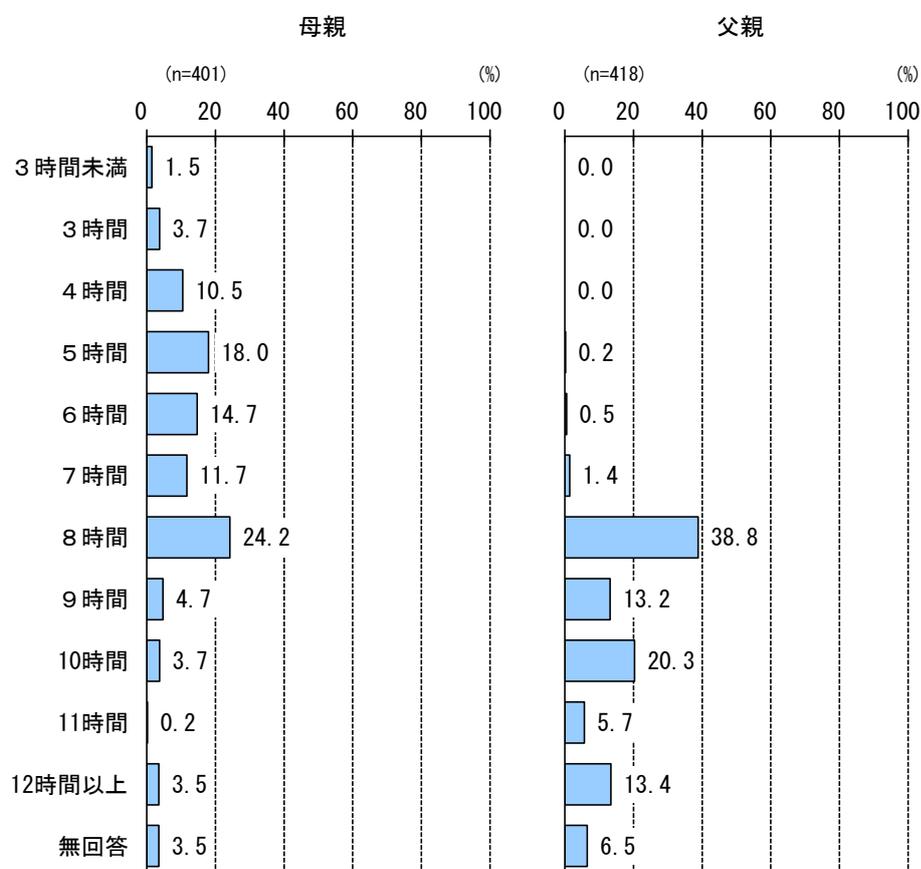
① 1週あたり就労日数

- 1週あたり就労日数について、母親では「週5日」が53.4%で最も多く、次いで「週4日」が19.2%、「週3日」が14.7%となっています。
- 父親では「週5日」が76.6%で最も多く、次いで「週6日」が16.0%、「週7日」が2.4%となっています。



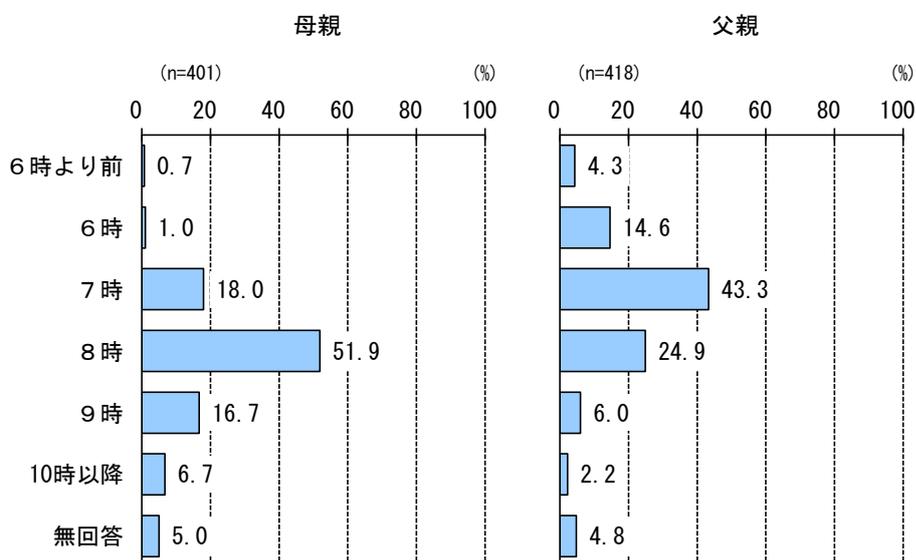
## ② 1日あたり就労時間

- 1日あたり就労時間について、母親では「8時間」が24.2%で最も多く、次いで「5時間」が18.0%、「6時間」が14.7%となっています。
- 父親では「8時間」が38.8%で最も多く、次いで「10時間」が20.3%、「12時間以上」が13.4%となっています。



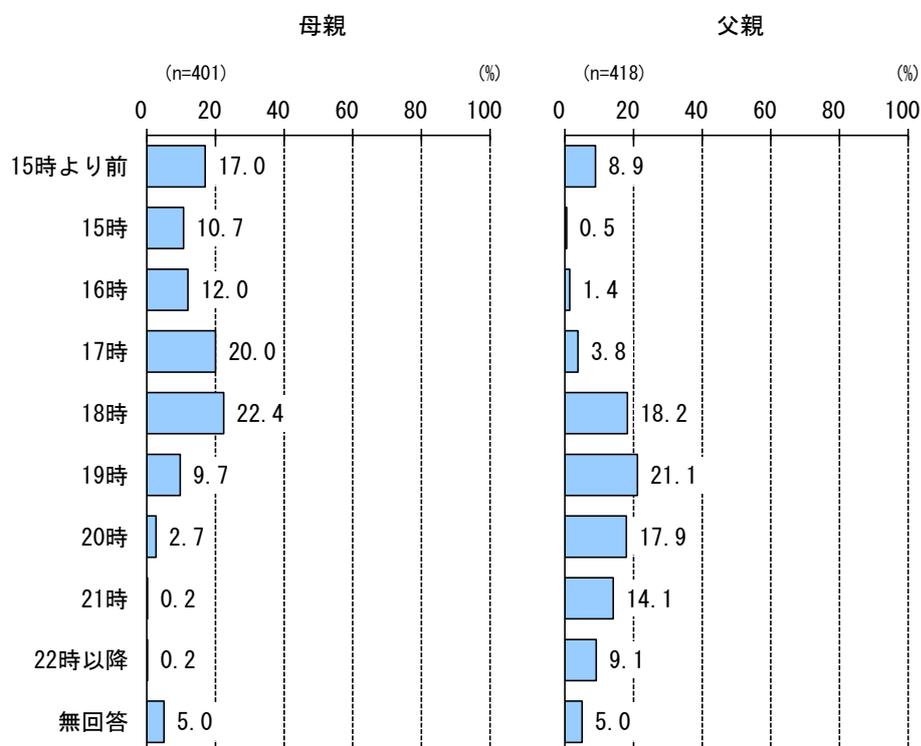
## ③ 家を出る時間

- 家を出る時間について、母親では「8時」が51.9%で最も多く、次いで「7時」が18.0%、「9時」が16.7%となっています。
- 父親では「7時」が43.3%で最も多く、次いで「8時」が24.9%、「6時」が14.6%となっています。



#### ④帰宅時間

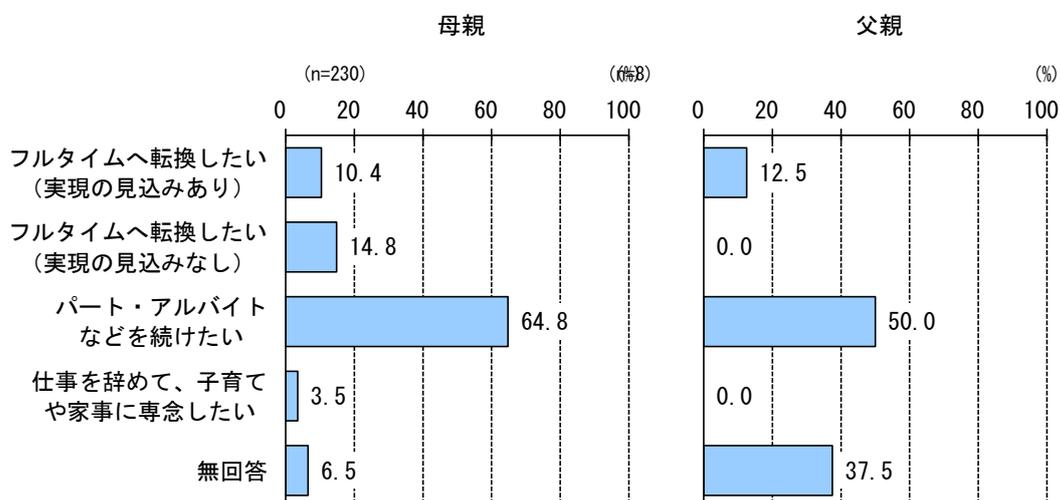
- 帰宅時間について、母親では「18時」が22.4%で最も多く、次いで「17時」が20.0%、「15時より前」が17.0%となっています。
- 父親では「19時」が21.1%で最も多く、次いで「18時」が18.2%、「20時」が17.9%となっています。



#### ★問3 Q1で、「パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

Q1-3 パート・アルバイトなどからフルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

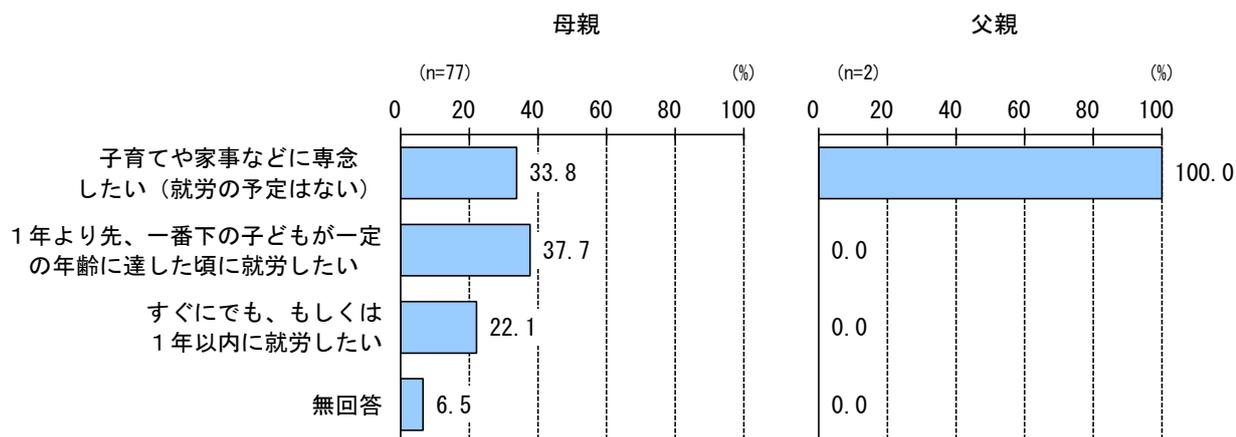
- パート・アルバイトからフルタイムへの転換希望について、母親では「パート・アルバイトなどを続けたい」が64.8%で最も多く、次いで「フルタイムへ転換したい（実現の見込みなし）」が14.8%、「フルタイムへ転換したい（実現の見込みあり）」が10.4%となっています。
- 父親では「パート・アルバイトなどを続けたい」が50.0%で最も多く、次いで「フルタイムへ転換したい（実現の見込みあり）」が12.5%となっています。



★問3 Q1で、「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方のみ

Q2 就労したいという希望はありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

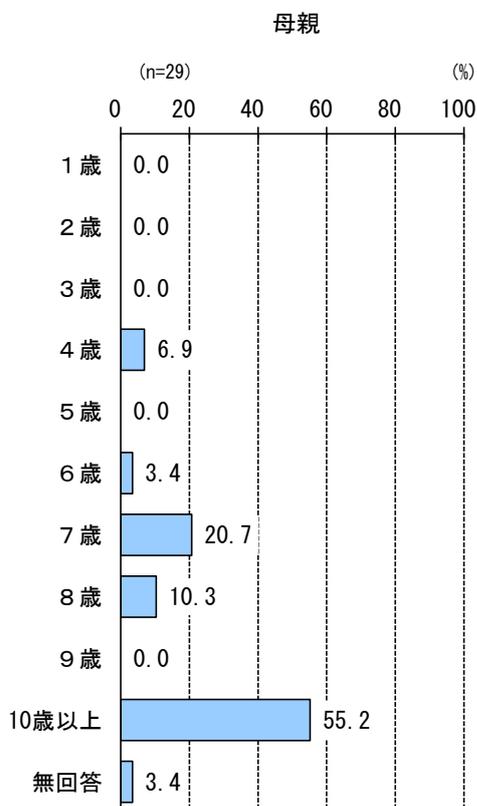
- 非就労者の就労希望について、母親では「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」が37.7%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が33.8%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が22.1%となっています。
- 父親では「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が100.0%で最も多くなっています。



★問3 Q2で、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」に○をつけた方のみ

Q2-1 一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいですか。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

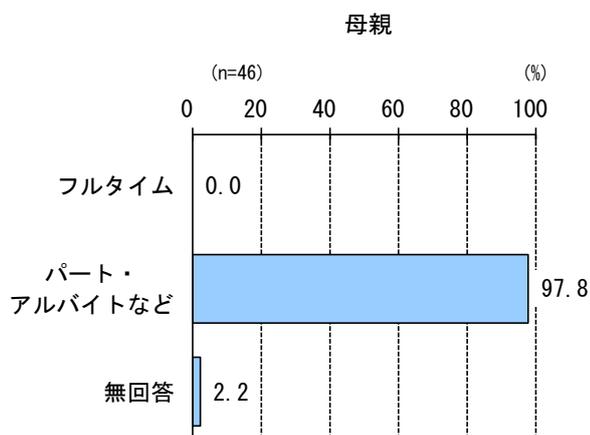
○ 就労を希望する時期について、母親で「10歳以上」が55.2%で最も多く、次いで「7歳」が20.7%、「8歳」が10.3%となっています。



★問3 Q2で、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方のみ

Q2-2 希望する就労形態はどれですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

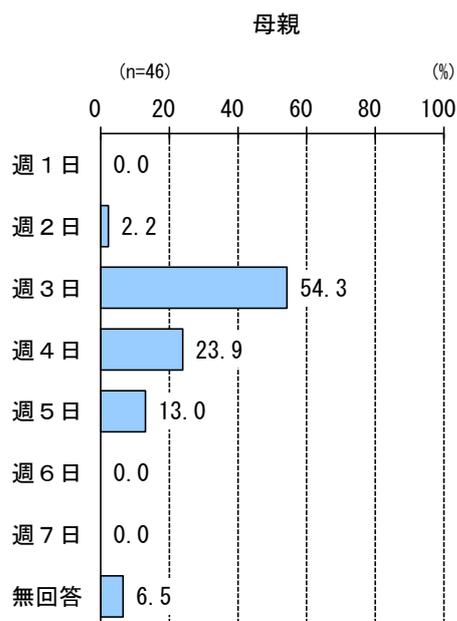
○ 希望する就労形態母親について、母親では「パート・アルバイトなど」が97.8%となっています。



★引き続き、問3 Q2で、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方のみ  
 Q2-3 希望する就労形態について、①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間」をすべてご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

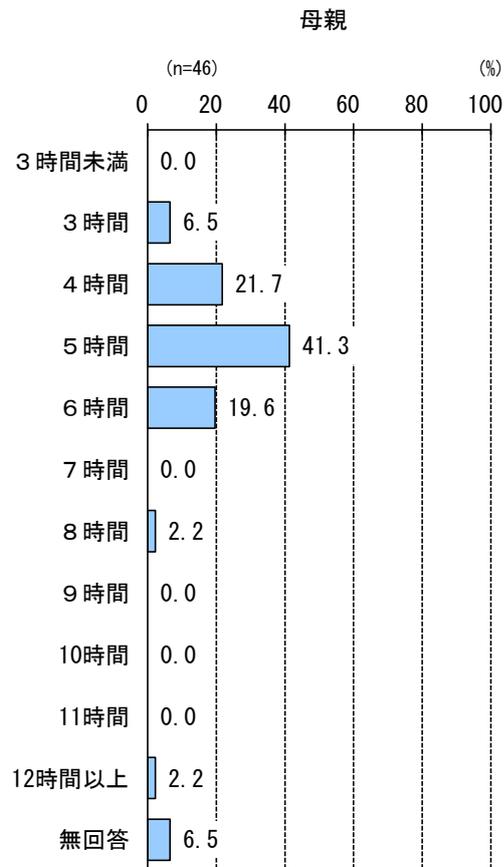
①希望する1週あたり就労日数

○ 希望する1週あたり就労日数について、母親では「週3日」が54.3%で最も多く、次いで「週4日」が23.9%、「週5日」が13.0%となっています。



## ②希望する1日あたり就労時間

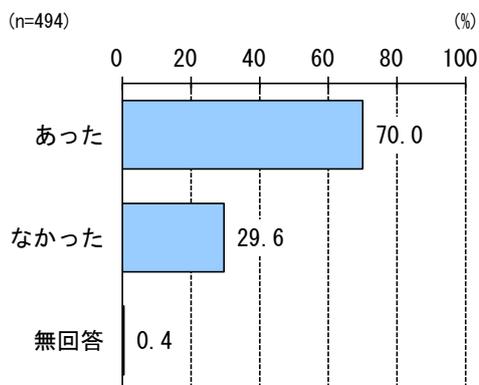
- 希望する1日あたり就労時間について、母親では「5時間」が41.3%で最も多く、次いで「4時間」が21.7%、「6時間」が19.6%となっています。



#### 問4 病気の際の対応について

Q1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、通学できなかったことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

- 子どもの病気やケガで通学できなかったことの有無について、「あった」が70.0%、「なかった」が29.6%となっています。

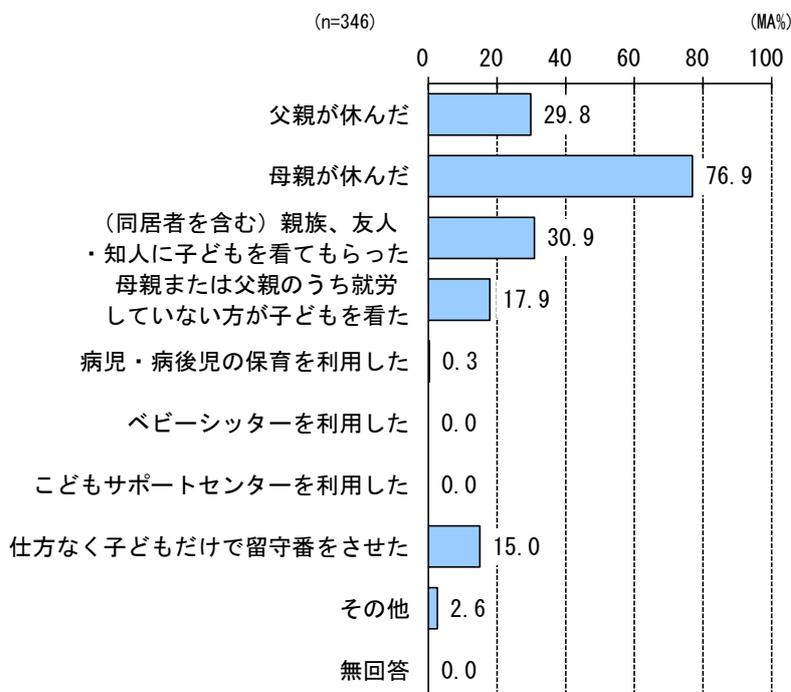


★問4 Q1で、「あった」に○をつけた方のみ

Q1-1 病気やケガで、通学できなかった時に、①実際に取った対処法と、②対処した際の日数(年間)をすべてご記入ください。

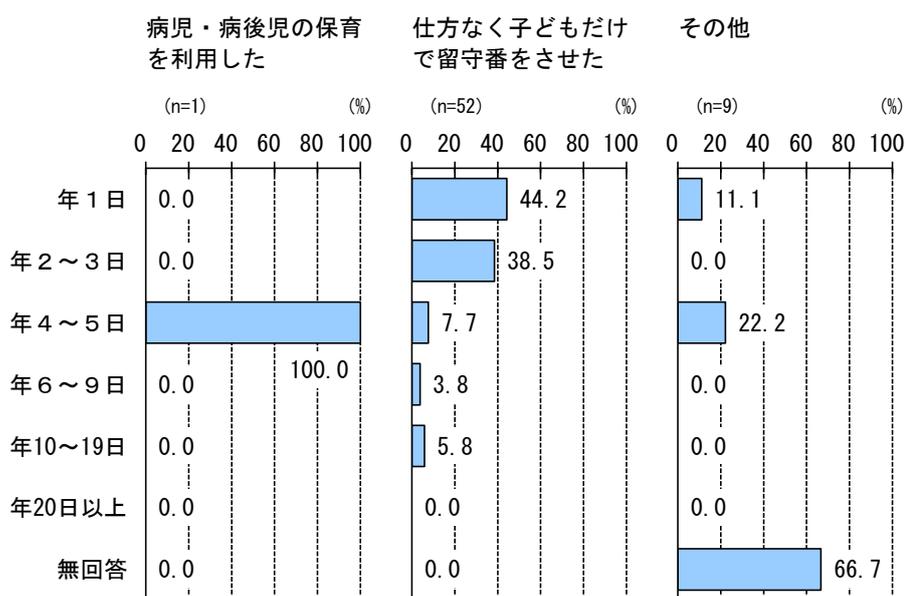
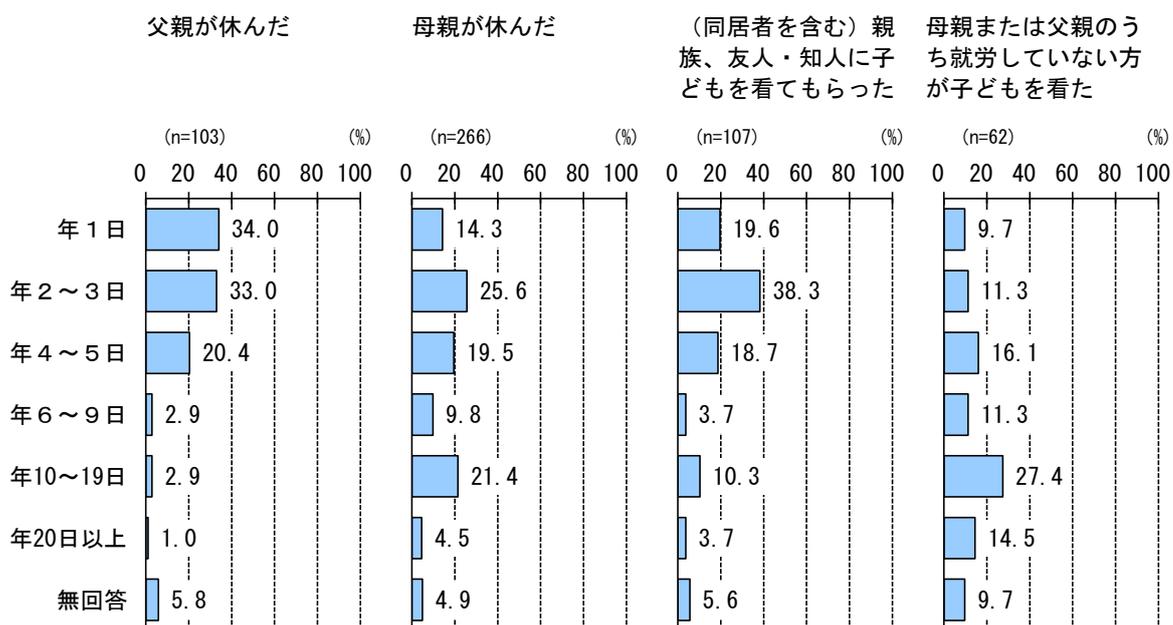
①子どもの病気やケガで通学できなかった時の対処法

- 子どもの病気やケガで通学できなかった時の対処法について、「母親が休んだ」が76.9%で最も多く、次いで「(同居者を含む)親族、友人・知人に子どもを看てもらった」が30.9%、「父親が休んだ」が29.8%となっています。



## ②対処した際の日数（年間）

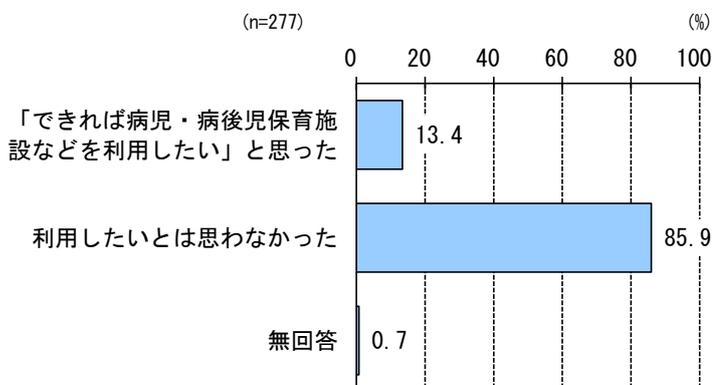
- 「父親が休んだ」について、「年1日」が34.0%で最も多く、次いで「年2～3日」が33.0%、「年4～5日」が20.4%となっています。
- 「母親が休んだ」について、「年2～3日」が25.6%で最も多く、次いで「年10～19日」が21.4%、「年4～5日」が19.5%となっています。
- 「（同居者を含む）親族、友人・知人に子どもを看てもらった」について、「年2～3日」が38.3%で最も多く、次いで「年1日」が19.6%、「年4～5日」が18.7%となっています。
- 「母親または父親のうち就労していない方が子どもを看た」について、「年10～19日」が27.4%で最も多く、次いで「年4～5日」が16.1%、「年20日以上」が14.5%となっています。
- 「病児・病後児の保育を利用した」について、「年4～5日」が100.0%で最も多くなっています。
- 「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」について、「年1日」が44.2%で最も多く、次いで「年2～3日」が38.5%、「年4～5日」が7.7%となっています。
- 「その他」について、「年4～5日」が22.2%で最も多く、次いで「年1日」が11.1%となっています。



★問4 Q1-1で、「父親が休んだ」または「母親が休んだ」に○をつけた方のみ

Q2 母親または父親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思いましたか。(あてはまる番号1つに○)

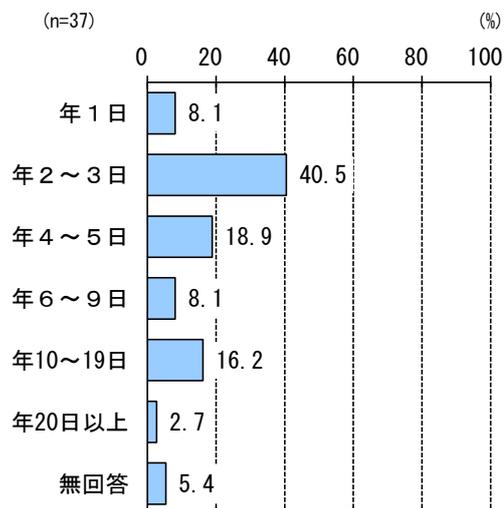
- 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思ったかについて、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思ったが13.4%、「利用したいとは思わなかった」が85.9%となっています。



★問4 Q2で、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」に○をつけた方のみ

Q2-1 病児・病後児のための保育施設などを何日間利用したいと思いましたか。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

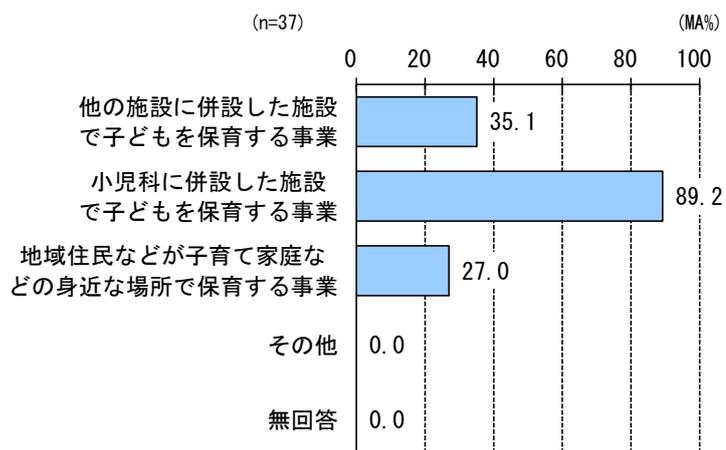
- 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思った日数について、「年2～3日」が40.5%で最も多く、次いで「年4～5日」が18.9%、「年10～19日」が16.2%となっています。



★問4 Q2で、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」に○をつけた方のみ

Q2-2 あて名のお子さんが病気やケガで、通常の教育・保育事業を利用できない時に、病児・病後児のための保育施設などへ預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

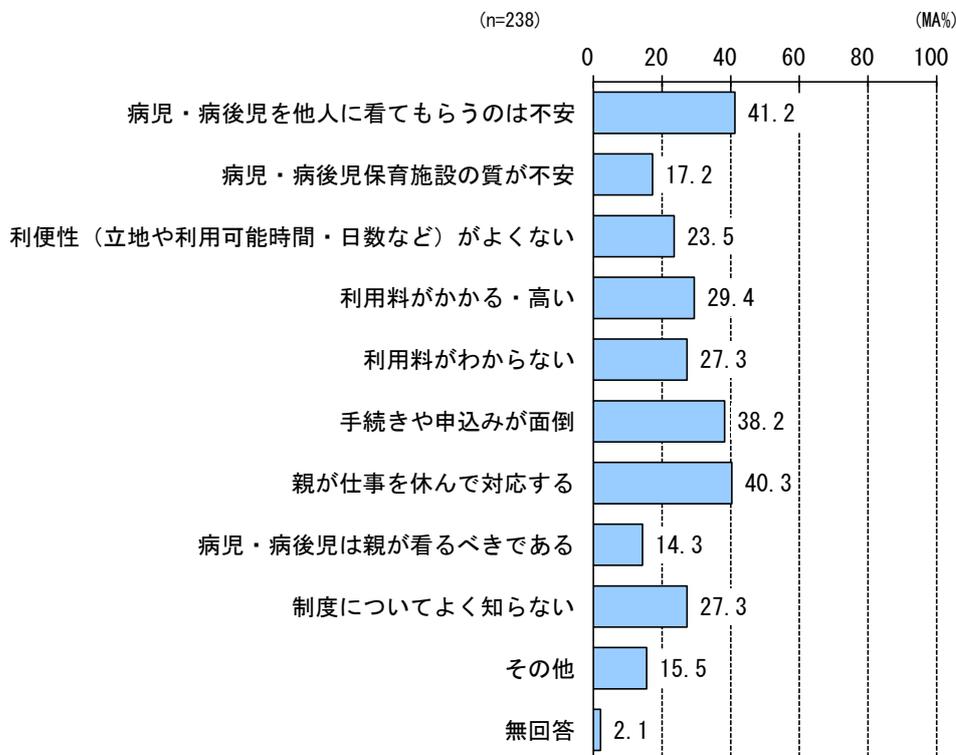
- 病児・病後児のための保育施設などへ預ける場合に望ましい事業形態について、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 89.2%で最も多く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 35.1%、「地域住民などが子育て家庭などの身近な場所で保育する事業」が 27.0%となっています。



★問4 Q2で、「利用したいとは思わなかった」に○をつけた方のみ

Q2-3 病児・病後児のための保育施設などを利用したいとは思わなかった理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

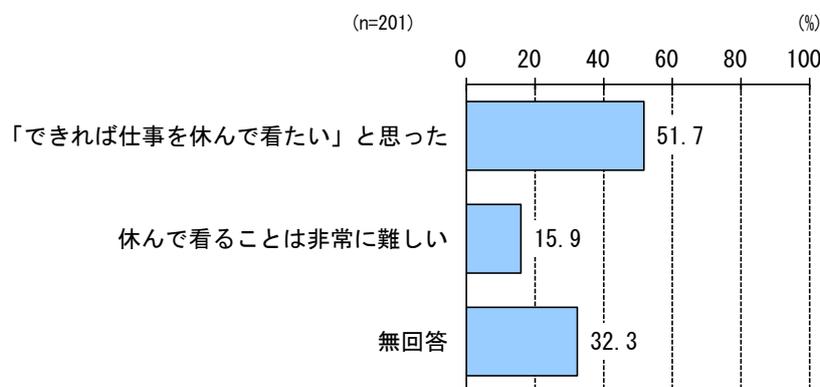
- 病児・病後児のための保育施設などを利用したいとは思わなかった理由について、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が41.2%で最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が40.3%、「手続きや申込みが面倒」が38.2%となっています。



★問4 Q1-1で、「(同居者を含む)親族、友人・知人に子どもを看てもらった」から「その他」のいずれかに○をつけた方のみ

Q3 通常の教育・保育事業が利用できなかった時に、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。(あてはまる番号1つに○)

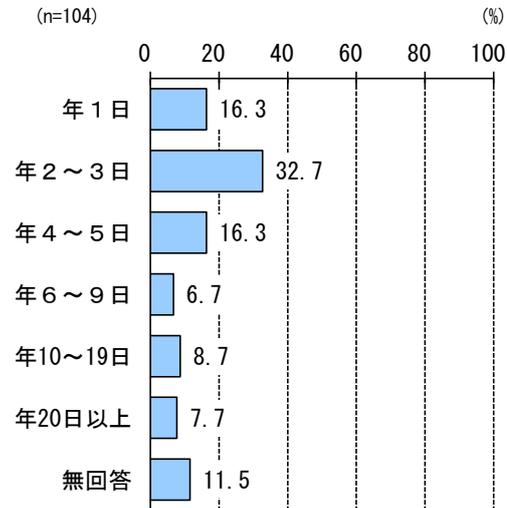
- できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかについて、「できれば仕事を休んで看たい」と思った」が51.7%、「休んで看ることは非常に難しい」が15.9%となっています。



★問4 Q3で、「できれば仕事を休んで看たい」と思った」に○をつけた方のみ

Q3-1 仕事を休んで看たいと感じた日数をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

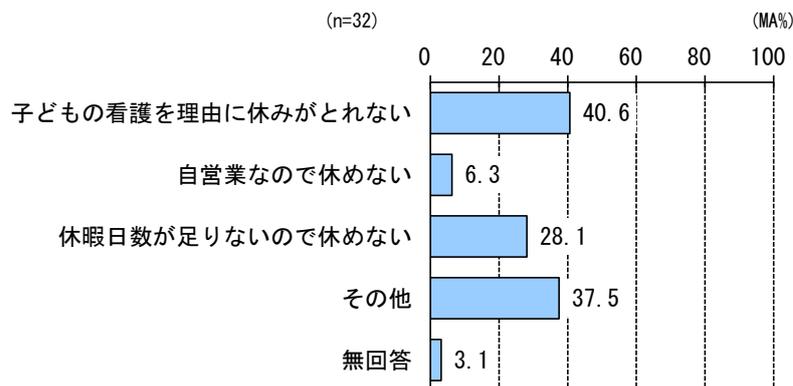
- 仕事を休んで看たいと感じた日数について、「年2～3日」が32.7%で最も多く、次いで「年1日」「年4～5日」が16.3%、「年10～19日」が8.7%となっています。



★問4 Q3で、「休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方のみ

Q3-2 休んで看ることは非常に難しいと思う理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

- 休んで看ることは非常に難しいと思う理由について、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が40.6%で最も多く、次いで「その他」が37.5%、「休假日数が足りないので休めない」が28.1%となっています。



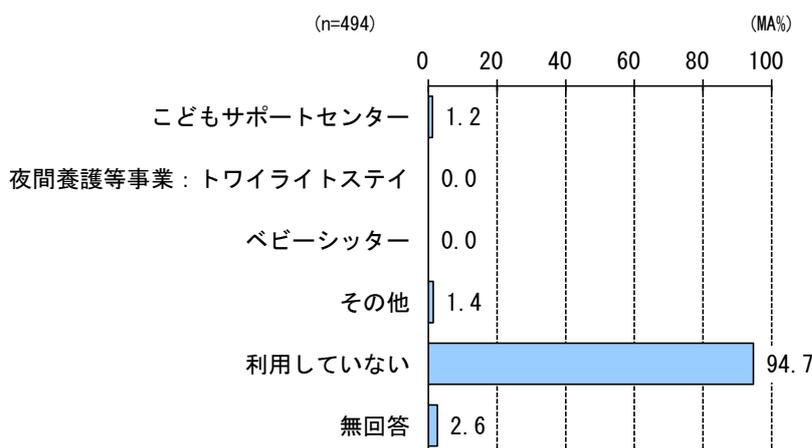
## 問5 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

ここからは、すべての方におうかがいします。

Q1 あて名のお子さんについて、この1年間で、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、①不定期に利用している教育・保育事業と、②利用している日数（年間）をすべてご記入ください。

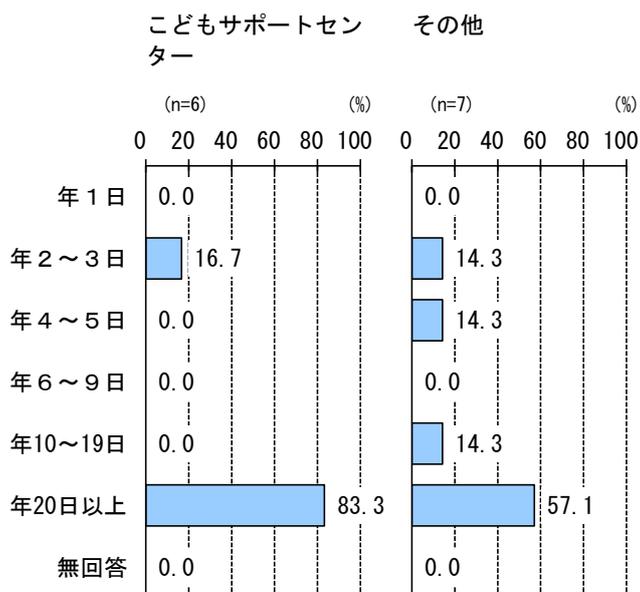
### ①不定期に利用している教育・保育事業

- 不定期に利用している教育・保育事業について、「利用していない」が94.7%で最も多く、次いで「その他」が1.4%、「こどもサポートセンター」が1.2%となっています。



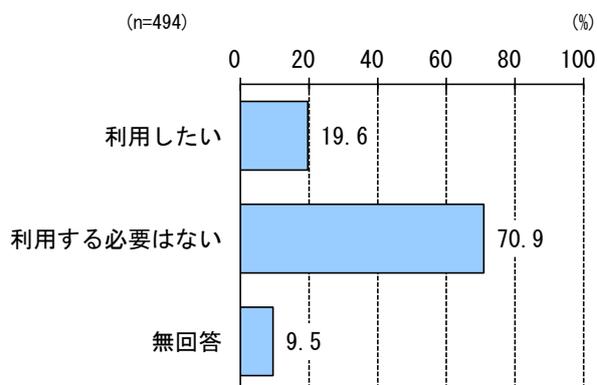
### ②利用している日数（年間）

- 「こどもサポートセンター」について、「年20日以上」が83.3%で最も多く、次いで「年2～3日」が16.7%となっています。
- 「その他」について、「年20日以上」が57.1%で最も多く、次いで「年2～3日」「年4～5日」「年10～19日」が14.3%となっています。



Q 2 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、一時的に教育・保育事業を利用したいと思いますか。（あてはまる番号1つに○）

- 一時的な教育・保育事業の利用希望について、「利用したい」が19.6%、「利用する必要はない」が70.9%となっています。

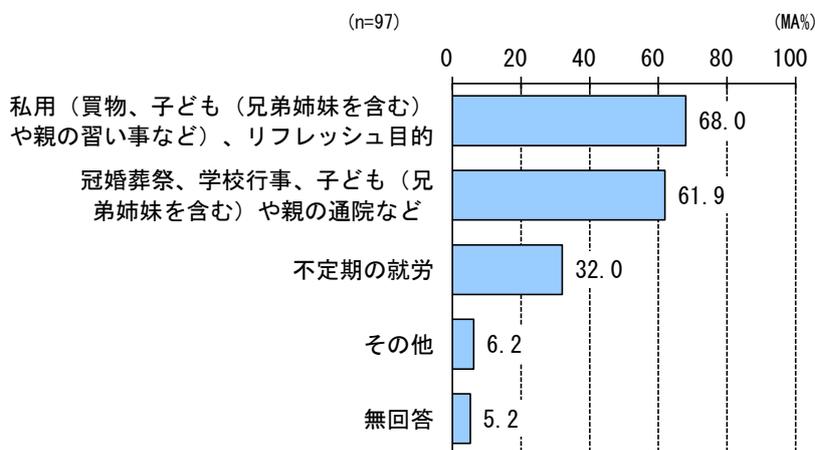


★問5 Q 2で、「利用したい」に○をつけた方のみ

Q 2-1 ①一時的に教育・保育事業を利用する目的と、②目的別に利用したい日数（年間）をすべてご記入ください。

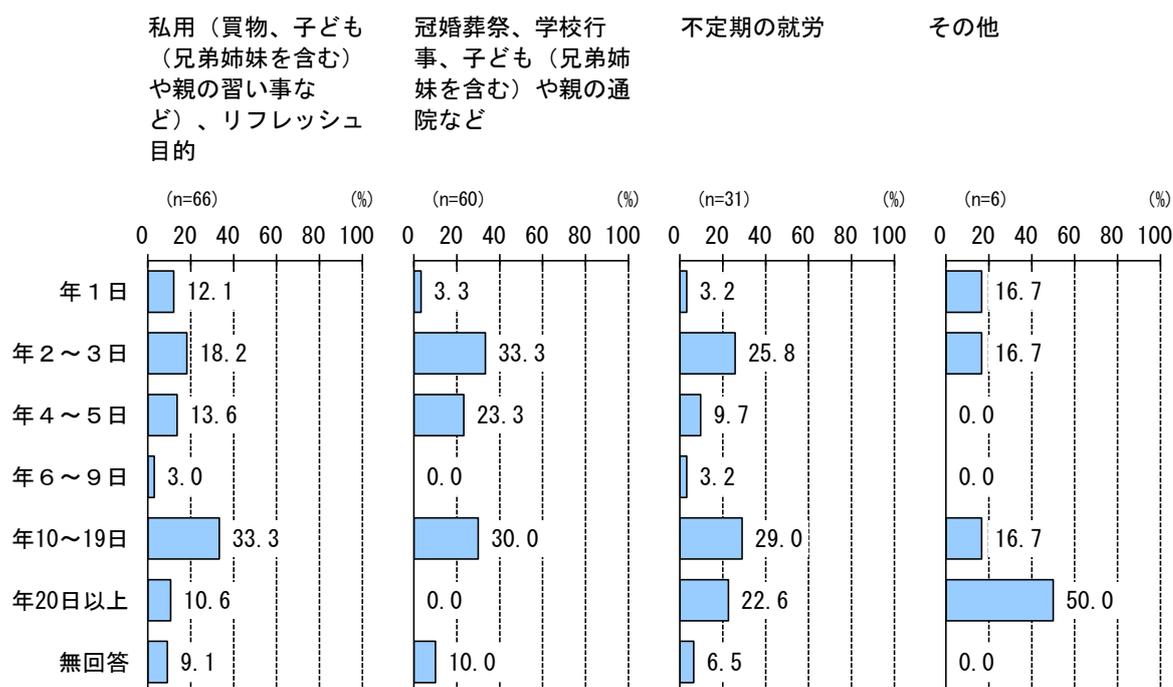
①一時的な教育・保育事業の利用目的

- 一時的な教育・保育事業の利用目的について、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」が68.0%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が61.9%、「不定期の就労」が32.0%となっています。



## ②目的別に利用したい日数（年間）

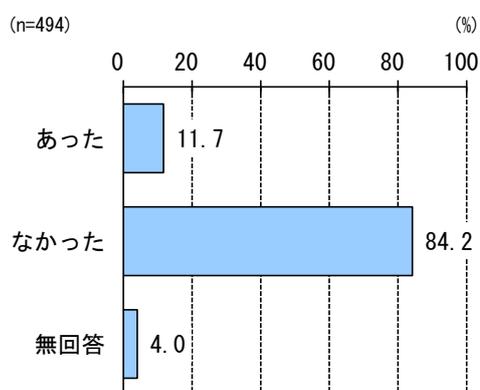
- 「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」について、「年10～19日」が33.3%で最も多く、次いで「年2～3日」が18.2%、「年4～5日」が13.6%となっています。
- 「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」について、「年2～3日」が33.3%で最も多く、次いで「年10～19日」が30.0%、「年4～5日」が23.3%となっています。
- 「不定期の就労」について、「年10～19日」が29.0%で最も多く、次いで「年2～3日」が25.8%、「年20日以上」が22.6%となっています。
- 「その他」について、「年20日以上」が50.0%で最も多く、次いで「年1日」「年2～3日」「年10～19日」が16.7%となっています。



ここからは、すべての方におうかがいします。

Q3 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことはありましたか。（あてはまる番号1つに○）

- 子どもを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことの有無について、「あった」が11.7%、「なかった」が84.2%となっています。

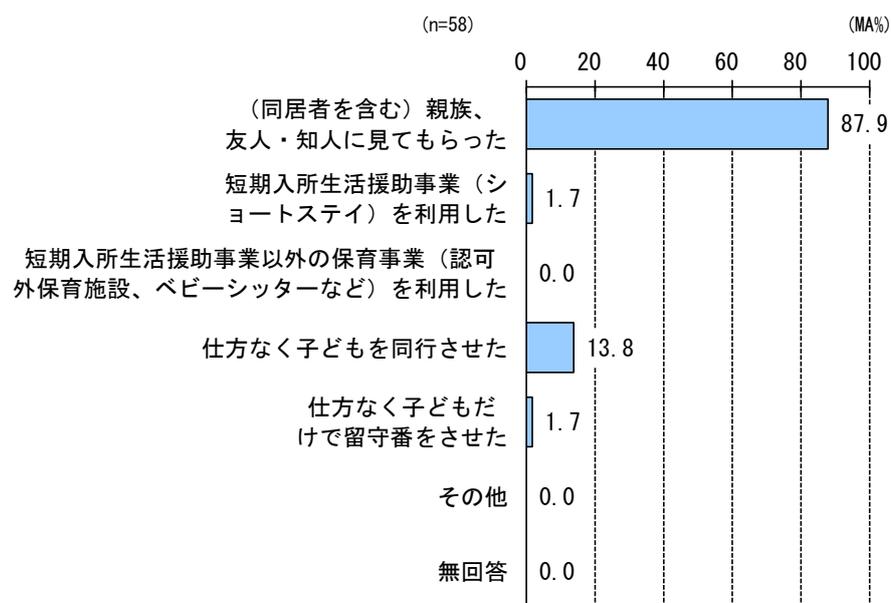


★問5 Q3で、「あった」に○をつけた方のみ

Q4 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法と、②対処した際の泊数（年間）をすべてご記入ください。

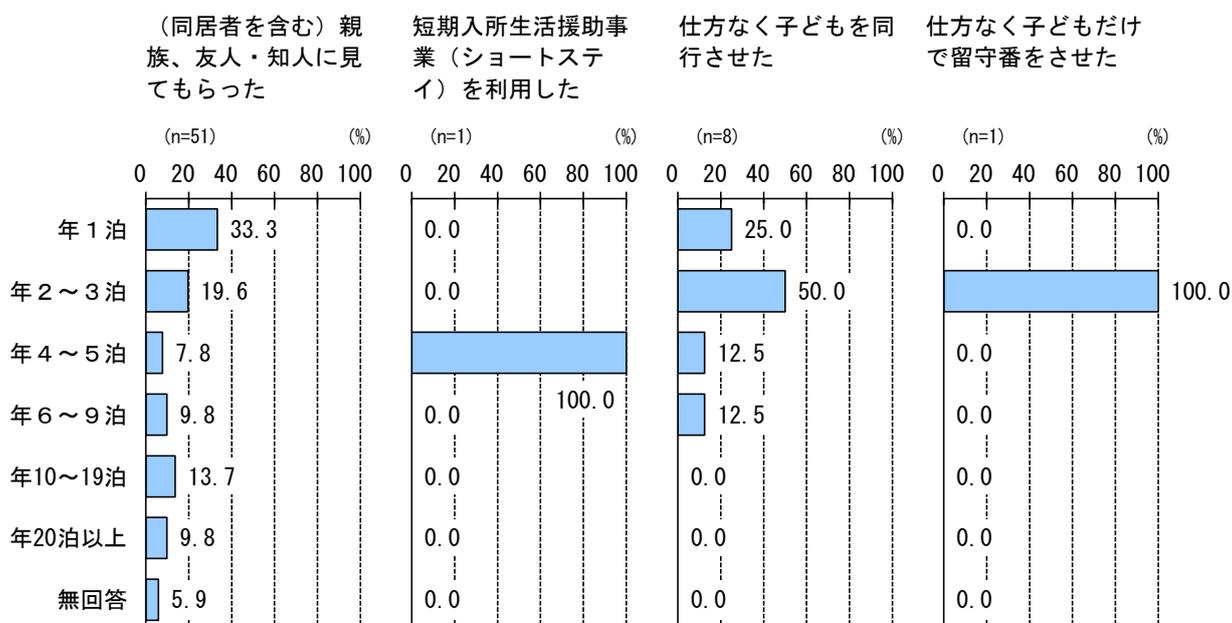
①家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法

- 家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法について、「(同居者を含む)親族、友人・知人に見てもらった」が87.9%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が13.8%、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が1.7%となっています。



## ②対処した際の泊数（年間）

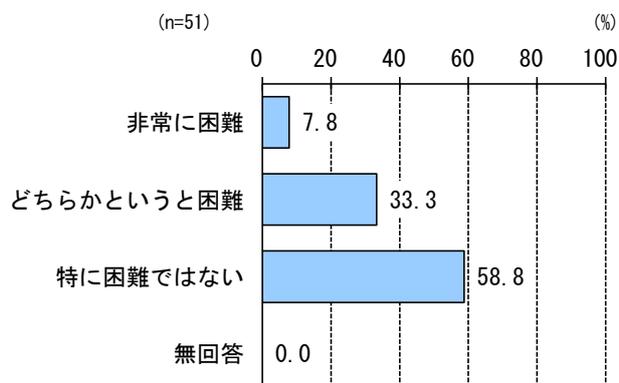
- 「(同居者を含む) 親族、友人・知人に見てもらった」について、「年1泊」が33.3%で最も多く、次いで「年2～3泊」が19.6%、「年10～19泊」が13.7%となっています。
- 「短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した」について、「年4～5泊」が100.0%で最も多くなっています。
- 「仕方なく子どもを同行させた」について、「年2～3泊」が50.0%で最も多く、次いで「年1泊」が25.0%、「年4～5泊」「年6～9泊」が12.5%となっています。
- 「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」について、「年2～3泊」が100.0%で最も多くなっています。



## ★Q4で、「(同居者を含む) 親族、友人・知人に見てもらった」に○をつけた方のみ

### Q4-1 親族、友人・知人に見てもらおう場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

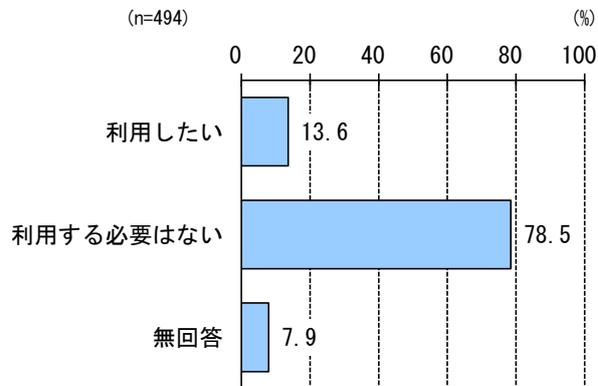
- 親族、友人・知人に見てもらおう場合の困難度について、「特に困難ではない」が58.8%で最も多く、次いで「どちらかというと困難」が33.3%、「非常に困難」が7.8%となっています。



ここからは、すべての方におうかがいします。

Q5 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらふ必要がある時に、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

- 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望について、「利用したい」が13.6%、「利用する必要はない」が78.5%となっています。

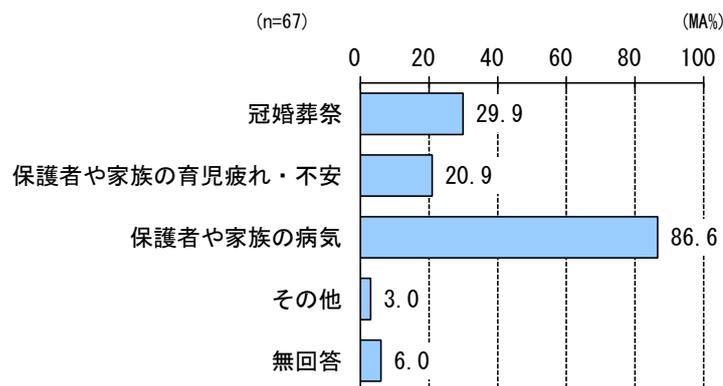


★問5 Q5で、「利用したい」に○をつけた方のみ

Q5-1 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的と、②目的別に利用したい泊数（年間）をすべてご記入ください。

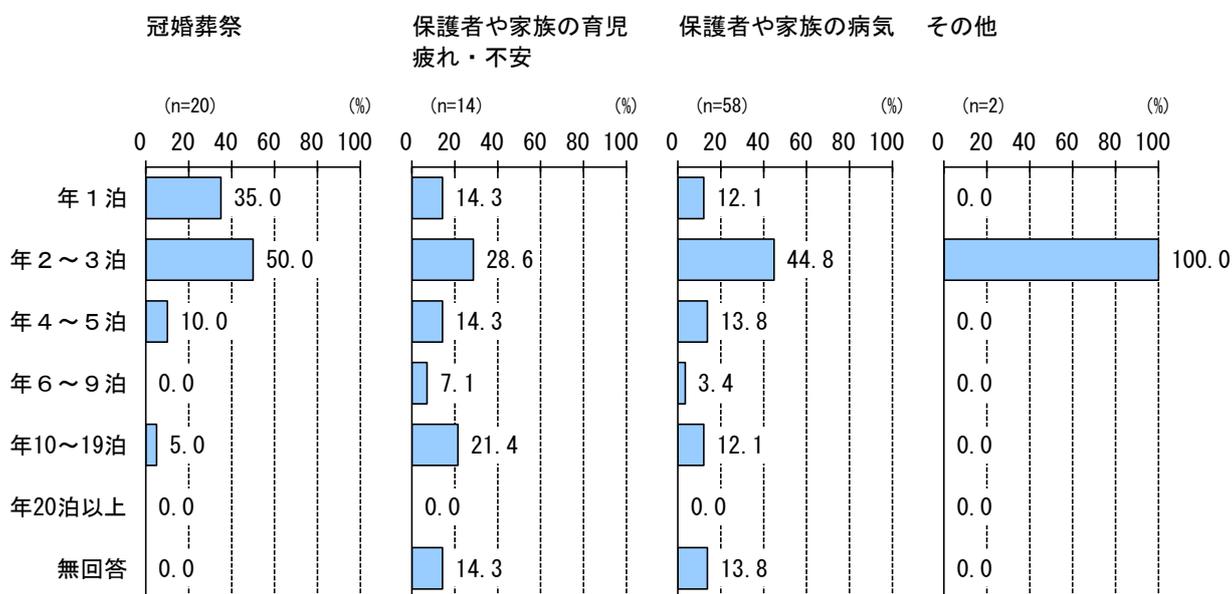
①短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的

- 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用目的について、「保護者や家族の病気」が86.6%で最も多く、次いで「冠婚葬祭」が29.9%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が20.9%となっています。



## ②目的別に利用したい泊数（年間）

- 「冠婚葬祭」について、「年2～3泊」が50.0%で最も多く、次いで「年1泊」が35.0%、「年4～5泊」が10.0%となっています。
- 「保護者や家族の育児疲れ・不安」について、「年2～3泊」が28.6%で最も多く、次いで「年10～19泊」が21.4%、「年1泊」「年4～5泊」が14.3%となっています。
- 「保護者や家族の病気」について、「年2～3泊」が44.8%で最も多く、次いで「年4～5泊」が13.8%、「年1泊」「年10～19泊」が12.1%となっています。
- 「その他」について、「年2～3泊」が100.0%で最も多くなっています。

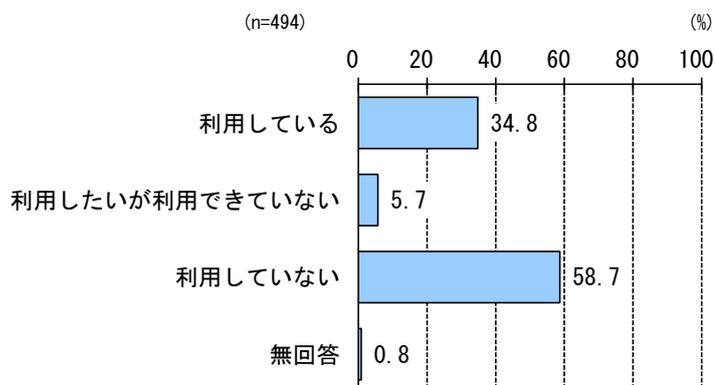


## 問6 放課後の過ごし方について

ここからは、すべての方におうかがいします。

Q1 あて名のお子さんは、学童保育所を利用していますか。（あてはまる番号1つに○）

- 学童保育所の利用状況について、「利用していない」が58.7%で最も多く、次いで「利用している」が34.8%、「利用したいが利用できていない」が5.7%となっています。

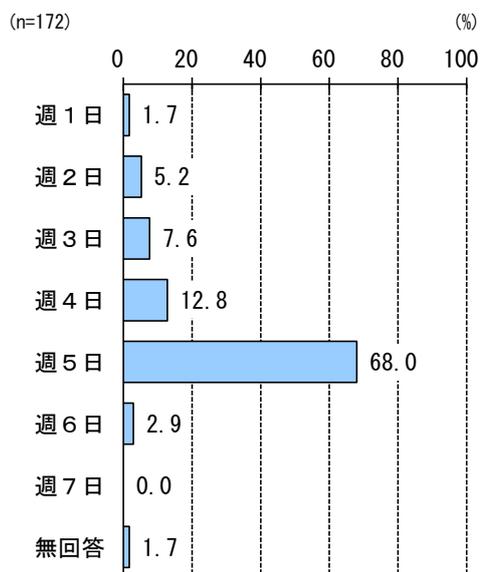


★問6 Q1で、「利用している」に○をつけた方のみ

Q1-1 学童保育所の利用日数と利用する時間帯をすべてご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

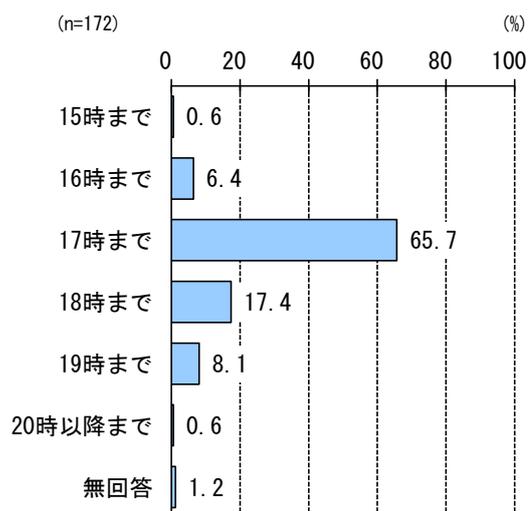
①学童保育所の利用日数

○ 学童保育所の利用日数について、「週5日」が68.0%で最も多く、次いで「週4日」が12.8%、「週3日」が7.6%となっています。



②学童保育所の利用時間帯

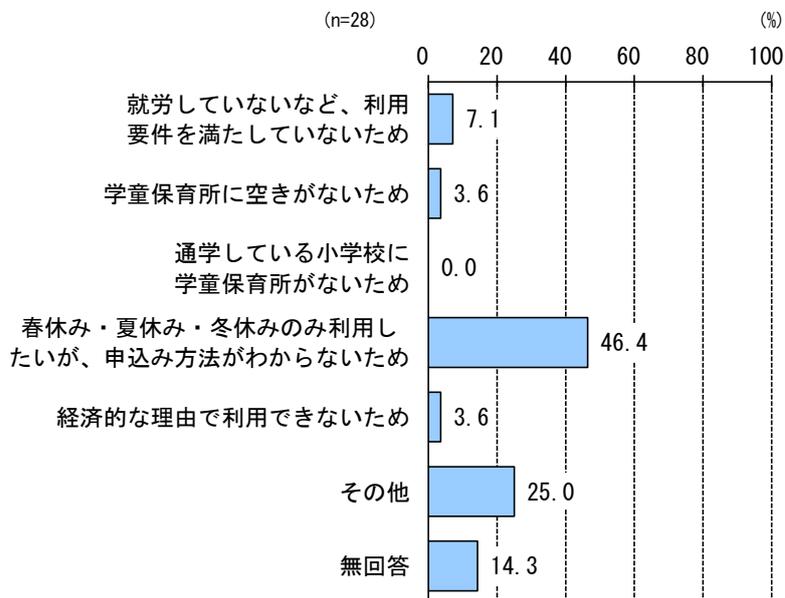
○ 学童保育所の利用時間帯について、「17時まで」が65.7%で最も多く、次いで「18時まで」が17.4%、「19時まで」が8.1%となっています。



★問6 Q1で、「利用したいが利用できていない」に○をつけた方のみ

Q1-2 学童保育所を利用できていない理由をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

- 学童保育所を利用できていない理由について、「春休み・夏休み・冬休みのみ利用したいが、申込み方法がわからないため」が46.4%で最も多く、次いで「その他」が25.0%、「就労していないなど、利用要件を満たしていないため」が7.1%となっています。

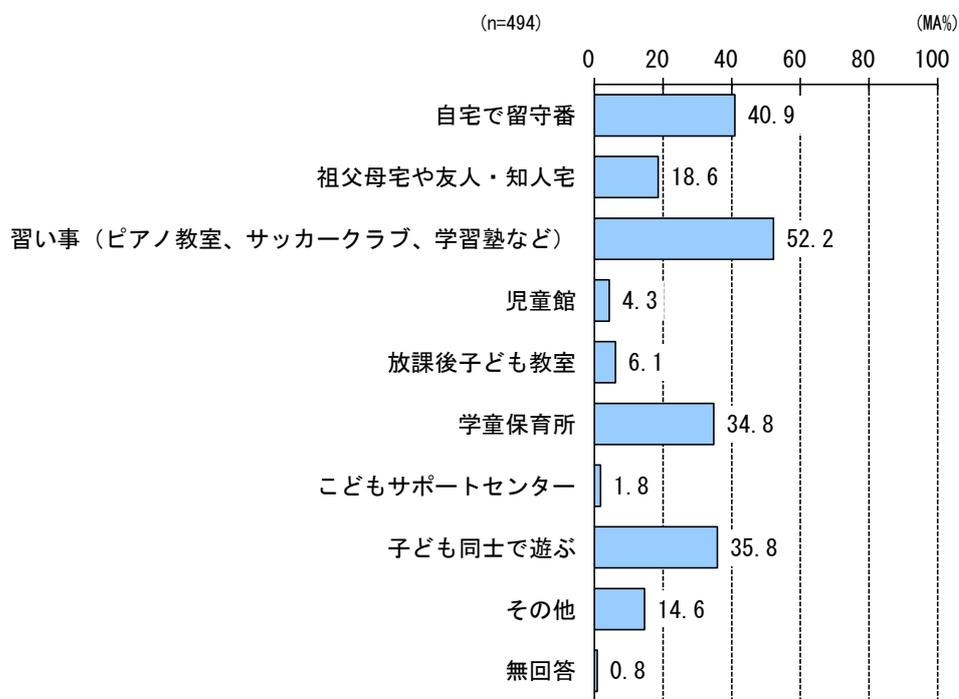


ここからは、すべての方におうかがいします。

Q2 あて名のお子さんについて、①放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方と、②それぞれの過ごし方の日数（週あたり）をすべてご記入ください。

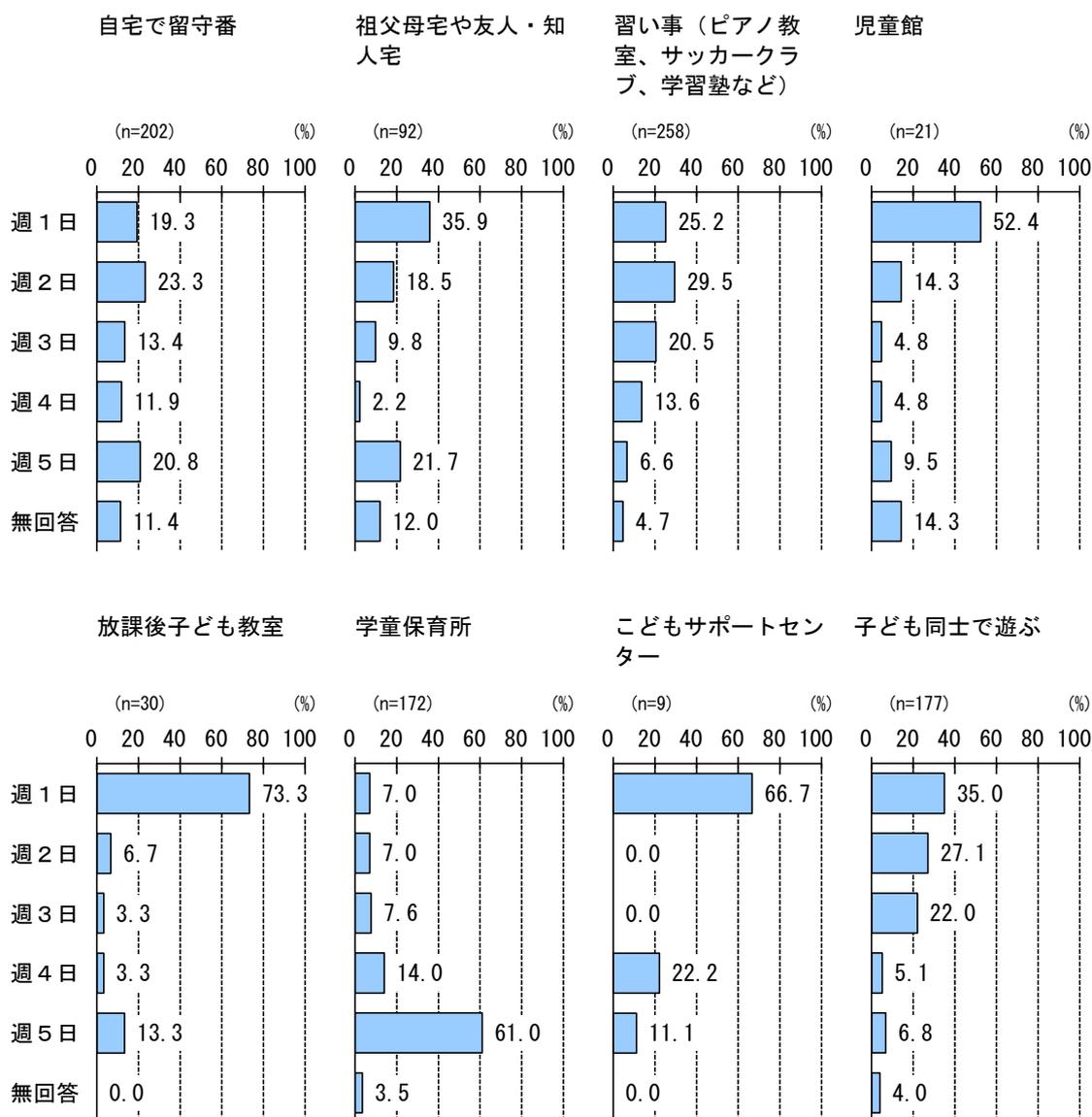
### ①放課後の過ごし方

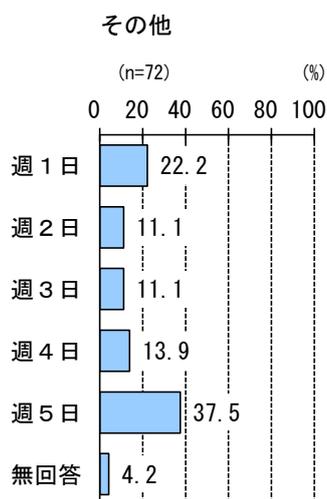
- 放課後の過ごし方について、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 52.2%で最も多く、次いで「自宅で留守番」が 40.9%、「子ども同士で遊ぶ」が 35.8%となっています。



## ②それぞれの過ごし方の日数（週あたり）

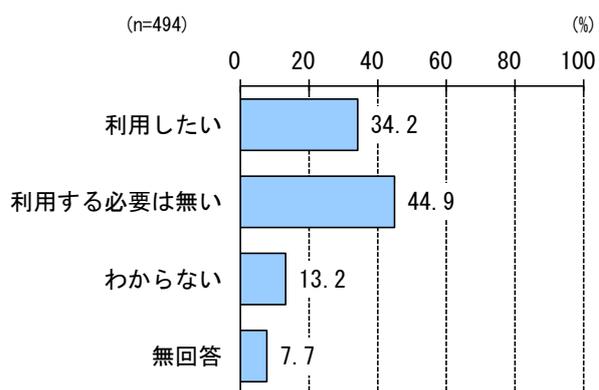
- 「自宅で留守番」について、「週2日」が23.3%で最も多く、次いで「週5日」が20.8%、「週1日」が19.3%となっています。
- 「父母宅や友人・知人宅」について、「週1日」が35.9%で最も多く、次いで「週5日」が21.7%、「週2日」が18.5%となっています。
- 「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」について、「週2日」が29.5%で最も多く、次いで「週1日」が25.2%、「週3日」が20.5%となっています。
- 「児童館」について、「週1日」が52.4%で最も多く、次いで「週2日」が14.3%、「週5日」が9.5%となっています。
- 「放課後子ども教室」について、「週1日」が73.3%で最も多く、次いで「週5日」が13.3%、「週2日」が6.7%となっています。
- 「学童保育所」について、「週5日」が61.0%で最も多く、次いで「週4日」が14.0%、「週3日」が7.6%となっています。
- 「こどもサポートセンター」について、「週1日」が66.7%で最も多く、次いで「週4日」が22.2%、「週5日」が11.1%となっています。
- 「子ども同士で遊ぶ」について、「週1日」が35.0%で最も多く、次いで「週2日」が27.1%、「週3日」が22.0%となっています。
- 「その他」について、「週5日」が37.5%で最も多く、次いで「週1日」が22.2%、「週4日」が13.9%となっています。





Q3 あて名のお子さんについて、今後、学童保育所を利用したいですか。(あてはまる番号1つに○)

- 学童保育所の利用希望について、「利用する必要は無い」が44.9%で最も多く、次いで「利用したい」が34.2%、「わからない」が13.2%となっています。

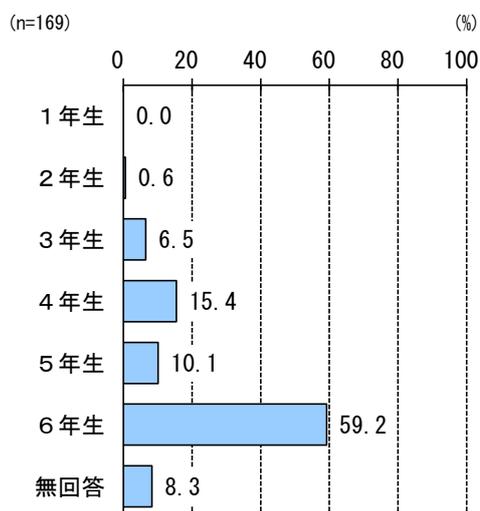


★問6 Q3で、「利用したい」に○をつけた方のみ

Q3-1 学童保育所を何年生まで利用したいですか。また、学童保育所の利用希望日数と利用したい時間帯をすべてご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入）

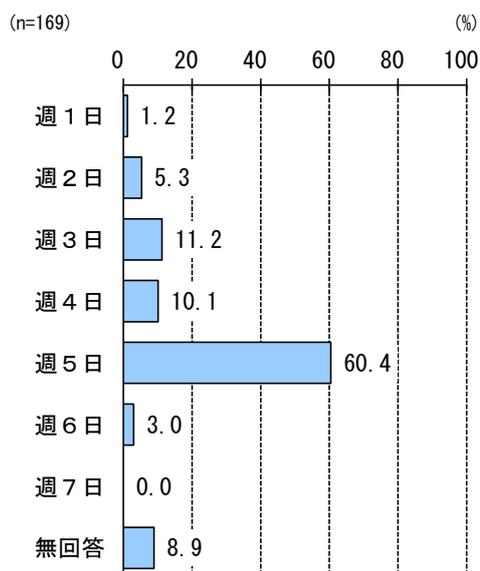
①何年生まで利用したいか

○ 何年生まで利用したいかについて、「6年生」が59.2%で最も多く、次いで「4年生」が15.4%、「5年生」が10.1%となっています。



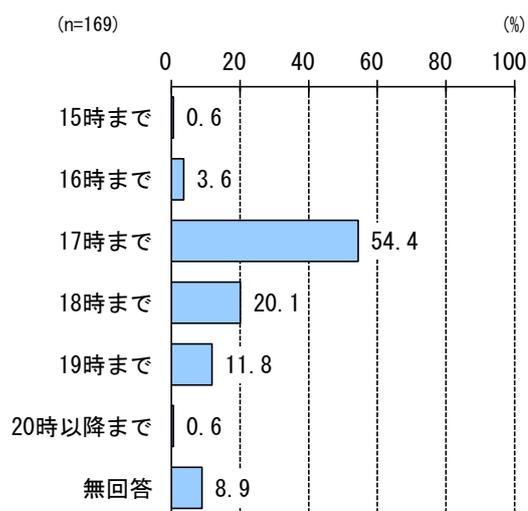
②学童保育所の利用希望日数

○ 学童保育所の利用希望日数について、「週5日」が60.4%で最も多く、次いで「週3日」が11.2%、「週4日」が10.1%となっています。



### ③学童保育所の利用希望時間帯

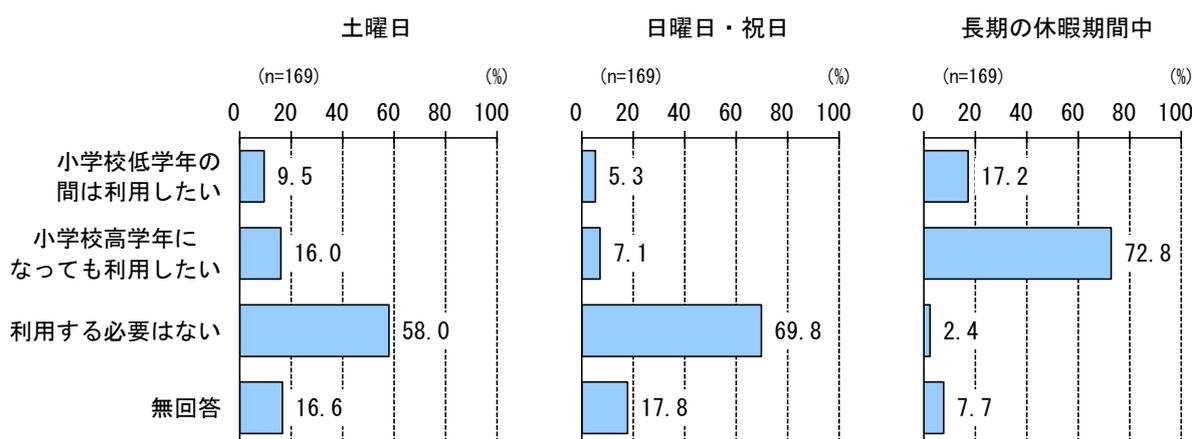
- 学童保育所の利用希望時間帯について、「17時まで」が54.4%で最も多く、次いで「18時まで」が20.1%、「19時まで」が11.8%となっています。



### ★問6 Q3で、「利用したい」に○をつけた方のみ

Q4 あて名のお子さんについて、(1)土曜日、(2)日曜日・祝日、(3)夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、学童保育所を利用したいですか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

- 休日の学童保育所の利用意向について、土曜日では「利用する必要はない」が58.0%で最も多く、次いで「小学校高学年になっても利用したい」が16.0%、「小学校低学年の間は利用したい」が9.5%となっています。
- 日曜日・祝日では「利用する必要はない」が69.8%で最も多く、次いで「小学校高学年になっても利用したい」が7.1%、「小学校低学年の間は利用したい」が5.3%となっています。
- 長期の休暇期間中では「小学校高学年になっても利用したい」が72.8%で最も多く、次いで「小学校低学年の間は利用したい」が17.2%、「利用する必要はない」が2.4%となっています。

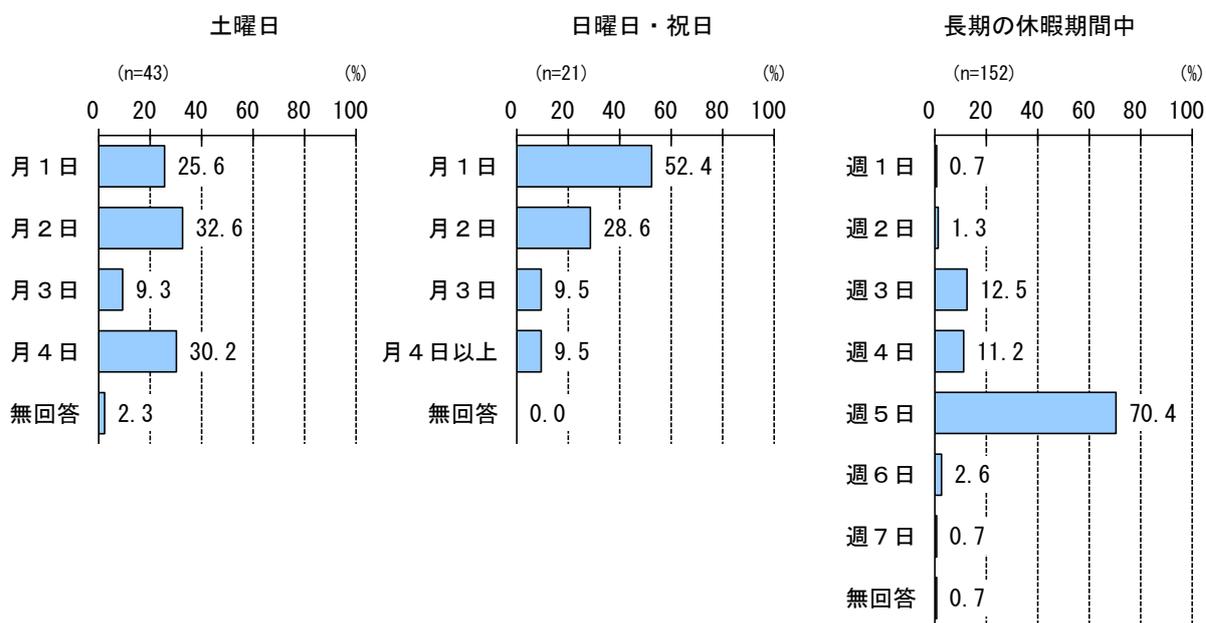


★問6 Q4で、「小学校低学年の間は利用したい」または「小学校高学年になっても利用したい」に○をつけた方のみ

Q4-1 (1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日、(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、学童保育所を利用したい時間帯をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

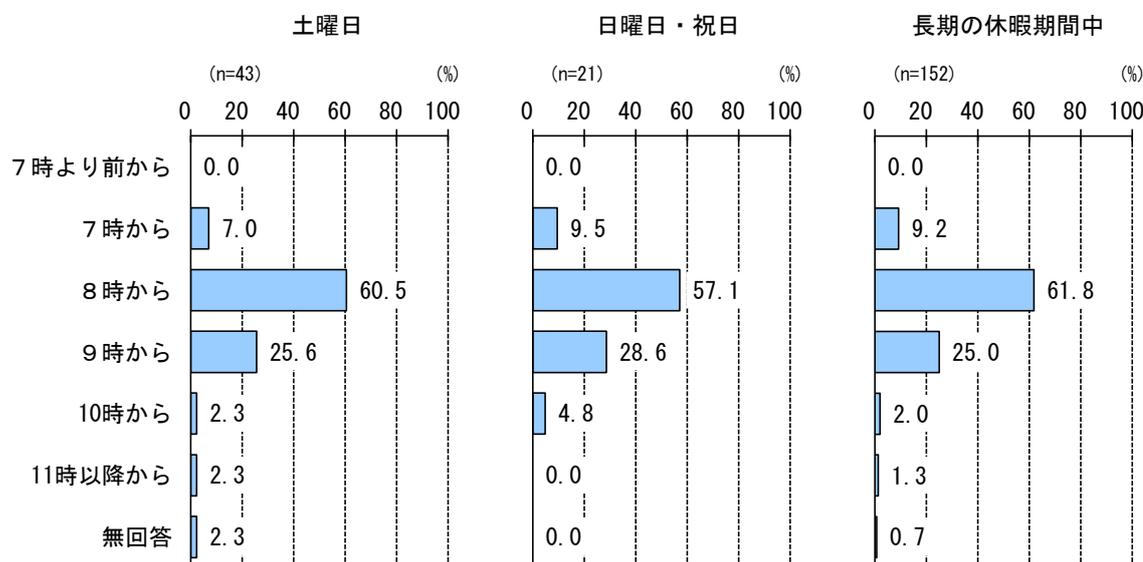
① 休日の学童保育所の利用希望日数

- 休日の学童保育所の利用希望日数について、土曜日では「月2日」が32.6%で最も多く、次いで「月4日」が30.2%、「月1日」が25.6%となっています。
- 日曜日・祝日では「月1日」が52.4%で最も多く、次いで「月2日」が28.6%、「月3日」「月4日以上」が9.5%となっています。
- 長期の休暇期間中では「週5日」が70.4%で最も多く、次いで「週3日」が12.5%、「週4日」が11.2%となっています。



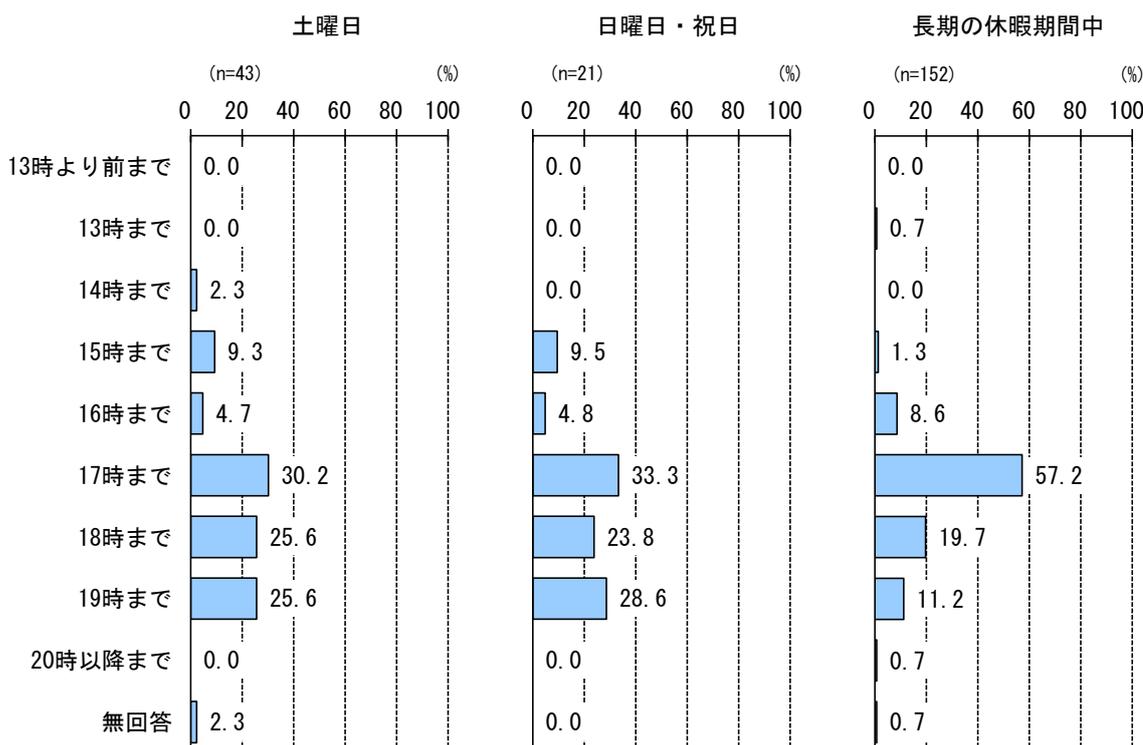
## ②休日の学童保育所の希望開始時間

- 休日の学童保育所の希望開始時間について、土曜日では「8時から」が60.5%で最も多く、次いで「9時から」が25.6%、「7時から」が7.0%となっています。
- 日曜日・祝日では「8時から」が57.1%で最も多く、次いで「9時から」が28.6%、「7時から」が9.5%となっています。
- 長期の休暇期間中では「8時から」が61.8%で最も多く、次いで「9時から」が25.0%、「7時から」が9.2%となっています。



## ③休日の学童保育所の希望終了時間

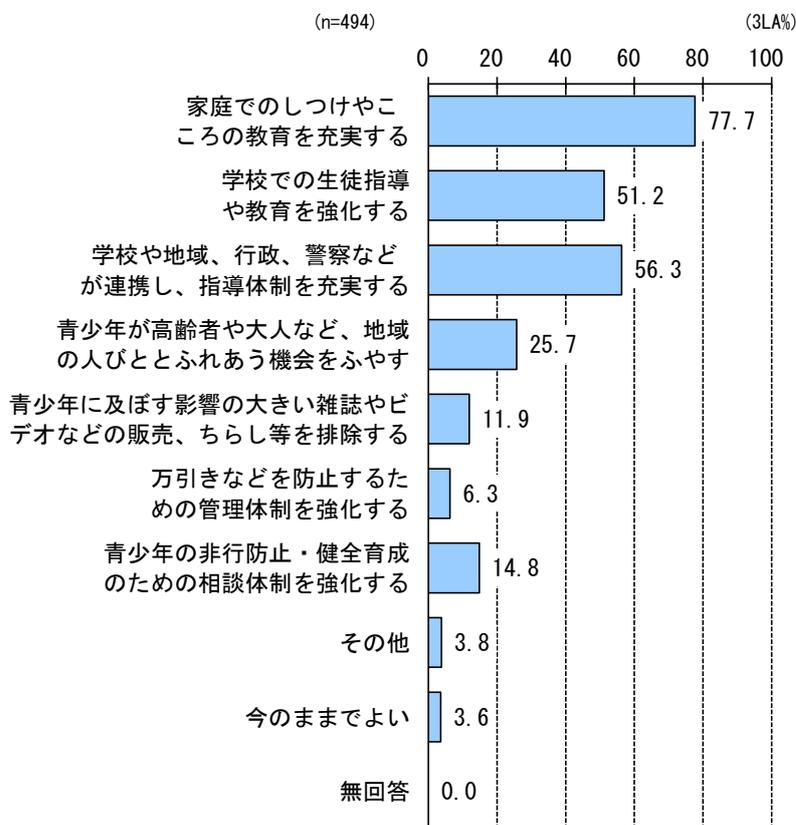
- 休日の学童保育所の希望終了時間について、土曜日では「17時まで」が30.2%で最も多く、次いで「18時まで」「19時まで」が25.6%、「15時まで」が9.3%となっています。
- 日曜日・祝日では「17時まで」が33.3%で最も多く、次いで「19時まで」が28.6%、「18時まで」が23.8%となっています。
- 長期の休暇期間中では「17時まで」が57.2%で最も多く、次いで「18時まで」が19.7%、「19時まで」が11.2%となっています。



## 問7 お子さんの安全について

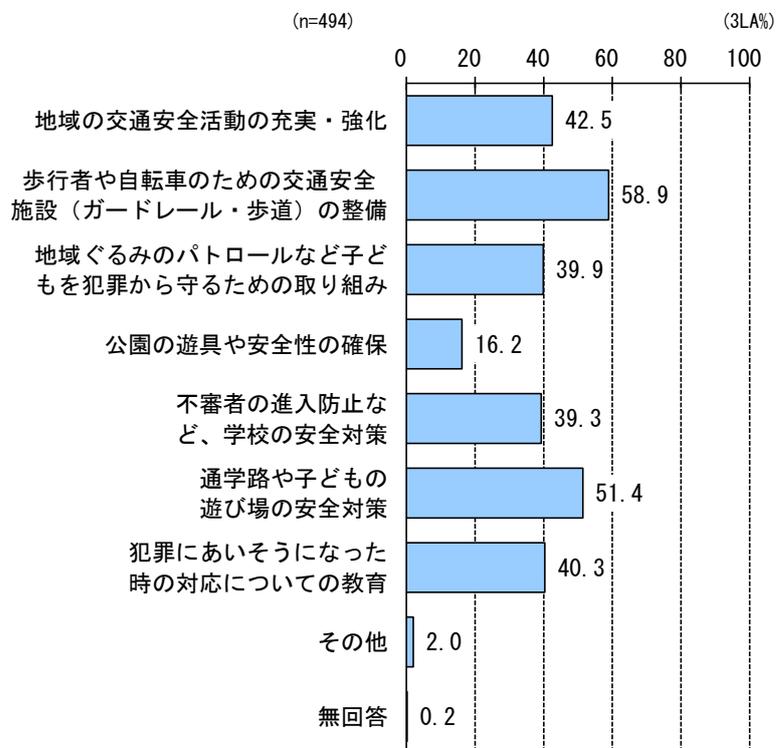
Q1 子どもの健全育成や非行防止のために、どのようなことに力をいれるべきだと思いますか。(あてはまる番号3つまでに○)

- 子どもの健全育成や非行防止のために力をいれるべきことについて、「家庭でのしつけやこころの教育を充実する」が77.7%で最も多く、次いで「学校や地域、行政、警察などが連携し、指導体制を充実する」が56.3%、「学校での生徒指導や教育を強化する」が51.2%となっています。



Q2 子どもの安全を守るために、特に重要と思われることは次のうちどれですか。(あてはまる番号3つまでに○)

- 子どもの安全を守るために特に重要と思われることについて、「歩行者や自転車のための交通安全施設（ガードレール・歩道）の整備」が58.9%で最も多く、次いで「通学路や子どもの遊び場の安全対策」が51.4%、「地域の交通安全活動の充実・強化」が42.5%となっています。

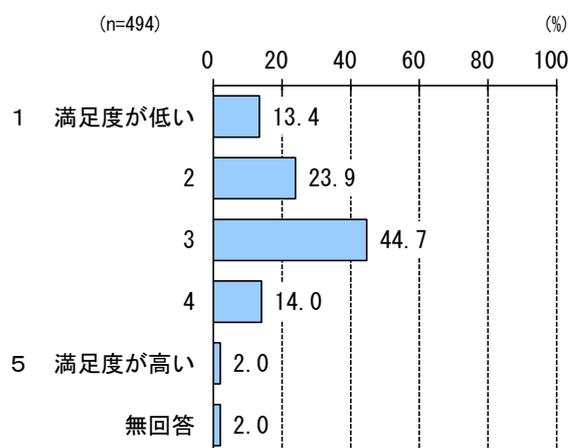


### 問8 子育てについて

ここからは、すべての方におうかがいします。

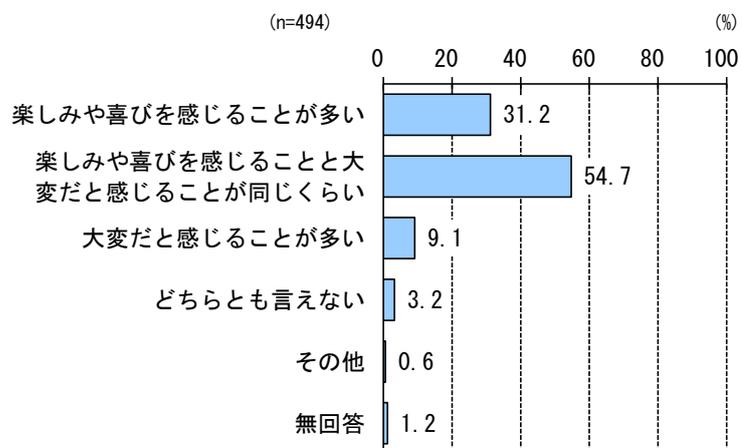
Q1 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

- 地域における子育ての環境や支援への満足度について、「3」が44.7%で最も多く、次いで「2」が23.9%、「4」が14.0%となっています。



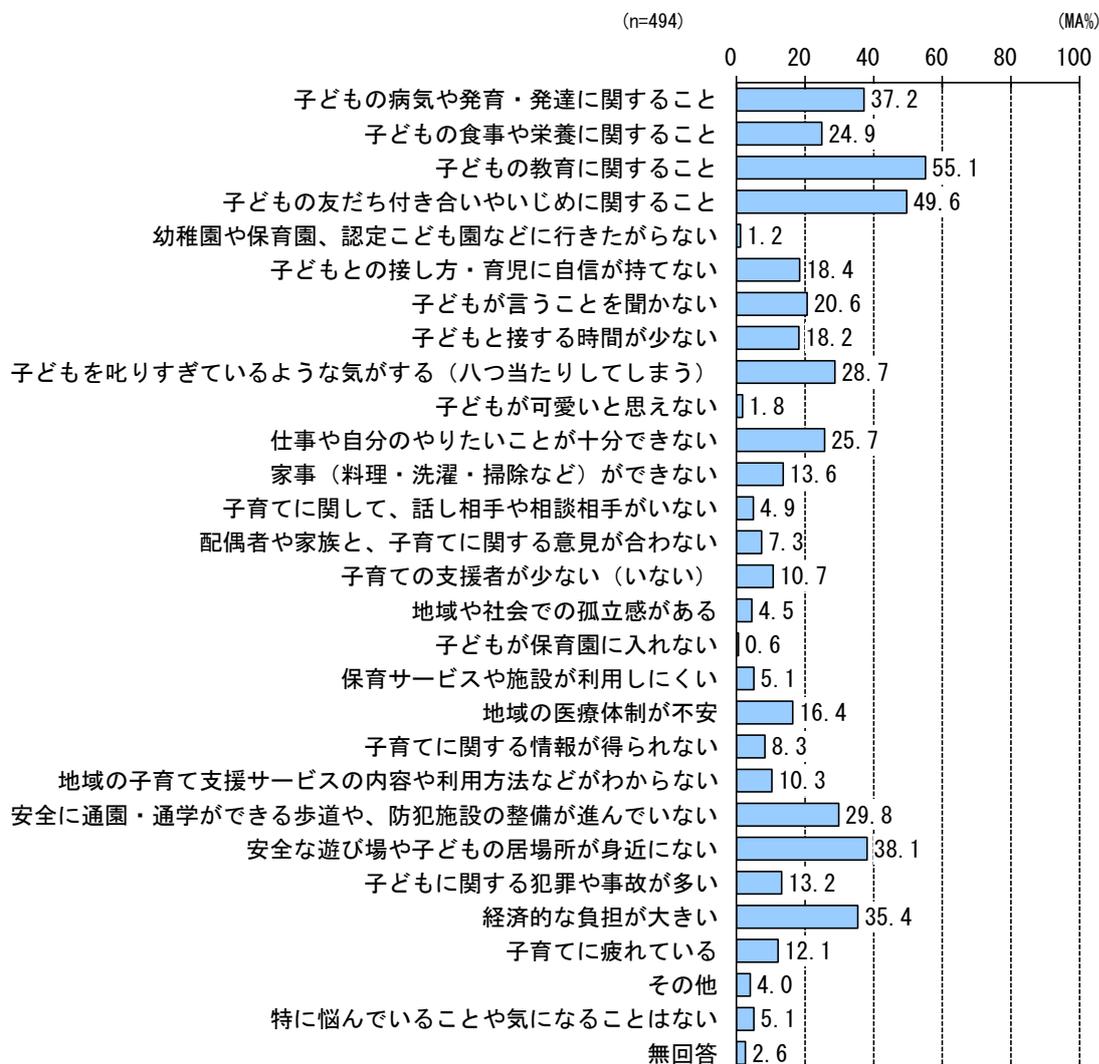
## Q2 子育てについて、どのように感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

- 子育てについてどのように感じているかについて、「楽しみや喜びを感じることも大変だと感じることも同じくらい」が54.7%で最も多く、次いで「楽しみや喜びを感じることが多い」が31.2%、「大変だと感じるが多い」が9.1%となっています。



Q3 子育てに関して、日頃悩んでいることや不安なこと、気になることをご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

- 子育てに関して、日頃悩んでいることや不安なこと、気になることについて、「子どもの教育に関すること」が 55.1%で最も多く、次いで「子どもの友だち付き合いやいじめに関すること」が 49.6%、「安全な遊び場や子どもの居場所が身近にない」が 38.1%となっています。

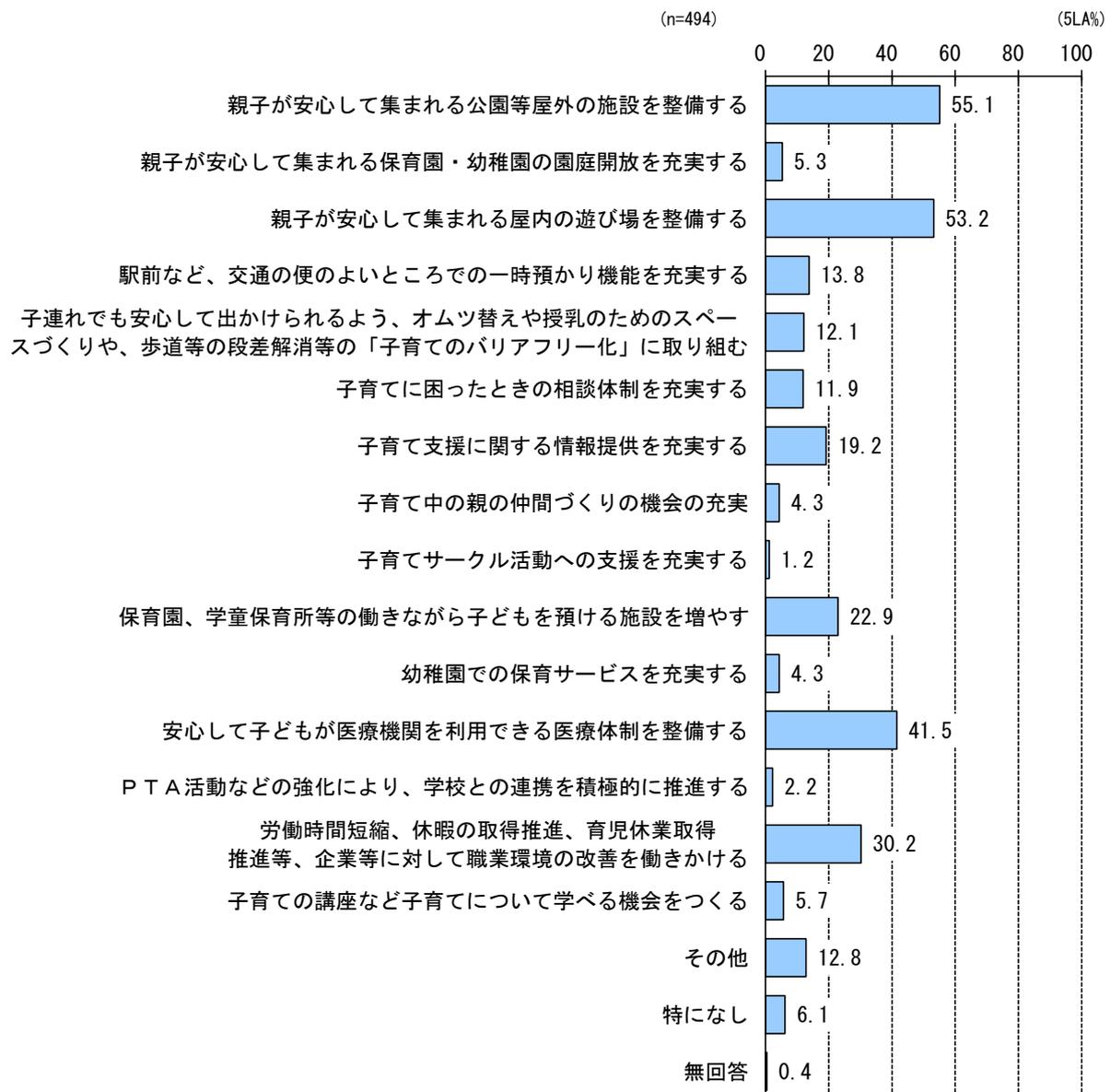


## 問9 大和郡山市での子育てや子育て支援サービスについて

ここからは、すべての方におうかがいします。

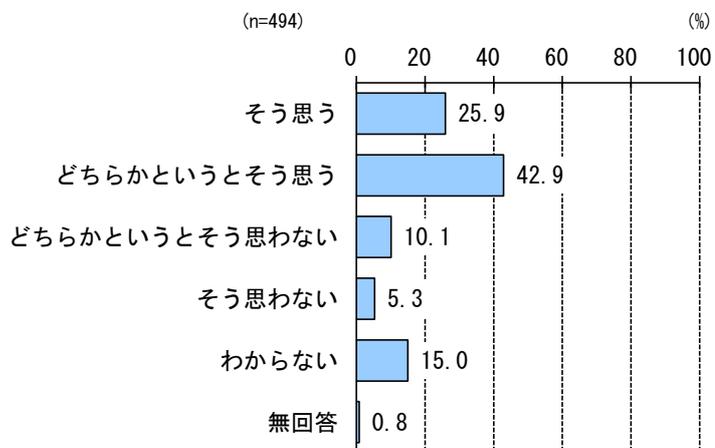
Q1 大和郡山市に対して、どのような子育て支援策の充実を図って欲しいと期待しますか。(あてはまる番号5つまでに○)

- 充実を図って欲しい子育て支援策について、「親子が安心して集まれる公園等屋外の施設を整備する」が55.1%で最も多く、次いで「親子が安心して集まれる屋内の遊び場を整備する」が53.2%、「安心して子どもが医療機関を利用できる医療体制を整備する」が41.5%となっています。



Q2 あなたは、これからもお子さんに大和郡山市で育ててほしいと思いますか。(あてはまる番号1つに○) また、その理由をお聞かせください。

- これからも子どもに大和郡山市で育ててほしいと思うかについて、「どちらかというと思う」が42.9%で最も多く、次いで「そう思う」が25.9%、「わからない」が15.0%となっています。

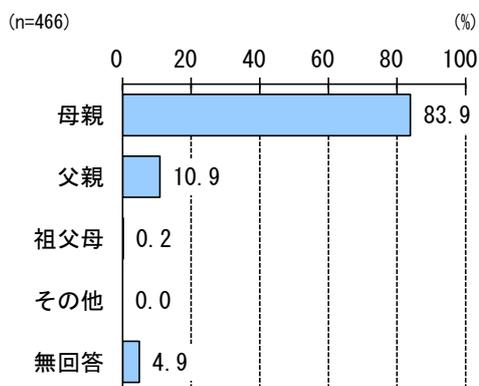


## 4. 子どもの生活調査（保護者調査）の結果

### 問1 家族の状況等について

Q1 お子さんとあなたの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（あてはまる番号1つに○）

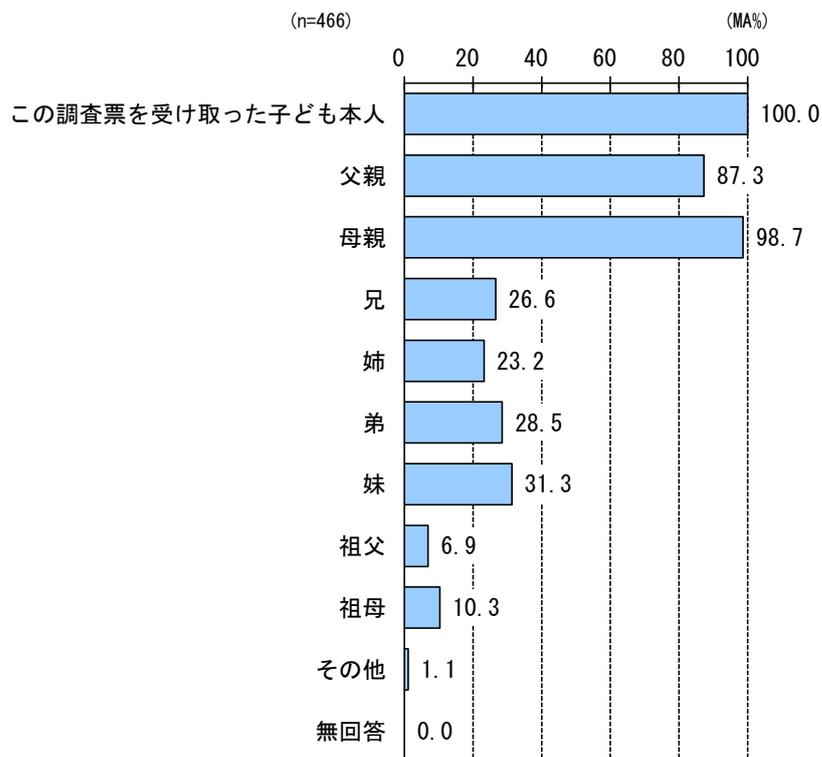
- 子どもと回答者の関係について、「母親」が83.9%で最も多く、次いで「父親」が10.9%、「祖父母」が0.2%となっています。



Q2 あなたの家の世帯員（生計を同一にしている家族）について、あてはまる番号すべてに○をしてください。（選択肢はお子さんからみた続柄です。）また、「兄」～「その他」は人数も記載してください。

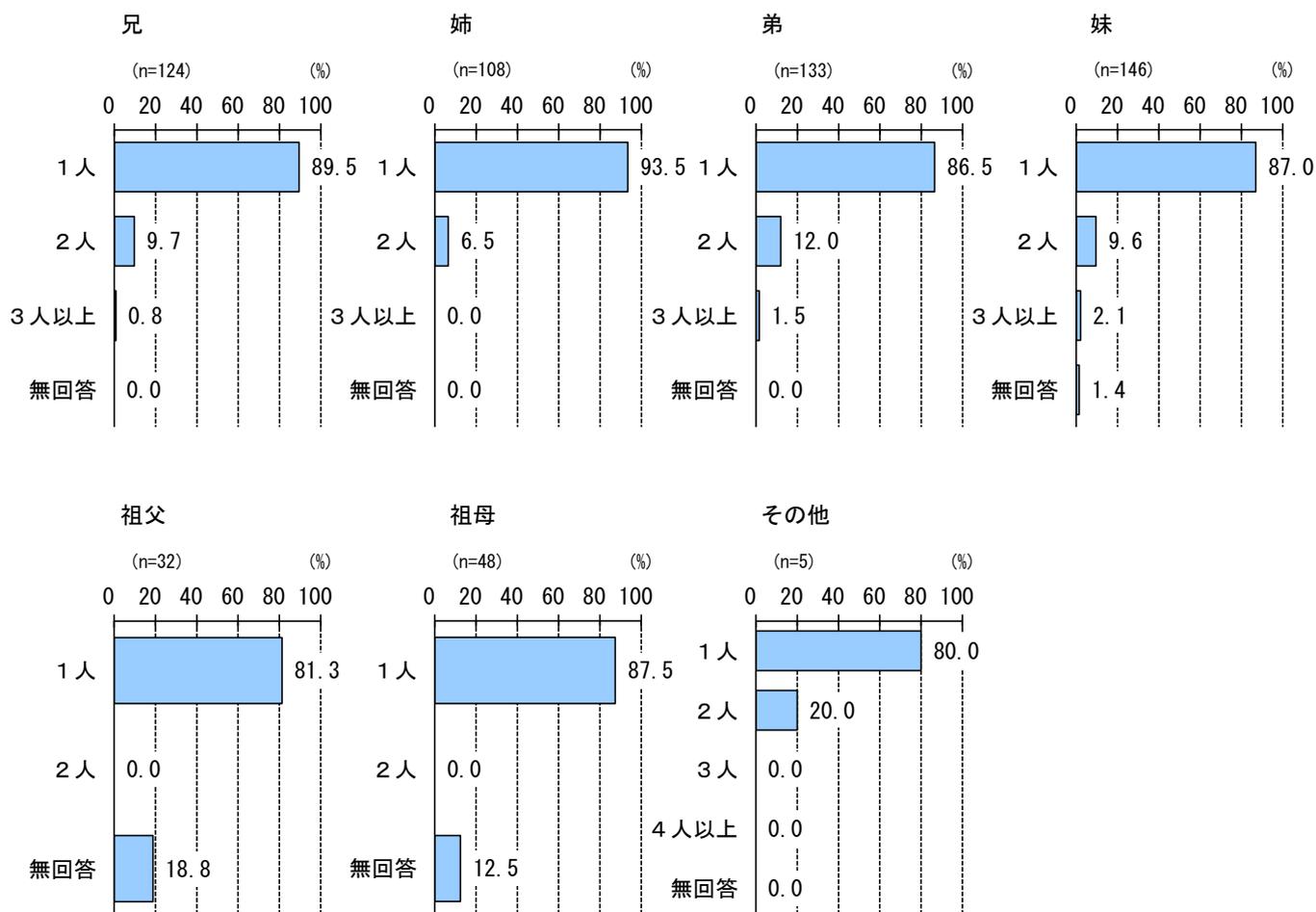
#### ①世帯員

- 世帯の構成について、「この調査票を受け取った子ども本人」が100.0%で最も多く、次いで「母親」が98.7%、「父親」が87.3%となっています。



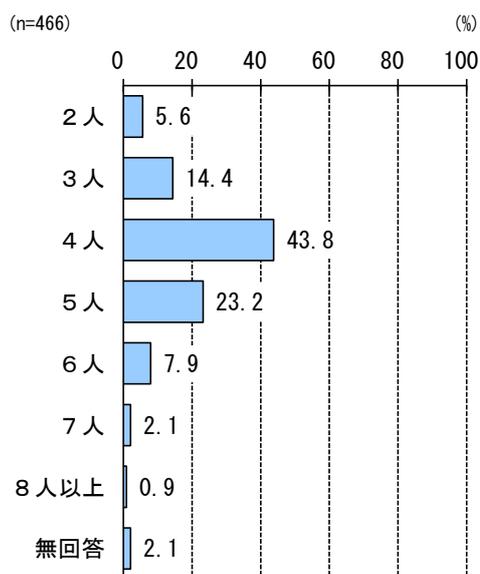
## ②世帯員の人数

- 「兄」について、「1人」が89.5%で最も多く、次いで「2人」が9.7%、「3人以上」が0.8%となっています。
- 「姉」について、「1人」が93.5%で最も多く、次いで「2人」が6.5%となっています。
- 「弟」について、「1人」が86.5%で最も多く、次いで「2人」が12.0%、「3人以上」が1.5%となっています。
- 「妹」について、「1人」が87.0%で最も多く、次いで「2人」が9.6%、「3人以上」が2.1%となっています。
- 「祖父」について、「1人」が81.3%となっています。
- 「祖母」について、「1人」が87.5%となっています。
- 「その他」について、「1人」が80.0%で最も多く、次いで「2人」が20.0%となっています。



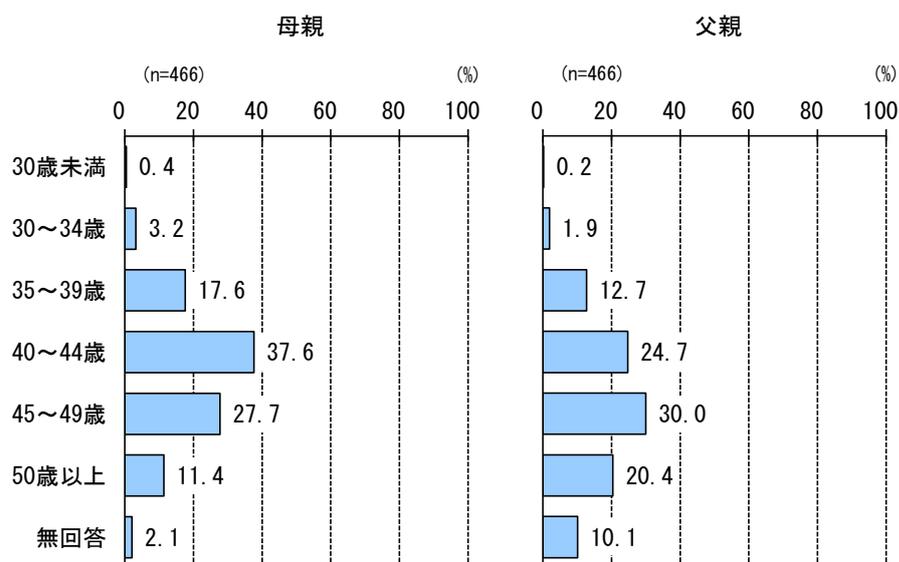
### ③世帯員の合計人数

- 世帯員の合計人数について、「4人」が43.8%で最も多く、次いで「5人」が23.2%、「3人」が14.4%となっています。



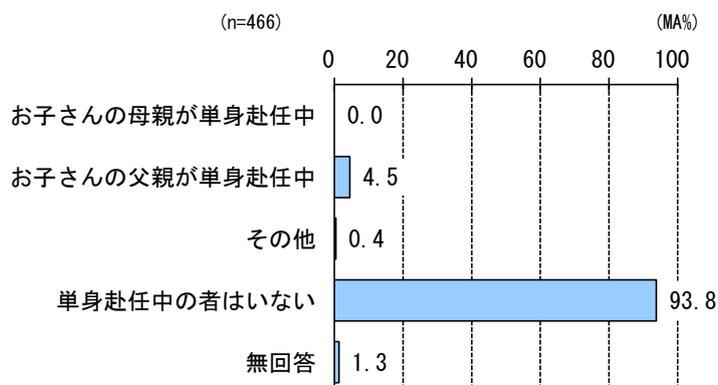
### Q3 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。(母親、父親それぞれについて数字で回答。いない・不明の場合は「-」と記入)

- 子どもの親の年齢について、母親では「40～44歳」が37.6%で最も多く、次いで「45～49歳」が27.7%、「35～39歳」が17.6%となっています。
- 父親では「45～49歳」が30.0%で最も多く、次いで「40～44歳」が24.7%、「50歳以上」が20.4%となっています。



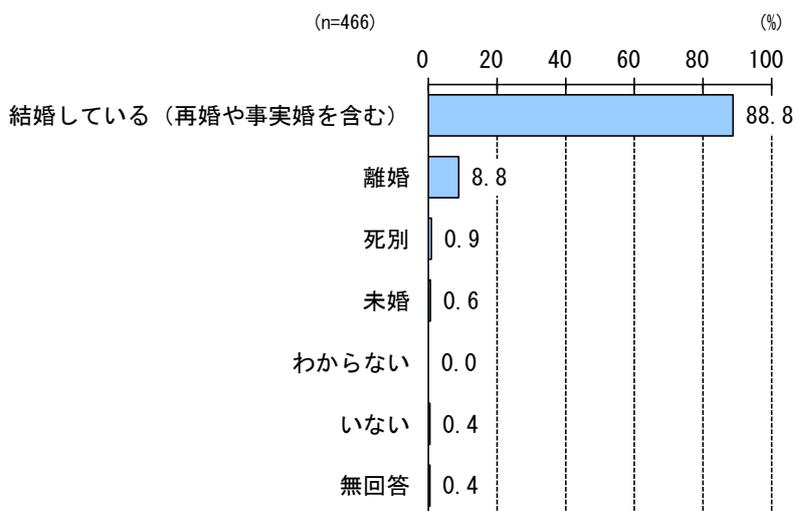
Q 4 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。（「お子さんの母親が単身赴任中」～「その他」については、あてはまる番号すべてに○）

- 単身赴任中の家族の有無について、「単身赴任中の者はいない」が 93.8%で最も多く、次いで「お子さんの父親が単身赴任中」が 4.5%、「その他」が 0.4%となっています。



Q 5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。（あてはまる番号 1 つに○）

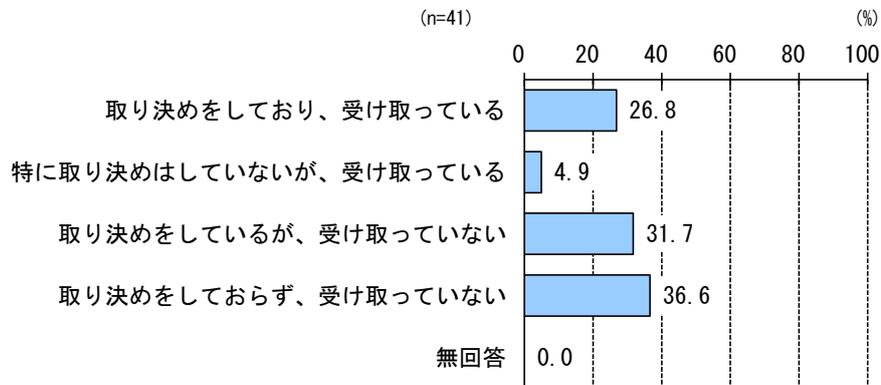
- 保護者の婚姻状況について、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が 88.8%で最も多く、次いで「離婚」が 8.8%、「死別」が 0.9%となっています。



★Q5で、「離婚」に○をつけた方のみ

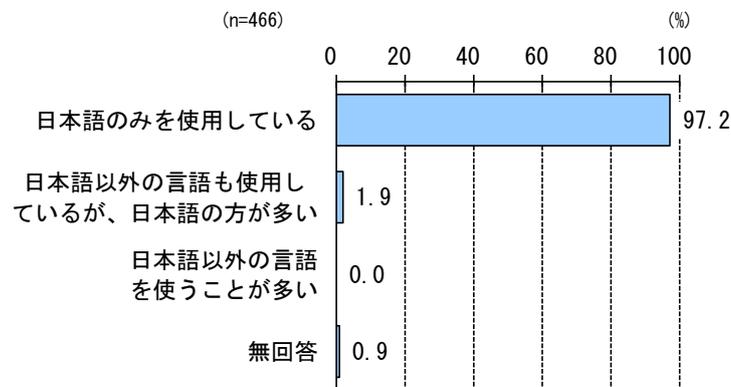
Q5-1 離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまる番号1つに○)

- 離婚した保護者の養育費の取り決め、受取状況について、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が36.6%で最も多く、次いで「取り決めをしているが、受け取っていない」が31.7%、「取り決めをしており、受け取っている」が26.8%となっています。



Q6 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまる番号1つに○)

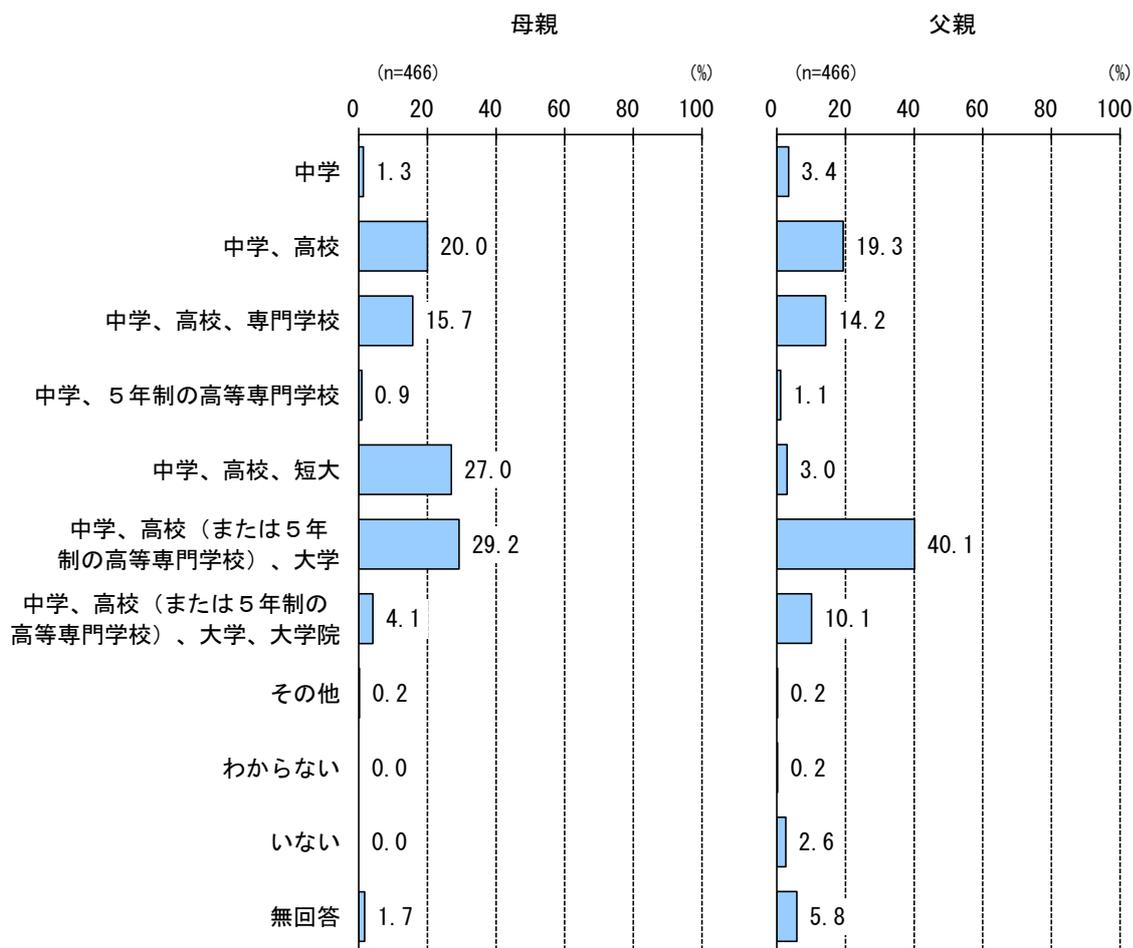
- 家庭で使用している言語について、「日本語のみを使用している」が97.2%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が1.9%となっています。



## 問2 子どもの親の就学・就労状況について

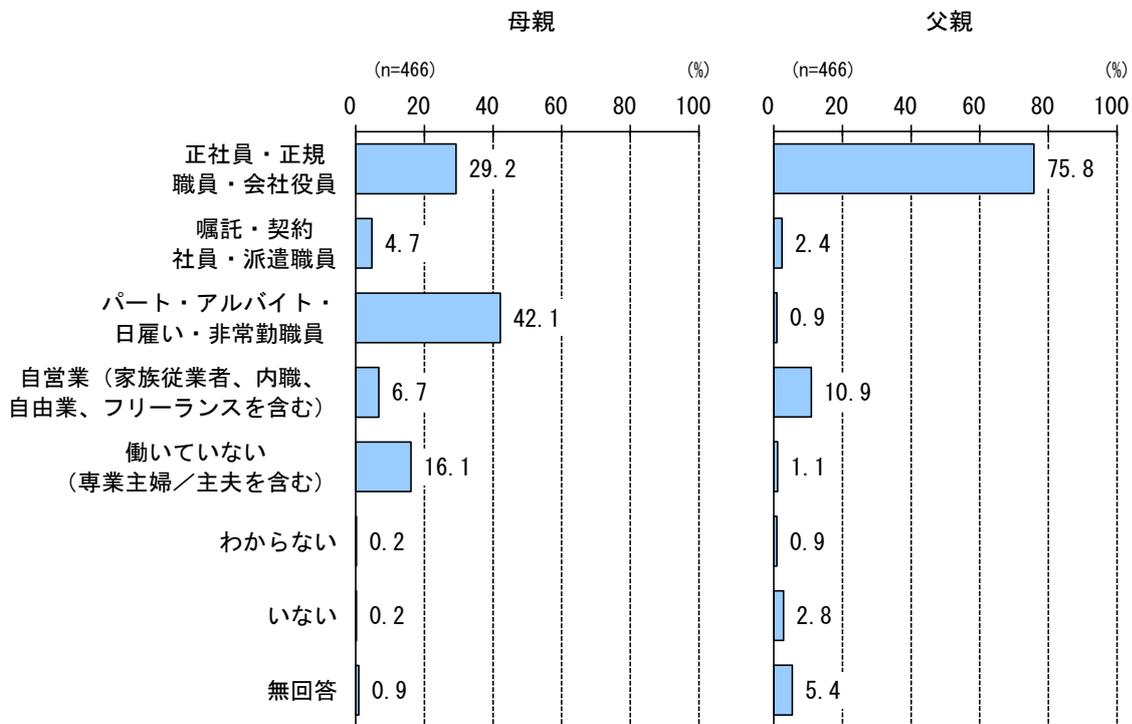
Q1 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。(a, bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

- 保護者の学歴について、母親では「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が29.2%で最も多く、次いで「中学、高校、短大」が27.0%、「中学、高校」が20.0%となっています。
- 父親では「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が40.1%で最も多く、次いで「中学、高校」が19.3%、「中学、高校、専門学校」が14.2%となっています。



Q2 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものをお答えください。(a, bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

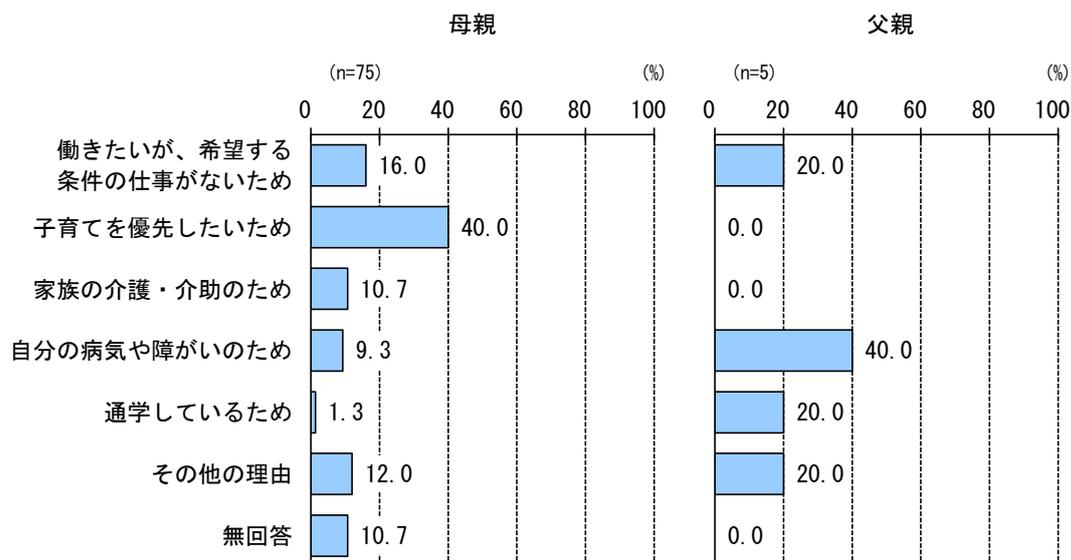
- 保護者の就労状況について、母親では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が42.1%で最も多く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が29.2%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」が16.1%となっています。
- 父親では「正社員・正規職員・会社役員」が75.8%で最も多く、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）」が10.9%、「いない」が2.8%となっています。



★Q2で、「働いていない」に○をつけた方のみ

Q2-1 働いていない最も主な理由を教えてください。(a, bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

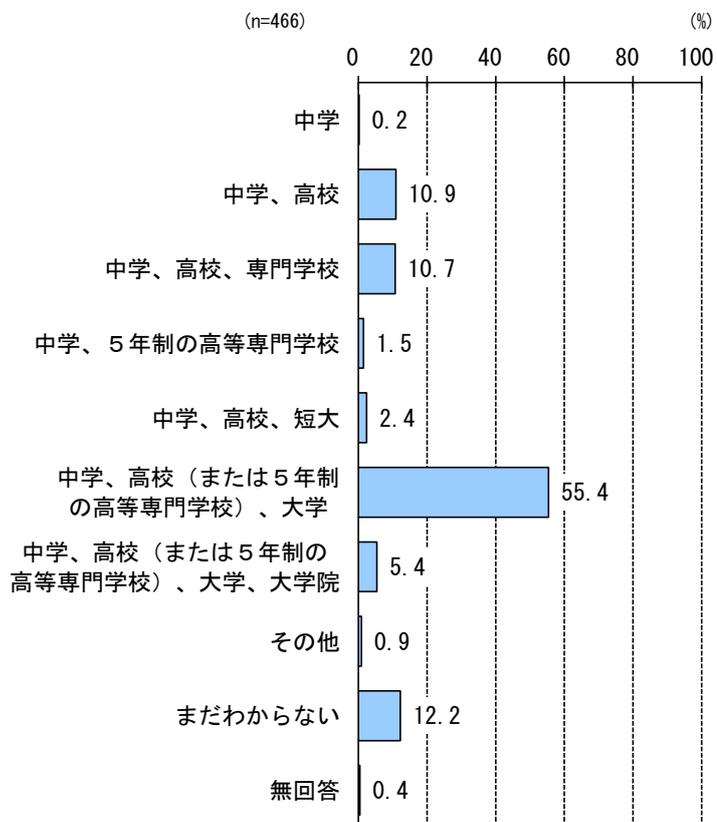
- 保護者が働いていない理由について、母親では「子育てを優先したいため」が40.0%で最も多く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が16.0%、「その他の理由」が12.0%となっています。
- 父親では「自分の病気や障がいのため」が40.0%で最も多く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」「通学しているため」「その他の理由」が20.0%となっています。



### 問3 子どもの進路について

Q1 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(あてはまる番号1つに○)

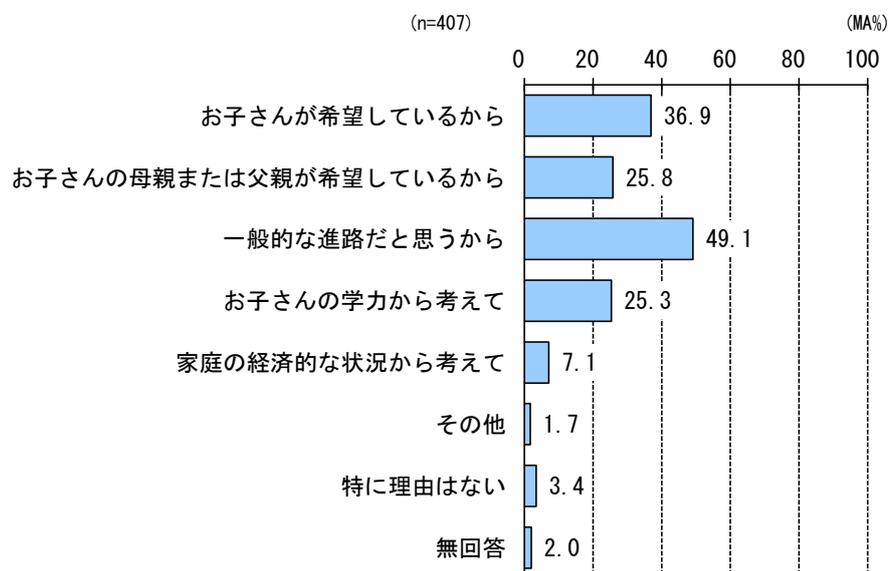
- 子どもの進学の見通しについて、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が55.4%で最も多く、次いで「まだわからない」が12.2%、「中学、高校」が10.9%となっています。



★Q1で、「中学」～「その他」に○をつけた方のみ

Q1-1 その理由は何ですか。（「お子さんが希望しているから」～「その他」については、あてはまる番号すべてに○）

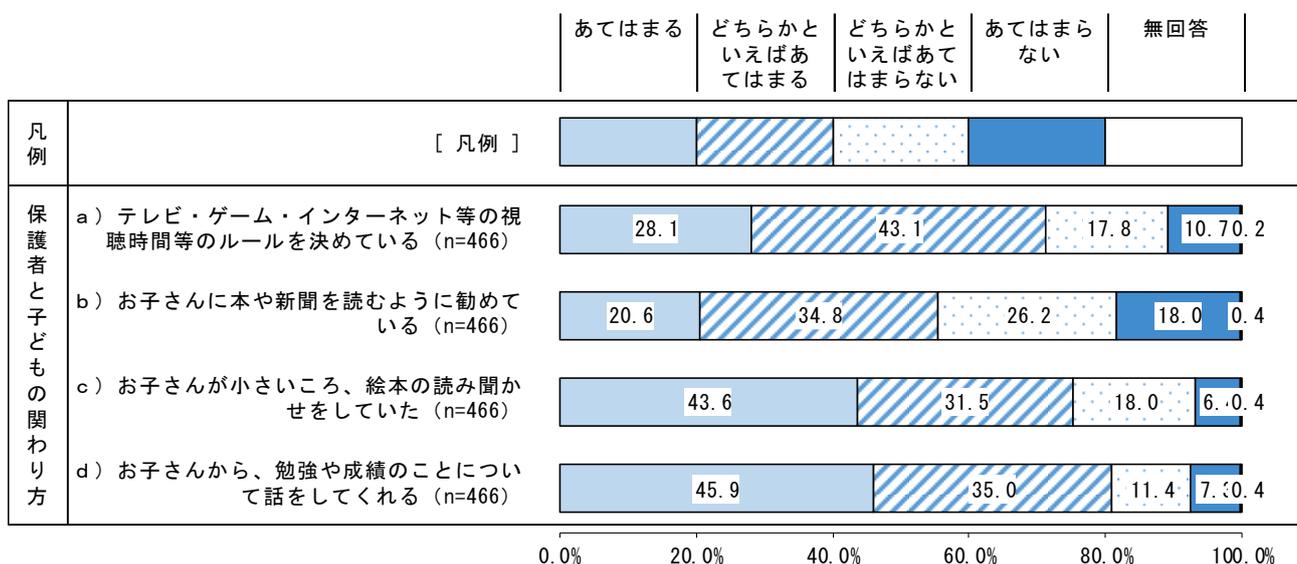
- 想定する進学先の理由について、「一般的な進路だと思うから」が 49.1%で最も多く、次いで「お子さんが希望しているから」が 36.9%、「お子さんの母親または父親が希望しているから」が 25.8%となっています。



#### 問4 子どもとの関わりについて

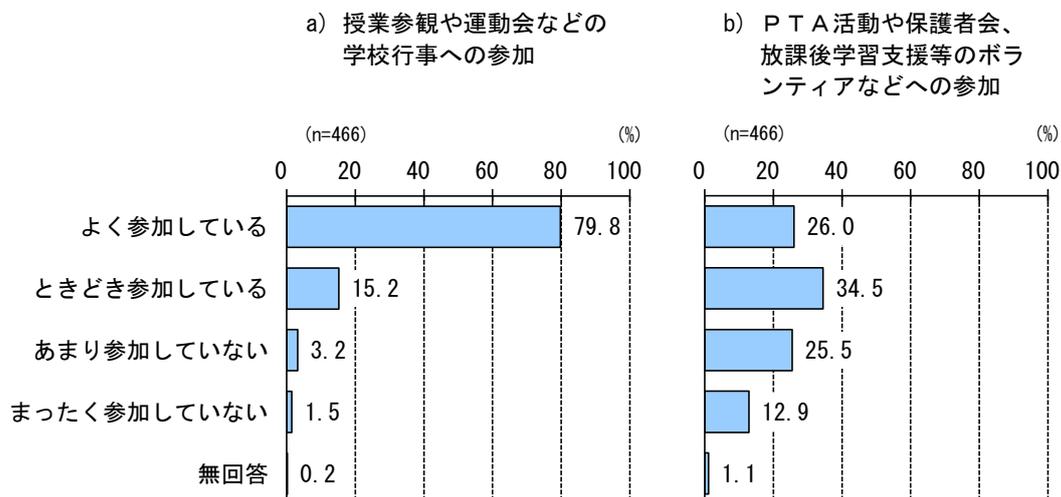
Q1 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(a～dそれぞれあてはまる番号1つに○)

- 「a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」について、「どちらかといえばあてはまる」が43.1%で最も多く、次いで「あてはまる」が28.1%、「どちらかといえばあてはまらない」が17.8%となっています。
- 「b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている」について、「どちらかといえばあてはまる」が34.8%で最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」が26.2%、「あてはまる」が20.6%となっています。
- 「c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」について、「あてはまる」が43.6%で最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が31.5%、「どちらかといえばあてはまらない」が18.0%となっています。
- 「d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」について、「あてはまる」が45.9%で最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が35.0%、「どちらかといえばあてはまらない」が11.4%となっています。



Q 2 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a、bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

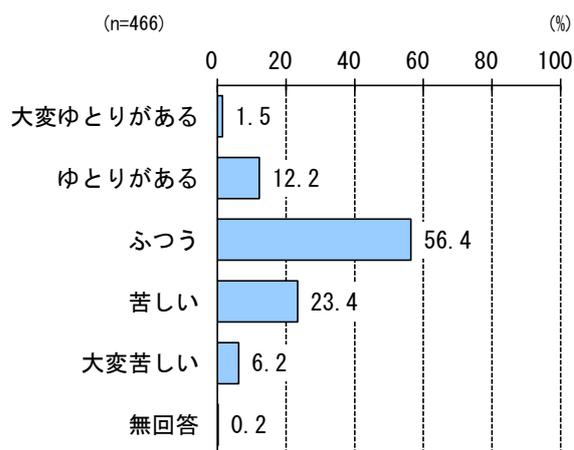
- 「a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加」について、「よく参加している」が79.8%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が15.2%、「あまり参加していない」が3.2%となっています。
- 「b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加」について、「ときどき参加している」が34.5%で最も多く、次いで「よく参加している」が26.0%、「あまり参加していない」が25.5%となっています。



### 問5 現在の暮らしの経済的状況について

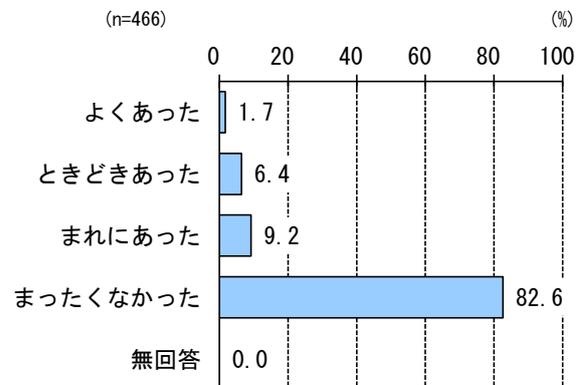
Q 1 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

- 主観的暮らし向きについて、「ふつう」が56.4%で最も多く、次いで「苦しい」が23.4%、「ゆとりがある」が12.2%となっています。



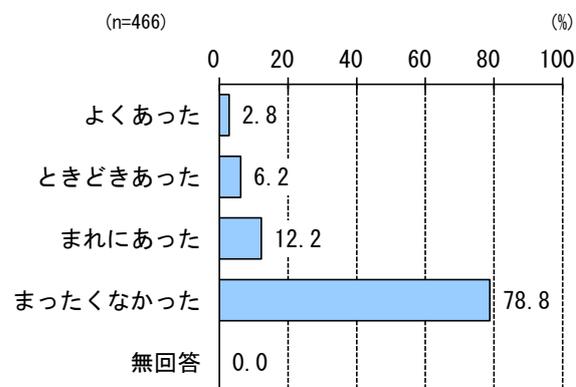
Q2 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまる番号1つに○)

- 家族が必要とする食料が買えないことについて、「まったくなかった」が82.6%で最も多く、次いで「まれにあった」が9.2%、「ときどきあった」が6.4%となっています。



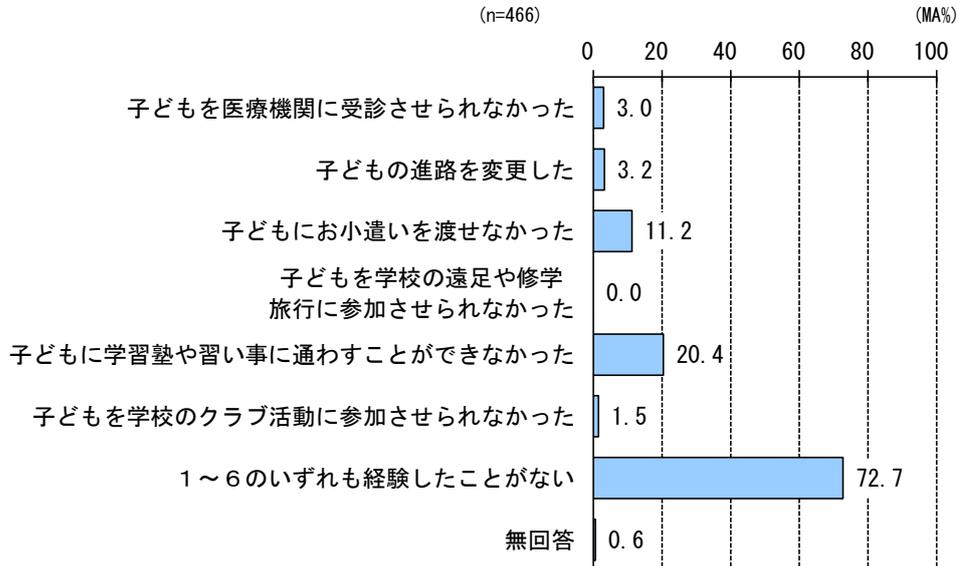
Q3 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまる番号1つに○)

- 家族が必要とする衣服が買えないことについて、「まったくなかった」が78.8%で最も多く、次いで「まれにあった」が12.2%、「ときどきあった」が6.2%となっています。



Q 4 子どもの教育や活動に関する支出において、経済的な理由で、次のような経験をしたことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

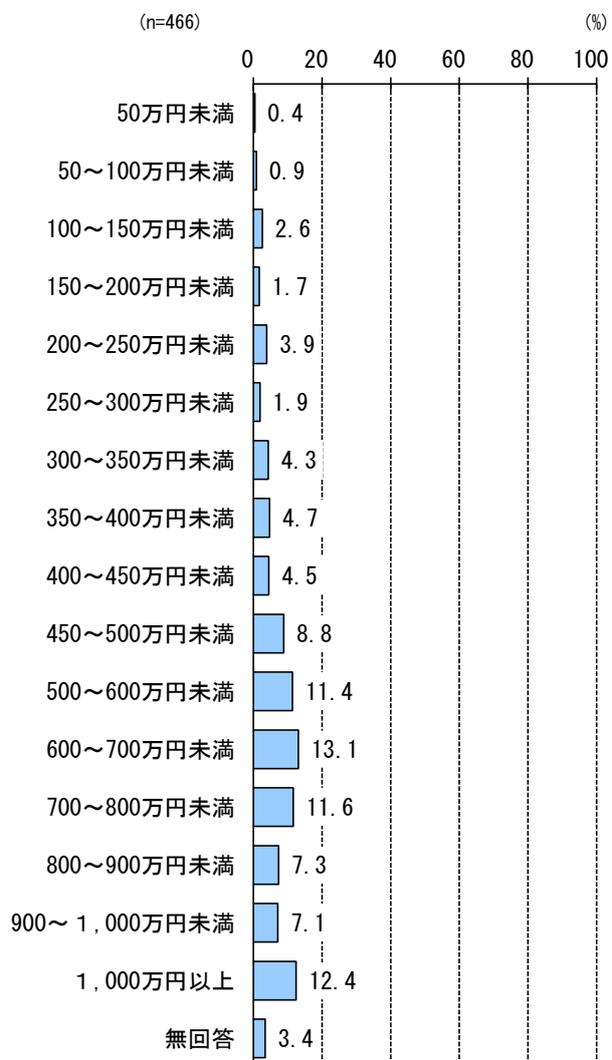
- 親から見た子どものはく奪指標について、「1～6のいずれも経験したことがない」が72.7%で最も多く、次いで「子どもに学習塾や習い事に通わすことができなかった」が20.4%、「子どもにお小遣いを渡せなかった」が11.2%となっています。



Q5 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまる番号1つに○)

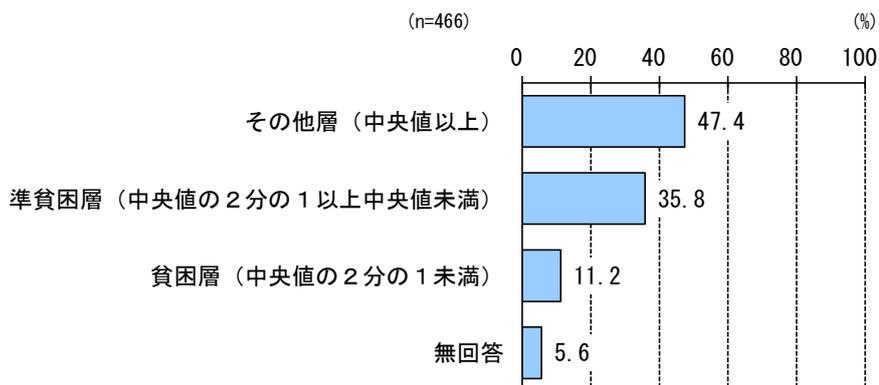
①世帯収入

- 世帯収入について、「600～700万円未満」が13.1%で最も多く、次いで「1,000万円以上」が12.4%、「700～800万円未満」が11.6%となっています。



## ②等価世帯収入

- 等価可処分所得について、「その他層（中央値以上）」が 47.4%で最も多く、次いで「準貧困層（中央値の2分の1以上中央値未満）」が 35.8%、「貧困層（中央値の2分の1未満）」が 11.2%となっています。



### ※ 等価世帯収入について

実際の生活上の体験や困りごとなどを把握し、多面的に情報を分析するための指標として、「等価可処分所得」を基に区分した「困窮度」を用います。

厚生労働省が実施する国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合を示しています。このときの貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいい、この算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づくものとなっています（なお、ユニセフの報告書では、等価可処分所得の60%を採用しています）。

国民生活基礎調査は所得額について、詳細な記述を求め、算出しています。本町で実施した調査は、世帯の所得額については、回答者の負担感等を考慮し、手取り収入を25万～100万円の幅を持たせた選択肢で回答を求めました。そのため、国の貧困線の算出方法で用いる「等価可処分所得」の中央値には、選択肢の上限値と下限値の平均値を世帯人員の平方根で割って調整した値を当てはめています。

(例) 世帯所得が「500～600万円未満」で世帯人員が5人の場合、世帯所得を550万円として算出します。

$$550 \div \sqrt{5} \approx 246.0 \text{ 万円}$$

このように算出した等価可処分所得の中央値と中央値の2分の1から、「中央値以上」「中央値の2分の1以上中央値未満」「中央値の2分の1未満」の3つの層に分類し、集計しています。

なお、全国調査※における相対的貧困率は12.9%、本市の「こどもの生活に関する調査（小学5年生から中学3年生の保護者用）」の相対的貧困率は11.2%でした。

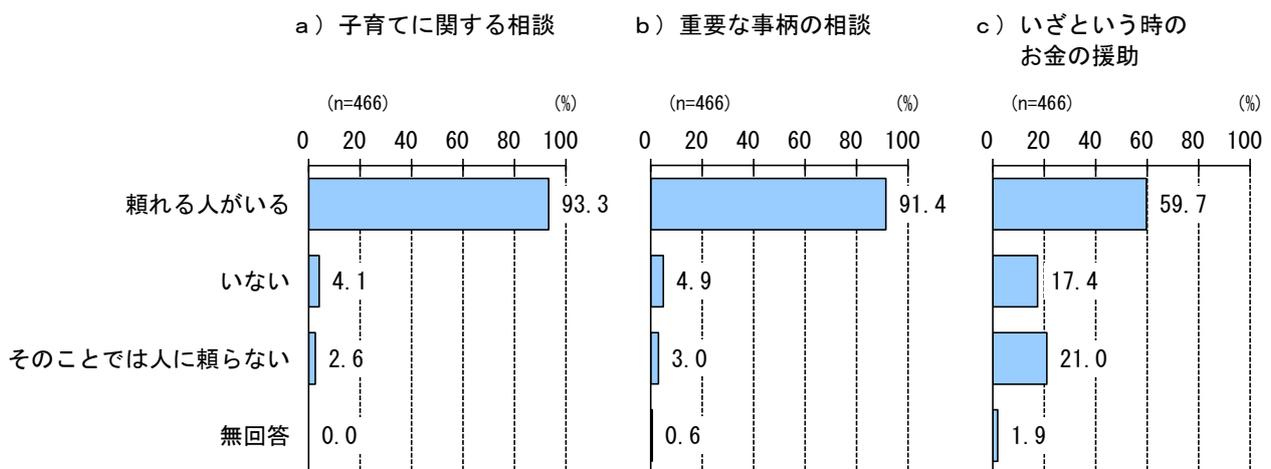
※令和2年度に内閣府が実施した「子供の生活状況調査」による結果

## 問6 日常生活の状況について

- Q1 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a～cそれぞれについて、1～3のあてはまる番号1つに○) また、「頼れる人がいる」場合、それは誰ですか。  
(①～⑦のあてはまる番号すべてに○)

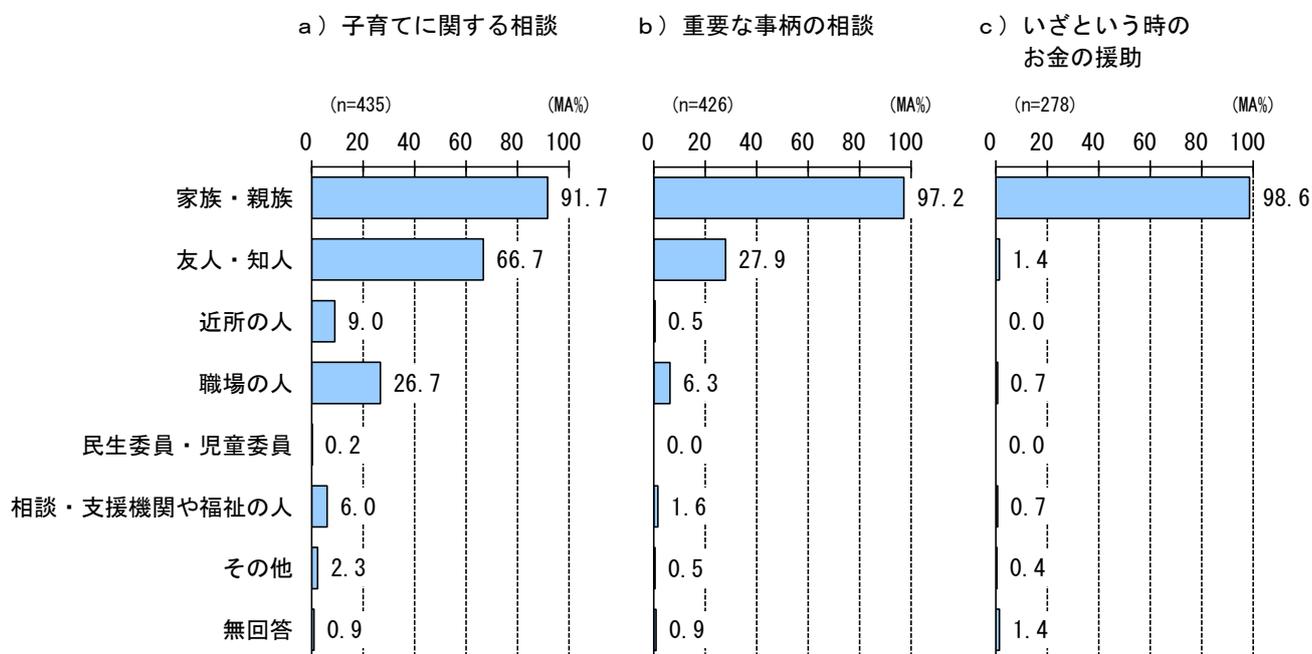
### ①頼れる人の有無

- 頼れる人の有無について、「a) 子育てに関する相談」では「頼れる人がいる」が93.3%で最も多く、次いで「いない」が4.1%、「そのことでは人に頼らない」が2.6%となっています。
- 「b) 重要な事柄の相談」では「頼れる人がいる」が91.4%で最も多く、次いで「いない」が4.9%、「そのことでは人に頼らない」が3.0%となっています。
- 「c) いざという時のお金の援助」では「頼れる人がいる」が59.7%で最も多く、次いで「そのことでは人に頼らない」が21.0%、「いない」が17.4%となっています。



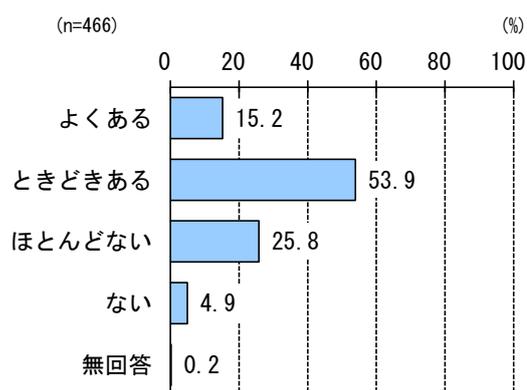
## ②頼れる相手

- 頼れる相手について、「a) 子育てに関する相談」では「家族・親族」が 91.7%で最も多く、次いで「友人・知人」が 66.7%、「職場の人」が 26.7%となっています。
- 「b) 重要な事柄の相談」では「家族・親族」が 97.2%で最も多く、次いで「友人・知人」が 27.9%、「職場の人」が 6.3%となっています。
- 「c) いざという時のお金の援助」では「家族・親族」が 98.6%で最も多く、次いで「友人・知人」が 1.4%、「職場の人」「相談・支援機関や福祉の人」が 0.7%となっています。



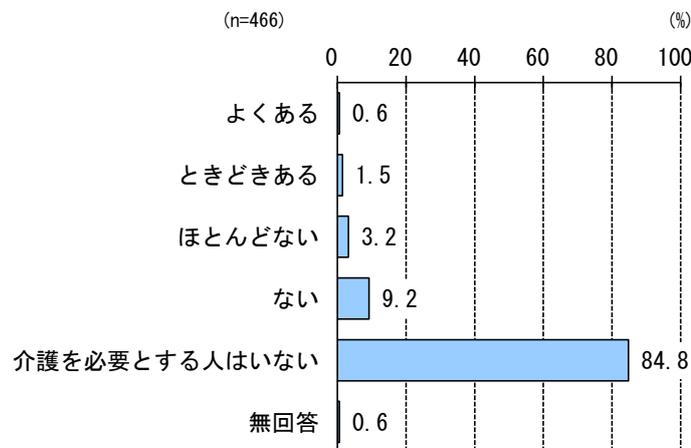
## Q2 子どもに家事をしてもらうことは、どのくらいありますか。(あてはまる番号1つに○)

- 子どもに家事をしてもらうことについて、「ときどきある」が 53.9%で最も多く、次いで「ほとんどない」が 25.8%、「よくある」が 15.2%となっています。



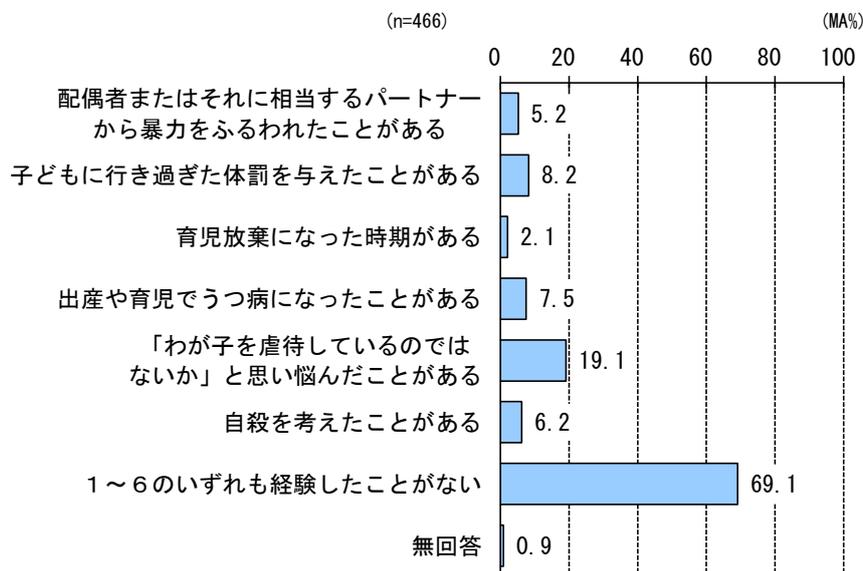
Q3 子どもに、同居している要介護者の介護をしてもらうことは、どのくらいありますか。(あてはまる番号1つに○)

- 子どもに、要介護者の介護をしてもらうことについて、「介護を必要とする人はいない」が84.8%で最も多く、次いで「ない」が9.2%、「ほとんどない」が3.2%となっています。



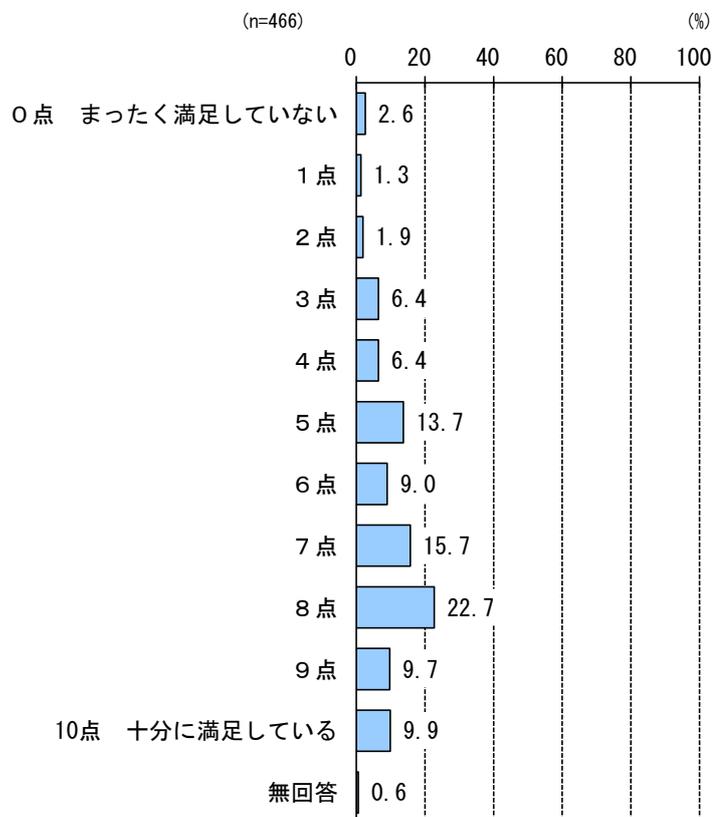
Q4 あなたは、子育てに関わってから、以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 子育てに関わってから経験をしたことについて、「1～6のいずれも経験したことがない」が69.1%で最も多く、次いで「「わが子を虐待しているのではないか」と思い悩んだことがある」が19.1%、「子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある」が8.2%となっています。



Q5 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまる番号1つに○）

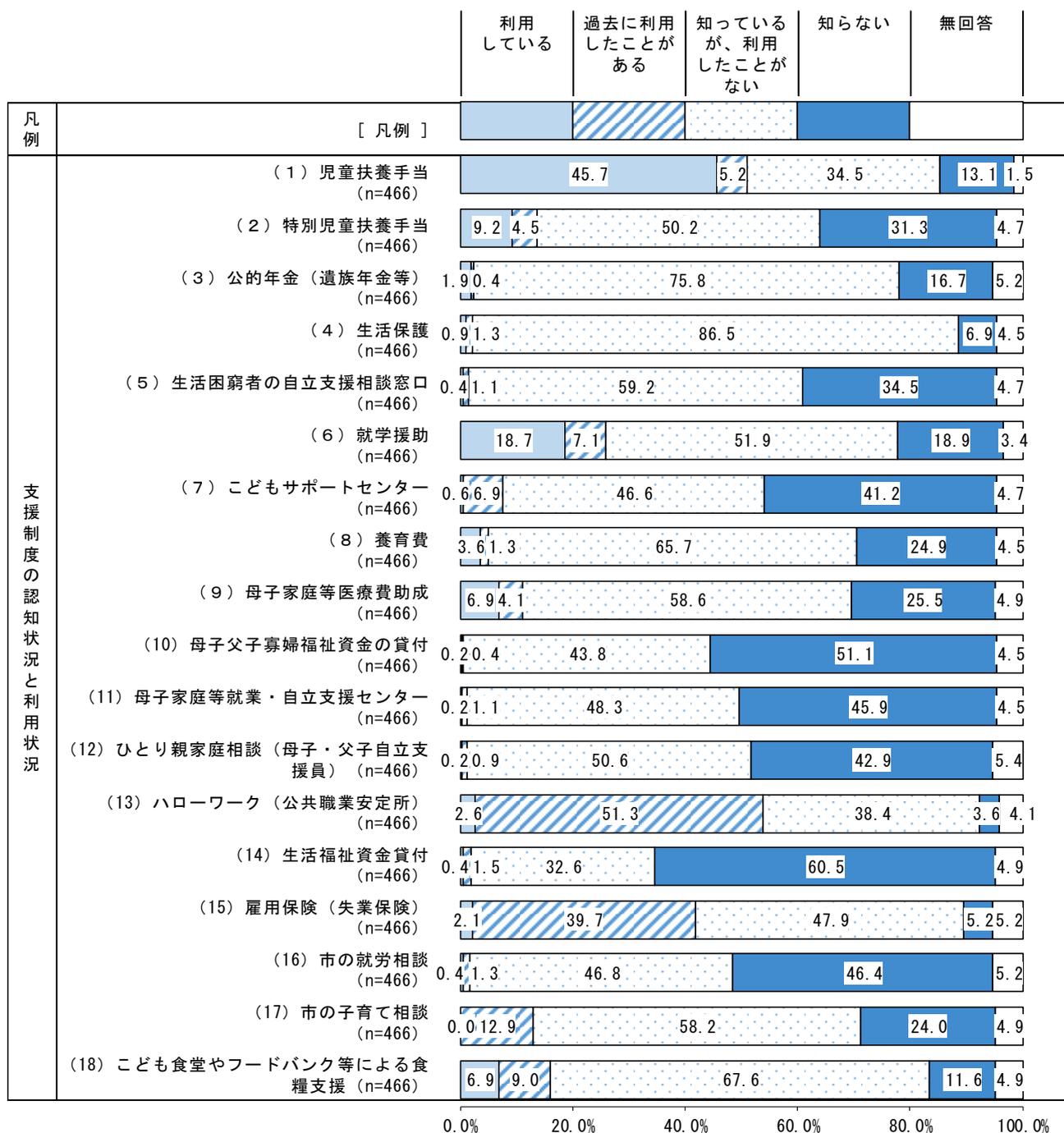
- 生活満足度について、「8点」が22.7%で最も多く、次いで「7点」が15.7%、「5点」が13.7%となっています。



## 問7 制度等の認知・利用状況について

Q1 福祉、医療、年金などの制度について、認知状況及び現在の利用状況について、お答えください。(1)～(18)について、あてはまる番号1つに○)

- 「利用している」は、「(1) 児童扶養手当」で45.7%、「(6) 就学援助」で18.7%、「(2) 特別児童扶養手当」で9.2%などとなっています。
- 「知らない」の割合が最も高いのは、「(14) 生活福祉資金貸付」(60.5%)、最も割合が低いのは「(13) ハローワーク(公共職業安定所)」(3.6%)となっています。他に「知らない」の割合が40%以上のものは「(10) 母子父子寡婦福祉資金の貸付」「(16) 市の就労相談」「(11) 母子家庭等就業・自立支援センター」「(12) ひとり親家庭相談(母子・父子自立支援員)」「(7) こどもサポートセンター」となっています。

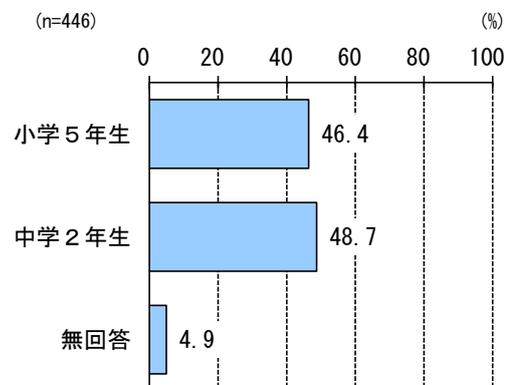


## 5. 子どもの生活調査（子ども調査）の結果

### 問1 回答者自身について

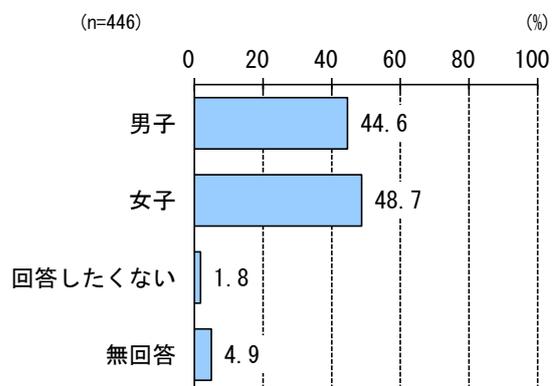
Q1 あなたの学年を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

- 学年について、「小学5年生」が46.4%、「中学2年生」が48.7%となっています。



Q2 あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

- 性別について、「女子」が48.7%で最も多く、次いで「男子」が44.6%、「回答したくない」が1.8%となっています。



Q3 あなたが住んでいる小学校区はどちらですか。(あてはまるもの1つに○)

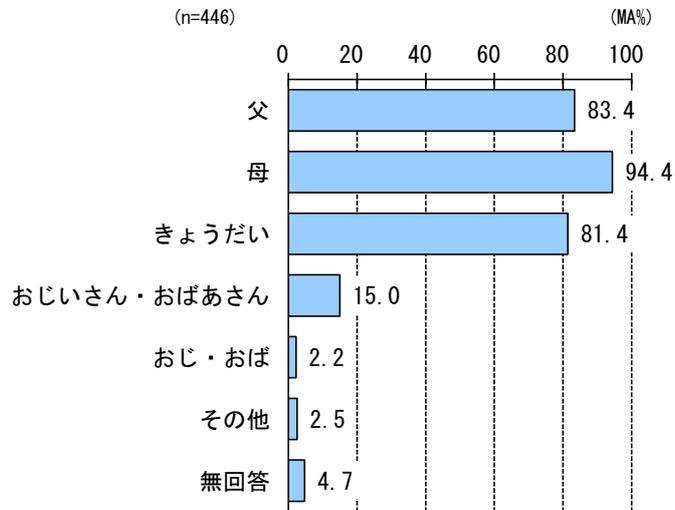
- 居住小学校区について、「郡山南小学校」が16.1%で最も多く、次いで「郡山北小学校」が12.8%、「郡山西小学校」「片桐西小学校」が10.1%となっています。



Q4 あなたと一緒に住んでいる家族をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

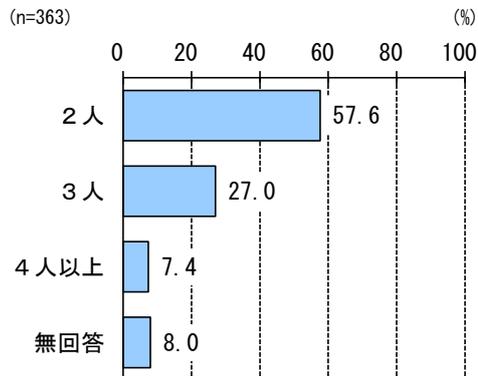
①一緒に住んでいる家族

- 一緒に住んでいる家族について、「母」が94.4%で最も多く、次いで「父」が83.4%、「きょうだい」が81.4%となっています。



②きょうだいの人数

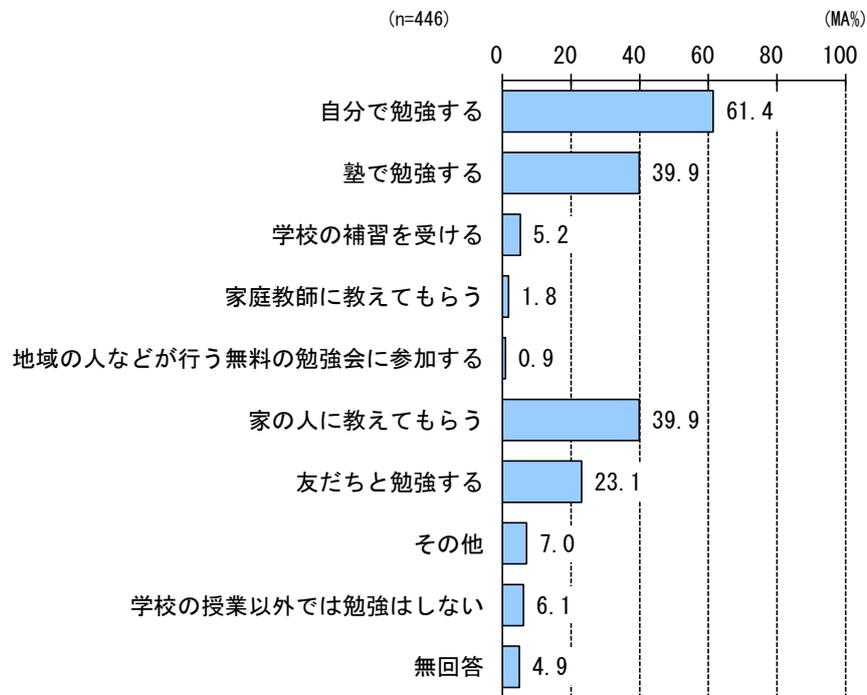
- きょうだいの人数について、「2人」が57.6%で最も多く、次いで「3人」が27.0%、「4人以上」が7.4%となっています。



## 問2 勉強や授業のことについて

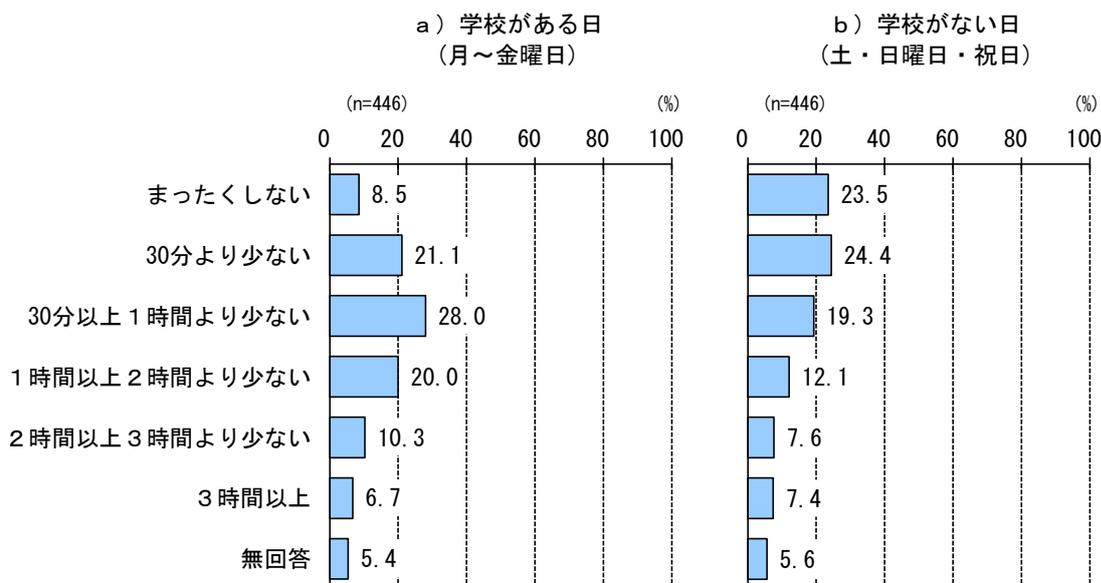
Q1 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。（「自分で勉強する」～「その他」については、あてはまるものすべてに○）

- 学校の授業以外の学習環境について、「自分で勉強する」が 61.4%で最も多く、次いで「塾で勉強する」「家の人に教えてもらう」が 39.9%、「友だちと勉強する」が 23.1%となっています。



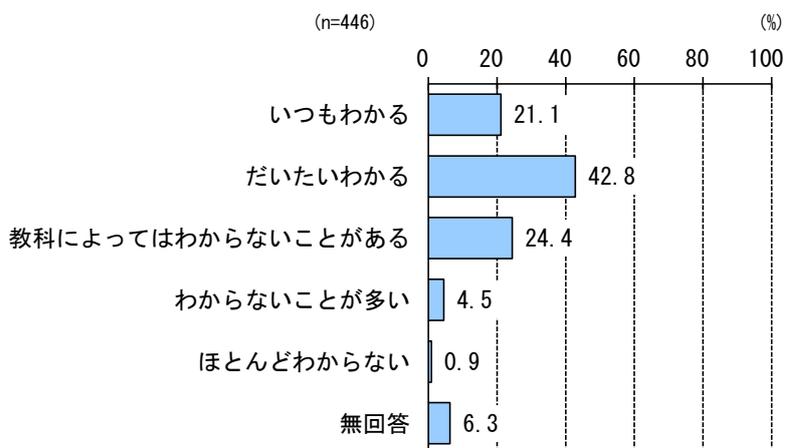
Q2 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(a～bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

- 学校の授業以外の学習時間について「a) 学校がある日(月～金曜日)」では「30分以上1時間より少ない」が28.0%で最も多く、次いで「30分より少ない」が21.1%、「1時間以上2時間より少ない」が20.0%となっています。
- 「b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)」では「30分より少ない」が24.4%で最も多く、次いで「まったくしない」が23.5%、「30分以上1時間より少ない」が19.3%となっています。



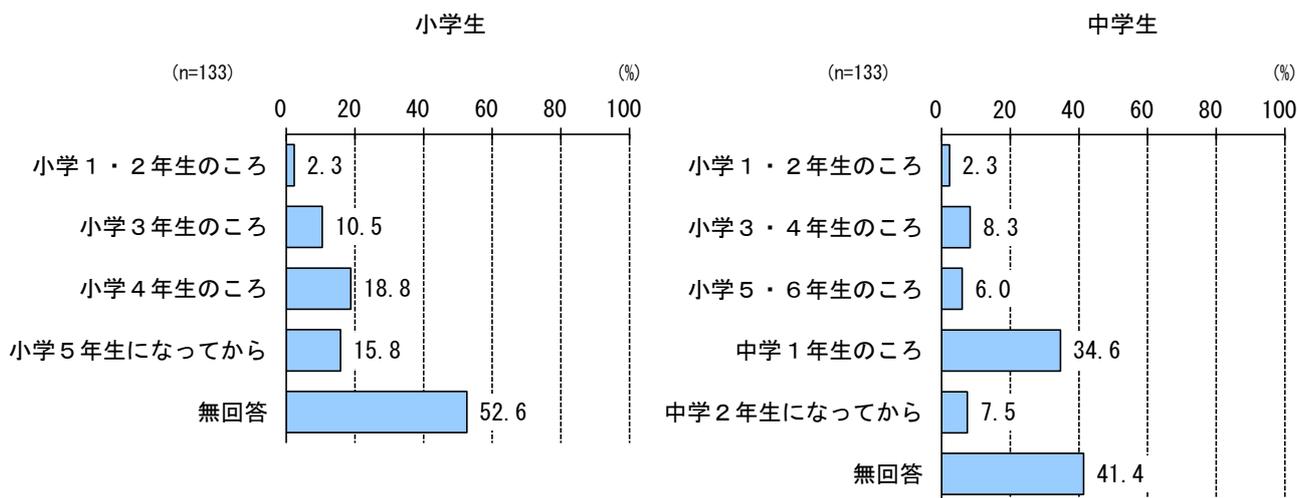
Q3 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 授業の理解度について、「だいたいわかる」が42.8%で最も多く、次いで「教科によってはわからないことがある」が24.4%、「いつもわかる」が21.1%となっています。



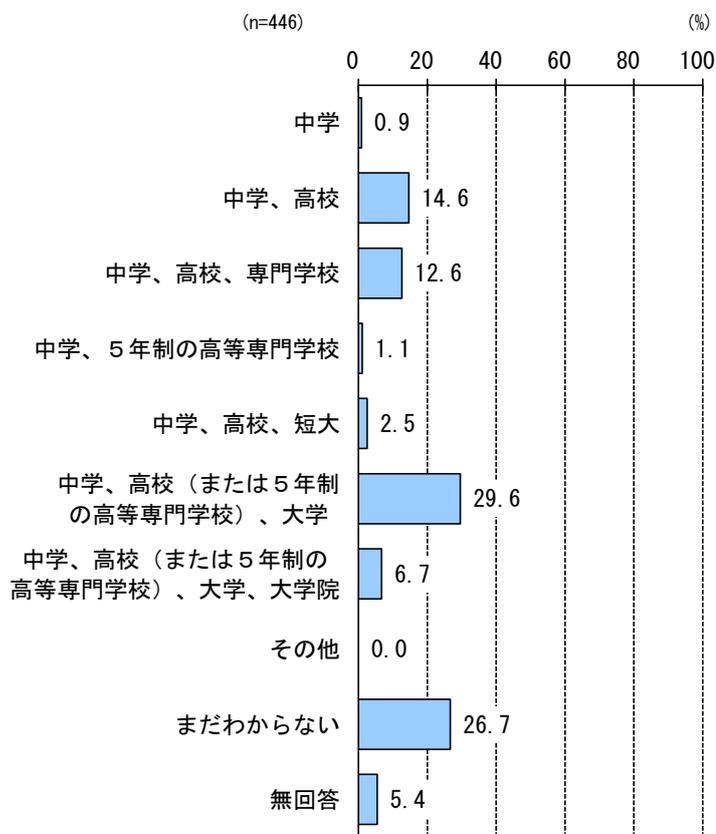
Q3-1 Q3で「教科によってはわからないことがある」～「ほとんどわからない」に○をつけた人にうかがいます。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- 授業についていけなくなった時期について、小学生では「小学4年生のころ」が18.8%で最も多く、次いで「小学5年生になってから」が15.8%、「小学3年生のころ」が10.5%となっています。
- 中学生では「中学1年生のころ」が34.6%で最も多く、次いで「小学3・4年生のころ」が8.3%、「中学2年生になってから」が7.5%となっています。



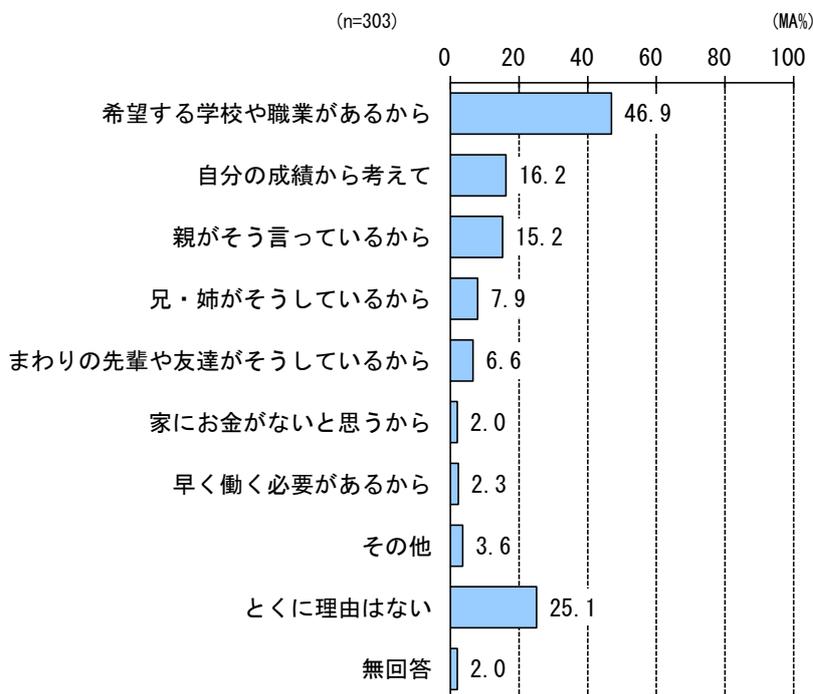
Q4 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- 進学希望について、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が29.6%で最も多く、次いで「まだわからない」が26.7%、「中学、高校」が14.6%となっています。



Q4-1 Q4で「中学」～「その他」に○をつけた人にうかがいます。その理由を答え  
てください。（「中学」～「その他」については、あてはまるものすべてに○）

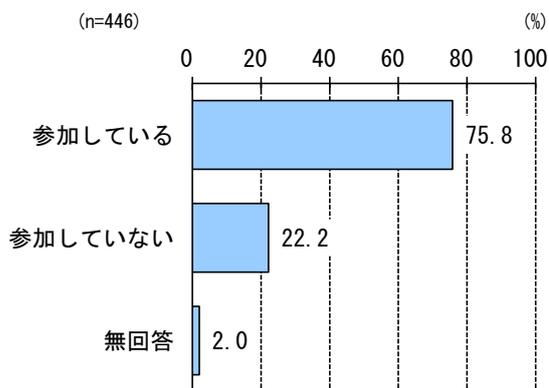
- 想定する進学先の理由について、「希望する学校や職業があるから」が46.9%で最も多く、次いで「とくに理由はない」が25.1%、「自分の成績から考えて」が16.2%となっています。



### 問3 日常生活のことについて

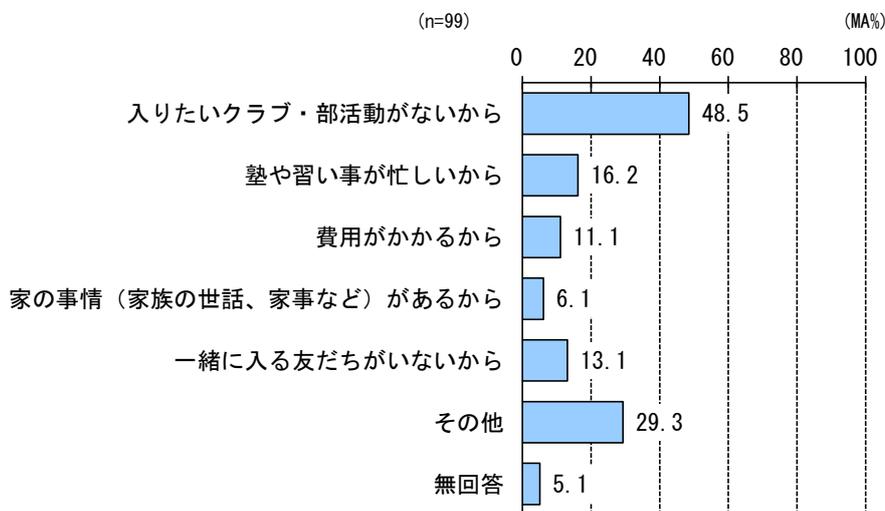
Q1 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。（あてはまるもの1つに○）

- 地域のクラブ活動、学校の部活動の参加状況について、「参加している」が75.8%、「参加していない」が22.2%となっています。



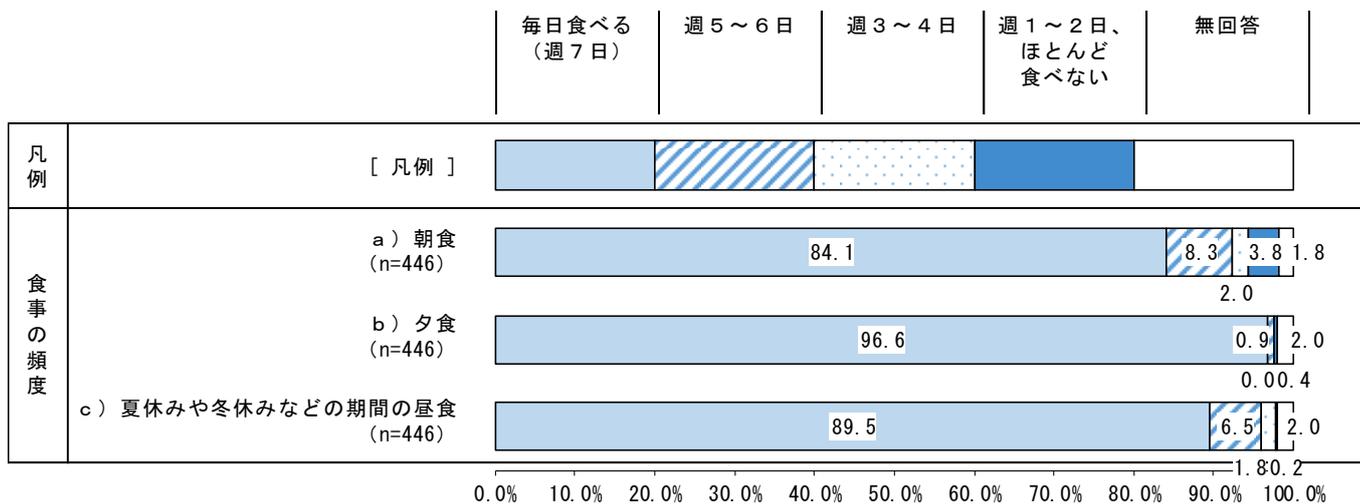
Q1-1 Q1で「参加していない」に○をつけた人にうかがいます。参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 地域のクラブ活動、学校の部活動に参加していない理由について、「入りたいクラブ・部活動がないから」が48.5%で最も多く、次いで「その他」が29.3%、「塾や習い事が忙しいから」が16.2%となっています。



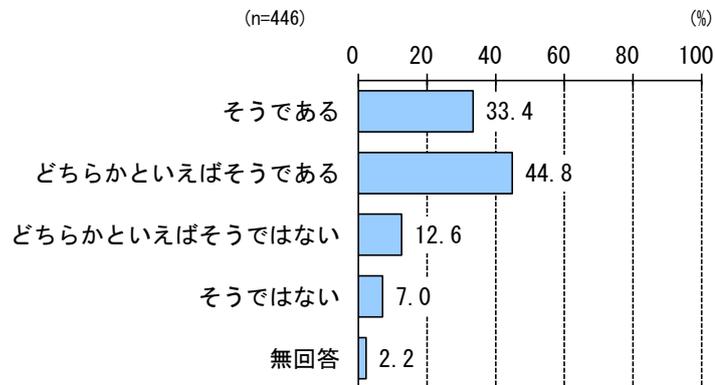
Q2 あなたは、週にどのくらい、食事をしていますか。(a~cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

- 欠食割合（「週5~6日」「週3~4日」「週1~2日、ほとんど食べない」の合計）は、「a）朝食」で14.1%、「b）夕食」で1.3%、「c）夏休みや冬休みなどの期間の昼食」で8.5%となっています。



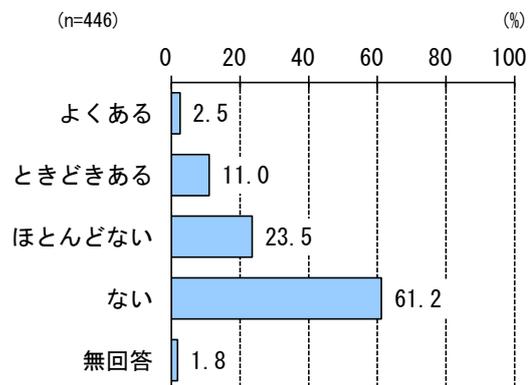
Q3 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。（あてはまるもの1つに○）

- 就寝時刻の規則性について、「どちらかといえばそうである」が44.8%で最も多く、次いで「そうである」が33.4%、「どちらかといえばそうではない」が12.6%となっています。



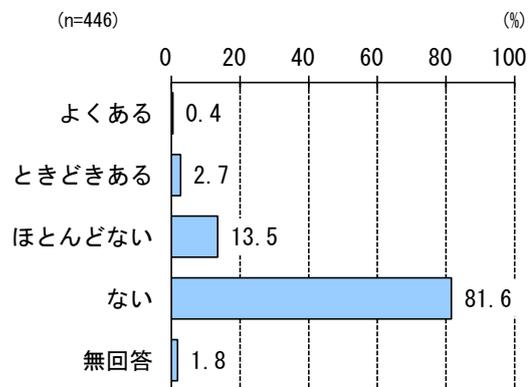
Q4 あなたは、必要と思う服を買ってもらえないと思うことはありますか。（あてはまるもの1つに○）

- 衣服を買ってもらえない経験について、「ない」が61.2%で最も多く、次いで「ほとんどない」が23.5%、「ときどきある」が11.0%となっています。



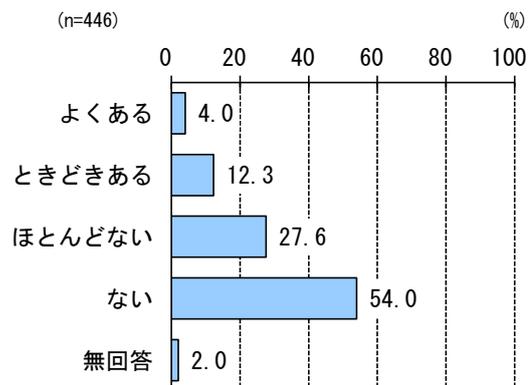
Q5 あなたは、学校で必要なもの（文房具など）を買ってもらえないことはありますか。（あてはまるもの1つに○）

- 学習用具を買ってもらえない経験について、「ない」が81.6%で最も多く、次いで「ほとんどない」が13.5%、「ときどきある」が2.7%となっています。



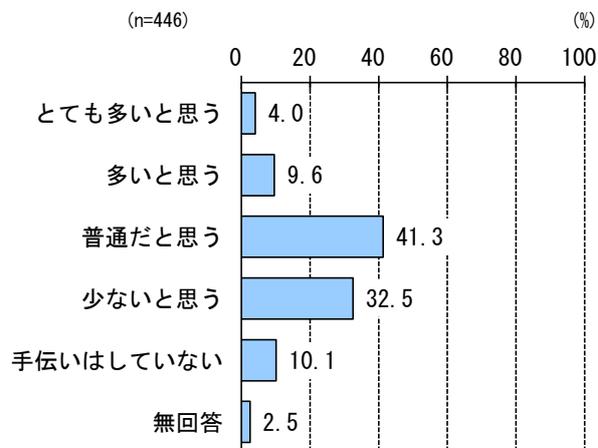
Q6 あなたは、友だちづきあいをする上で必要なもの（おもちゃやゲームなど）を買ってもらえないことはありますか。（あてはまるもの1つに○）

- 友だちづきあいをする上で必要なものを買ってもらえない経験について、「ない」が54.0%で最も多く、次いで「ほとんどない」が27.6%、「ときどきある」が12.3%となっています。



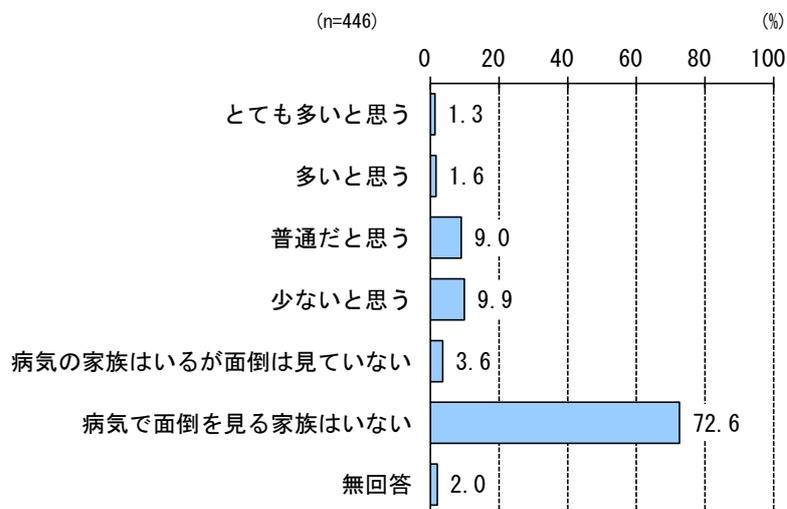
Q7 あなたは、友だちと比べて、家の手伝いをする時間が多いと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 家の手伝いをする時間について、「普通だと思う」が41.3%で最も多く、次いで「少ないと思う」が32.5%、「手伝いはしていない」が10.1%となっています。



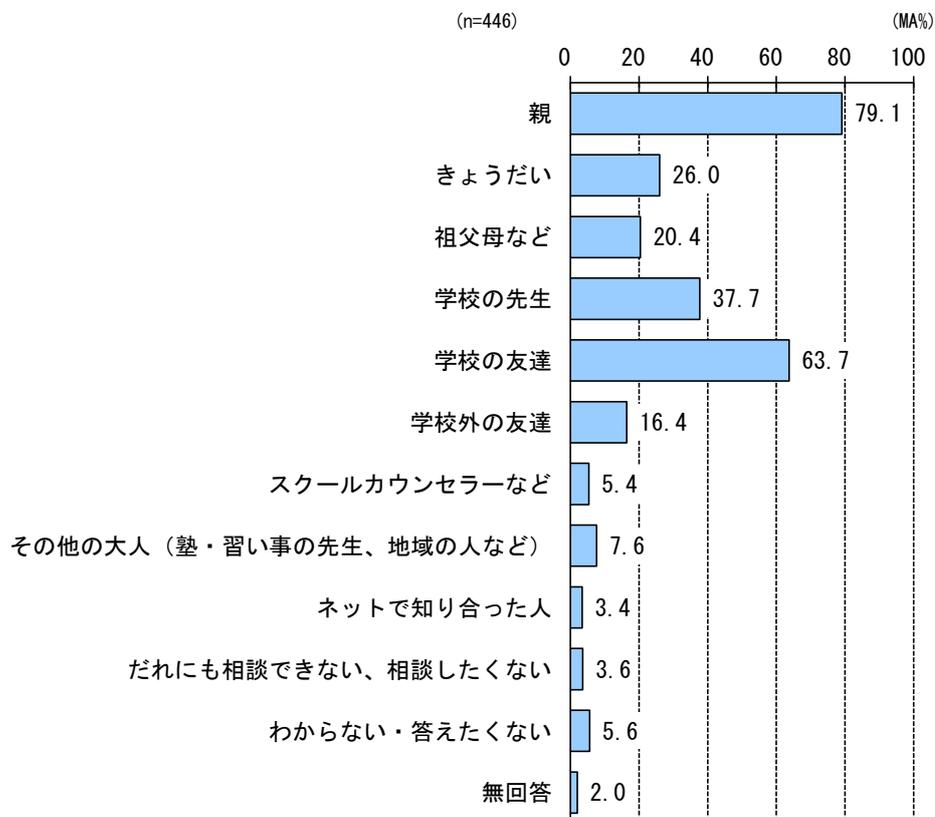
Q8 あなたは、病気の家族の面倒を見る時間が多いと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 病気の家族の面倒を見る時間について、「病気で面倒を見る家族はいない」が72.6%で最も多く、次いで「少ないと思う」が9.9%、「普通だと思う」が9.0%となっています。



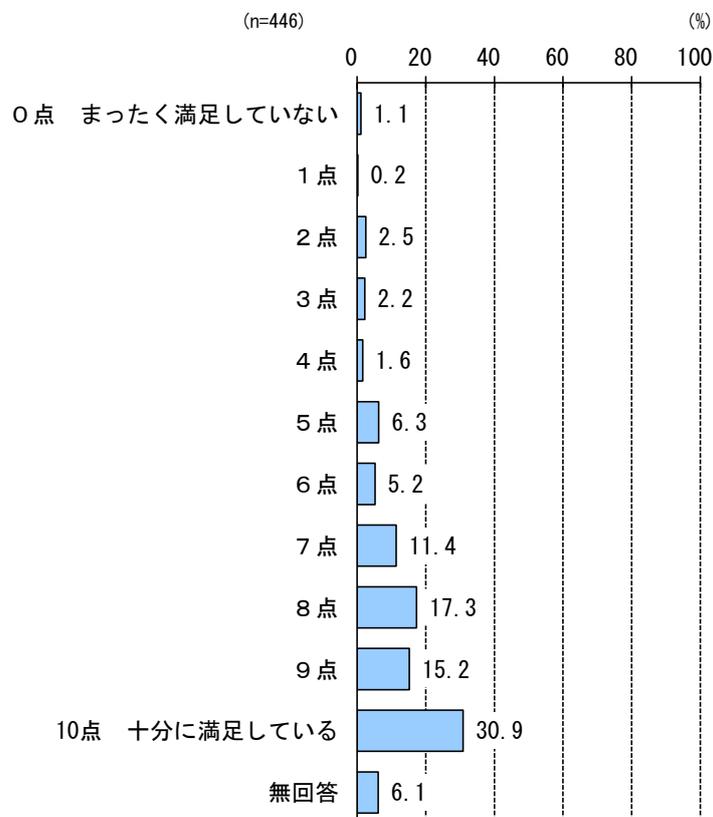
Q9 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（「親」～「ネットで知り合った人」については、あてはまるものすべてに○）

○ 困っていることや悩みごとを相談する相手について、「親」が 79.1%で最も多く、次いで「学校の友達」が 63.7%、「学校の先生」が 37.7%となっています。



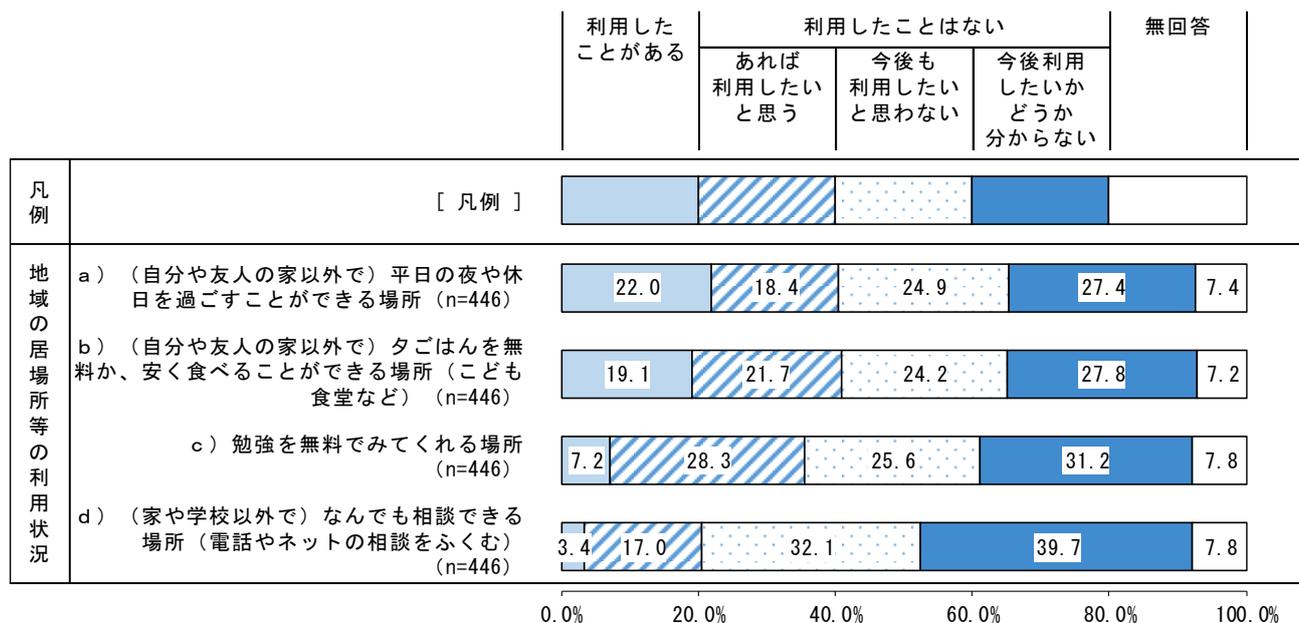
Q10 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

○ 生活満足度について、「10点 十分に満足している」が 30.9%で最も多く、次いで「8点」が 17.3%、「9点」が 15.2%となっています。



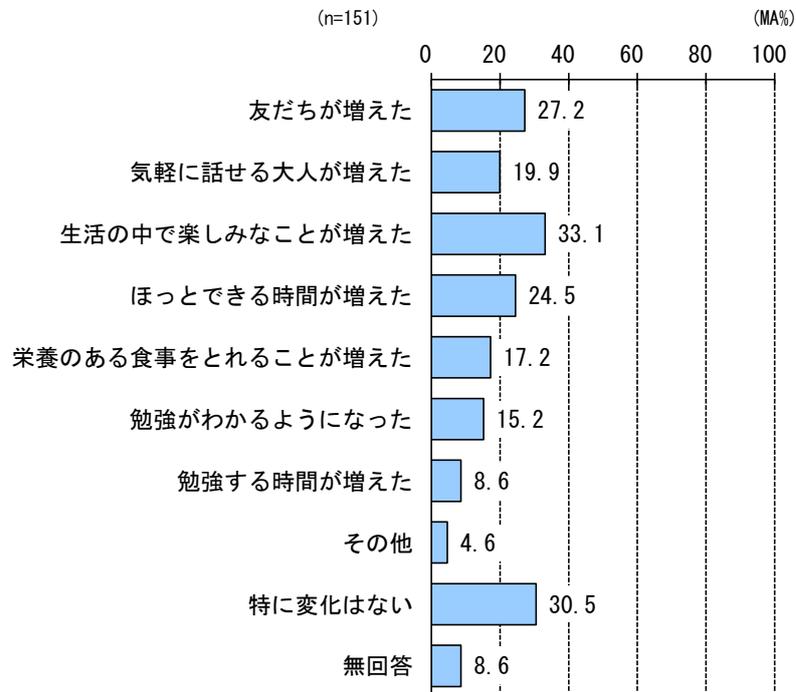
Q11 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

- 「利用したことがある」の割合が高いのは、「a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所」(22.0%)、「b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か、安く食べることができる場所 (こども食堂など)」(19.1%)、最も割合が低いものは「d) (家や学校以外で) なんでも相談できる場所 (電話やネットの相談をふくむ)」(3.4%) となっています。



Q11-1 Q11で1つでも「利用したことがある」に○をつけた人にうかがいます。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（「友だちが増えた」～「その他」については、あてはまるものすべてに○）

○ 地域の居場所等の効果について、「生活の中で楽しみなことが増えた」が 33.1%で最も多く、次いで「特に変化はない」が 30.5%、「友だちが増えた」が 27.2%となっています。

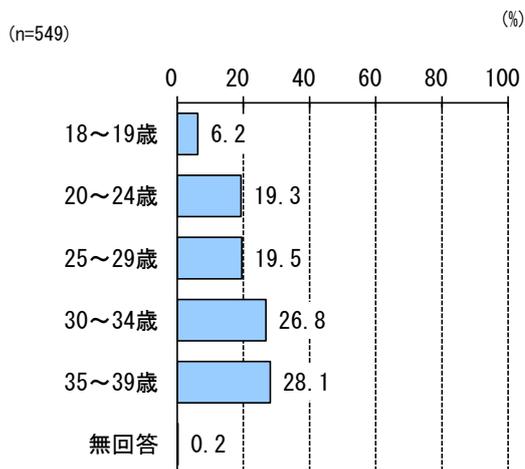


## 6. 若者調査の結果

### 問1 あなた自身のことについて

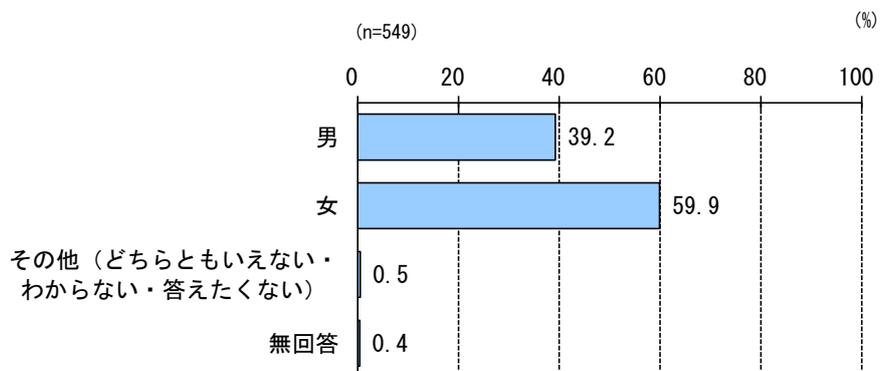
Q1 あなたの年齢(令和6年7月1日現在)を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- 年齢について、「35～39歳」が28.1%で最も多く、次いで「30～34歳」が26.8%、「25～29歳」が19.5%となっています。



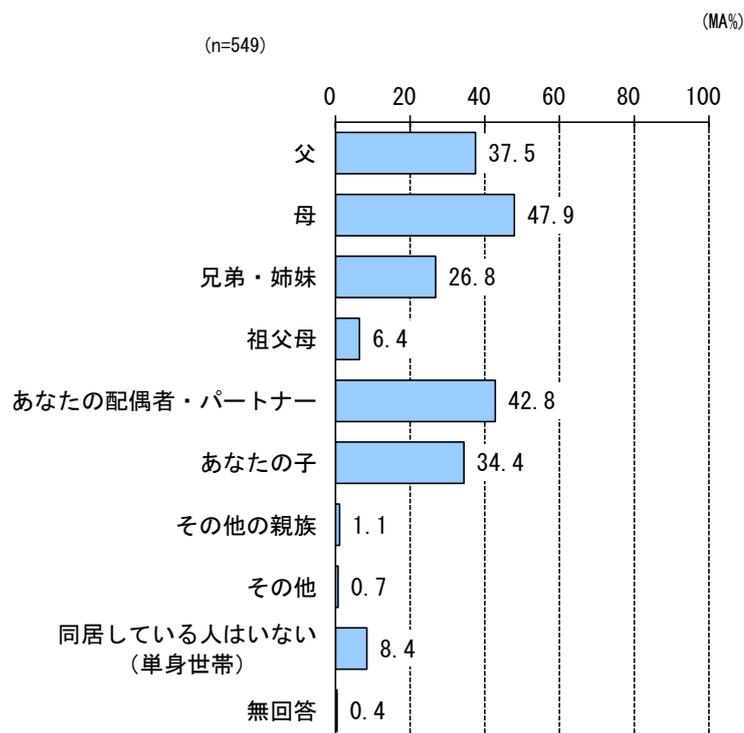
Q2 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- 性別について、「女」が59.9%で最も多く、次いで「男」が39.2%、「その他(どちらともいえない・わからない・答えたくない)」が0.5%となっています。



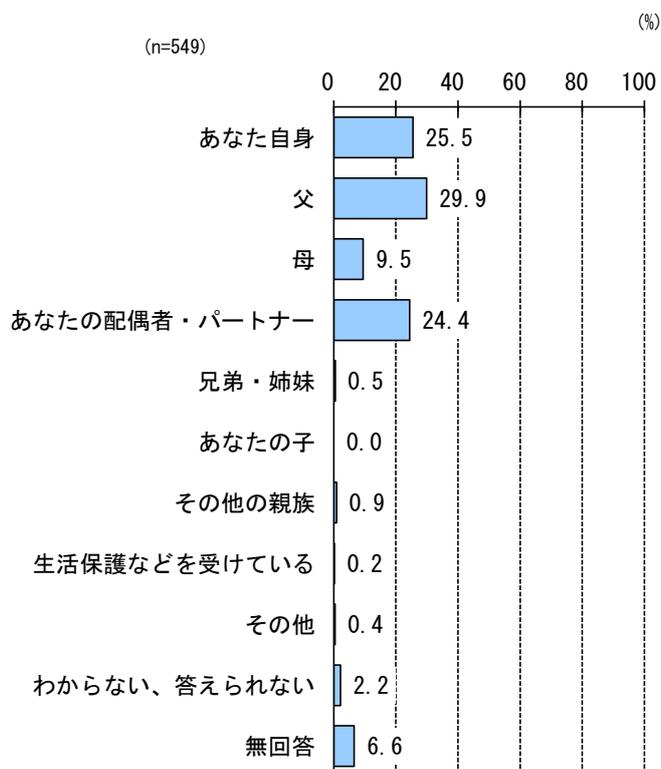
Q3 現在、あなたと同居している方をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- 同居家族について、「母」が 47.9%で最も多く、次いで「あなたの配偶者・パートナー」が 42.8%、「父」が 37.5%となっています。



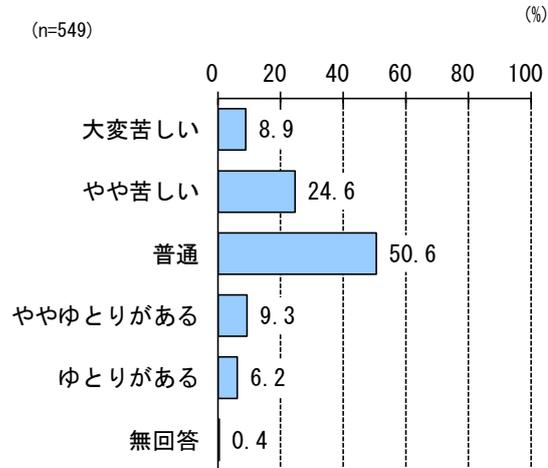
Q4 あなたの家の生計を立てている方はどなたですか。(あてはまる番号1つに○)

- 主な生計維持者について、「父」が 29.9%で最も多く、次いで「あなた自身」が 25.5%、「あなたの配偶者・パートナー」が 24.4%となっています。



Q5 現在、あなたの暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

- 現在の暮らしの経済状況について、「普通」が50.6%で最も多く、次いで「やや苦しい」が24.6%、「ややゆとりがある」が9.3%となっています。



Q6 お住まいの小学校区はどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

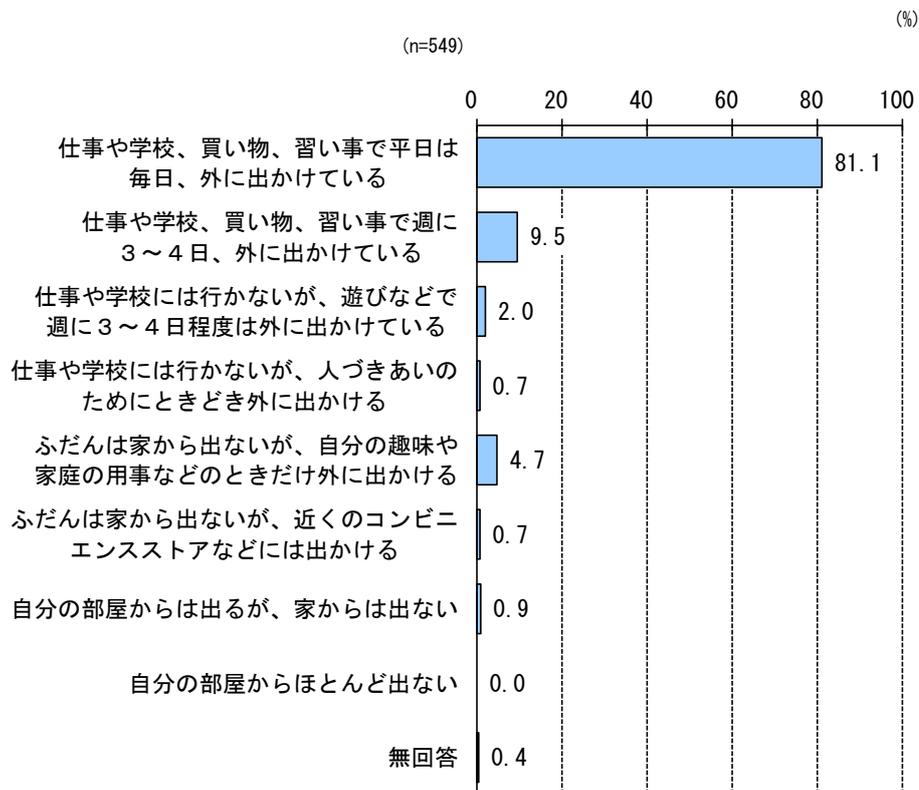
- 居住小学校区について、「郡山北小学校」が13.8%で最も多く、次いで「郡山南小学校」が12.9%、「郡山西小学校」が11.7%となっています。



## 問2 生活習慣について

Q1 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

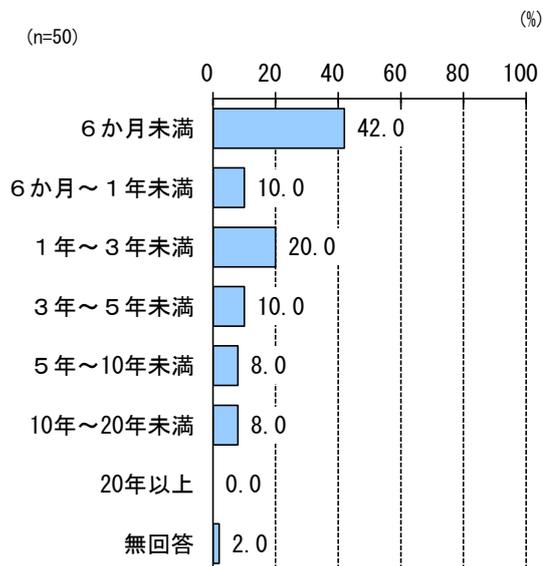
- 外出の頻度について、「仕事や学校、買い物、習い事で平日は毎日、外に出かけている」が81.1%で最も多く、次いで「仕事や学校、買い物、習い事で週に3～4日、外に出かけている」が9.5%、「ふだんは家から出ないが、自分の趣味や家庭の用事などのときだけ外に出かける」が4.7%となっています。



★問2 Q1で、「仕事や学校には行かないが、遊びなどで週に3～4日程度は外に出かけている」～「自分の部屋からほとんど出ない」を選択した方のみ

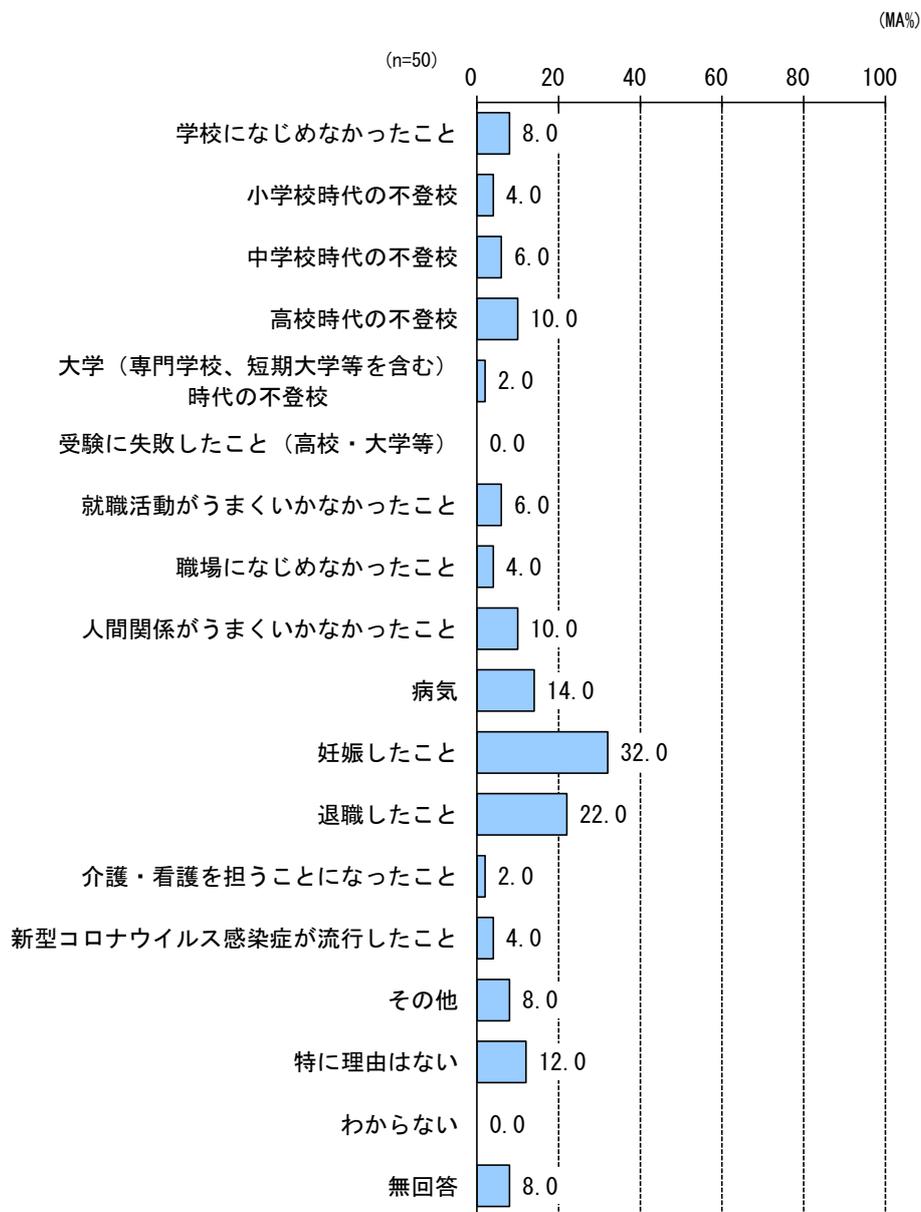
Q1-1 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(あてはまる番号1つに○)

- 外出状況が変化してからの期間について、「6か月未満」が42.0%で最も多く、次いで「1年～3年未満」が20.0%、「6か月～1年未満」「3年～5年未満」が10.0%となっています。



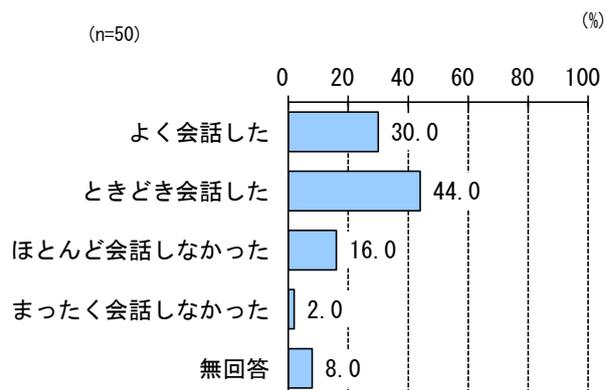
Q 1-2 あなたの外出状況が今ようになった主な理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 外出状況が変化した主な理由について、「妊娠したこと」が 32.0%で最も多く、次いで「退職したこと」が 22.0%、「病気」が 14.0%となっています。



Q 1-3 直近6か月間に、家族以外の人と会話をしましたか。(あてはまる番号1つに○)

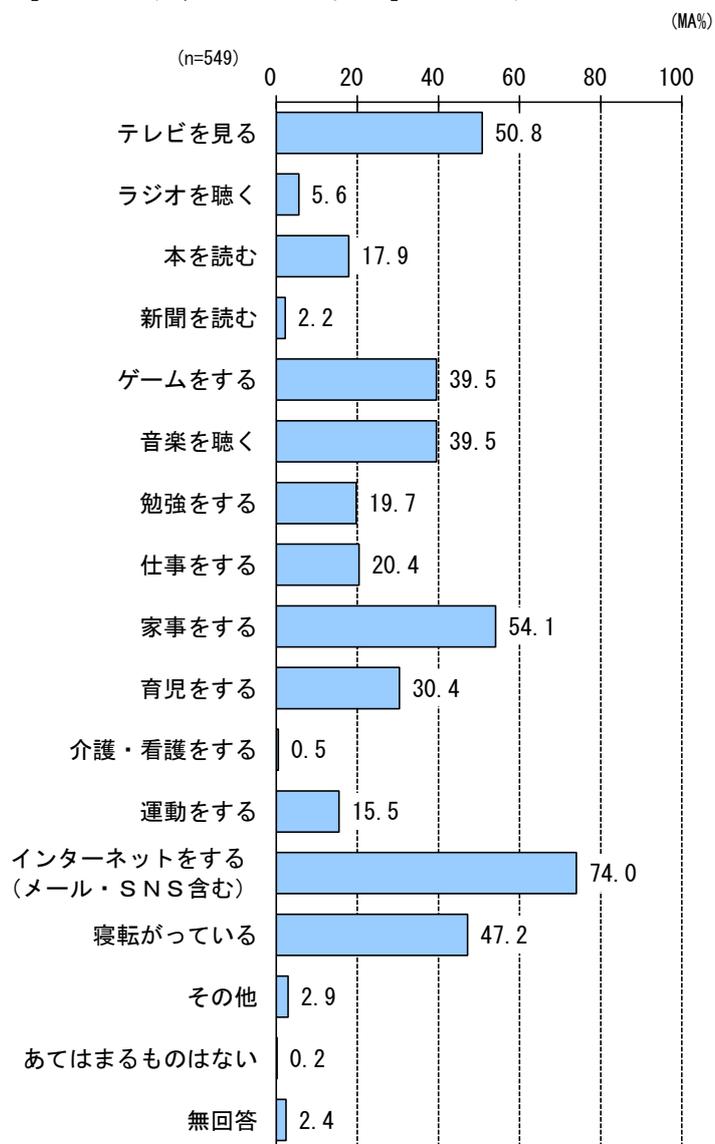
- 直近6か月間の家族以外の人との会話について、「ときどき会話をした」が44.0%で最も多く、次いで「よく会話をした」が30.0%、「ほとんど会話をしなかった」が16.0%となっています。



ここからは、すべての方におうかがいします。

Q2 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

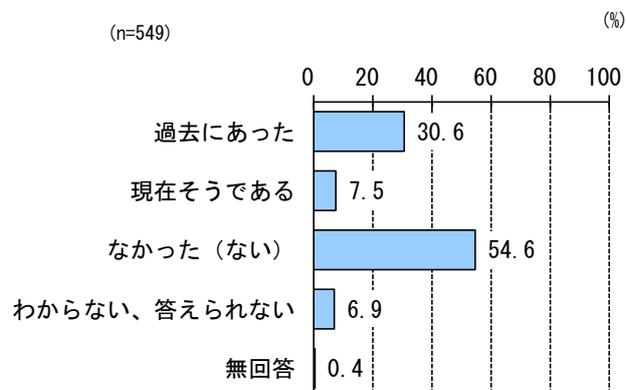
- 自宅での過ごし方について、「インターネットをする（メール・SNS含む）」が74.0%で最も多く、次いで「家事をする」が54.1%、「テレビを見る」が50.8%となっています。



### 問3 あなた自身の現状、将来について

Q1 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送っていない状況がありますか。(あてはまる番号1つに○)

- 円滑な社会・日常生活を送られない状態の有無について、「なかった(ない)」が54.6%で最も多く、次いで「過去にあった」が30.6%、「現在そうである」が7.5%となっています。

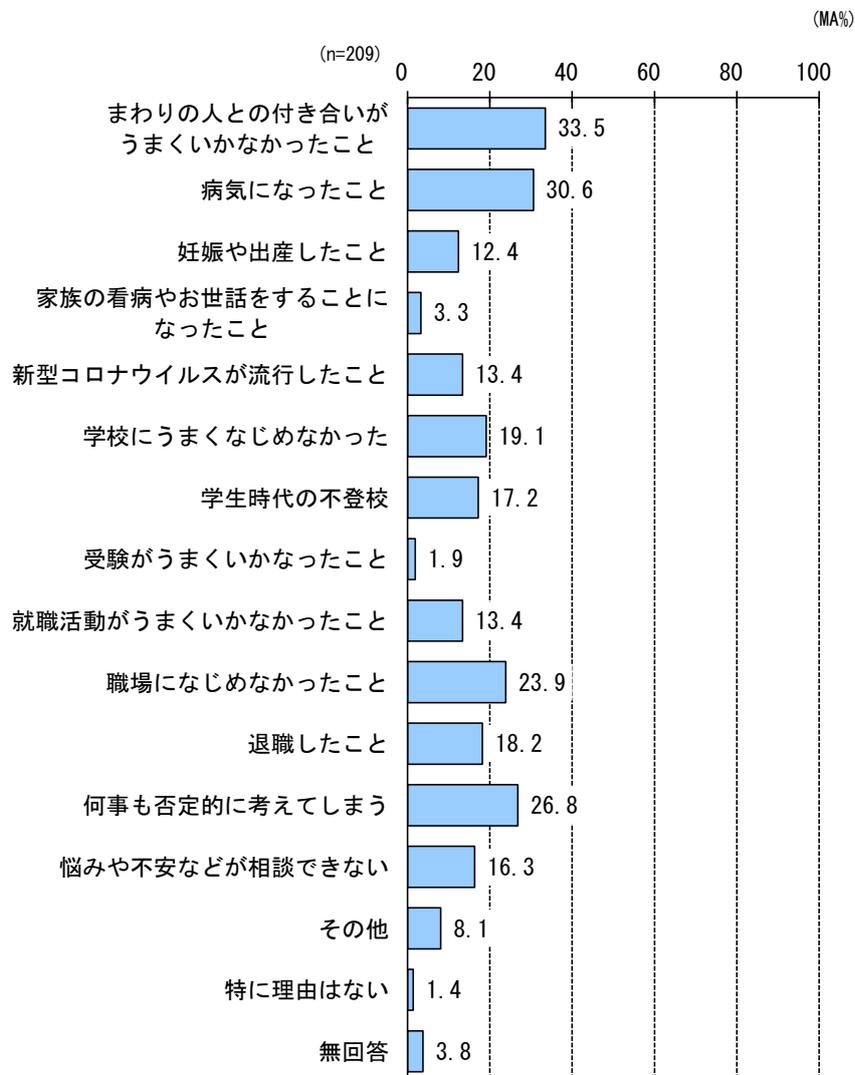


★問3 Q1で「過去にあった」または「現在そうである」を選択した方のみ

Q1-1 そうした問題を経験した、または現在経験している主な原因は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 円滑な社会・日常生活を送られない主な原因について、「まわりの人との付き合いがうまくいかなかったこと」が 33.5%で最も多く、次いで「病気になったこと」が 30.6%、「何事も否定的に考えてしまう」が 26.8%となっています。

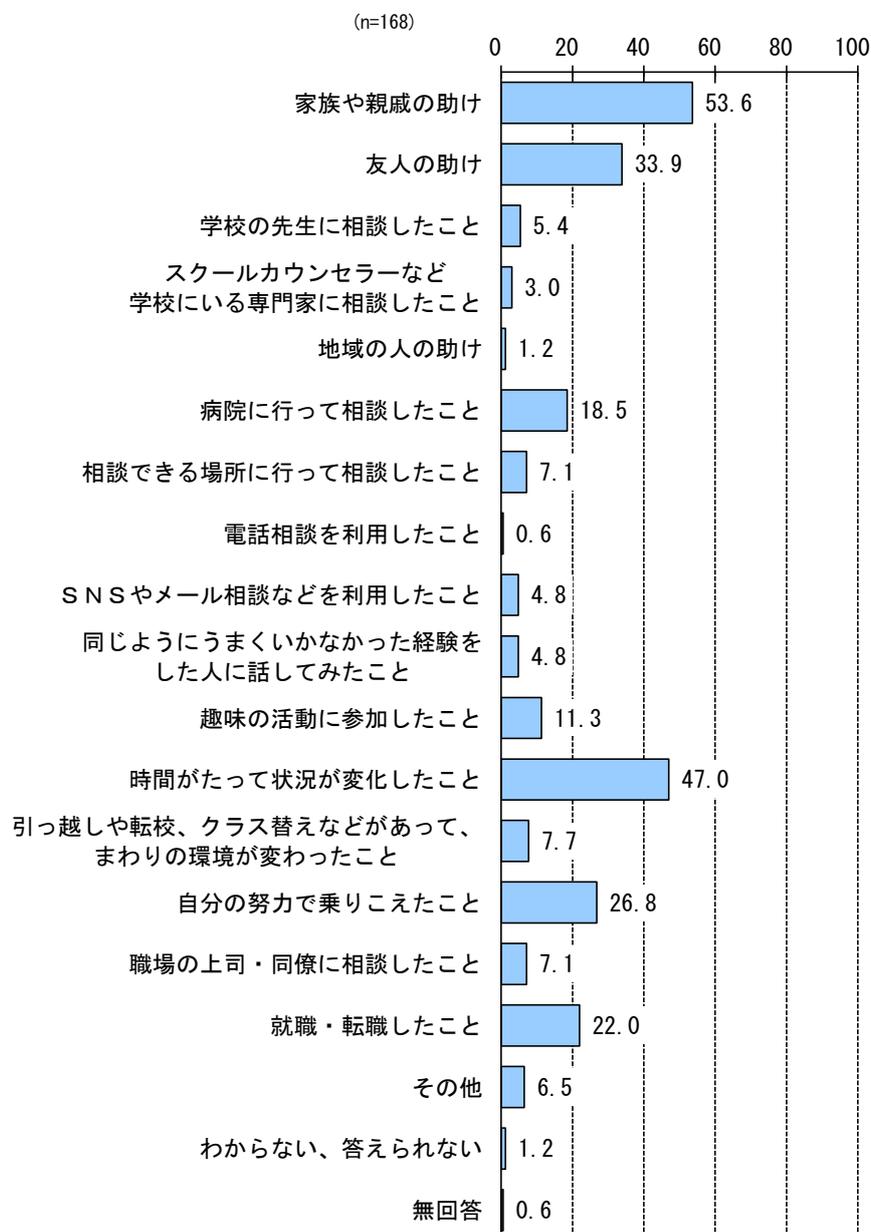


★問3 Q1で、「過去にあった」を選択した方のみ

Q1-2 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 状態が改善したきっかけについて、「家族や親戚の助け」が 53.6%で最も多く、次いで「時間がたつて状況が変化したこと」が 47.0%、「友人の助け」が 33.9%となっています。

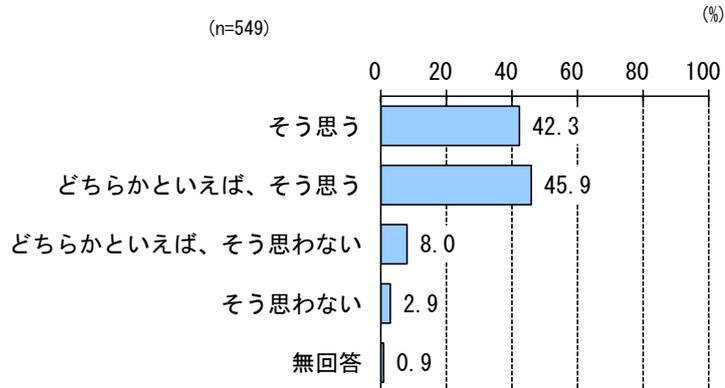
(MA%)



ここからは、すべての方におうかがいします。

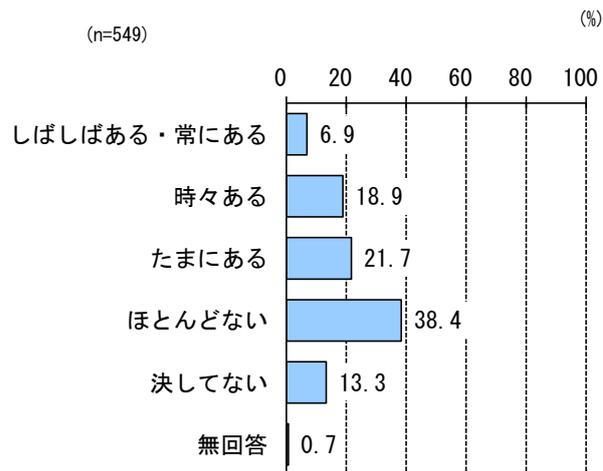
Q2 あなたは今、自分が幸せだと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- 自分は幸せだと思うかについて、「どちらかといえば、そう思う」が45.9%で最も多く、次いで「そう思う」が42.3%、「どちらかといえば、そう思わない」が8.0%となっています。



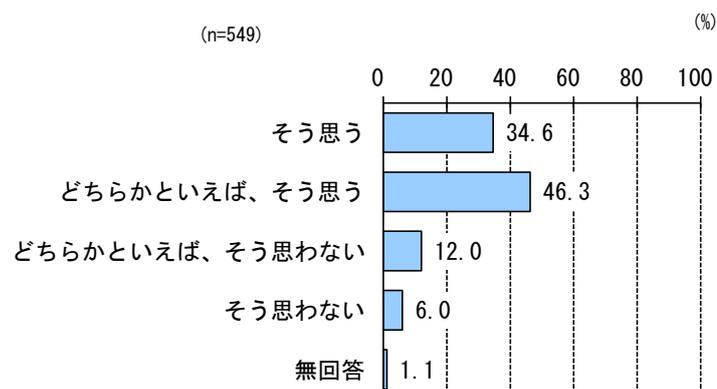
Q3 あなたは、どの程度、孤独であると感じることがありますか。(あてはまる番号1つに○)

- 孤独と感じることの頻度について、「ほとんどない」が38.4%で最も多く、次いで「たまにある」が21.7%、「時々ある」が18.9%となっています。



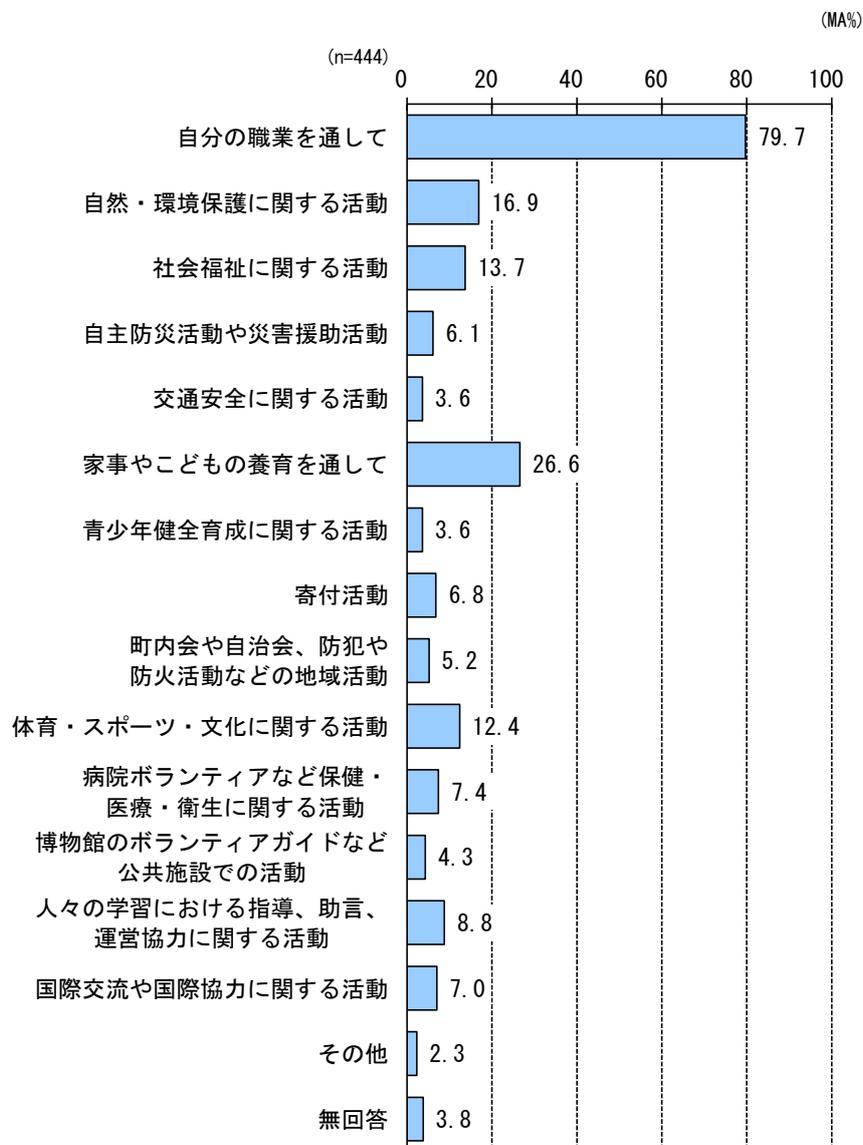
Q4 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- 社会貢献への意思について、「どちらかといえば、そう思う」が46.3%で最も多く、次いで「そう思う」が34.6%、「どちらかといえば、そう思わない」が12.0%となっています。



★問3 Q4で、「そう思う」または「どちらかといえば、そう思う」を選択した方のみ  
 Q4-1 社会のために役立ちたいと思っているのはどのようなことですか。(あてはまる番号すべてに○)

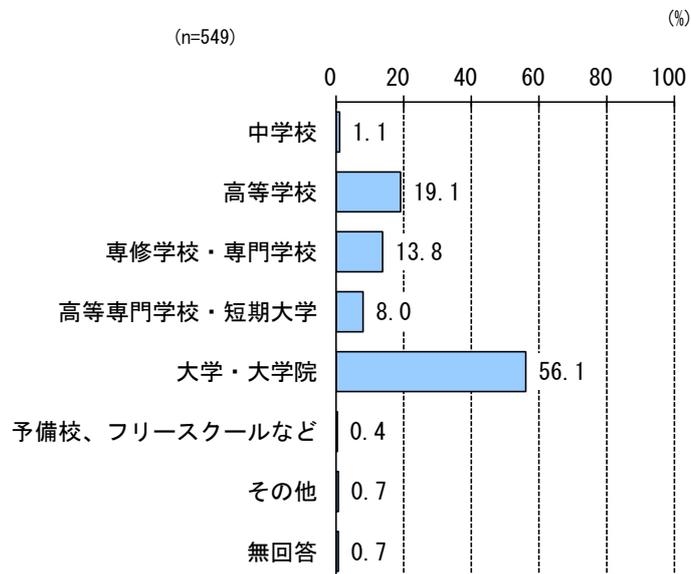
- 社会のために役に立ちたい内容について、「自分の職業を通して」が79.7%で最も多く、次いで「家事やこどもの養育を通して」が26.6%、「自然・環境保護に関する活動」が16.9%となっています。



#### 問4 就学・就労状況について

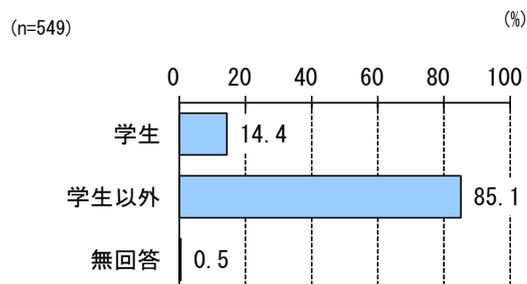
Q1 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。（あてはまる番号1つに○）

- 最終学歴、在籍中の学歴について、「大学・大学院」が 56.1%で最も多く、次いで「高等学校」が 19.1%、「専修学校・専門学校」が 13.8%となっています。



Q2 あなたにあてはまるものを選んでください。（あてはまる番号1つに○）

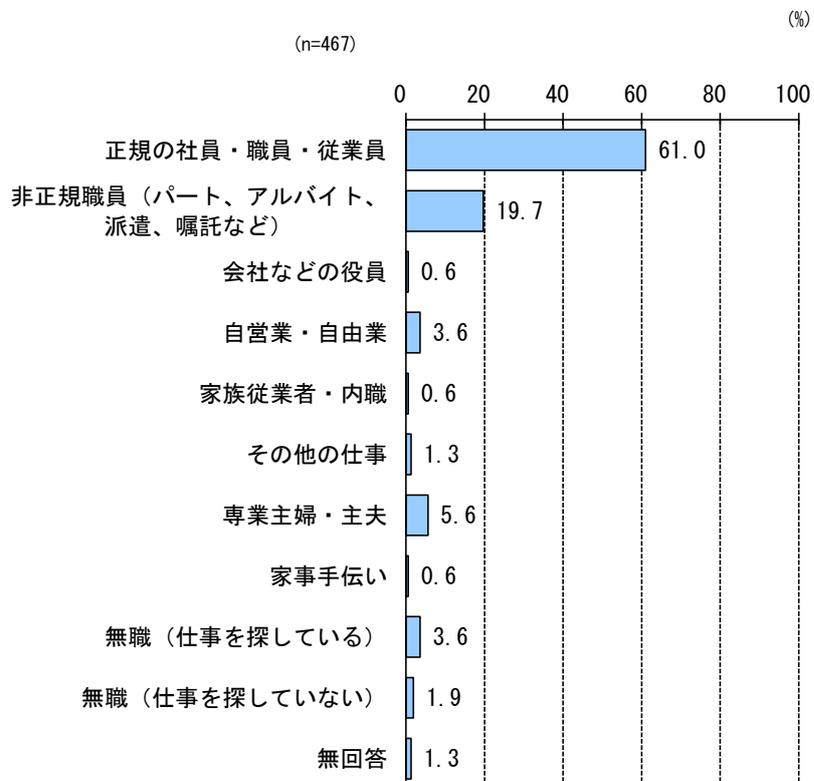
- 学生であるかについて、「学生」が 14.4%、「学生以外」が 85.1%となっています。



★問4 Q2で、「学生以外」を選択した方のみ

Q2-1 あなたの現在の仕事（複数ある場合は主なものを教えてください。（あてはまる番号1つに○）

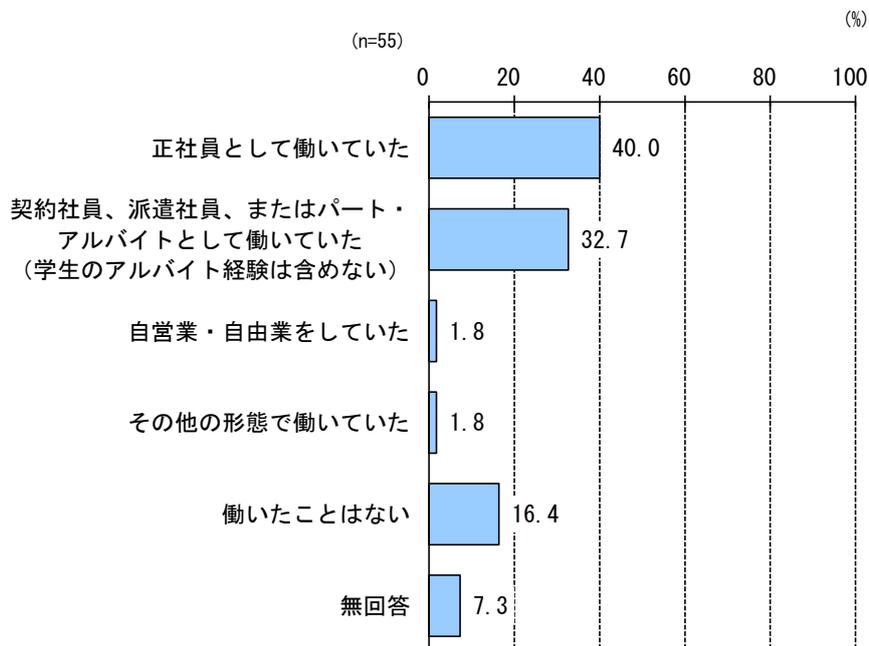
- 現在の仕事について、「正規の社員・職員・従業員」が 61.0%で最も多く、次いで「非正規職員（パート、アルバイト、派遣、嘱託など）」が 19.7%、「専業主婦・主夫」が 5.6%となっています。



★問4 Q2-1で、「専業主婦・主夫」～「無職(仕事を探していない)」を選択した方のみ

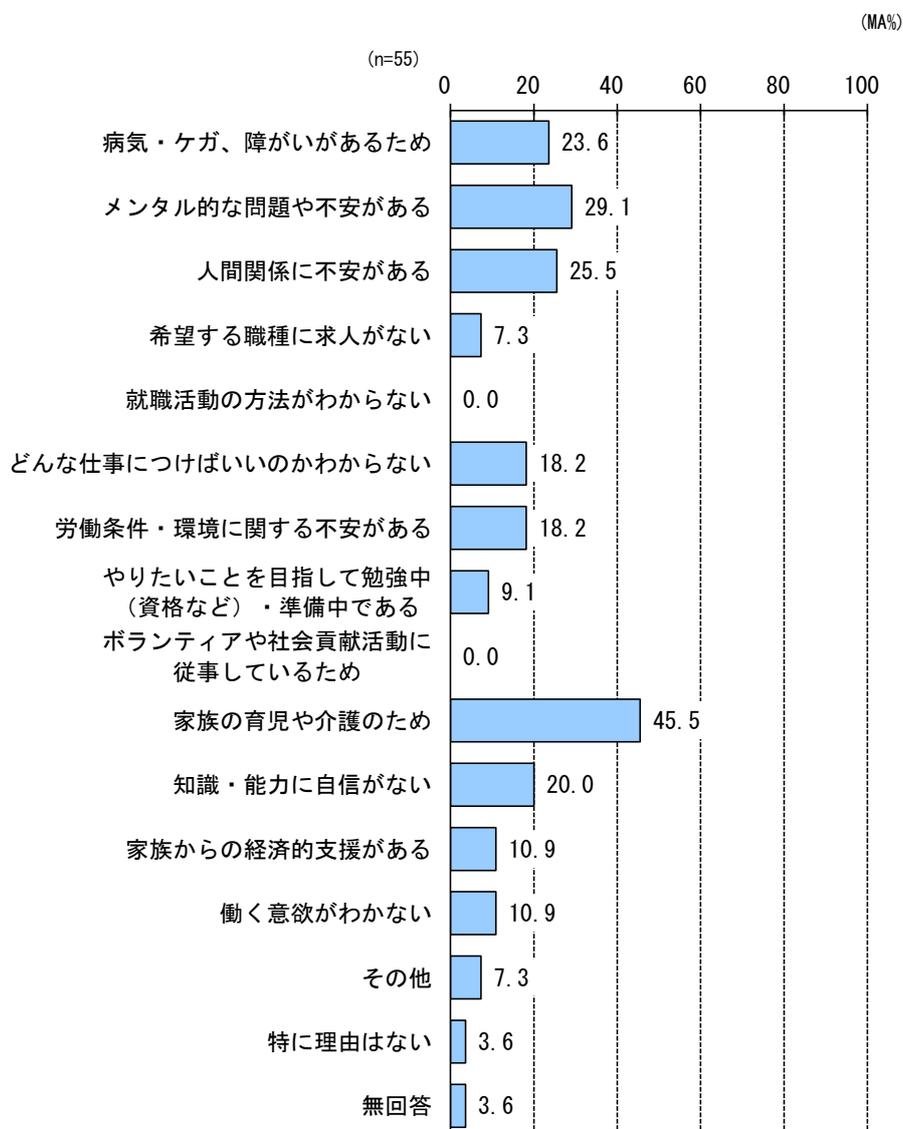
Q2-2 あなたは今までに働いていたことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

- 今までの就労の経験について、「正社員として働いていた」が40.0%で最も多く、次いで「契約社員、派遣社員、またはパート・アルバイトとして働いていた(学生アルバイト経験は含めない)」が32.7%、「働いたことはない」が16.4%となっています。



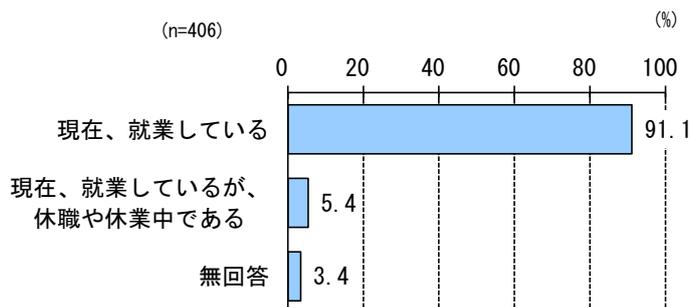
Q 2-3 あなたが現在、働いていない（または、働けない）理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- 現在、働いていない理由について、「家族の育児や介護のため」が 45.5%で最も多く、次いで「メンタル的な問題や不安がある」が 29.1%、「人間関係に不安がある」が 25.5%となっています。



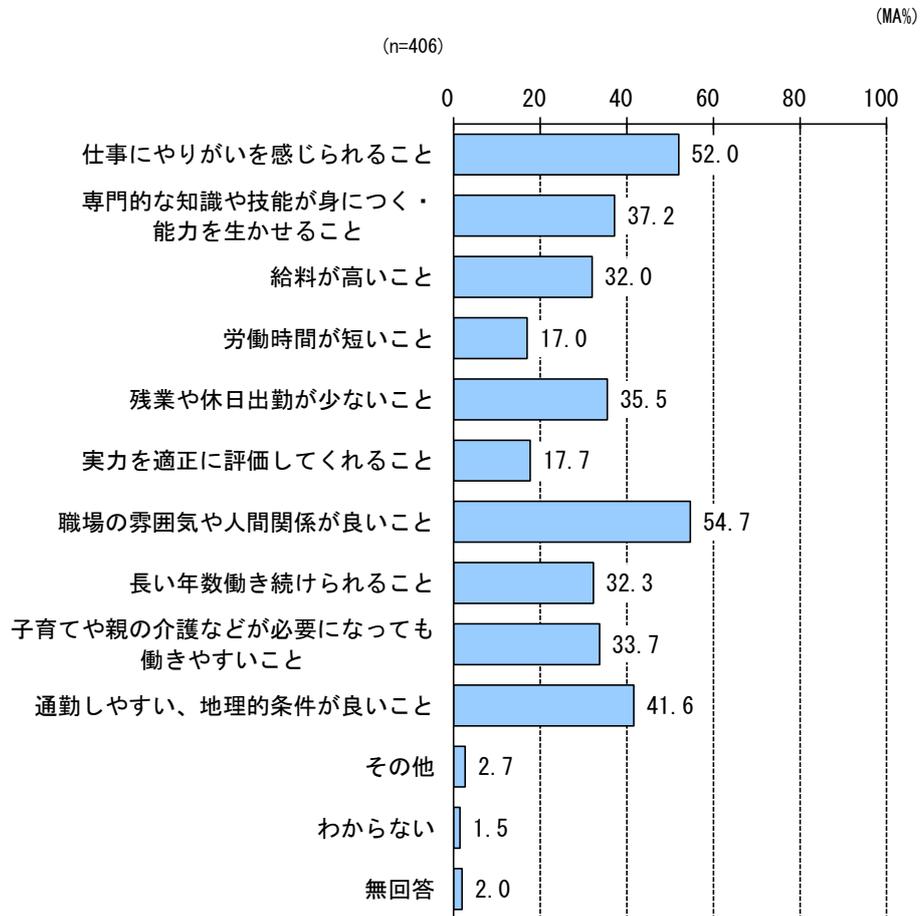
★問4 Q 2-1 で、「正規の社員・職員・従業員」～「その他の仕事」を選択した方のみ  
Q 2-4 あなたの就業状態をお答えください。（あてはまる番号1つに○）

- 就労状態について、「現在、就業している」が 91.1%、「現在、就業しているが、休職や休業中である」が 5.4%となっています。



Q 2-5 あなたが現在の仕事で重視していることはどのようなことですか。(あてはまる番号すべてに○)

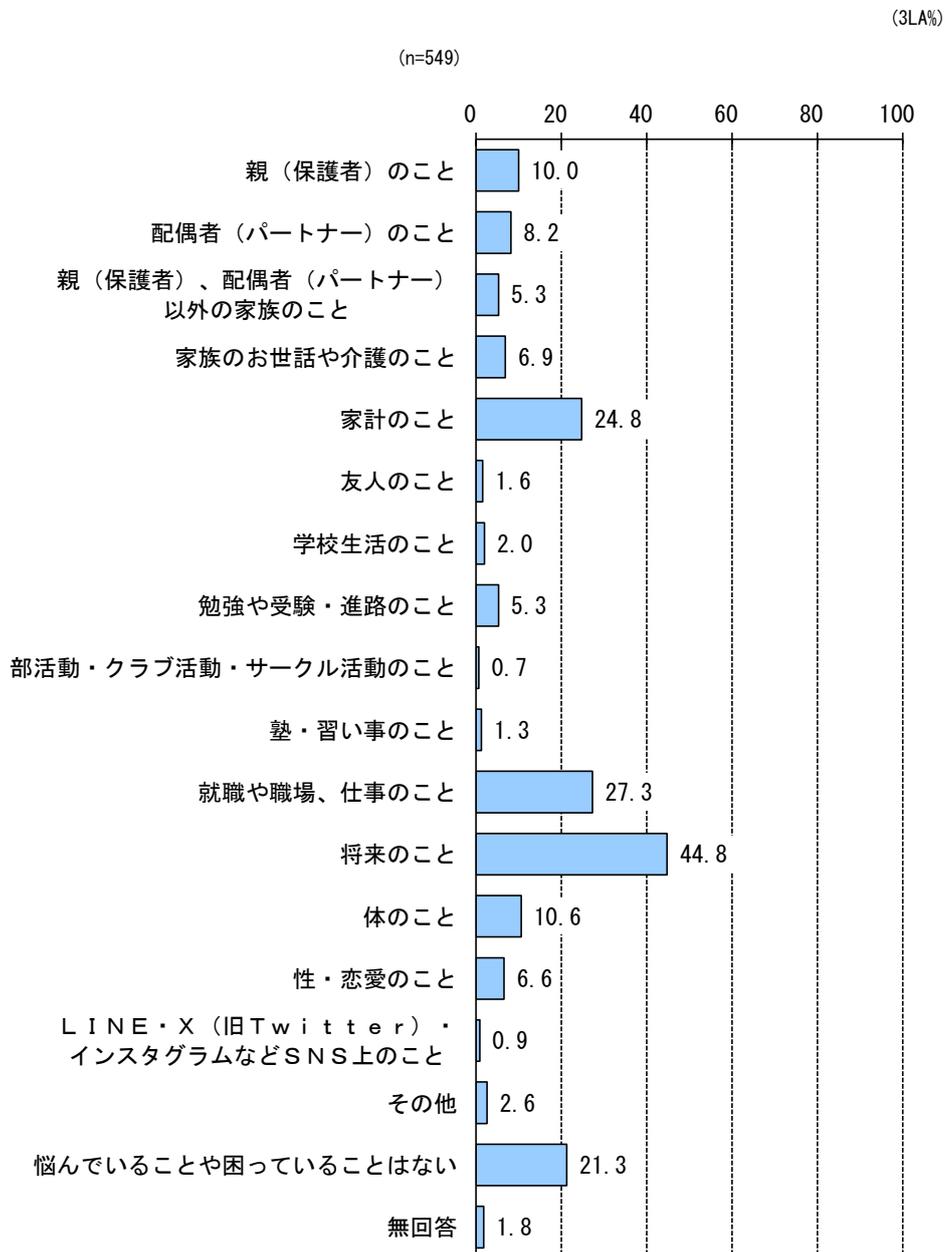
- 現在の仕事で重視していることについて、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」が 54.7%で最も多く、次いで「仕事にやりがいを感じられること」が 52.0%、「通勤しやすい、地理的条件が良いこと」が 41.6%となっています。



## 問5 悩み・相談先について

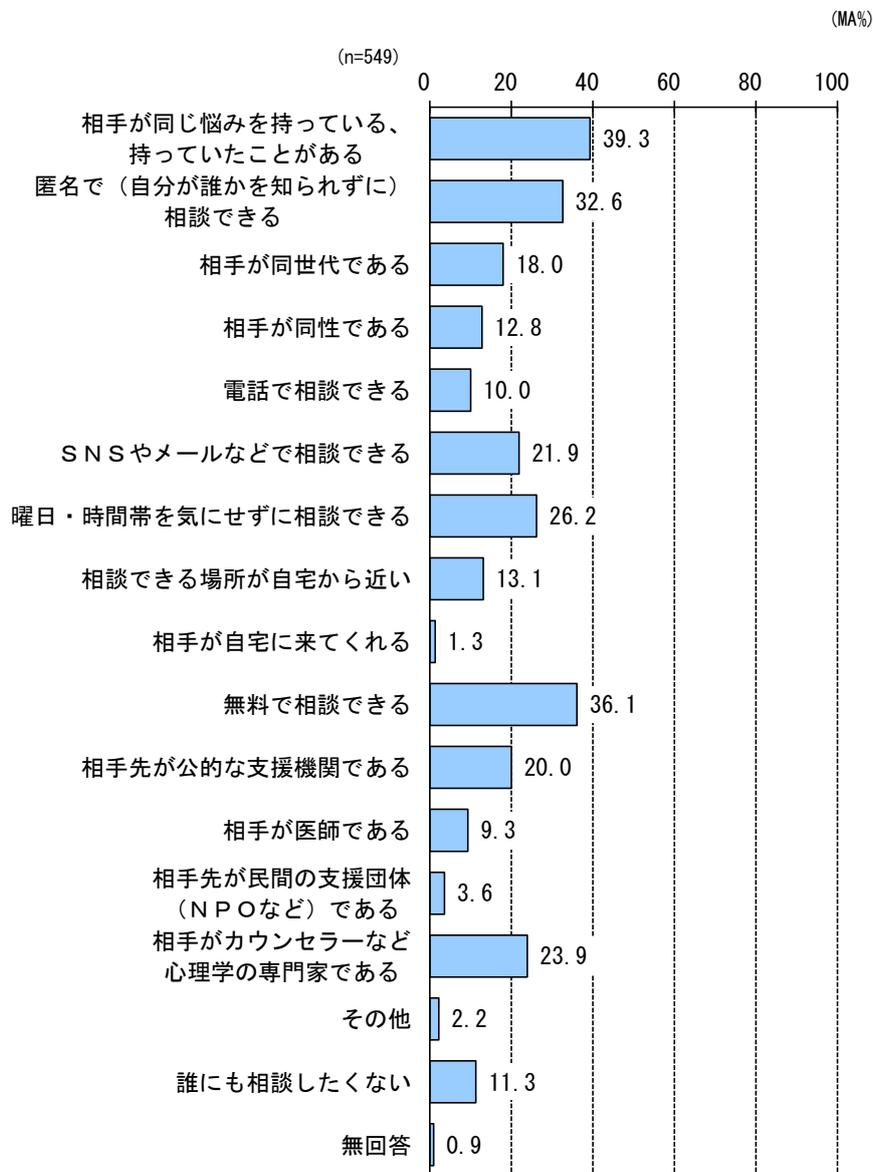
Q1 あなたは、今、自分自身について悩んでいることや困っていることはありますか。(あてはまる番号3つまで○)

- 今、自分自身について悩んでいることや困っていることについて、「将来のこと」が 44.8%で最も多く、次いで「就職や職場、仕事のこと」が 27.3%、「家計のこと」が 24.8%となっています。



Q2 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

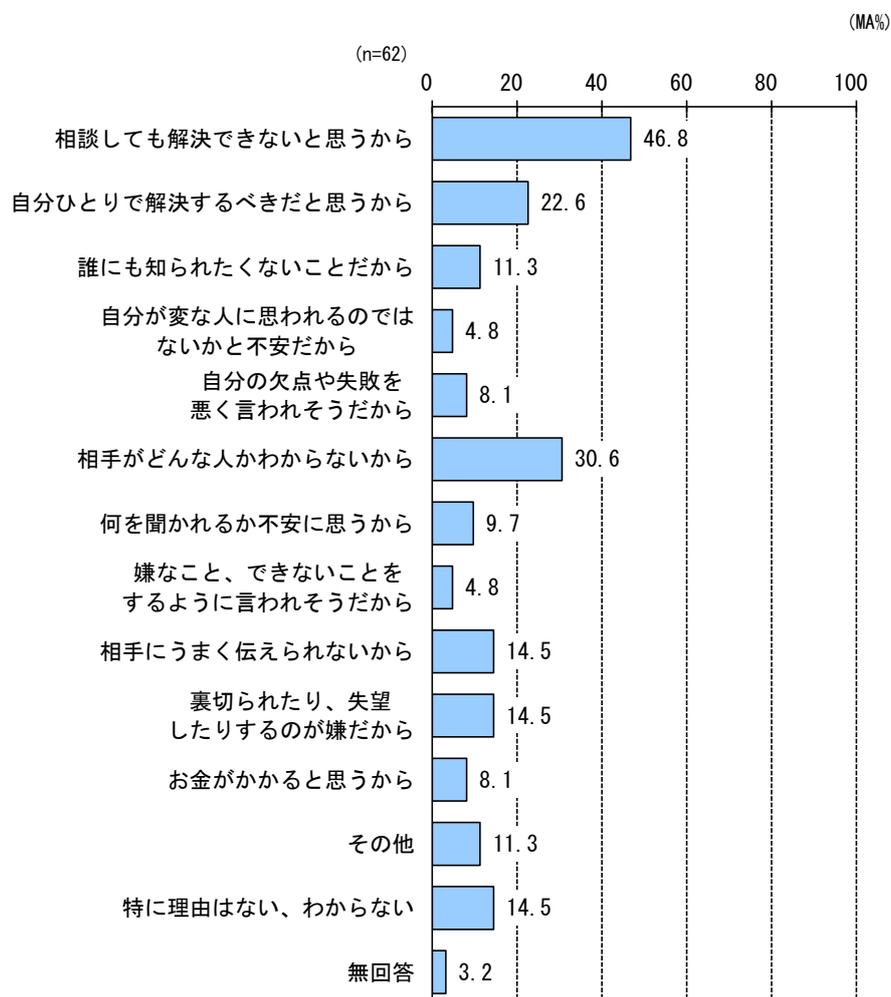
○ どのような人や場所に相談したいかについて、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が 39.3%で最も多く、次いで「無料で相談できる」が 36.1%、「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」が 32.6%となっています。



★問5 Q2で「誰にも相談したくない」を選択した方のみ

Q2-1 相談したくないと思う理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

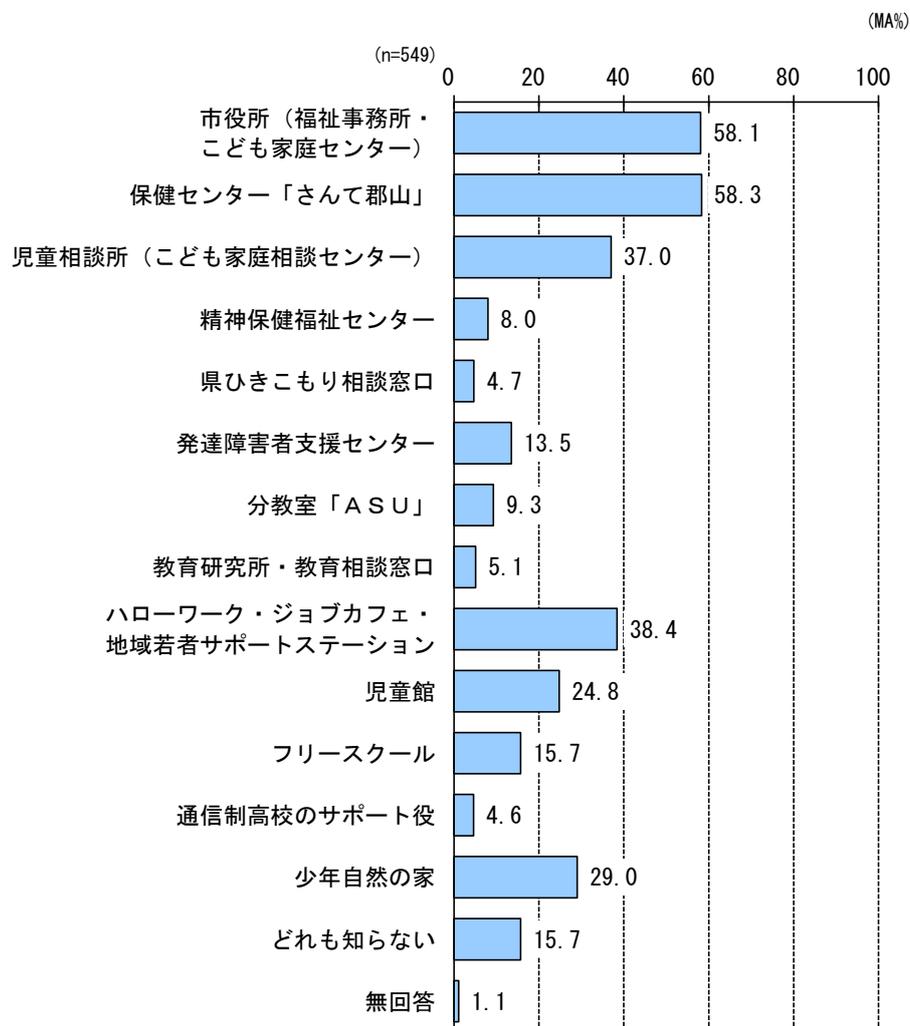
- 相談したくないと思う理由について、「相談しても解決できないと思うから」が46.8%で最も多く、次いで「相手がどんな人かわからないから」が30.6%、「自分ひとりで解決すべきだと思うから」が22.6%となっています。



ここからは、すべての方におうかがいします。

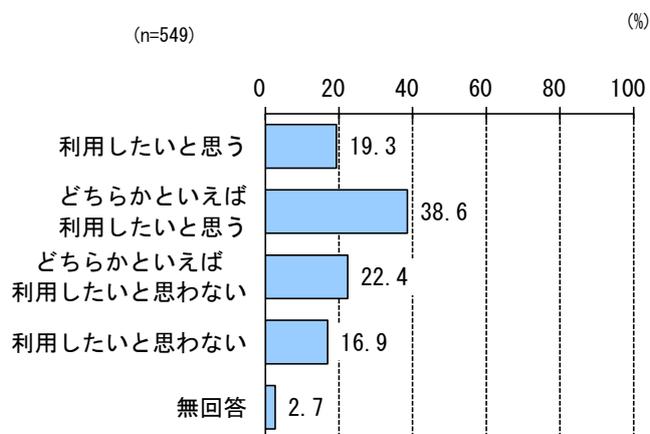
Q3 あなたは、子ども・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等をすべて選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

- 子ども・若者を対象とした育成支援機関等の認知について、「保健センター「さんて郡山」」が58.3%で最も多く、次いで「市役所（福祉事務所・子ども家庭センター）」が58.1%、「ハローワーク・ジョブカフェ・地域若者サポートステーション」が38.4%となっています。



Q 4 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、Q 3の機関等を利用したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

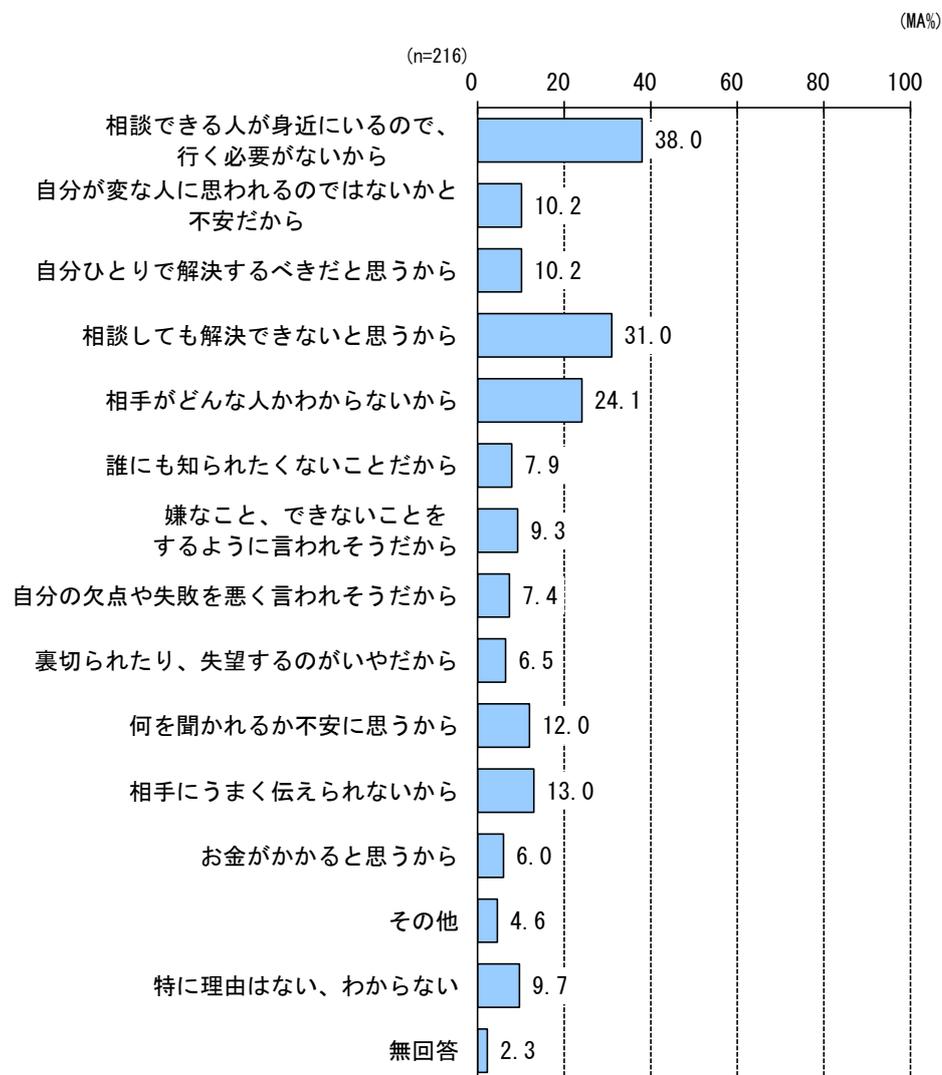
- Q 3の機関等を利用したいかについて、「どちらかといえば利用したいと思う」が 38.6%で最も多く、次いで「どちらかといえば利用したいと思わない」が 22.4%、「利用したいと思う」が 19.3%となっています。



★問5 Q 4で「どちらかといえば利用したいと思わない」または「利用したいと思わない」を選択した方のみ

Q 4-1 利用したいと思わない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 利用したいと思わない理由について、「相談できる人が身近にいるので、行く必要がないから」が 38.0%で最も多く、次いで「相談しても解決できないと思うから」が 31.0%、「相手がどんな人かわからないから」が 24.1%となっています。

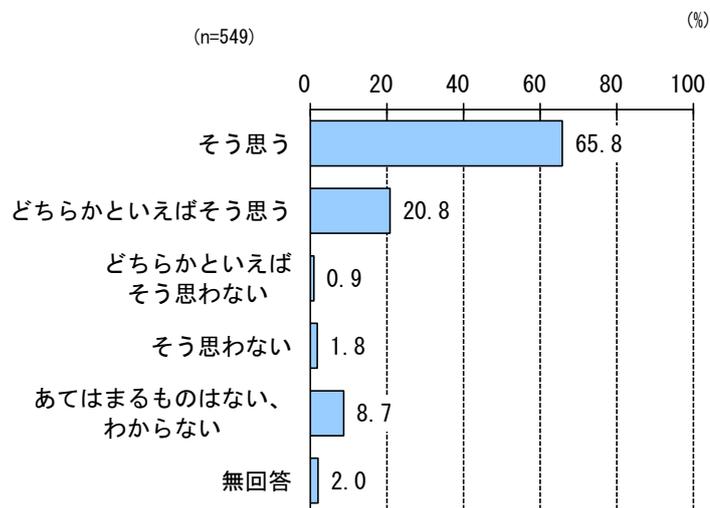


## 問6 求める居場所について

Q1 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所）になっていますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

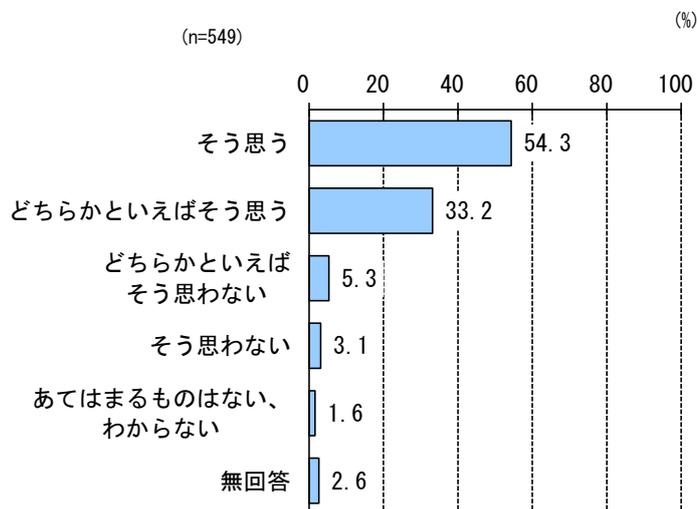
### （1）自分の部屋

- 自分の部屋が居場所になっているかについて、「そう思う」が 65.8%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 20.8%、「あてはまるものはない、わからない」が 8.7%となっています。



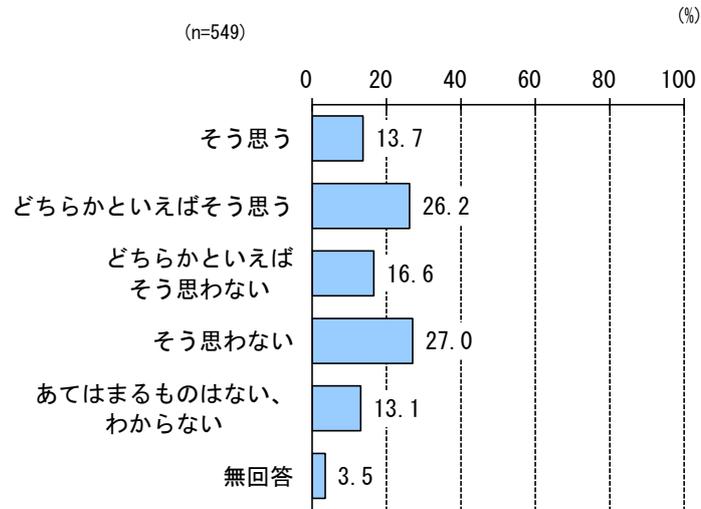
### （2）家庭（実家や親戚の家を含む）

- 家庭が居場所になっているかについて、「そう思う」が 54.3%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.2%、「どちらかといえばそう思わない」が 5.3%となっています。



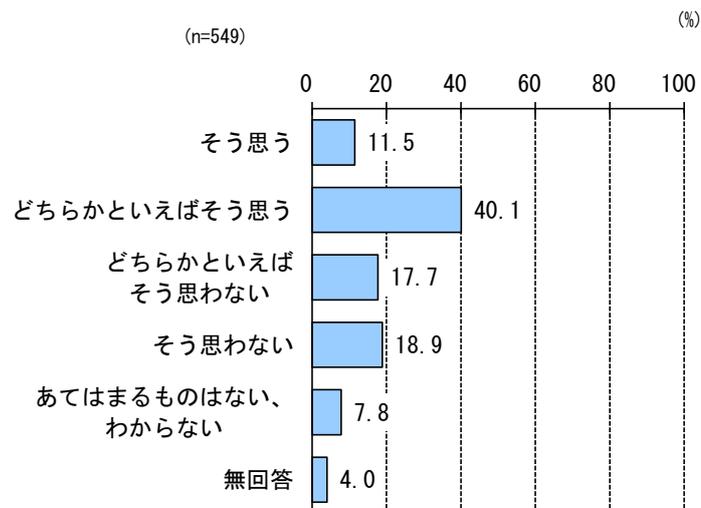
### (3) 学校（卒業した学校を含む）

- 学校が居場所になっているかについて、「そう思わない」が 27.0%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.2%、「どちらかといえばそう思わない」が 16.6%となっています。



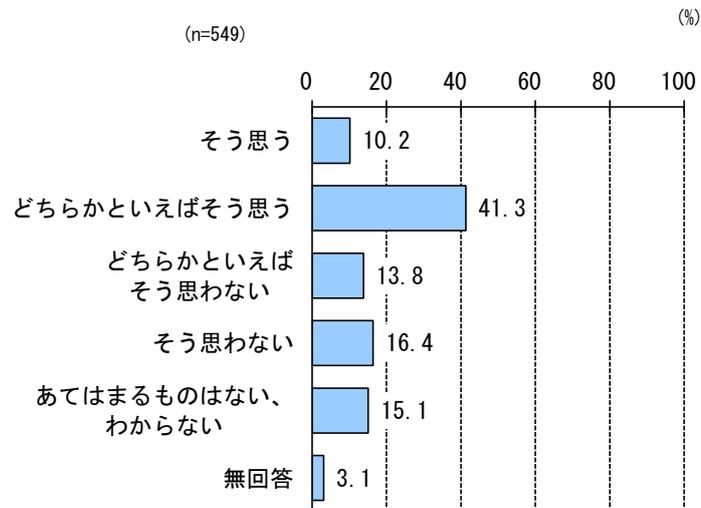
### (4) 職場（アルバイト先や過去の職場を含む）

- 職場が居場所になっているかについて、「どちらかといえばそう思う」が 40.1%で最も多く、次いで「そう思わない」が 18.9%、「どちらかといえばそう思わない」が 17.7%となっています。



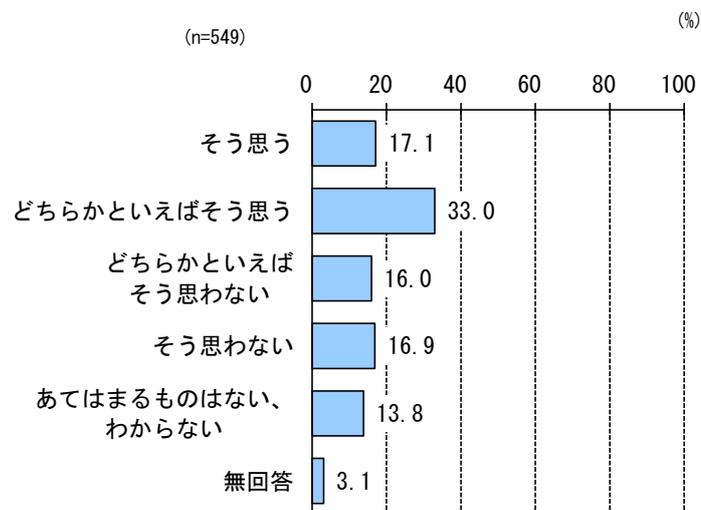
### (5) 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）

- 地域が居場所になっているかについて、「どちらかといえばそう思う」が 41.3%で最も多く、次いで「そう思わない」が 16.4%、「あてはまるものはない、わからない」が 15.1%となっています。



### (6) インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）

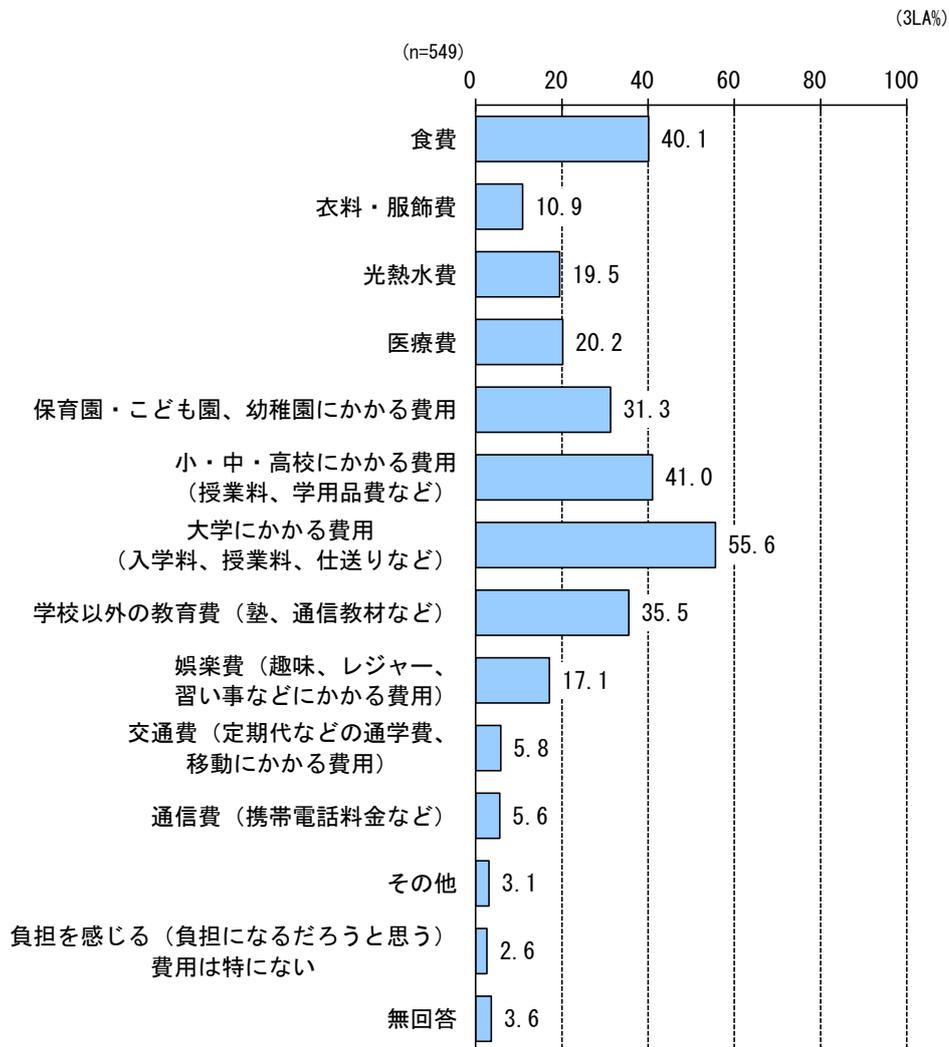
- インターネット空間が居場所になっているかについて、「どちらかといえばそう思う」が 33.0%で最も多く、次いで「そう思う」が 17.1%、「そう思わない」が 16.9%となっています。



## 問7 結婚・出産について

Q1 子育てにかかる費用の中で、あなたが負担を感じている（または負担になるだろうと思う）費用は何ですか。（あてはまる番号3つまで○）

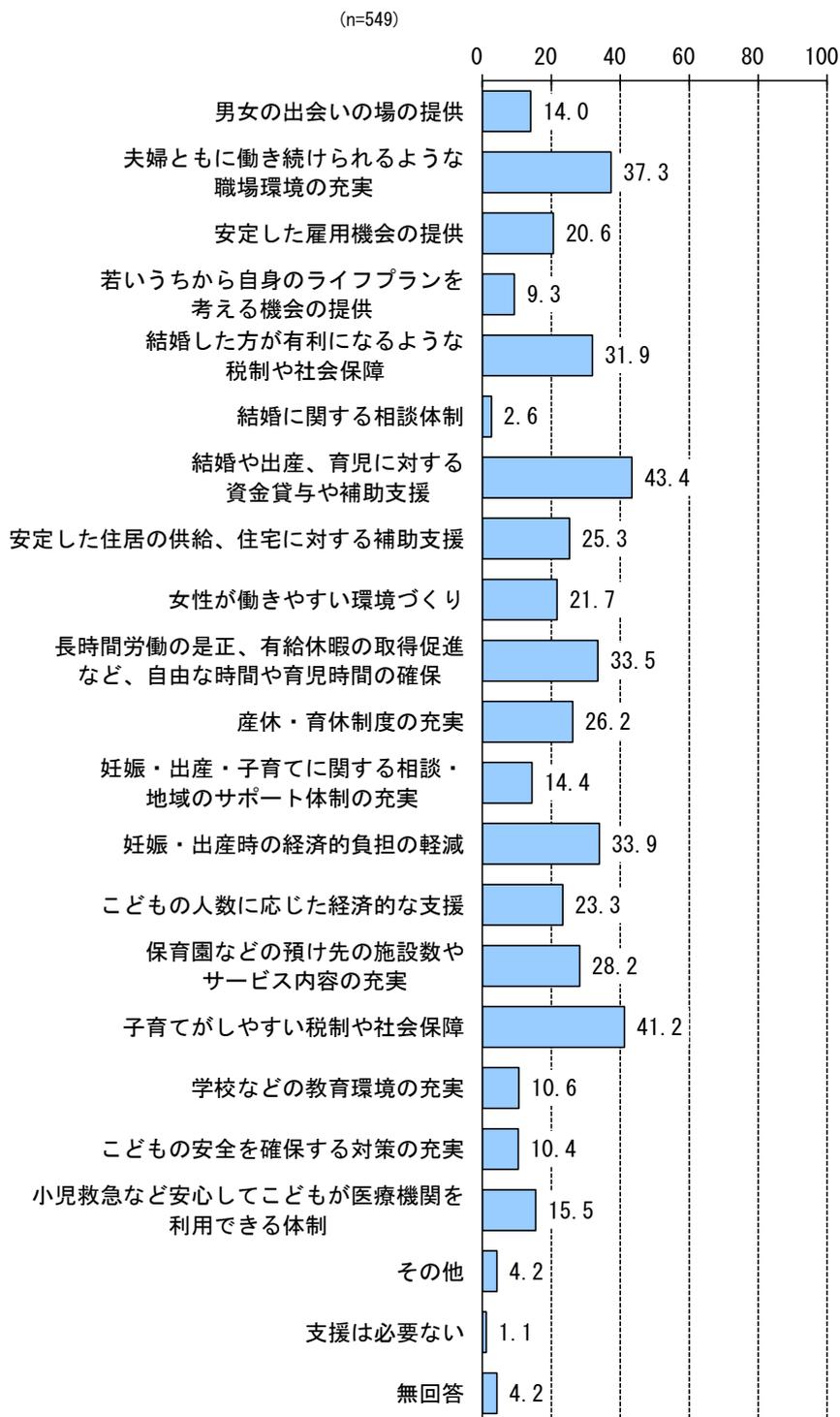
- 負担を感じている子育てにかかる費用について、「大学にかかる費用（入学料、授業料、仕送りなど）」が 55.6%で最も多く、次いで「小・中・高校にかかる費用（授業料、学用品費など）」が 41.0%、「食費」が 40.1%となっています。



Q2 結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあれば良いと考えますか。(あてはまる番号5つまで○)

- 結婚や出産、子育てしやすい環境のためにあれば良いサポートについて、「結婚や出産、育児に対する資金貸与や補助支援」が43.4%で最も多く、次いで「子育てがしやすい税制や社会保障」が41.2%、「夫婦ともに働き続けられるような職場環境の充実」が37.3%となっています。

(5LA%)

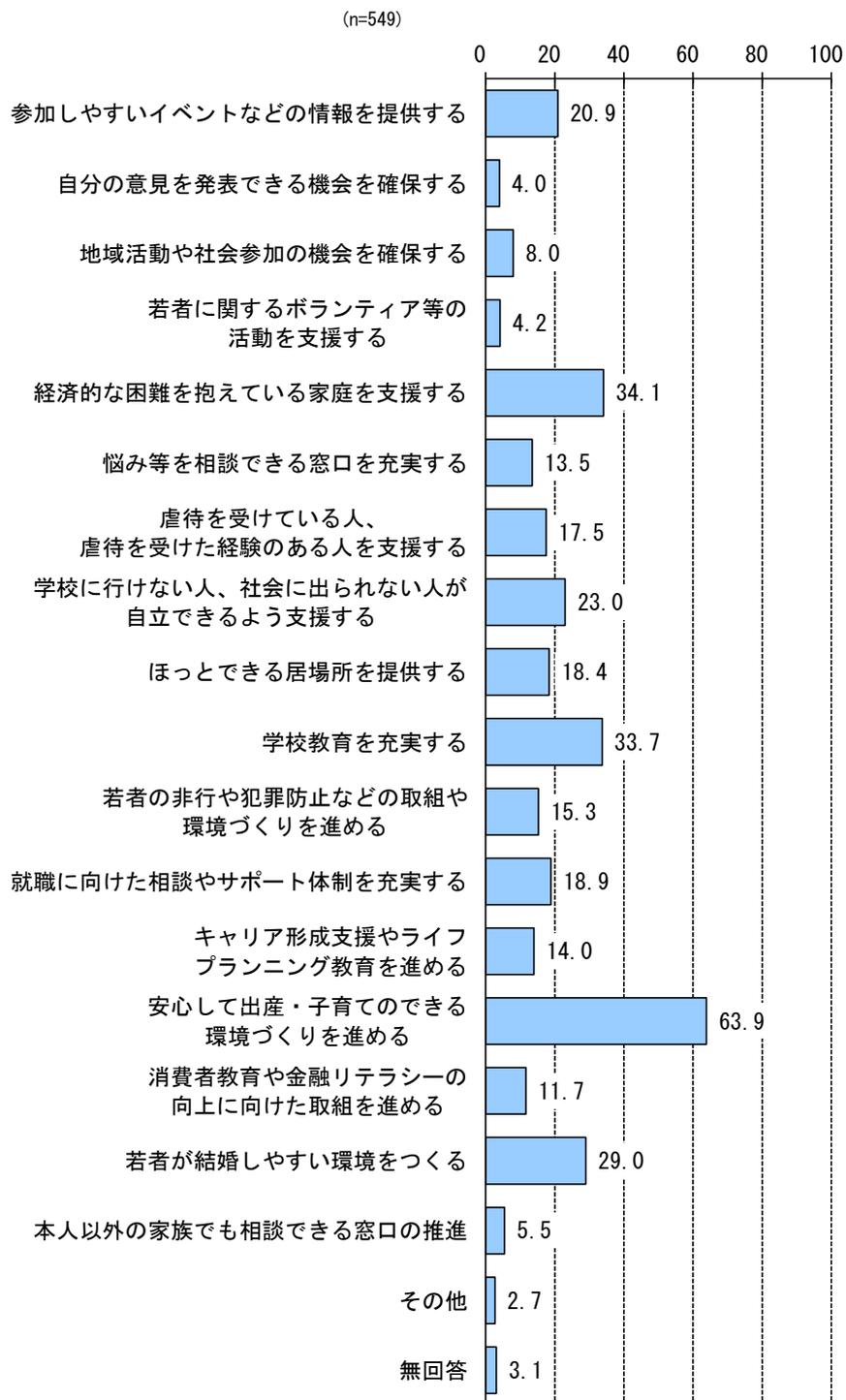


## 問8 行政に求める施策について

Q1 あなたは、大和郡山市が取り組む若者の施策にどんなことを望みますか。(あてはまる番号5つまで○)

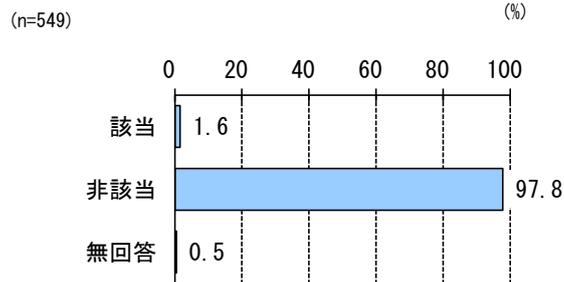
- 市が取り組む若者施策に望むことについて、「安心して出産・子育てのできる環境づくりを進める」が63.9%で最も多く、次いで「経済的な困難を抱えている家庭を支援する」が34.1%、「学校教育を充実する」が33.7%となっています。

(5LA%)



## ひきこもりに関する状況

○ ひきこもりに関する状況について、「該当」が1.6%、「非該当」が97.8%となっています。



今回の調査では、国の「こども・若者の意識と生活に関する調査」における「広義のひきこもり群」の定義に準じて、以下のように算出しています。

「問2 Q1 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。」で、以下の、「5」～「8」を選択した人

5. ふだんは家から出ないが、自分の趣味や家庭の用事などのときだけ外に出かける
6. ふだんは家から出ないが、近くのコンビニエンスストアなどには出かける
7. 自分の部屋からは出るが、家からは出ない
8. 自分の部屋からほとんど出ない

で、かつ

「問2 Q1-1 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。」で、「2」～「7」を選択した人（6か月以上の人）

であって、次の3類型（Ⅰ～Ⅲ）のいずれにも該当しない者。

Ⅰ 「問2 Q1-2 あなたの外出状況が今ようになった主な理由は何ですか。」で、「10. 病気になったこと（病名：）」を選択し、統合失調症又は身体的病気の病名を記入した者

Ⅱ ①「問2 Q1-2 あなたの外出状況が今ようになった主な理由は何ですか。」で、

- ・「11. 妊娠したこと」を選択した者
- ・「13. 介護・看護を担うことになったこと」を選択した者
- ・「15. その他（）」を選択し、（）に出産・育児をしている旨を記入した者

又は

②「問4 Q2-1 あなたの現在の仕事を教えてください。」で、「7. 専業主婦・主夫」又は「8. 家事手伝い」を選択した者

又は

③「問2 Q2 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください」で、「9. 家事をする」、「10. 育児をする」又は「11. 介護・看護をする」を選択した者

のいずれかで、かつ

「問2 Q1-3 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。」で、「1. よく会話した」又は「2. ときどき会話した」を選択した者

Ⅲ 「問4 Q2-1 あなたの現在の仕事を教えてください。」で、「3. 会社などの役員」、「4. 自営業・自由業」又は「5. 家族従業者・内職」を選択した者

又は

①「問4 Q2-1 あなたの現在の仕事を教えてください。」で、「1. 正規の社員・職員・従業員」「2. 非正規職員（パート、アルバイト、派遣、嘱託など）」のいずれかを選択した者

<p>又は</p> <p>②「問2 Q1-2 あなたの外出状況が今ようになった主な理由は何ですか。」で、「15. その他（）」を選択し、（）に自宅で仕事をしている旨を記入した者</p> <p>又は</p> <p>③「問2 Q2 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください」で、「8. 仕事をする」を選択した者のいずれかで、かつ</p> <p>「問4 Q2-4 あなたの就労状態をお答えください。」で、「1. 現在、就業している」を選択した者</p>
---

以上の定義の該当者数等は以下のとおりです。

	該当者数	有効回収数に占める割合
大和郡山市調査	9人	1.6%
国調査	144人	2.05%

※有効回収数：大和郡山市調査 549件 国調査 7,035件

※同一の定義を一律にあてはめた結果であり、実際には必ずしもひきこもりの状態にはない者が含まれている可能性があります。また、ひきこもりの状態にある者が除かれている可能性があります。